RICOH

IPSiO SP C731/C730/C730L

使用説明書

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

3. 用紙をセットする

4. 印刷する

5. 本機の設定と管理

6. こまったときには

7. 保守/仕様

各機種の Type 名と性能・機能の違い

機種ごとのおもな性能/機能の差異は以下の表のとおりです。詳細については、P.521「本体とオプションの仕様」を参照してください。

	IPSiO SP C731	IPSiO SP C730	IPSiO SP C730L
Type 名（アイコン）	Type 1 （Type 1）	Type 2 （Type 2）	Type 3 （Type 3）
拡張 HDD	標準	オプションあり	オプションなし
搭載メモリー	1.5GB	512 MB（1.5GB まで増設可）	512 MB
拡張 SD カード	オプションあり	オプションあり	オプションなし
メディアスロット	標準	オプションなし	オプションなし
拡張インターフェース	オプションあり	オプションあり	オプションなし
画面の種類*1	4.3 インチカラータッチパネル	4 行 LCD パネル	

*1 画面の種類

4.3 インチカラータッチパネル	4 行 LCD パネル

1. 本機のセットアップ

プリンターのセットアップとオプションの接続について説明します。

本機の設置について

プリンターのセットアップは、以下の手順に沿って実施してください。

1. **プリンターの設置場所を確認します。**

   詳しくは『かんたんセットアップ』を参照してください。

2. **プリンターを開梱します。**

   - 保護材や固定テープをプリンターから取り外します。
   - 同梱品を確認します。

   詳しくは『かんたんセットアップ』を参照してください。

3. **オプションを装着します。**

   詳しくは P.14「オプションを装着する」を参照してください。

4. **用紙をセットします。**

   詳しくは P.111「用紙をセットする」を参照してください。

5. **電源コードを接続します。**

   詳しくは『かんたんセットアップ』を参照してください。

6. **テスト印刷を実行し、プリンターが正常に動作するか確認します。**

   詳しくは P.302「テスト印刷する」を参照してください。

7. **プリンターにインターフェースケーブルを接続します。**

   詳しくは P.33「パソコンに接続する」を参照してください。

8. **プリンターのネットワーク設定を設定します。**

   詳しくは P.255「ネットワークの設定」を参照してください。

9. **プリンタードライバーをインストールします。**

   詳しくは『ドライバーインストールガイド』を参照してください。

エネルギースタープログラム

国際エネルギースタープログラム

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナー、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国の間で統一されています。

省エネルギー機能

本機は節電のために「スリープモード」機能を搭載しています。

一定時間操作しない状態が続いたとき、自動的に電力の消費を低くするように設定されています。電力消費量が低くなったこの状態を「スリープモード」と呼びます。使用している機種が Type 1 のときは、[省エネ] キーを押すことでスリープモードに移行することもできます。スリープモードでもパソコンからの印刷はできます。

工場出荷時のスリープモードへの移行時間（初期設定移行時間）は 1 分に設定されています。

スリープモードでの消費電力	1 W
スリープモードへの移行時間	1 分
スリープモードからの復帰時間	10 秒

補足

- スリープモードに移行する時間は [スリープモード移行時間設定] で変更できます。使用している機種に応じて以下を参照してください。
  - Type 1：P.309「時刻タイマー設定」
  - Type 2/Type 3：P.386「システム設定」

- 使用している機種によって、スリープモード中に印刷データを受信したときの動作が異なります。
    - Type 1：操作部の画面を消灯したまま印刷します。印刷終了後は、［スリープモード移行時間設定］の設定時間に関わらず、すぐにスリープモードに移行します（工場出荷時の設定）。
    - Type 2/Type 3：操作部の画面にメッセージを表示して印刷します。印刷終了後は、［スリープモード移行時間設定］の設定時間に従ってスリープモードに移行します。
- インストールされる Embedded Software Architecture アプリケーションの種類によって、スリープモードへの移行時間が設定よりも長くかかることがあります。

オプションを装着する

オプションを取り付けると、本体の性能をさらに高め、機能を拡張できます。各オプションについては、P.518「関連商品一覧」を参照してください。

⚠注意

- オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

オプション取り付けの流れ

本体に複数のオプションを取り付けるときは、以下の順に取り付けることをおすすめします。

対象機種：Type1

1. **300 枚増設トレイ、550 枚増設トレイを取り付ける。**

   300 枚増設トレイと 550 枚増設トレイは、任意の組み合わせで最大 3 段まで取り付けられます。

2. **拡張インターフェースボードを取り付ける。**

   以下のオプションのうち、どれか 1 つを取り付けできます。

   - 拡張無線 LAN ボード
   - 拡張 1284 ボード
   - 拡張 USB プリントサーバーユニット
   - Bluetooth オプション

3. **拡張 SD カードオプションを取り付ける。**

   コントローラーボードの拡張 SD カード用スロットに、拡張 SD カードオプションを差し込みます。

   同一スロットで複数の拡張 SD カードを使用するときは、サービス実施店に連絡してください。

対象機種：Type2

1. **300 枚増設トレイ、550 枚増設トレイを取り付ける。**

   300 枚増設トレイと 550 枚増設トレイは、任意の組み合わせで最大 3 段まで取り付けられます。

2. **SDRAM モジュールを取り付ける。**

   コントローラーボード内のスロットに SDRAM モジュールを取り付けます。

以下のオプションのうち、どちらか 1 つを取り付けできます。

- IPSiO SDRAM モジュール II 1GB
- IPSiO SDRAM モジュール I 1.5GB

3. 拡張 HDD を取り付ける。

コントローラーボード内の装着スペースに拡張 HDD を取り付けます。

4. 拡張インターフェースボードを取り付ける。

以下のオプションのうち、どれか 1 つを取り付けできます。

- 拡張無線 LAN ボード
- 拡張 1284 ボード
- 拡張 USB プリントサーバーユニット
- Bluetooth オプション

5. 拡張 SD カードオプションを取り付ける。

コントローラーボードの拡張 SD カード用スロットに、拡張 SD カードオプションを差し込みます。

同一スロットで複数の拡張 SD カードを使用するときは、サービス実施店に連絡してください。

対象機種：Type 3

1. 300 枚増設トレイ、550 枚増設トレイを取り付ける。

300 枚増設トレイと 550 枚増設トレイは、任意の組み合わせで最大 3 段まで取り付けられます。

増設トレイを取り付ける

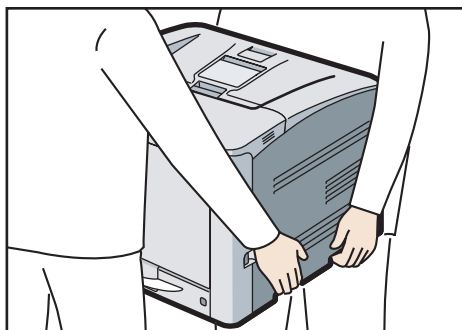
⚠注意

- プリンター本体は約 40kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を 2 人で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

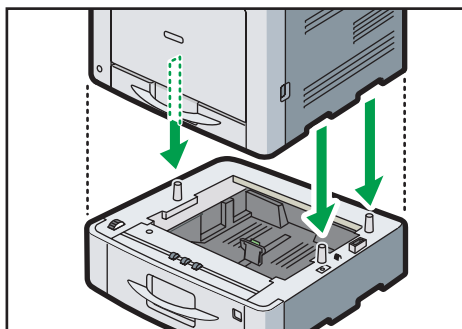
1. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2. 増設トレイから保護材を取り外します。

1

3. 本機の両側面にある運搬用の取っ手を持ってゆっくりと持ち上げ、増設トレイまで水平に運びます。

CSJ220

本機を持ち上げるときは、給紙トレイの部分や手差しトレイの下側を持たないでください。

4. 増設トレイには 3 本の垂直ピンがついています。本機の底面にある穴に垂直ピンを合わせ、増設トレイの上に本体をゆっくりと下ろします。

CSJ219

5. 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

6. システム設定リストを印刷して、増設トレイが正しく取り付けられたことを確認します。

正しく取り付けされているときは、システム設定リストの「給紙トレイ」の欄に、「トレイ 2」、「トレイ 3」、および「トレイ 4」の情報が印刷されます。

補足

- システム設定リストの印刷方法は、P.302「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていないときは、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられないときは、サービス実施店に連絡してください。
- 取り付けた増設トレイを使用するには、プリンタードライバーでオプションの設定をしてください。詳しくは、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定」を参照してください。

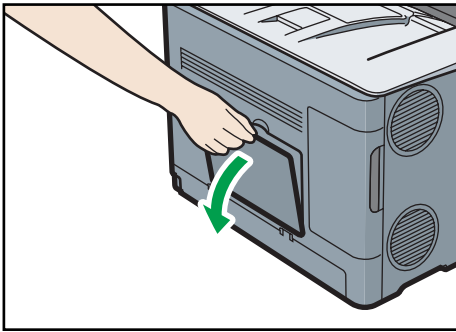
拡張メモリーユニットを取り付ける

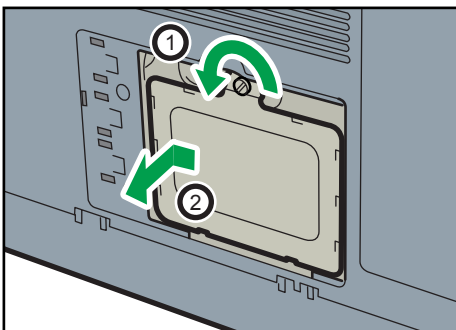
対象機種：Type 2

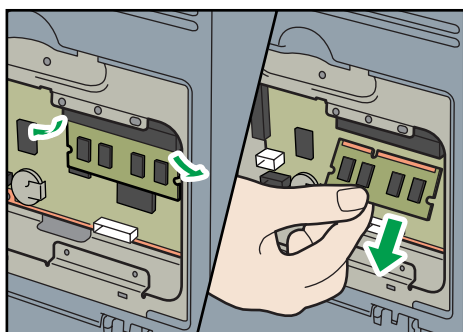
重要

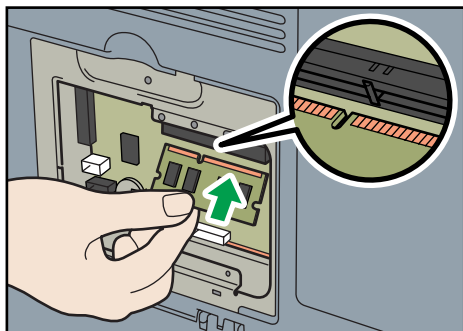
- SDRAM モジュール、拡張 HDD に触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により破損する恐れがあります。
- SDRAM モジュール、拡張 HDD に物理的衝撃を与えないでください。

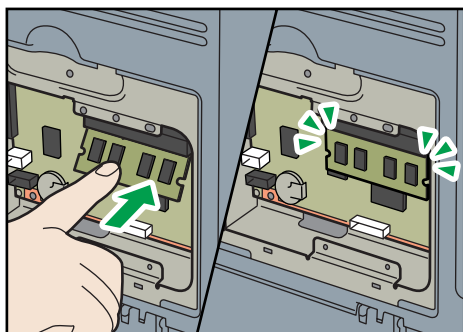
SDRAM モジュールを取り付ける

1. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. メモリーカバーを外します。

CSJ113

3. コインねじを外し、内部カバーを左にスライドさせて取り外します。

CSJ114

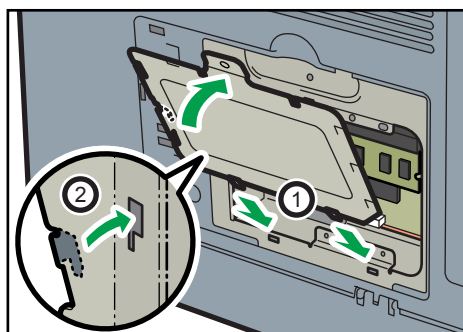
4. 差し込み口の左右にあるツメを広げ、標準 SDRAM モジュールを取り外します。

CSJ115

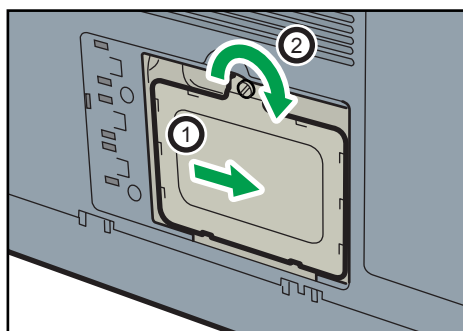
5. SDRAM モジュールの切り欠きを差し込み口の凸部分に合わせ、垂直に差し込みます。

CSJ116

6. カチッと音がするまで、SDRAM モジュールをしっかり押し込みます。

CSJ117

7. 続けて拡張 HDD を取り付けるときは、内部カバーを取り付ける前に、拡張 HDD の取り付け手順に進みます。

拡張 HDD の取り付け方法は、P.20「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。

8. 内部カバーの下側のツメ 2 箇所を本体に差し込んでから、左側のツメ 1 箇所を本体の切れ込みに差し込みます。

CSH055

9. 内部カバーを右にスライドさせ、コインねじを締めます。

CSJ118

10. メモリーカバーを取り付けます。

11. 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

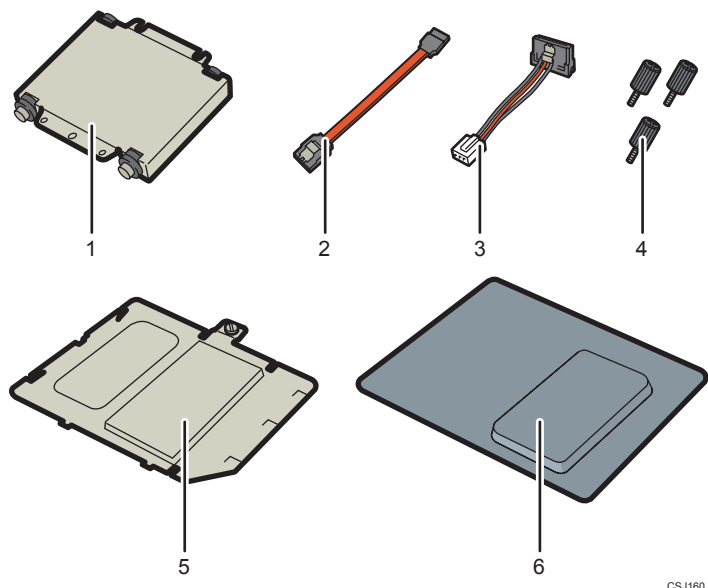
12. システム設定リストを印刷して、SDRAM モジュールが正しく取り付けられたことを確認します。

正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「搭載メモリ」の欄に、搭載しているメモリーの容量が印刷されます。

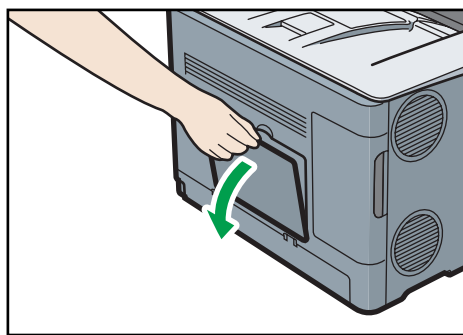
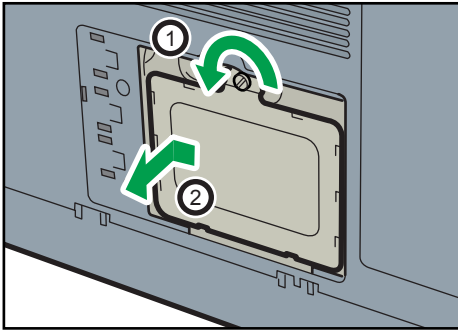
補足

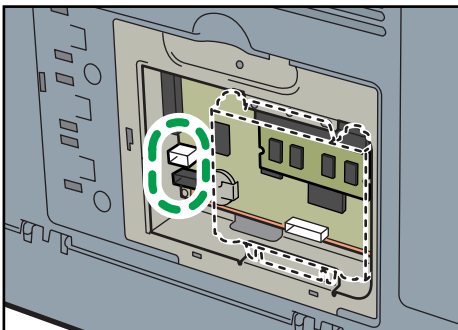
- システム設定リストの印刷手順は、P.302「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていないときは、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられないときは、サービス実施店に相談してください。
- 取り付けた SDRAM モジュールを使用するには、プリンタードライバーでオプションの設定をしてください。詳しくは、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定」を参照してください。

拡張 HDD を取り付ける

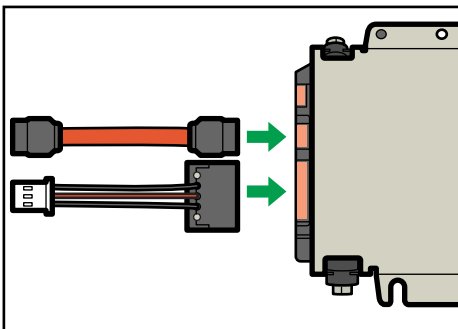
1. 同梱品を確認します。

1. 拡張 HDD
2. フラットケーブル
3. 電源ケーブル
4. コインねじ 3 本
5. 専用内部カバー
6. 専用メモリーカバー

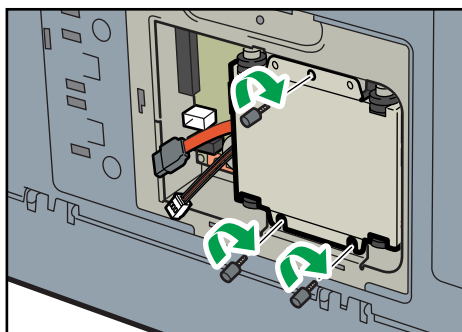
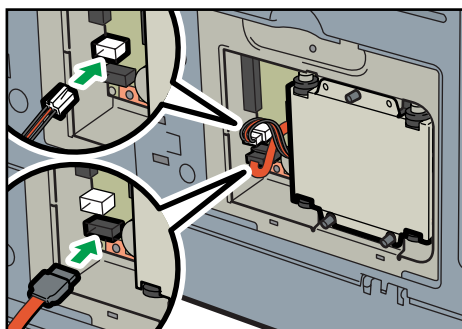
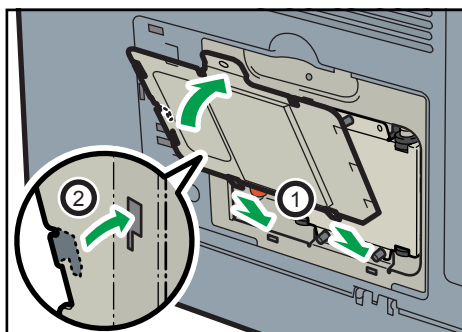
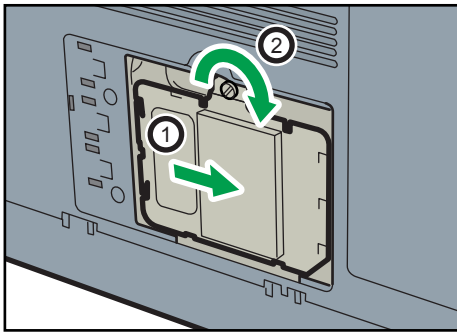
2. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

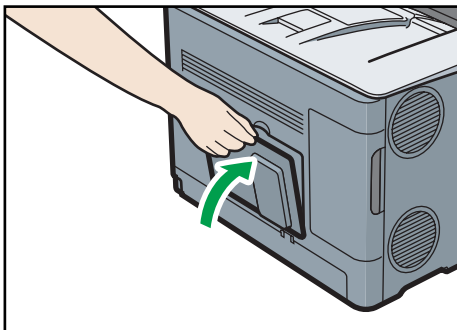
3. メモリーカバーを外します。

4. コインねじを外し、内部カバーを左にスライドさせて取り外します。

CSJ114

5. 拡張 HDD は以下のイラストに示した場所に設置します。

CSJ161

拡張 HDD を取り付けるときに、SDRAM モジュールに接触しないように注意してください。SDRAM モジュールを破損する恐れがあります。

6. 電源ケーブルとフラットケーブルを拡張 HDD に取り付けます。

CSJ162

7. 拡張 HDD と本体をコインねじ 3 本で固定します。

8. 電源ケーブルとフラットケーブルをコントローラーボードに取り付けます。

9. 専用内部カバーの下側のツメ 2 箇所を本体に差し込んでから、左側のツメ 1 箇所を本体の切れ込みに差し込みます。

10. **専用内部カバーを右にスライドさせ、コインねじを締めます。**

CSJ166

11. **専用メモリーカバーを取り付けます。**

CSJ167

12. **電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。**

電源を入れると、拡張 HDD の初期化（フォーマット）が自動的に開始されます。

13. **システム設定リストを印刷して、拡張 HDD が正しく取り付けられたことを確認します。**

正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「ハードディスク」と印刷されます。

補足

- システム設定リストの印刷手順は、P.302「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていないときは、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられないときは、サービス実施店に相談してください。
- 取り付けた拡張 HDD を使用するには、プリンタードライバーでオプションの設定をしてください。詳しくは、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定」を参照してください。

1

インターフェースユニットを取り付ける

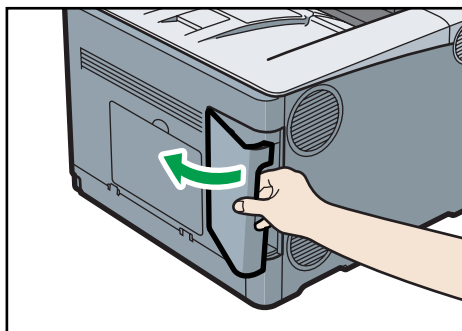
対象機種：Type 1 Type 2

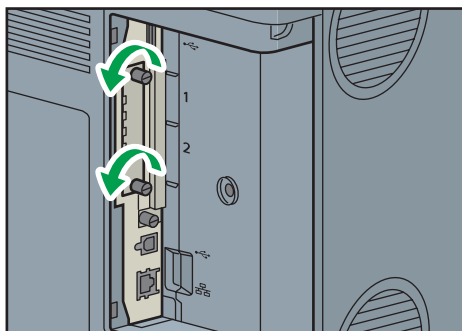
インターフェースユニットの取り付け方法を説明します。

重要

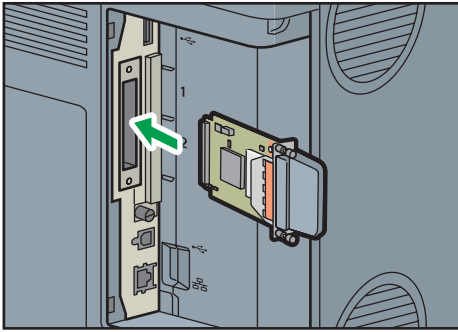
- 操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気によりインターフェースユニットが破損するおそれがあります。
- インターフェースユニットに物理的衝撃を与えないでください。

拡張無線 LAN ボードを取り付ける

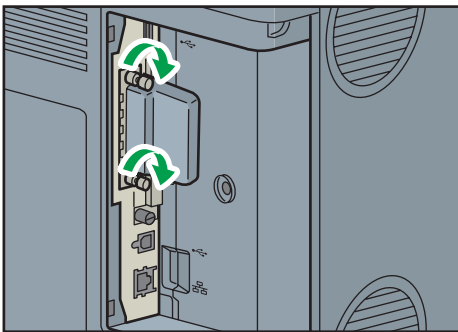
1. 同梱品を確認します。
2. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. ケーブルカバーを取り外します。

CSJ102

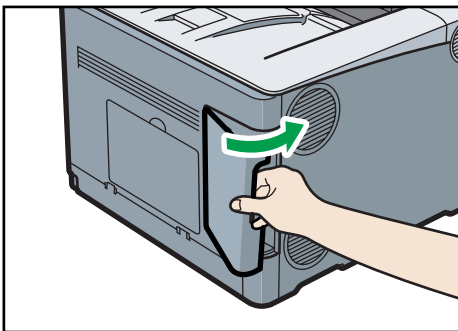
4. コインねじを外し、スロットカバーを取り外します。

CSJ103

取り外したカバーは使用しません。

5. 拡張無線 LAN ボードを奥まで差し込みます。

CSJ104

拡張無線 LAN ボードを奥まで押し込んで、しっかり接続されていることを確認してください。

6. コインねじを締め、拡張無線 LAN ボードを固定します。

CSJ106

7. ケーブルカバーを取り付けます。

CSJ112

8. 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

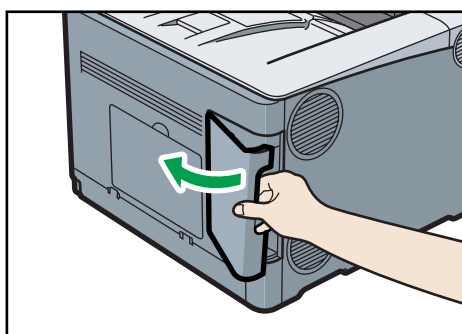
9. システム設定リストを印刷して、拡張無線 LAN ボードが正しく取り付けられたことを確認します。

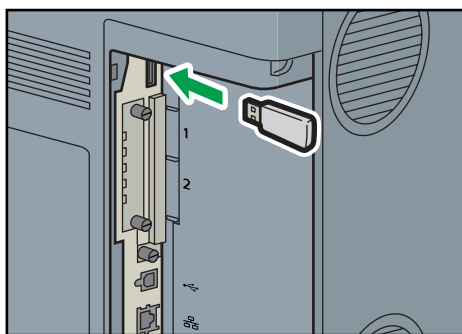
正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「無線 LAN」と印刷されます。

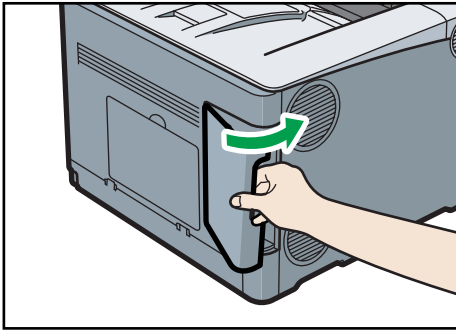
補足

- システム設定リストの印刷手順は、P.302「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていないときは、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられないときは、サービス実施店に相談してください。
- 拡張無線LANボードを使用する前に、本体の操作部でネットワークの設定をしてください。詳しくは、P.258「拡張無線LANを使用する」を参照してください。
- 取り外した部品の廃棄などの取り扱いについては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、『はじめにお読みください』「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

Bluetoothオプションを取り付ける

1. 同梱品を確認します。
2. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. ケーブルカバーを取り外します。

CSJ102

4. USBポートAにBluetoothオプションを差し込みます。

CSH004

5. ケーブルカバーを取り付けます。

CSJ112

6. 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

7. システム設定リストを印刷して、Bluetooth オプションが正しく取り付けられたことを確認します。

正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「BT ボード」と印刷されます。

補足

- システム設定リストの印刷手順は、P.302「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていないときは、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられないときは、サービス実施店に相談してください。
- 詳細は、Bluetooth オプションに同梱されている使用説明書を参照してください。

拡張 1284 ボードを取り付ける

1. 同梱品を確認します。

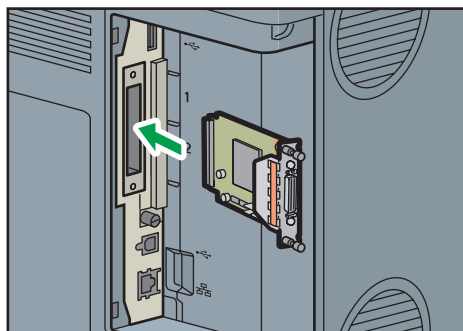
2. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

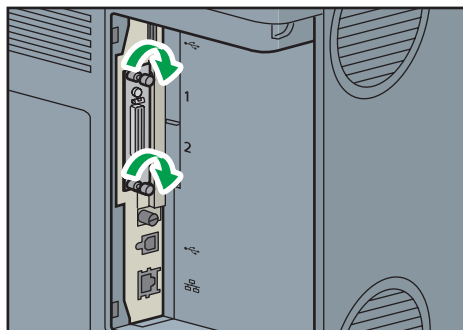
3. ケーブルカバーを取り外します。

CSJ102

4. コインねじを外し、スロットカバーを取り外します。

取り外したカバーは使用しません。

5. 拡張 1284 ボードを奥まで差し込みます。

拡張 1284 ボードを奥まで押し込んで、しっかり接続されていることを確認してください。

6. コインねじを締め、拡張 1284 ボードを固定します。

7. 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

8. システム設定リストを印刷して、拡張 1284 ボードが正しく取り付けられたことを確認します。

正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「パラレルインターフェース」と印刷されます。

補足

- システム設定リストの印刷手順は、P.302「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていないときは、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられないときは、サービス実施店に相談してください。
- 取り外した部品の廃棄などの取り扱いについては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、『はじめにお読みください』「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

拡張 USB プリントサーバーユニットを取り付ける

オプションの拡張 USB プリントサーバーユニットは、イーサネットポートを増設するためのインターフェースボードです。拡張 USB プリントサーバーユニットを取り付けると、プリンター本体のイーサネットポートと、拡張 USB プリントサーバーユニットのイーサネットポートを使用して、2 本のイーサネットケーブルを同時に接続できます。それぞれのイーサネットポートに IP アドレスを割り当てることができるため、1 台のプリンターで異なるネットワークセグメントから印刷できます。

拡張 USB プリントサーバーユニットの取り付け方法は、拡張 USB プリントサーバーユニットに同梱されているセットアップガイドを参照してください。

重要

- 拡張 USB プリントサーバーユニットを使用するときは、本機が省エネモードに移行しないように、[プリントサーバー使用不可な省エネモード]を[移行を禁止する]に設定してください。省エネモードに移行すると、拡張 USB プリントサーバーユニットが通信できなくなり、本機に印刷ジョブを送っても印刷を実行できません。

対象機種：Type 1

1. [初期設定]キーを押し、[管理者用設定]のメニュー画面を表示します。

[システム初期設定] ▶ [管理者用設定]

2. 省エネモードに移行しないように設定します。

[プリントサーバー使用不可な省エネモード] ▶ [移行を禁止する]

対象機種：Type 2

操作部の[メニュー]キーを押し、[▼][▲]キーを使用して操作してください。

1. [システム設定] ▶ [OK]

2. [プリントサーバー使用不可な省エネモード] ▶ [OK]

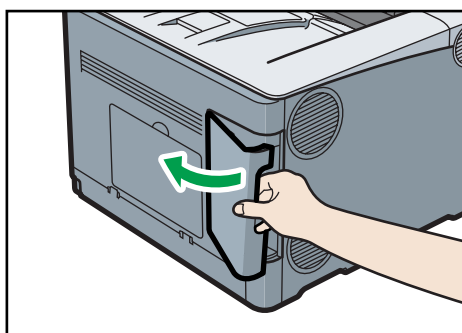
3. [移行を禁止する] ▶ [OK]

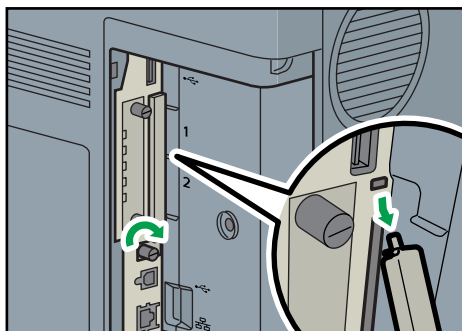
拡張 SD カードを取り付ける

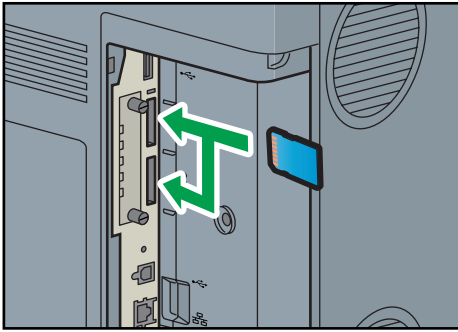
対象機種： Type 1 Type 2

⚠注意

- SD カードは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カードを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

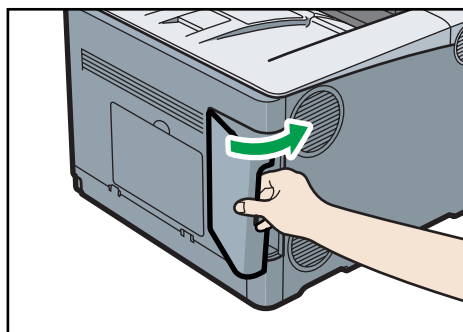
1. 同梱品を確認します。
2. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. ケーブルカバーを取り外します。

CSJ102

4. コインねじを外し、拡張 SD カード用のスロットカバーを傾けながら取り外します。

CSJ320

5. カチッと音がするまで、拡張 SD カードをスロットに差し込みます。

CSJ302

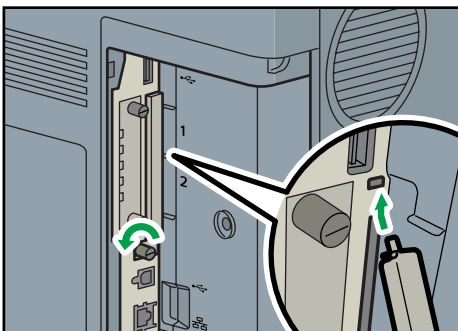
- スロット 1（上）：エミュレーションカード、マルチエミュレーションカード、PS3 カード、PDF ダイレクトプリントカード*1、PCL カード、デジタルカメラ接続カード、Web アクセスカード*2

  *1 使用している機種が Type 2 のときに取り付けできます。Type 1 には標準で搭載されています。

  *2 使用している機種が Type 1 のときに取り付けできます。

- スロット 2（下）： VM カード

6. スロットカバーをスロット上部の穴に差し込み、スロットを覆うように垂直に合わせてからコインねじで固定します。

CSJ319

1

7. ケーブルカバーを取り付けます。

CSJ112

8. 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

9. システム設定リストを印刷して、拡張 SD カードが正しく取り付けられたことを確認します。

正しく取り付けられたかどうかは、装着した拡張 SD カードによって確認方法が異なります。

- マルチエミュレーションカード、PS3 カード、PDF ダイレクトプリントカード、PCL カード：［システム設定］の［優先エミュレーション/ プログラム］に装着したエミュレーションカードの名称が表示されます。
- デジタルカメラ接続カード：システム設定リストの「システム構成情報」、「搭載エミュレーション」の欄に「PictBridge」が印刷されます。
- VM カード：
    - Type 1：［初期設定］キーを押すと［拡張機能初期設定］が表示されます。
    - Type 2：［機能切替］キーを押すと［JavaTM/X］が表示されます。
- Web アクセスカード：［初期設定］キーを押すと［ブラウザー初期設定］が表示されます。

補足

- システム設定リストの印刷手順は、P.302「テスト印刷する」を参照してください。
- 使用中は装着した拡張 SD カードに触れないでください。少し押しただけで外れてしまうことがあります。必ずスロットカバーを取り付けてください。
- 正しく取り付けられないときは、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられないときは、サービス実施店に連絡してください。

パソコンに接続する

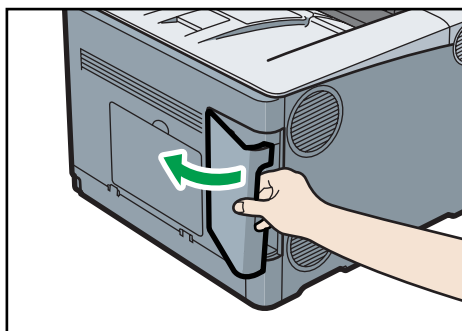
ネットワークやパソコンとの接続方法を説明します。

GigaBit イーサネットインターフェースに接続する

GigaBit イーサネットインターフェースには、1000BASE-T、100BASE-TX または 10BASE-T ケーブルを接続します。

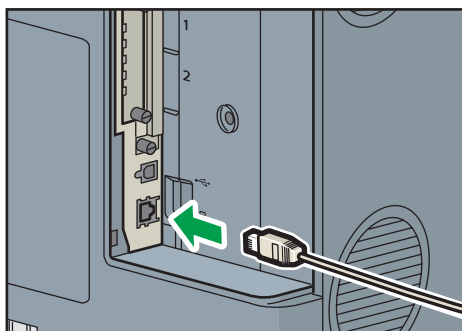
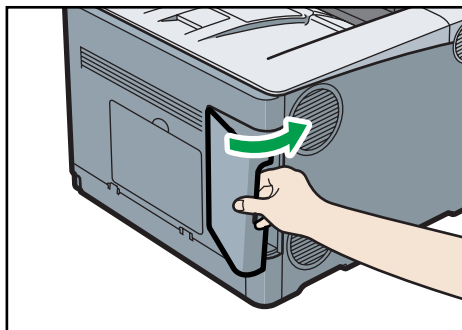
重要

- 本機の電源が入っているときは、主電源スイッチを押して本機の電源を切ってください。

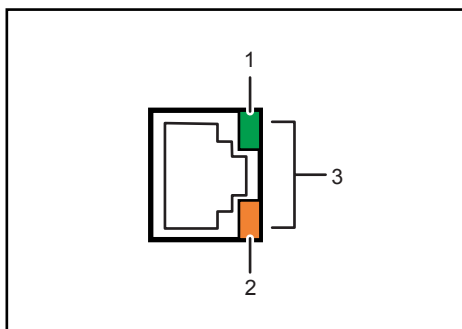
1. ケーブルカバーを取り外します。

CSJ102

2. イーサネットケーブルを、本機の GigaBit イーサネットインターフェースに接続します。

CSJ107

1

3. ケーブルカバーを取り付けます。

CSJ112

4. イーサネットケーブルのもう一方をネットワーク接続用の Hub などに接続します。

5. 本機の主電源スイッチを押して電源を入れます。

CSJ304

1. **10BASE-T 動作時は LED が緑色に点灯します。ネットワークに接続していないとき、あるいは 100BASE-TX 動作時は消灯します。**
2. **100BASE-TX 動作時は LED が橙色に点灯します。ネットワークに接続していないとき、あるいは 10BASE-T 動作時は消灯します。**
3. **1000BASE-T 動作時は LED が両方点灯します。**

   イーサネットケーブルが接続されていないときや、本機がスリープモードに入っているとき、LED は消灯します。

補足

- 使用する速度に対応したイーサネットケーブルを使用してください。[イーサネット速度] で 1Gbps を有効にしたときは、1000BASE-T に対応したイーサネットケーブルを使用してください。
- プラグの形状を見て接続してください。
- ケーブルを接続した状態で無理に引っ張らないでください。また、ケーブルが足などに引っかかって抜けないように接続してください。

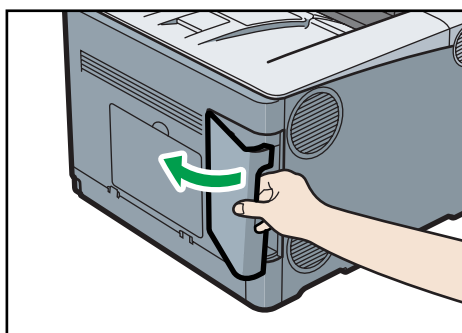
- プラグが特殊な形状のものや、変換コネクターなどを使用したケーブルは接続できないことがあります。

USB（B コネクター）インターフェースに接続する

本機を USB プリンターとしてパソコンから使用するときは、USB（B コネクター）インターフェースにケーブルを接続します。

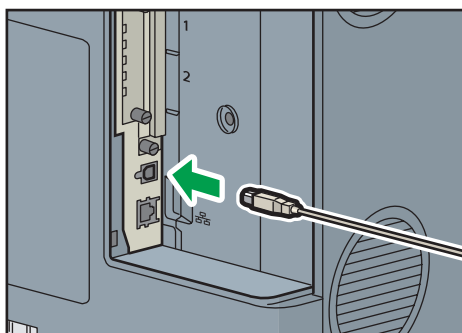
重要

- 本機の電源が入っているときは、主電源スイッチを押して本機の電源を切ってください。

1. ケーブルカバーを取り外します。

CSJ102

2. USB 2.0 用（B コネクター）インターフェースケーブルを本機の USB ポート B に接続します。

CSJ108

1

3. ケーブルカバーを取り付けます。

CSJ112

4. パソコンに USB 2.0 用インターフェースケーブルを接続します。

補足

- USB 2.0 用（B コネクター）インターフェースケーブルは、使用するコンピューターやコネクターの形状に合わせて別途用意してください。。
- USB 2.0 用（B コネクター）インターフェースに対応した 5m 以下のケーブルを使用してください。
- プラグの形状を見て接続してください。
- ケーブルを接続した状態で無理に引っ張らないでください。また、ケーブルが足などに引っかかって抜けないように接続してください。
- プラグが特殊な形状のものや、変換コネクターなどを使用したケーブルは接続できないことがあります。
- Macintosh で使用するには本機に PS3 カードの装着が必要です。

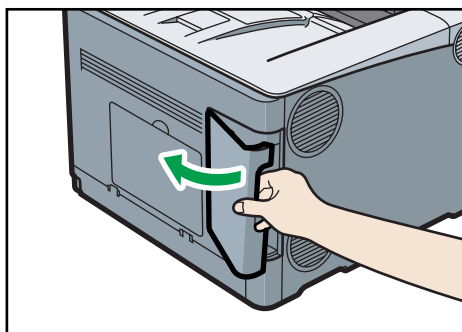
USB ホストインターフェースに接続する

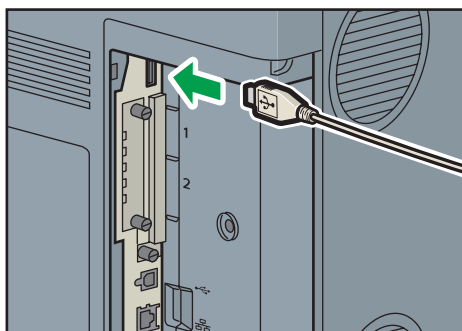
対象機種： Type 1 Type 2

IC カード認証やデジタルカメラを接続するときは、USB ホストインターフェースにケーブルを接続します。

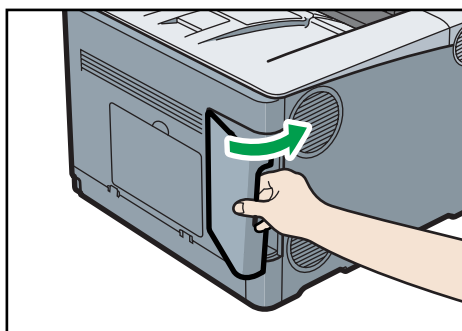
重要

- IC カード認証を接続するときは、本機の電源を切ってください。デジタルカメラを接続するときは、本機とデジタルカメラの電源が入っていることを確認してください。

1. ケーブルカバーを取り外します。

CSJ102

2. USB インターフェースケーブルを本機の USB ポート A に接続します。

CSJ109

USB インターフェースケーブルのもう一方を IC カード認証などに接続します。

3. ケーブルカバーを取り付けます。

CSJ112

補足

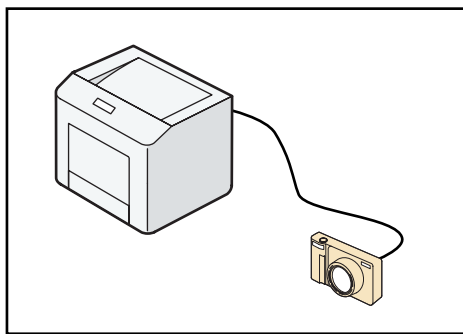
- USB ホストインターフェースケーブルは、使用するコンピューターやコネクターの形状に合わせて別途用意してください。
- USB ホストインターフェースに対応した 5m 以下のケーブルを使用してください。
- プラグの形状を見て接続してください。

- ケーブルを接続した状態で無理に引っ張らないでください。また、ケーブルが足などに引っかかって抜けないように接続してください。
- プラグが特殊な形状のものや、変換コネクターなどを使用したケーブルは接続できないことがあります。

プリンターとデジタルカメラを接続する

デジタルカメラで撮影した画像を、パソコンを使用せずに直接印刷（ダイレクトプリント）できます。ここでは本体とデジタルカメラとの接続手順を説明します。

重要

- デジタルカメラに接続できるのは、使用している機種が Type 1 または Type 2 で、デジタルカメラ接続カードが装着されているときです。
- 使用しているデジタルカメラが、PictBridge 対応であることを確認してください。
- USB ケーブルは同梱されていません。デジタルカメラに同梱品の USB ケーブルを使用してください。

CSJ305

1. 本機の電源とデジタルカメラの電源が入っていることを確認します。

2. USB ホストインターフェース（USB ポート A）とデジタルカメラを USB ケーブルで接続します。

3. デジタルカメラに接続しないときは、操作に支障が出ない場所を選んで USB ケーブルを束ねておきます。

補足

- 印刷方法は、P.208「デジタルカメラの画像を直接印刷する」を参照してください。

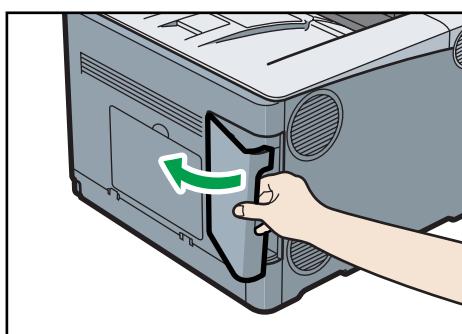
IEEE1284 インターフェースに接続する

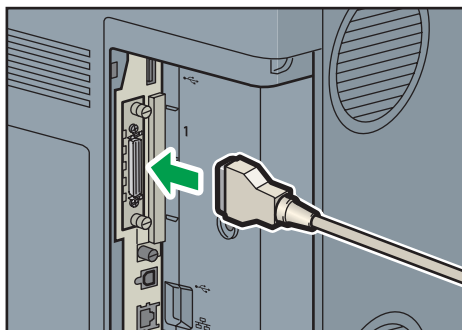
対象機種：Type 1 Type 2

拡張 1284 ボードには、IEEE 1284 用インターフェースケーブルを接続します。

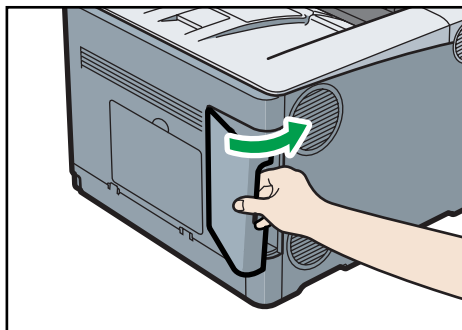
重要

- 拡張 1284 ボードへの接続には、ハーフピッチ 36 ピンまたはフルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルを使用してください。フルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルを使用するときは、拡張 1284 ボードに同梱されている変換アダプターを使用します。
- 本機の電源が入っているときは、主電源スイッチを押して本機の電源を切ってください。

1. パソコンの電源を切ります。
2. ケーブルカバーを取り外します。

CSJ102

3. IEEE 1284 用インターフェースケーブルを本機の IEEE 1284 インターフェースに接続します。

CSJ110

フルピッチ 36 ピンの IEEE 1284 用インターフェースケーブルと本機の IEEE 1284 インターフェースを接続するには、拡張 1284 ボードに同梱されている変換アダプターが必要です。

4. ケーブルカバーを取り付けます。

CSJ112

5. パソコンに IEEE 1284 用インターフェースケーブルを差し込み、固定します。

パソコンに接続するコネクターの形状を確認して、確実に固定してください。

6. 本機の主電源スイッチを入れます。

7. パソコンの電源を入れます。

プリンタードライバーのインストール画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックしてください。

補足

- 本機には IEEE1284 用インターフェースケーブルが付属されていません。インターフェースケーブルは、使用する機器やコネクターの形状に合わせて別途用意してください。
- 本機を使用する環境、ケーブルによっては、電波障害が発生するおそれがあります。
- ホストコンピューターでの動作が保証された 5m 以下の IEEE1284 用インターフェースケーブルを使用してください。

無線 LAN インターフェースの接続を確認する

対象機種：Type 1 Type 2

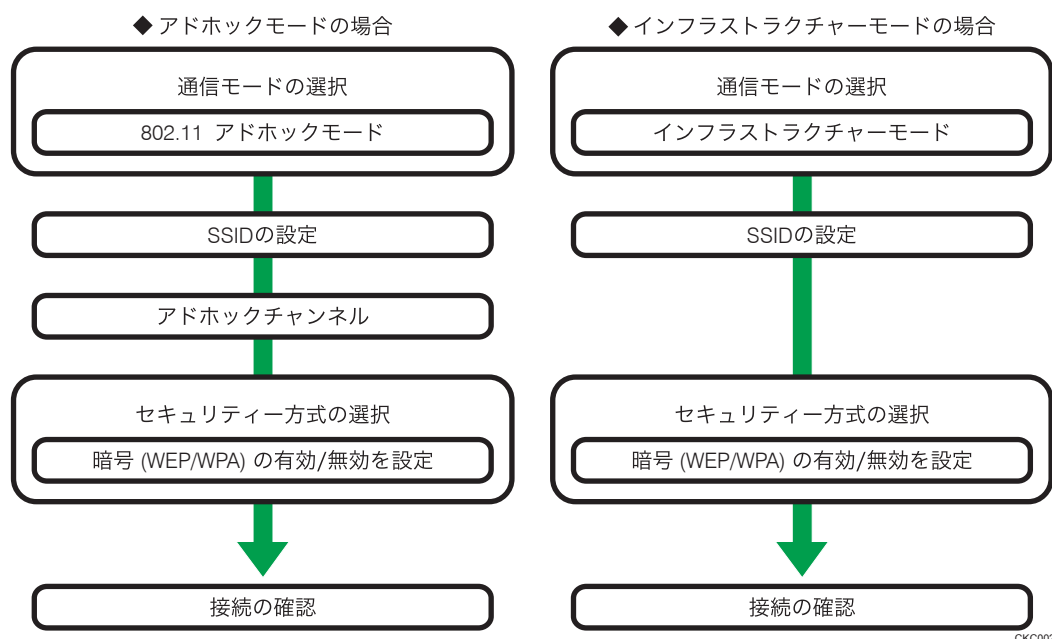
無線 LAN インターフェースの接続を確認します。

補足

- 本機の IPv4 アドレスとサブネットマスク、または IPv6 アドレスの設定を確認してください。
- 本機の操作部から IPv4 アドレスとサブネットマスクを設定する方法は、P.255「ネットワークの設定」を参照してください。
- 無線 LAN で本機をネットワークに接続するには、［ネットワークインターフェース選択］で［無線 LAN］を選択してください。

セットアップの流れ

無線 LAN のセットアップ手順には、SSID などを手動で設定する方法と、WPS によって自動で設定する方法があります。

無線 LAN を手動で設定するには、[インターフェース設定] で [無線 LAN] を選択して、次の流れで行います。

操作部から無線 LAN を手動で設定する方法は、P.259「無線 LAN を手動で設定する」を参照してください。

WPS によって無線 LAN を自動で設定する方法は、P.258「無線 LAN を自動で設定する」を参照してください。

補足

- Windows XP 標準のドライバーかユーティリティーを使用して Windows XP の無線 LAN クライアントと通信するときは、通信モードを「802.11 アドホックモード」に設定してください。
- 通信モードで「802.11 アドホックモード」を選択したときは、「アドホックチャンネル」でチャンネルを設定してください。使用する無線 LAN の規格に合わせてチャンネルを設定してください。
    - Type 1：P.312「インターフェース設定」
    - Type 2：P.412「インターフェース設定」
- セキュリティー方式は、「WEP」または「WPA」から設定します。「WPA」を設定するには、通信モードを「インフラストラクチャーモード」に設定する必要があります。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。

- Type 1：P.312「インターフェース設定」
- Type 2：P.412「インターフェース設定」

- 「WPA」のセキュリティー方式は、「WPA」、「WPA2」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」の中から選択します。「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択したときはPSKを入力します。「WPA」、「WPA2」を選択したときは認証方式や機器証明書の導入などが必要です。設定方法は『セキュリティーガイド』を参照してください。
- 本体操作部以外からの設定項目については、P.265「Web Image Monitorの設定項目一覧」を参照してください。
- システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認できます。システム設定リストの印刷方法は、P.302「テスト印刷する」を参照してください。

電波状態を確認する

インフラストラクチャーモードを使用しているとき、本機の操作部で電波状態を確認できます。

対象機種：Type 1

1. [初期設定]キーを押し、[ネットワーク]のメニュー画面を表示します。

[システム初期設定] ▶ [インターフェース設定] ▶ [ネットワーク]

2. 電波状態を確認します。

[無線LAN] ▶ [電波状態]

対象機種：Type 2

操作部の[メニュー]キーを押し、[▼][▲]キーを使用して操作してください。

1. [インターフェース設定] ▶ [OK]
2. [ネットワーク設定] ▶ [OK]
3. [無線LAN] ▶ [OK]
4. [電波状態] ▶ [OK]

プリントサーバーを使用する

プリントサーバーの設定について説明します。

Windows ネットワークプリンターを設定する

Windows でネットワークプリンターを設定する方法の説明です。クライアントからネットワークプリンターを使用するために共有設定をします。
ここでは Windows 7 を例に説明します。Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 でも手順は同じです。

重要

- ここでは Windows プリントサーバーについて説明しています。オプションの拡張 USB プリントサーバーユニットの使用方法ではありません。
- [プリンタ] または [プリンタと FAX] ウィンドウでプリンタープロパティを変更するには、以下のアクセス権が必要です。
    - Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2：「プリンタの管理」
    - Windows Vista/7：「フルコントロール」
- [プリンタ] または [プリンタと FAX] ウィンドウでプリンタープロパティを変更するには、Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. **プリンターのプロパティ画面を開きます。**

   プロパティ画面の開きかたについては、P.105「Windows でドライバー設定画面を開く」を参照してください。

2. **[共有] タブをクリックし、[このプリンターを共有する] にチェックを付けます。**

3. **プリンターをほかのバージョンの Windows を使用しているユーザーと共有するときは、[追加ドライバー] をクリックします。**

   プリンタードライバーをインストールしたときに、「共有」にチェックを付けて代替ドライバーをインストールした場合は、この操作は必要ありません。

4. **[OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

Ridoc IO Navi 経由で印刷通知をする

Ridoc IO Navi の印刷通知機能を設定する方法の説明です。

プリントサーバーの設定をする

重要

- プリントサーバーの設定を変更するには、以下のアクセス権が必要です。
    - Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2：「プリンタの管理」
    - Windows Vista/7：「フルコントロール」
- Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. ［スタート］ボタンから、［すべてのプログラム］-［RICOH Ridoc Desk Navigator］-［Ridoc IO Navi］の順にポイントして、［プリントサーバー設定］をクリックします。

プリントサーバー設定ダイアログが表示されます。

2. 「クライアントに印刷通知をする」をチェックして、［OK］をクリックします。

プリントサーバーの設定によって、ダイアログが表示されます。記載内容を確認して［OK］をクリックします。

［キャンセル］をクリックすると、処理を中断します。

3. 各クライアントへの設定についてダイアログが表示されます。［OK］をクリックします。

これでプリントサーバーの設定は終了です。各クライアントで、印刷通知の設定が必要です。

補足

- 印刷中のジョブはスプーラー時停止後に最初から再印刷されます。
- 拡張機能を使用していないときは自動的に拡張機能を有効に設定します。
- Administrators アカウント以外でログインすると、クライアントに通知できないことがあります。

クライアントの設定をする

1. ［スタート］ボタンから、［すべてのプログラム］-［RICOH Ridoc Desk Navigator］-［Ridoc IO Navi］の順にポイントして、［拡張機能設定］をクリックします。

拡張機能設定ダイアログが表示されます。

2. 「拡張機能設定を使用する」にチェックを付けます。

3. 「印刷通知」の「プリントサーバーを利用する場合に通知します。」にチェックを付けます。

4.［OK］をクリックします。

印刷通知設定ダイアログが閉じます。

- プリンタードライバーでも印刷通知の設定をしてください。印刷通知の設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

2. 本機のご利用にあたって

使用説明書の読みかたや各部の名称とはたらき、操作部の使用方法やログイン方法などについて説明します。

使用説明書の紹介

本機には紙の使用説明書と画面で見る使用説明書（HTML/PDF）が用意されています。画面で見る使用説明書は付属の CD-ROMに収録されています。説明書の開きかたや使いかたについては、P.50「画面で見る使用説明書の使いかた」を参照してください。

以下は本機で用意されている説明書の一覧です。

ユーザーガイド（）

本機の基本的な使いかた、よく使う機能、エラーメッセージが表示されたときの対処方法などについて、使用説明書から抜粋して提供しています。

はじめにお読みください（）

「安全上のご注意」について記載しています。本機のご利用前に必ずお読みください。各規制や環境対応について説明しています。

かんたんセットアップ（）

本機を梱包箱から取り出し、パソコンと接続するまでの手順を説明しています。

使用説明書（）

本機のご使用に関する詳細情報を説明しています。主な内容は以下のとおりです。

- 本機のセットアップ
- 本機のご利用にあたって
- 用紙をセットする
- 印刷する
- 本機の設定と管理
- こまったときには
- 保守/仕様

エミュレーション（）

エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法を説明しています。本機以外の機種も対象としています。本機特有の設定については、使用説明書を参照してください。

VM カード JavaTM Platform 拡張機能初期設定（）

操作部、または Web Image Monitor を使用して拡張機能を設定する方法を説明しています。

セキュリティーガイド（💿）

管理者向けの説明書です。本機のセキュリティー機能を活用することで、機器の不正使用、データ改ざん、情報漏洩などを未然に防止できます。

セキュリティー強化のために、最初に下記の設定をすることをお勧めします。

- 機器証明書を導入する
- SSL を有効にする
- Web Image Monitor で、管理者のユーザー名とパスワードを変更する

詳しくは、『セキュリティーガイド』💿「本機の運用を開始する前に」を参照してください。

セキュリティー強化機能や認証の設定を行うときには必ずお読みください。

ドライバーインストールガイド（💿）

各種ドライバーのインストール手順や設定方法を説明しています。

補足

- HTML 形式の使用説明書は Web ブラウザーでご覧になれます。
- PDF 形式の使用説明書をご覧になるには、Adobe Acrobat Reader / Adobe Reader が必要です。
- 使用説明書によって提供媒体が異なります。

使用説明書一覧表

分冊名	紙マニュアル	画面で見る使用説明書（HTML 形式のマニュアル）	画面で見る使用説明書（PDF 形式のマニュアル）
ユーザーガイド	有り	なし	有り
はじめにお読みください	有り	なし	なし
かんたんセットアップ	有り	なし	なし
使用説明書	なし	有り	なし
エミュレーション	なし	有り	なし
VM カード JavaTM Platform 拡張機能初期設定	なし	有り	なし
セキュリティーガイド	なし	なし	有り
ドライバーインストールガイド	なし	なし	有り

画面で見る使用説明書の使いかた

画面で見る使用説明書の使いかたについて説明します。画面で見る使用説明書は、付属のCD-ROM に収録されています。

2

使用説明書の種類

本機の使用説明書は、媒体により 3 種類のものを提供しています。

- 紙の使用説明書
- 画面で見る使用説明書（HTML 形式）
- 画面で見る使用説明書（PDF 形式）

使用説明書の記載内容については P.47「使用説明書の紹介」を参照してください。また、分冊により提供されている使用説明書の形式が異なります。詳しくは P.49「使用説明書一覧表」を参照してください。

使用説明書（HTML 形式）を CD-ROM を使って見る

付属の CD-ROM から開く方法を説明します。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2. ［使用説明書への入り口］をクリックします。

3. ［使用説明書（HTML）を見る］をクリックします。

ブラウザーが起動します。

4. 参照する項目を選択します。

- 推奨ブラウザーは、以下のとおりです。
    - Internet Explorer 6 以降

- Firefox 3.5 以降
    - Safari 4.0 以降
- Macintosh を使用しているときは、CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしたあと、「使用説明書を見る.htm」を開いてください。
- HTML 形式の使用説明書では、JavaScript が無効になっていると検索や一部のボタンが動作しません。

使用説明書（HTML 形式）をパソコンにインストールして使う

HTML 形式の使用説明書はパソコンにインストールして使うことができます。

パソコンにインストールしておくと、いつでも参照できて便利です。

1. **CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**
2. **［使用説明書への入り口］をクリックします。**

3. **［使用説明書（HTML）をインストールする］をクリックします。**
4. **画面の指示にしたがって、インストールします。**
5. **インストールが完了したら、［完了］をクリックします。**
6. **最初の画面で［終了］をクリックします。**
7. **インストールした、画面で見る使用説明書（HTML 形式）を開きます。**

   アイコンから開くときは、デスクトップのアイコンをダブルクリックします。［スタート］メニューから開くときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows 7 を使用しているときは［プログラム］）、［お使いの機種名］を選択します。
8. **参照する項目を選択します。**

補足

- インストールするには管理者権限が必要です。Administrator グループのメンバーとしてログオンしてください。

- インストールするために必要なOSの条件はWindows XP/Vista/7、またはWindows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2です。
- 画面で見る使用説明書をディスプレイに表示させるために必要な条件は、表示解像度（デスクトップ領域）：800×600ピクセル以上です。
- インストールがうまくできないときは、CD-ROMの「MANUAL_HTML」フォルダーをすべてローカルディスクにコピーして、「Setup.exe」を実行してください。
- インストールした使用説明書を削除するときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows 7を使用しているときは［プログラム］）、［お使いの機種名］を選択してアンインストールを実行してください。
- インストール時の設定によっては、インストール先のフォルダー名称が異なることがあります

2

使用説明書（PDF形式）をCD-ROMを使って見る

PDF形式の使用説明書の使いかたを説明します。

ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダーに格納されています。

MANUAL_PDF

1. CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

2. ［使用説明書への入り口］をクリックします。

3. ［使用説明書（PDF）を見る］をクリックします。

4. 参照する項目を選択します。

補足

- PDF形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerが必要です。
- Macintoshを使用しているときは、CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしたあと、「使用説明書を見る.htm」を開いてください。

お使いになる前に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

株式会社リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒 104-8222

http://www.ricoh.co.jp/

正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

使用説明書の読みかた

使われているマークの意味

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

▶

操作部を使用する手順の中で、続けて行うキー操作を示しています。

例：

[インターフェース設定] ▶ [OK]

([インターフェース設定] を選択して、[OK] キーを押します)

Type 1 **Type 2** **Type 3**

説明している機能や手順が特定の機種にだけ使用できるときに、説明の対象となる機種を示しています。詳しくは P.10「各機種の Type 名と性能・機能の違い」を参照してください。

おことわり

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスした場合、あるいは本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用により生じた損害について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品(ハードウェア、ソフトウェア)および使用説明書(本書・付属説明書)を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

本書についてのご注意

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されているときは、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。使用環境に合わせてお読みください。

本書で使用しているオプションの表記

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を機種ごとに示します。

IPSiO SP C731 のオプション

商品名	略称
IPSiO 300 枚増設トレイ C730	300 枚増設トレイ

商品名	略称
IPSiO 550 枚増設トレイ C730	550 枚増設トレイ
IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ C	拡張無線 LAN ボード
IPSiO BT ワイヤレスインターフェース タイプ B	Bluetooth オプション
IPSiO 拡張 USB プリントサーバー タイプ A	拡張 USB プリントサーバーボード
拡張 1284 ボード タイプ A	拡張 1284 ボード
IPSiO マルチエミュレーションカード タイプ C730	マルチエミュレーションカード
IPSiO PS3 カード タイプ C730	PS3 カード
IPSiO PCL カード タイプ C730	PCL カード
IPSiO デジタルカメラ接続カード タイプ I	デジタルカメラ接続カード
IPSiO VM カード タイプ I	VM カード
IPSiO Web アクセスカード タイプ A	Web アクセスカード

IPSiO SP C730 のオプション

商品名	略称
IPSiO 300 枚増設トレイ C730	300 枚増設トレイ
IPSiO 550 枚増設トレイ C730	550 枚増設トレイ
IPSiO SDRAM モジュール II 1GB IPSiO SDRAM モジュール I 1.5GB	SDRAM モジュール
IPSiO 拡張 HDD タイプ U	拡張 HDD
IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ C	拡張無線 LAN ボード
IPSiO BT ワイヤレスインターフェース タイプ B	Bluetooth オプション
IPSiO 拡張 USB プリントサーバー タイプ A	拡張 USB プリントサーバーボード
拡張 1284 ボード タイプ A	拡張 1284 ボード
IPSiO マルチエミュレーションカード タイプ C730	マルチエミュレーションカード
IPSiO PS3 カード タイプ C730	PS3 カード
IPSiO PDF ダイレクトプリントカード タイプ C730	PDF ダイレクトプリントカード
IPSiO PCL カード タイプ C730	PCL カード
IPSiO デジタルカメラ接続カード タイプ I	デジタルカメラ接続カード
IPSiO VM カード タイプ I	VM カード

IPSiO SP C730L のオプション

商品名	略称
IPSiO 300 枚増設トレイ C730	300 枚増設トレイ

商品名	略称
IPSiO 550 枚増設トレイ C730	550 枚増設トレイ

各部の名称とはたらき

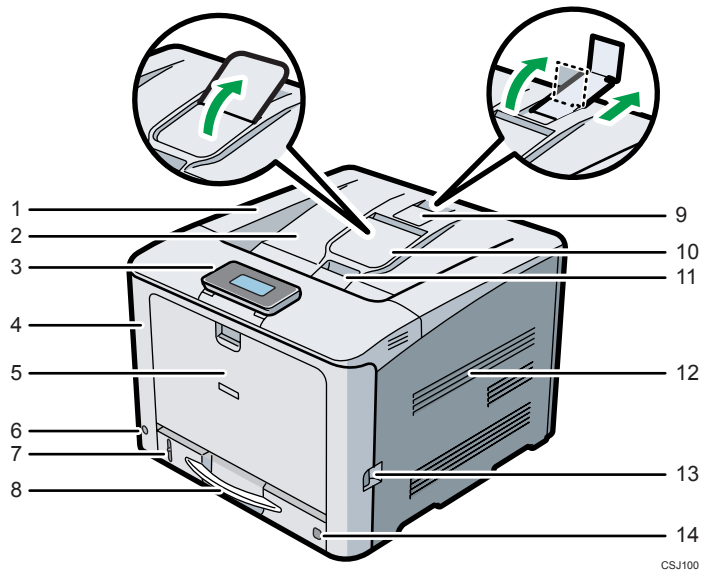
各部の名称とはたらきについて説明します。

本書では、操作部の機能を詳細に示す箇所を除き、Type 2 のイラストを使用して説明しています。

本体各部の名称とはたらき

重要

- **プリンターの横に物を置いたり、立てかけたりして通風孔（吸気口や排気口）をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。**

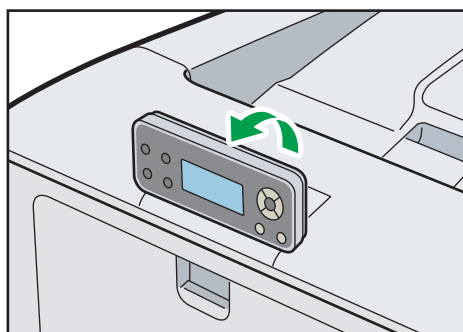
本体前面

1. **上カバー**

   トナーカートリッジやドラムユニットを交換するときに開けます。

2. **排紙トレイ**

   印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

3. **操作部**

   本機の設置環境に応じて操作部の角度を調整できます。

CSJ250

使用している機種が Type 1 のときは、操作部の下にメディアスロットが搭載されています。

詳しくは、P.64「操作部の名称とはたらき」を参照してください。

4. 前カバー

廃トナーボトルを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに開けます。

カバー右側にあるレバーを手前に引くと、カバーが開きます。

5. 手差しトレイ

用紙をセットします。普通紙で最大 120 枚までセットできます。

使用できる用紙サイズや用紙種類については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

6. 主電源スイッチ

本機の電源を On または Off にするときにこのスイッチを押します。

7. 用紙残量インジケーター

給紙トレイの中に残っている用紙のおおよその残量を示します。

8. 給紙トレイ（トレイ 1）

用紙をセットします。普通紙で最大 300 枚までセットできます。

使用できる用紙サイズや用紙種類については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

9. 用紙フェンス

A3、Legal、ダブルレターサイズの用紙を排紙するときに、用紙が落下しないようにします。フェンスを矢印の方向に引き出してから、立てて使用します。

用紙フェンスを使用した後は元の位置に戻してください。ぶつけたり、大きな力が加わったりすると、破損する恐れがあります。

10. 補助トレイ

印刷された用紙がカールしているときに使用します。

11. 上カバー開閉レバー

上カバーを開くときは、このレバーを上に引きます。

12. 吸気口

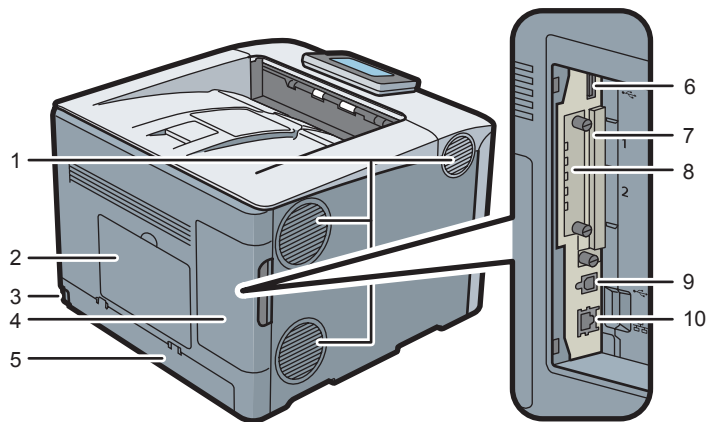
プリンター内部の温度上昇を抑えるために空気を取り入れます。物を立て掛けたりして、吸気口をふさがないでください。プリンター内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

13. **前カバー開閉レバー**

前カバーを開くときは、このレバーを手前に引きます。

14. **用紙サイズダイヤル**

用紙サイズを指定するときにこのダイヤルを使用します。用紙サイズダイヤルに表示されていない用紙サイズを使用するときは、ダイヤルを"*"に合わせてから操作部で用紙サイズを指定してください。

本体背面

1. **排気口**

プリンター内部の温度上昇を抑えるために空気が排出されます。排気の向きは変えることができます。物を立て掛けたりして排気口をふさがないでください。プリンター内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

2. **メモリーカバー**

SDRAM モジュールと拡張 HDD を増設するときは、このカバーを取り外します。

3. **本体電源コネクター**

本体の電源ケーブルを接続します。電源ケーブルの片方は、コンセントに差し込みます。

4. **ケーブルカバー**

拡張インターフェースや拡張 SD カードを取り付けるときや、各種ケーブルを接続するときは、このカバーを取り外します。

5. **背面カバー**

給紙トレイを延長して A4/レターサイズより大きな用紙をセットするときは、このカバーを上げて給紙トレイカバーを取り付けます。

6. **USB ポート A（対象機種：Type 1/Type 2）**

デジタルカメラ、Bluetooth オプション、IC カード認証を取り付けます。IC カード認証について詳しくは、IC カード認証に同梱の使用説明書を参照してください。

7. 拡張 SD カード用スロット（対象機種：Type 1/Type 2）

拡張 SD カードを取り付けます。

使用している機種が Type 3 のときは拡張 SD カードを使用できません。

8. 拡張インターフェースボード取り付け部（対象機種：Type 1/Type 2）

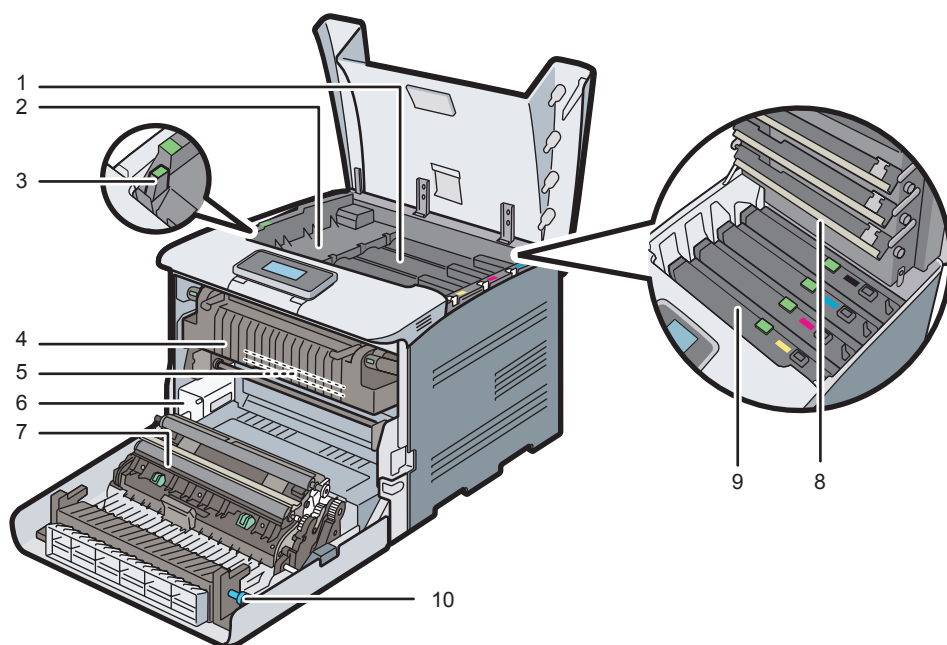
拡張無線 LAN ボード、拡張 1284 ボード、拡張 USB プリントサーバーユニットを取り付けます。

9. USB ポート B

本体とパソコンを USB で接続するときや、拡張 USB プリントサーバーユニットを設置するときは、このポートに USB ケーブルを接続します。

10. イーサネットポート

本体とネットワークを接続するイーサネットケーブルを接続します。

本体内部

1. トナーカートリッジ

本体奥側から、ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）のトナーカートリッジがセットされています。

操作部に「トナーがなくなりました」とメッセージが表示されたら交換します。

2. 中カバー

ドラムユニットを交換するときに開けます。

3. 中カバー開閉レバー

中カバーを開けるときはこのレバーを手前に引きます。

4. **定着ユニット**

   以下のメッセージが表示されたら定着ユニットの交換が必要です。

   「定着ユニットの交換時期です。」

   サービス実施店に連絡してください。

5. **中間転写ユニット**

   以下のメッセージが表示されたら中間転写ユニットの交換が必要です。

   Type 1：「転写ユニットの交換時期です。」

   Type 2/Type 3：「中間転写ユニットの交換時期です。」

   サービス実施店に連絡してください。

6. **廃トナーボトル**

   印刷時に排出されるトナーを回収するボトルです。

   以下のメッセージが表示されたら廃トナーボトルの交換が必要です。

   Type 1：「廃トナーボトルが満杯です。」

   Type 2/Type 3：「廃トナーボトル満杯」

   交換手順については、新しい消耗品に同梱されている交換手順書に記載されています。詳しくは、P.513「廃トナーボトルを交換する」を参照してください。

7. **転写ローラー**

   以下のメッセージが表示されたら転写ローラーの交換が必要です。

   Type 1：「転写ユニットの交換時期です。」

   Type 2/Type 3：「中間転写ユニットの交換時期です。」

   サービス実施店に連絡してください。

8. **LED ヘッド**

   画像にスジが表れたときに清掃します。

9. **ドラムユニット**

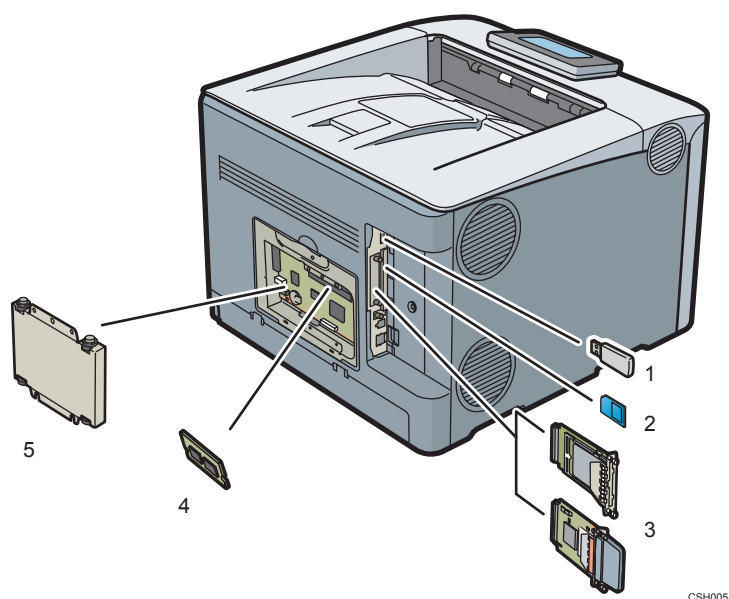
   ブラック用のドラムユニットが 1 本、カラー用のドラムユニットが 3 本セットされています。以下のメッセージが表示されたらドラムユニットの交換が必要です。

   「ブラックドラムユニットの交換時期です。」、「カラードラムユニットの交換時期です。」

10. **ノブ**

    つまった用紙を取り除くときにこのノブを回します。

内部に取り付けるオプション

対象機種：Type 1 Type 2

1. **Bluetooth オプション（対象機種：Type 1/Type 2）**

   Bluetooth に対応している機器と通信できます。

   取り付け方法は、P.24「インターフェースユニットを取り付ける」を参照してください。

2. **拡張 SD カード（対象機種：Type 1/Type 2）**

   - マルチエミュレーションカード

     R16、R55、R98、RTIFF、RPDL、RP-GL/2 が含まれたマルチエミュレーションカードです。

   - PS3 カード

     PostScript 3 による印刷ができます。

   - PCL カード

     PCL 6、PCL 5c による印刷ができます。

   - PDF ダイレクトプリントカード（対象機種：Type 2）

     プリンタードライバーを使用しないで、Adobe 純正 PDF ファイルをダイレクトに印刷できます。

   - デジタルカメラ接続カード

     PictBridge 対応のデジタルカメラで撮影した画像を直接印刷できます。

   - VM カード

     Embedded Software Architecture アプリケーションを使用するためのカードです。

   - Web アクセスカード（対象機種：Type 1）

     本機の操作部で Web ページを表示するためのカードです。

   取り付け方法は、P.30「拡張 SD カードを取り付ける」を参照してください。

   使用している機種が Type 3 のときは拡張 SD カードを使用できません。

3. 拡張インターフェースボード（対象機種：Type 1/Type 2）

- 拡張無線 LAN ボード
  無線 LAN でネットワークに接続できます。
- 拡張 1284 ボード
  IEEE1284 ケーブルで接続できます。
- 拡張 USB プリントサーバーユニット
  イーサネットインターフェースを増設して、2 つの IP アドレスを同時に使用できます。

取り付け方法は、P.24「インターフェースユニットを取り付ける」を参照してください。

4. SDRAM モジュール（対象機種： Type 2）

メモリー容量を増設できます。

取り付け方法は、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。

5. 拡張 HDD（対象機種： Type 2）

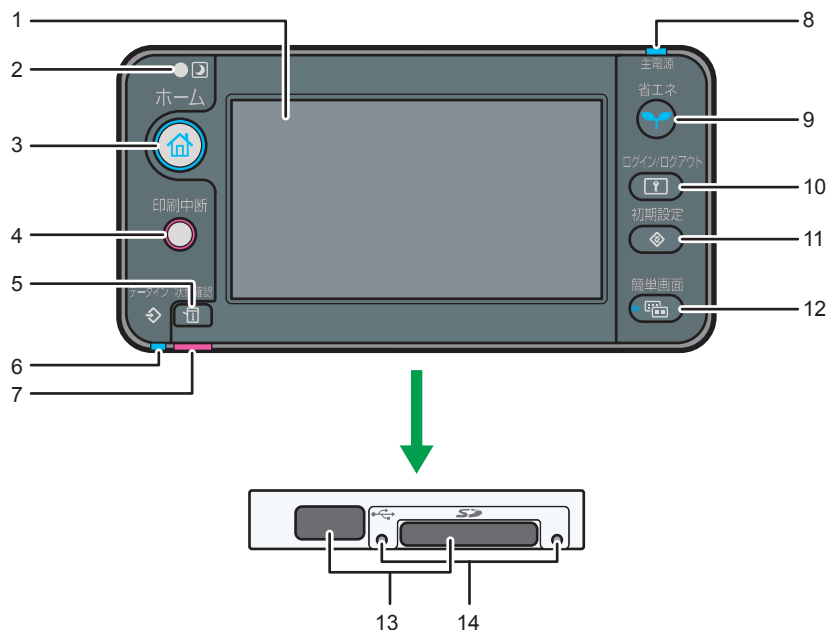
文書を蓄積して印刷できます。

取り付け方法は、P.20「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。

補足

- 同一スロットで複数の拡張 SD カードを使用するときは、サービス実施店にお問い合わせください。
- 拡張無線 LAN ボード、Bluetooth オプションは、いずれか 1 つしか装着できません。

操作部の名称とはたらき

対象機種： Type 1

1. 画面

本機を操作するためのキーが表示されます。また、操作の状態やメッセージを表示します。P.69「ホーム画面の見かた」、P.70「操作画面の見かた」を参照してください。

2. ECO ナイトセンサー

室内の明るさを検知するセンサーです。［明るさ検知自動電源オフ］の機能に使用します。

3. ［ホーム］キー

ホーム画面を表示するときに押します。P.69「ホーム画面の見かた」を参照してください。

4. ［印刷中断］キー

印刷中のデータを一時停止するときに押します。

5. ［状態確認］キー

本機の状態、実行中ジョブの状態を確認できます。ジョブ履歴や本機の保守情報も確認できます。

6. データインランプ

パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

7. 状態確認ランプ

エラーが発生したときに、点灯または点滅します。

赤点灯したときは、印刷ができません。

黄点滅したときは、印刷はできますが、消耗品の交換が間近のためきれいな印刷結果が得られないことがあります。

画面でエラーの内容を確認して対処してください。

8. 電源ランプ

電源が入っているときに点灯します。

9. [省エネ] キー

スリープモードの状態になります。もう 1 度押すと、スリープモードが解除されます。P.101「節電」を参照してください。スリープモード時は、[省エネ] キーがゆっくり明るくなったり暗くなったりします。

10. [ログイン/ログアウト] キー

ログインまたはログアウトするときに押します。

11. [初期設定] キー

使用条件に合わせて、初期設定値や操作条件を変更します。詳しくは、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

機械の修理やトナーカートリッジの発注の連絡先も確認できます。連絡先を出力することもできます。P.531「初期設定から問い合わせ情報を確認する」を参照してください。

12. [簡単画面] キー

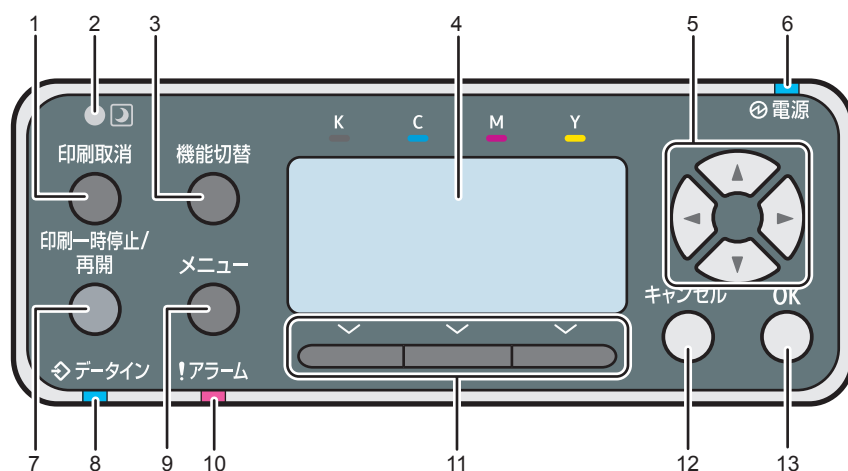
画面を簡単画面に切り替えます。P.72「画面パターンを切り替える」を参照してください。

13. メディアスロット

操作部の下にあるメディアスロットのカバーを開けて、記憶装置を差し込みます。

14. メディアアクセスランプ

メディアスロットに携帯用の記憶装置（SD カード、USB メモリー）が差し込まれたとき、または記憶装置のデータを読み取るときに光ります。

対象機種： Type 2 Type 3

1. ［印刷取消］キー

    印刷中または受信中のデータを取り消すときに押します。

2. ECO ナイトセンサー

    室内の明るさを検知するためのセンサーです。［明るさ検知自動電源オフ］の機能に使用します。

3. ［機能切替］キー

    複数のアプリケーションをインストールしているときに、各アプリケーションの操作画面に切り替えます。Type 3 では使用できません。

4. 画面

    本機の状態やエラーメッセージが表示されます。省エネモードに移行すると、［Energy Saver Mode］と表示されます。省エネモードについては P.101「節電」を参照してください。

5. スクロールキー

    カーソルを上下左右に移動させたり、設定値を増減させたりするときに使用します。

    本書で［▲］［▼］［▶］［◀］と表記されているときは、同方向のスクロールキーを押します。

6. 電源ランプ

    電源が入っているときに点灯します。電源が切れているときやスリープモードのときは消灯します。

7. ［印刷一時停止/再開］キー

    印刷中のデータを一時停止するときに押します。一時停止中はランプが点灯します。

    このキーをもう一度押すか、［オートリセット時間設定］で設定されている時間が経過すると印刷を再開します（工場出荷時の設定は「60 秒」）。

    ［オートリセット時間設定］については、P.386「システム設定」を参照してください。

8. データインランプ

    パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

9. ［メニュー］キー

    設定を変更したり、現在の設定を確認したりするときに押します。

10. アラームランプ

    エラーが発生したときに、点灯または点滅します。

    - 赤点灯：印刷ができません。
    - 黄点滅：消耗品の交換が間近のため、きれいな印刷結果が得られないことがあります。

    画面に表示されたエラーの内容を確認して対処してください。

11. 選択キー

    画面下部に表示された項目を選ぶときに押します。

12. ［キャンセル］キー

    設定を有効にしないで前の画面に戻るときや、メニューから通常の表示に戻るときに押します。

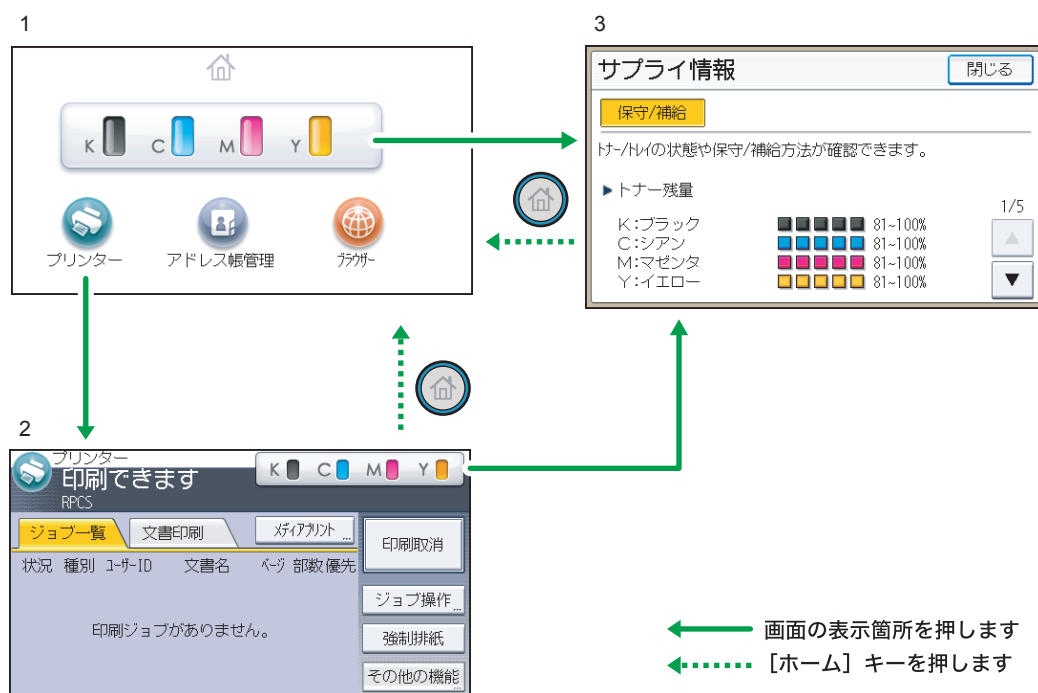
13. ［OK］キー

    設定や設定値を確定させるとき、または次のメニューに移動するときに押します。

操作画面を使用する（Type 1）

対象機種：Type 1

操作画面の使いかたについて説明します。

操作画面の表示パターン

1. **ホーム画面**

   プリンター機能やアプリケーションのショートカットアイコンが表示されます。P.69「ホーム画面の見かた」を参照してください。

2. **プリンター画面**

   プリンターを操作する画面です。プリンターの状態、メッセージ、機能のメニューが表示されます。P.70「操作画面の見かた」を参照してください。

3. **消耗品情報画面**

   トナーや用紙の残量などが確認できます。

補足

- 工場出荷時の設定では、電源を入れたときにホーム画面が表示されます。

ホーム画面の見かた

ホーム画面には、いつも使用するアプリケーションをショートカットアイコンとして登録できます。ワンタッチで機能を起動できます。

ホーム画面を表示するには、操作部の［ホーム］キーを押します。

- **画面に強い衝撃や力を加えないでください。破損の原因になります。約 30N（約 3kgf）が限界です。（N はニュートンです。kgf は重量キログラムです。1kgf は約 9.8N です。）**

1. **消耗品情報アイコン**

   アイコンを押すと、消耗品情報画面が表示されます。トナーや用紙の残量などが確認できます。

2. **［プリンター］**

   アイコンを押すと、プリンター画面が表示されます。プリンターの操作や設定を変更するときに押します。

3. **ショートカットアイコン**

   アプリケーションのショートカットをホーム画面に登録できます。アイコンの登録や編集、削除については、P.80「ホーム画面をカスタマイズする」を参照してください。

4. **お好みの画像**

   企業ロゴなど、お好みの画像を表示できます。画像を変更するときは、P.84「ホーム画面に画像を表示する」を参照してください。

5. **▲/▼**

   アイコンの一覧がすべて表示できないときに表示されます。表示するページを切り替えることができます。

補足

- Embedded Software Architecture アプリケーションを本機にインストールすると、アプリケーション固有のアイコンが表示されます。

システムリセット

一定時間何も操作しないと、［優先機能設定］で設定した機能の画面に自動的に切り替えます。これを「システムリセット」といいます。

システムリセットされるまでの時間を［優先機能設定］で設定できます。

［優先機能設定］の設定方法は、P.306「システム初期設定」を参照してください。

2

操作画面の見かた

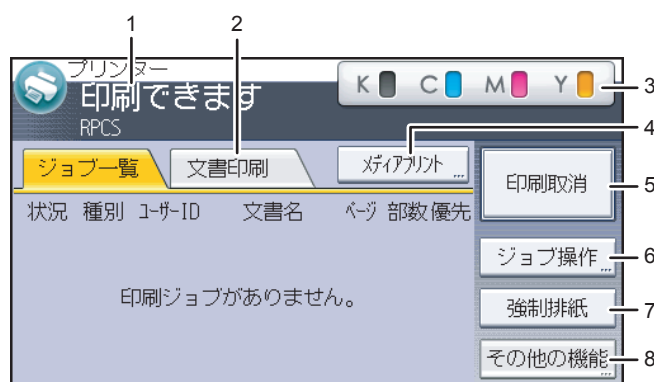
画面には、操作の状態、メッセージや機能のメニューが表示されます。

表示されているそれぞれの機能項目は、軽く押すことによって、項目を選んだり指定したりできます。

機能項目が選択、または指定されたとき、用紙指定変倍のように反転表示されます。機能項目が選択、または指定できないときは、用紙指定変倍のようにうすく表示されます。

重要

- **画面に強い衝撃や力を加えないでください。破損の原因になります。約 30N（約 3kgf）が限界です。（N はニュートンです。kgf は重量キログラムです。1kgf は約 9.8N です。）**

工場出荷時の設定では、電源を入れたときにホーム画面が表示されます。

1. **メッセージ表示部**

   操作の状態やメッセージが表示されます。

   印刷中はジョブ情報（ユーザー ID および文書名）が表示されます。

2. **［文書印刷］**

   パソコンから指定した通常印刷や、試し印刷文書/機密印刷文書/保留印刷文書/保存文書を印刷する画面に切り替えます。

3. **消耗品情報アイコン**

   アイコンを押すと、消耗品情報画面が表示されます。トナーや用紙の残量などが確認できます。

4. ［メディアプリント］

メディアプリント機能で印刷する画面に切り替えます。

5. ［印刷取消］

印刷している文書の受信データを消去し、印刷を中止します。

ヘキサダンプに設定しているときに押すと、ヘキサダンプを解除します。

6. ［ジョブ操作］

印刷中のジョブを一時停止します。ジョブの詳細を確認したり､ジョブを削除したりできます。

7. ［強制排紙］

印刷されずに本機内に残っているデータを、強制的に印刷して排紙します。

8. ［その他の機能］

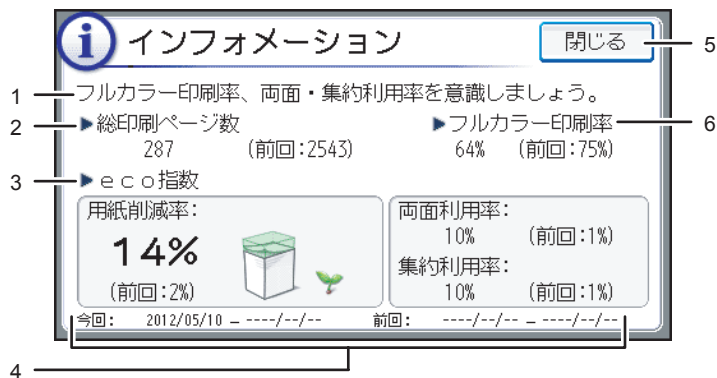
スプールされたジョブの一覧やエラー履歴を表示する画面に切り替えます。

エミュレーションの変更や、エミュレーション特有の印刷条件設定もこの画面で操作します。

「インフォメーション」画面の見かた

エコ意識を高めるために、用紙の節約状況を画面に表示できます。

また、「インフォメーション」画面には、フルカラー印刷の利用率も表示されます。

認証機能を設定しているときは、ログインしたときに表示されます。認証機能を設定していないときは、スリープモードから復帰したとき、またはシステムリセットが実行されたときに表示されます。認証機能の設定にかかわらず、電源を入れたときにも表示されます。

1. メッセージ

管理者からのメッセージが表示されます。

2. 総印刷ページ数

集計期間内に出力した総ページ数と､前回の集計期間内に出力した総ページ数が表示されます。

3. eco 指数

- 用紙削減率：

両面印刷、または集約印刷を利用して削減できた用紙の割合を表示します。

削減するほど、画面の紙の量が減り、芽が成長します。削減率が 76%以上になると花が咲きます。

- 両面利用率：

  出力した総ページ数のうち、両面機能を使用した割合を表示します。

  利用率が上がるほど、葉が増えます。

- 集約利用率：

  出力した総ページ数のうち、集約機能を使用した割合を表示します。

  利用率が上がるほど、葉が増えます。

4. **集計期間**

   現在の集計期間と前回の集計期間が表示されます。

5. **［閉じる］**

   「インフォメーション」画面を閉じて、操作に戻ります。

6. **フルカラー印刷率**

   出力した総ページ数のうち、フルカラーで印刷した割合を表示します。

補足

- 本機の設定によっては「インフォメーション」画面は表示されません。詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。
- 利用状況を Web Image Monitor から確認することもできます。確認方法は Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- システム初期設定の「eco 指数カウンター集計期間/管理者メッセージ設定」で、「集計期間」、「管理者メッセージ」、「インフォメーション画面表示」、「表示のタイミング」を確認できます。また、設定は管理者だけが変更できます。詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

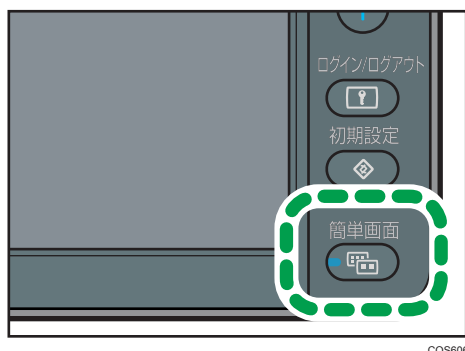
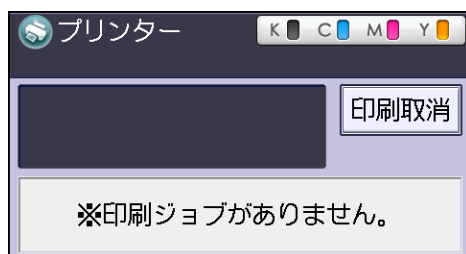
画面パターンを切り替える

簡単画面への切り替え方法や、表示されるキーについて説明します。

［簡単画面］キーを押すと、各機能の初期画面から簡単画面に切り替わります。

簡単画面とは、主な機能だけを表示した画面です。

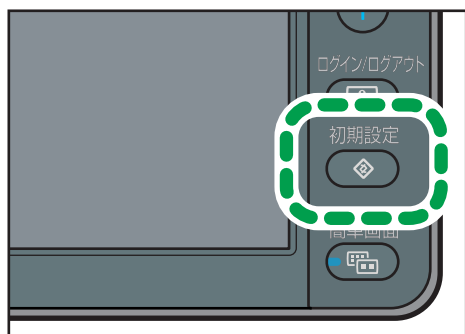
文字サイズとキーサイズが拡大され、より簡単に操作できます。

1. ［簡単画面］キーを押します。

画面はプリンター画面を簡単画面に切り替えたものです。

補足

- 初期画面に戻すときは、再度［簡単画面］キーを押します。
- 簡単画面では表示されないキーがあります。

表示言語を切り替える

画面に表示する言語として日本語または英語を選択します。工場出荷時の設定は日本語です。日本語から英語に切り替える例を示します。

1. ［初期設定］キーを押します。

2. ［English］を押します。

3. ［初期設定］キーを押します。

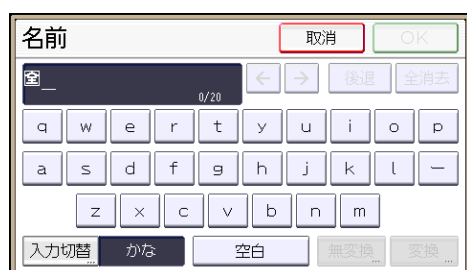
補足

- 日本語表示に切り替えるときは、手順 2 で［日本語］を押します。

文字入力のしかた

本機で文字を入力する方法を説明します。

文字入力画面の見かた

入力画面とキーについて説明します。

［入力切替］

入力形式を切り替えます。選択できる入力形式は以下のとおりです。

- ［かな］

  ひらがなの入力モードになります。

- ［カナ］

  カタカナの入力モードになります。

- ［英字(QWERTY 配列)］

  英字（QWERTY 配列）の入力モードになります。

- ［数字］

  数字の入力モードになります。

- ［記号］

  記号（記述・学術・一般・文字）の入力モードになります。

- ［区点コード］

  区点入力モードになります。読みがわからず漢字を見つけられないときや、JIS 第二水準の漢字を入力するときは、その漢字の区点コードを入力します。

- ［定型文］

  登録した定型文を入力できます。

[半角/全角]

全角と半角を切り替えます。入力形式が［英字(QW.)]、[数字]、または［記号］のときに表示されます。全角のときは「全」、半角のときは「半」が入力エリアに表示されます。

[Shift]

アルファベットの大文字と小文字を切り替えます。また、QWERTY 型の配列でひらがな、カタカナのよう音を入力するときに押します。

[←]［→]

カーソルを左右に移動します。カーソルを移動して文字を入力すると、カーソルの前に文字が挿入されます。

[後退]

カーソルの前の文字を 1 つ消去します。

[全消去]

入力した文字をすべて消去します。

[変換]

入力したひらがなを漢字に変換します。入力形式が［かな］のときに表示されます。

[無変換]

入力したひらがなを、そのままひらがなとして確定します。入力形式が［かな］のときに表示されます。

[空白]

空白を入れます。入力形式が、[かな]、[カナ]、または［英字(QW.)］のときに表示されます。

入力できる文字

入力できる文字について説明します。

重要

- **複雑な文字を表示したり、印字するとき、文字の一部を簡略化することがあります。**

文字は、カーソルの個所に入力されます。カーソルの上に文字があるときは、その文字の前に挿入されます。入力できる文字は次のとおりです。

- カタカナ
- ひらがな
- 漢字

  JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字
- アルファベット
- 記号

- 数字

  0123456789

入力できる文字の一覧

<table>
<tr><td colspan="2">ひらがな（全角）</td><td>あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよ
らりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞだぢづでどばびぶべぼぱぴぷぺぽ゜゛。、ー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ひらがな（小）</td><td>ぁぃぅぇぉっゃゅょ</td></tr>
<tr><td colspan="2">カタカナ（大：全角）</td><td>アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨ
ラリルレロワヲンガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ゜゛。、ーヴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">カタカナ（小：全角）</td><td>ァィゥェォヵヶッャュョ</td></tr>
<tr><td colspan="2">カタカナ（大：半角）</td><td>ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜﾝ｡､ｦｰﾟﾞ</td></tr>
<tr><td colspan="2">カタカナ（小：半角）</td><td>ｧｨｩｪｫｯｬｭｮ</td></tr>
<tr><td colspan="2">英　数（大：全角半角共通）</td><td>ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺ
０１２３４５６７８９</td></tr>
<tr><td colspan="2">英　数（小：全角半角共通）</td><td>ａｂｃｄｅｆｇｈｉｊｋｌｍｎｏｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚ
０１２３４５６７８９</td></tr>
<tr><td rowspan="7">記号</td><td>記述（全角）</td><td>、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”（）
〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】ゎゐゑヮヰヱヴヵヶ一十百千万億壱弐参伍拾廿阡萬兆京</td></tr>
<tr><td>記述（半角）</td><td>!"'(),./:;?[]^_`{|}~｡｢｣､･ｰ</td></tr>
<tr><td>学術（全角）</td><td>＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢£％∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔
∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰</td></tr>
<tr><td>学術（半角）</td><td>$% +- 〈=〉 ¥</td></tr>
<tr><td>一般（全角）</td><td>＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓＝♯♭♪†‡¶◯
─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂</td></tr>
<tr><td>一般（半角）</td><td>#&*@</td></tr>
<tr><td>文字</td><td>ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩ
αβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψω
АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯ
абвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщъыьэюя</td></tr>
</table>

CJR035

補足

- 漢字に変換するとき、一度に入力できる文字数は 10 文字までです。

入力のしかた

具体的な入力のしかたを説明します。

ひらがな/カタカナ

ひらがなを入力するときは、［入力切替］画面で［かな］を選択します。

カタカナを入力するときは、［入力切替］画面で［カナ］を選択します。

入力方法はローマ字入力です。

ひらがなは入力したあと、［無変換］を押します。

全角カタカナと半角カタカナを切り替えるときは［半角/全角］を押します。

漢字

漢字を入力するときは、ひらがなを入力し、［変換］を押します。画面に同じ読みの漢字が表示されるので、入力する漢字を選択します。

表示されていない漢字を見るときは、［▼］または［▲］を押します。

変換をやめたいときは、［取消］を押します。

漢字の読みがわからないときは、区点で入力します。

区点

区点を入力するときは、［入力切替］画面で［区点コード］を押し、入力する漢字の区点コードを入力します。区点コードは「JIS 漢字コード表」で調べます。

例：「亜」を入力するときは、［1］［6］［0］［1］を押します。

アルファベット

アルファベットを入力するときは、［入力切替］画面で［英字（QWERTY 配列）］を選択します。

［Shift］を押すと大文字または小文字に切り替えることができます。

［半角/全角］を押すと全角または半角のアルファベットに切り替えることができます。

数字

数字を入力するときは、［入力切替］画面で［数字］を選択します。

［半/全］を押すと全角または半角の数字に切り替えることができます。

記号

記号を入力するときは、［記号］を押します。「記号」には次の見出しがあり、見出しを押すと、画面が切り替わります。

- 記述
- 学術
- 一般
- 文字

［記述］［学術］［一般］では全角と半角を切り替えることができます。全角記号と半角記号を切り替えるときは［半角/全角］を押します。

補足

- ひらがなと漢字は半角では入力できません。
- 本機に市販の USB キーボードを接続して使用できます。USB キーボードを使用するときは、サービス実施店に連絡してください。

実際に入力する

文字の入力のしかたを実際の手順に沿って説明します。

例：「縦のＡ 4」という名称を付ける（「Ａ」は全角、「4」は半角で入力）

1.「縦の」を入力します。

［入力切替］▶［かな］▶［OK］▶［t］▶［a］▶［t］▶［e］▶［変換］▶［縦］▶［n］▶［o］▶［無変換］

2.「Ａ」を入力します。

［入力切替］▶［英字(QWERTY 配列)］▶［OK］▶［Shift］▶［半角/全角］▶［A］

3.「4」を入力します。

［入力切替］▶［4］▶［OK］

「縦のＡ 4」という名称が入力されます。

定型文字列を呼び出す

「定型文字列登録/変更/消去」で登録した文字列を呼び出して使用できます。

「定型文字列登録/変更/消去」の設定方法は P.306「基本設定」を参照してください。

1. 入力画面で呼び出す文字列を選択します。

［入力切替］▶［定型文］▶［OK］▶ 呼び出す文字列を選択 ▶［OK］

JIS 漢字コード表

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
ア	1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
イ	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690	引	飲	淫	胤	蔭					
	1700		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽
	1710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
ウ	1720	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
エ	1760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥
オ	1790	凹	央	奥	往	応					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
オ	1810	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化
	1830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890	恢	懐	戒	拐	改					
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
カ	1910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	1990	噛	鴨	栢	茅	萱					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
カ	2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090	旗	既	期	棋	棄					
	2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
キ	2130	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190	禦	魚	亨	享	京					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
キ	2230	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九
	2270	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290	串	櫛	釧	屑	屈					
ク	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	2330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	2350	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
ケ	2360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390	建	憲	懸	拳	捲					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
ケ	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固
	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490	効	勾	厚	口	向					
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
コ	2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590	忽	惚	骨	狛	込					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
コ	2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些
	2620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	2660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
サ	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺
	2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
シ	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790	字	寺	慈	持	時					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	2820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890	綬	需	囚	収	周					
シ	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990	恕	鋤	除	傷	償					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
シ	3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090	醸	錠	嘱	埴	飾					
	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏
	3160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
ス	3170	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190	椙	菅	頗	雀	裾					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ス	3200		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制
	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
セ	3270	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290	煽	旋	穿	箭	線					
	3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	3310	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾
	3330	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	3350	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
ソ	3360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390	霜	騒	像	増	憎					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	3400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
ソ	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	3430	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
タ	3480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490	諾	茸	凧	蛸	只					
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥
	3550	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
チ	3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590	丁	兆	凋	喋	寵					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
チ	3620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎
	3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
ツ	3650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	3660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵
	3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690	艇	訂	諦	蹄	逓					
テ	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐
	3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
ト	3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790	答	筒	糖	統	到					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
ト	3830	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	3850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙
ナ	3870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
ニ	3890	虹	廿	日	乳	入					
ヌ	3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰
	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
ネ	3920	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
ノ	3930	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷
	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
ハ	3960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990	爆	縛	莫	駁	麦					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	4000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
ハ	4020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪
	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090	枇	毘	琵	眉	美					
ヒ	4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
フ	4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190	伏	副	復	幅	服					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
フ	4210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀
	4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
ヘ	4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	4270	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290	抱	捧	放	方	朋					
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
ホ	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
マ	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390	繭	麿	万	慢	満					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
マ	4400		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密
ミ	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務
ム	4420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥
	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
メ	4440	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄
	4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
モ	4460	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	4470	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
ヤ	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓	愉	愈	油	癒					
	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
ユ	4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予
	4530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
ヨ	4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅
ラ	4570	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏
リ	4590	履	李	梨	理	璃					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
リ	4620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	4630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ル	4660	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
	4670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
レ	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	4690	漣	煉	簾	練	聯					
	4700		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路
	4710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
ロ	4720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	4730	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑
ワ	4740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	4750	碗	腕								
	4760										
	4770										
	4780										
	4790										

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4800		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
4810	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
4820	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
4830	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
4840	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
4850	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
4860	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
4870	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
4880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
4890	傀	傚	傅	傴	傲					
4900		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
4910	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
4920	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
4930	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
4940	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
4950	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
4960	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
4970	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
4980	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
4990	劒	剱	劈	劑	辨					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5000		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
5010	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
5020	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
5030	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
5040	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
5050	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
5060	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
5070	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
5090	咥	咬	哄	哈	咨					
5100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
5110	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
5120	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
5130	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
5140	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
5150	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
5160	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
5170	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
5180	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
5190	囹	圀	囿	圄	圉					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5200		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
5210	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
5220	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
5230	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
5240	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
5250	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
5260	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
5270	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5280	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
5290	奢	奠	奧	奬	奩					
5300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
5310	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
5320	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
5330	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
5340	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
5350	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
5360	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
5370	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5380	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
5390	尹	屁	屆	屎	屓					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5400		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
5410	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
5420	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
5430	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
5440	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
5450	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
5460	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
5470	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5480	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
5490	廁	廂	廈	廐	廏					
5500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
5510	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
5520	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
5530	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
5540	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
5550	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
5560	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
5570	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5580	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
5590	悁	悍	惧	悃	悚					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5600		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
5610	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
5620	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
5630	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
5640	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
5650	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
5660	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
5670	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5680	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
5690	戉	戍	戌	戔	戛					
5700		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
5710	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
5720	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
5730	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
5740	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
5750	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
5760	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
5770	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5780	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
5790	撓	撥	撩	撈	撼					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
5810	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
5820	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
5830	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
5840	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
5850	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
5860	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
5870	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
5890	曁	暹	曉	暾	暼					
5900		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
5910	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
5920	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
5930	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
5940	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
5950	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
5960	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
5970	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
5980	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
5990	椢	椦	棡	椌	棍					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6000		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
6010	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
6020	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
6030	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
6040	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
6050	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
6060	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
6070	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
6080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
6090	檍	檠	檄	檢	檣					
6100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
6110	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
6120	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
6130	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
6140	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
6150	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
6160	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
6170	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
6180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
6190	泅	泝	沮	沱	沾					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6200		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
6210	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
6220	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
6230	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
6240	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
6250	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
6260	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
6270	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
6280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
6290	滲	漱	滯	漲	滌					
6300		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
6310	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
6320	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
6330	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
6340	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
6350	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
6360	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
6370	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
6380	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
6390	燠	燬	燧	燵	燼					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6400		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
6410	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
6420	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
6430	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
6440	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
6450	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
6460	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
6470	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
6490	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
6500		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
6510	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
6520	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
6530	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
6540	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
6550	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
6560	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
6570	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6580	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
6590	癩	癪	癧	癬	癰					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6600		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
6610	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
6620	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
6630	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
6640	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
6650	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
6660	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
6670	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
6680	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
6690	碾	碼	磅	磊	磬					
6700		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
6710	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
6720	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
6730	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
6740	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
6750	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
6760	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
6770	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6780	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
6790	笞	笵	笨	笶	筐					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6800		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
6810	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
6820	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
6830	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
6840	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
6850	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
6860	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
6870	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6880	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
6890	糲	糴	糶	糺	紆					
6900		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
6910	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
6920	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
6930	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
6940	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
6950	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
6960	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
6970	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6980	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
6990	纎	纛	纜	缸	缺					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7000		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
7010	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
7020	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
7030	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
7040	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
7050	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
7060	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
7070	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
7080	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
7090	脛	脩	脣	脯	腋					
7100		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
7110	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
7120	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
7130	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
7140	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
7150	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
7160	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
7170	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
7180	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
7190	苞	茆	苜	茉	苙					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7200		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
7210	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
7220	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
7230	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
7240	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
7250	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
7260	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
7270	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
7280	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
7290	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
7300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
7310	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
7320	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
7330	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
7340	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
7350	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
7360	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
7370	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
7380	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
7390	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7400		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
7410	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
7420	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
7430	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
7440	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
7450	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
7460	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
7470	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
7480	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
7490	褸	襌	褝	襠	襞					
7500		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
7510	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
7520	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
7530	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
7540	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
7550	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
7560	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
7570	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
7580	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
7590	證	譖	譛	譚	譫					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
7610	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
7620	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
7630	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
7640	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
7650	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
7660	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
7670	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
7680	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
7690	蹂	踵	踰	踴	蹊					
7700		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
7710	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
7720	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
7730	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
7740	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
7750	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
7760	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
7770	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
7780	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
7790	逧	逶	逵	逹	迸					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7800		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
7810	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
7820	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
7830	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
7840	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
7850	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
7860	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
7870	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
7880	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
7890	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
7900		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
7910	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
7920	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
7930	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
7940	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
7950	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
7960	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
7970	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
7980	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
7990	陏	陋	陷	陜	陞					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8000		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
8010	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
8020	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
8030	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
8040	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
8050	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
8060	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
8070	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
8080	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
8090	顏	顋	顫	顯	顰					
8100		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
8110	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
8120	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
8130	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
8140	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
8150	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
8160	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
8170	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
8180	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
8190	髫	髮	髴	髱	髷					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8200		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
8210	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
8220	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
8230	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
8240	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
8250	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
8260	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
8270	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
8280	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
8290	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
8300		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
8310	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
8320	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
8330	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
8340	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
8350	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
8360	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
8370	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
8380	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
8390	齲	齶	龕	龜	龠					
8400		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

CJR041

ホーム画面をカスタマイズする

ショートカットアイコンのホーム画面への登録や、アイコンを使用しやすいように並び替える、または不要なアイコンを削除するなど、ホーム画面のカスタマイズについて説明します。

ホーム画面の見かたについては、P.69「ホーム画面の見かた」を参照してください。

認証機能の設定によって、ホーム画面には次の 2 種類があります。

デフォルトホーム画面

認証機能を設定していないとき、または認証機能を設定しているときに管理者でログインした場合のホーム画面です。デフォルトホーム画面は、ユーザー別ホーム画面の初期画面になります。デフォルトホーム画面をカスタマイズしたときは、ユーザー別ホーム画面の初期画面も変更されます。

ユーザー別ホーム画面

ユーザーごとのホーム画面です。ユーザー別ホーム画面を使用するには、認証機能の設定が必要です。ユーザー別ホーム画面の使用を制限できます。詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

ホーム画面は、使用しやすいようにカスタマイズできます。デフォルトホーム画面、およびユーザー別ホーム画面を個別にカスタマイズできます。デフォルトホーム画面は、初期設定メニューまたは Web Image Monitor からカスタマイズします。ユーザー別ホーム画面は Web Image Monitor からカスタマイズします。カスタマイズできる内容は下記のとおりです。

アイコンの追加

P.81「アイコンをホーム画面に追加する」を参照してください。

アイコンの並べ替え

P.82「ホーム画面のアイコンを並べ替える」を参照してください。

画像の登録

ホーム画面の右上にお好みの画像を表示できます。詳しくは、P.84「ホーム画面に画像を表示する」を参照してください。

補足

- 本機の設定によっては、ユーザー別ホーム画面を使用できません。詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。
- ユーザー別ホーム画面をカスタマイズしても、デフォルトホーム画面は変更されません。
- ユーザー別ホーム画面を作成したあと、デフォルトホーム画面をカスタマイズしても、すでに登録したユーザー別ホーム画面の設定は変更されません。

アイコンをホーム画面に追加する

ホーム画面から削除した機能や Embedded Software Architecture アプリケーションのアイコンなども再表示できます。

補足

- ショートカットの名称は、通常画面で全角 16 文字（半角 32 文字）まで表示できます。
- 機能アイコンとショートカットアイコンは合計して 72 個まで登録できます。登録数が上限に達しているときは、不要なアイコンを消去してください。詳しくは、P.83「ホーム画面のアイコンを消去する」を参照してください。
- アイコンの位置を変更できます。詳しくは、P.82「ホーム画面のアイコンを並べ替える」を参照してください。

ここでは、アプリケーションのアイコンをホーム画面に登録する方法を例に説明します。

Web Image Monitor で追加する

1. **Web Image Monitor に管理者としてログインします。**

   ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **[機器の管理] をポイントし、[機器のホーム画面の管理] をクリックします。**
3. **[アイコンの編集] をクリックします。**
4. **追加する位置の [+アイコンを追加できます。] をポイントし、[+追加] をクリックします。**
5. **追加する機能アイコン、またはショートカットアイコンを選択し、[OK] をクリックします。**
6. **[確定] をクリックします。**
7. **[OK] を 2 回クリックします。**

初期設定メニューで追加する

1. ［初期設定］キーを押し、追加するアイコンを選択します。

［ホーム編集］▶［アイコンの追加］▶［追加するアイコンの選択］▶追加するアイコンの種類を選択▶追加するアイコンを選択

2. アイコンを追加する位置を指定します。

［追加先の選択］▶［空白］が表示されている位置を選択

補足

- 簡単画面でのアイコンの位置を確認するときは、画面右上の［…］を押してください。

ホーム画面のアイコンを並べ替える

ホーム画面の機能アイコンやショートカットアイコンを使用しやすいように並べ替えられます。

補足

- 1 ページに表示できるアイコンの数は画面によって異なります。簡単画面では 3 個、通常画面では 6 個のアイコンを表示できます。
- アイコンの並び順は、通常画面と簡単画面で同じです。

Web Image Monitor で並び替える

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. ［機器の管理］をポイントし、［機器のホーム画面の管理］をクリックします。
3. ［アイコンの編集］をクリックします。
4. 移動するアイコンをドラッグし、移動先の上で離します。

移動先に別のアイコンがすでに登録されているときは、アイコンの位置が入れ替わります。

アイコンを別のページに移動させるときは、画面右側に表示されているサムネール上の移動先ページにアイコンをドラッグします。ページが切り替わったら、移動先の上でアイコンを離します。

5. ［確定］をクリックします。
6. ［OK］を 2 回クリックします。

初期設定メニューで並び替える

1. ［初期設定］キーを押し、移動するアイコンを選択します。

［ホーム編集］▶［アイコンの移動］▶［移動するアイコンの選択］▶移動するアイコンを選択

2. アイコンを移動する位置を指定します。

［移動先の選択］▶アイコンの移動先を選択

移動先に別のアイコンがすでに登録されているときは、アイコンの位置が入れ替わります。

補足

- 簡単画面でのアイコンの位置を確認するときは、画面右上の…を押してください。

ホーム画面のアイコンを消去する

不要な機能アイコンやショートカットアイコンを削除し、使用するアイコンだけを表示できます。

ホーム画面からアイコンを消去しても、機能やアプリケーション自体は消去されません。

Web Image Monitor で削除する

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. ［機器の管理］をポイントし、［機器のホーム画面の管理］をクリックします。

3. ［アイコンの編集］をクリックします。

4. 消去するアイコンをドラッグし、画面左側に表示されているゴミ箱の上で離します。

5. ［確定］をクリックします。

6. ［OK］を 2 回クリックします。

初期設定メニューで削除する

1. ［初期設定］キーを押し、消去するアイコンを選択します。

［ホーム編集］▶［アイコンの消去］▶移動するアイコンを選択▶［実行］

2

ホーム画面に画像を表示する

ホーム画面に企業ロゴなどの画像を表示できます。

デフォルトホーム画面で設定した画像は、すべてのユーザー別ホーム画面でも表示されます。ユーザー別ホーム画面では、画像を変更できません。

画像は次のフォーマットで保存してください。

ファイル形式

JPEG

画素数

180 × 40 pixel

ファイル上限サイズ

15 KB

初期設定から画像を表示するときは、SD カードからダウンロードします。パスとファイル名を次のように設定してください。

ファイル格納場所

(root):¥custom_ui¥image

ファイル名

insert

デフォルトホーム画面で設定した画像は、すべてのユーザー別ホーム画面でも表示されます。ユーザー別ホーム画面では、画像を変更できません。

Web Image Monitor で画像を登録する

1. **Web Image Monitor に管理者としてログインします。**

   ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **[機器の管理] をポイントし、[機器のホーム画面の管理] をクリックします。**

3. **[ホーム画面設定] をクリックします。**

4. **[画像の設定] ボックスで、[表示する] を選択します。**

   画像を変更するときは、[他の画像を選択する] をクリックし、別の画像を選択します。

   画像を消去するときは、[消去する] をクリックします。

5. **[参照] をクリックし、ファイルを選択します。**

6. **[OK] をクリックします。**

初期設定メニューで画像を登録する

1. **メディアスロットのカバーを開けます。**

2. SD スロットに SD カードをセットします。

SD カードをセットする方法は、P.202「SD カードを取り付ける」を参照してください。

3. ［初期設定］キーを押し、画像を登録します。

［ホーム編集］ ▶ ［ホーム画像の設定］ ▶ ［ホーム画像を表示］ ▶ 実行

4. SD カードを取り外します。

SD カードを取り外す方法は、P.203「SD カードを取り外す」を参照してください。

ホーム画面を初期状態に戻す

デフォルトホーム画面を初期状態に戻すときは、本体操作部で操作します。デフォルトホーム画面を初期化すると、工場出荷時の状態に戻ります。

ユーザー別ホーム画面を初期状態に戻すときは、Web Image Monitor から操作します。ユーザー別ホーム画面を初期化すると、デフォルトホーム画面の状態に戻ります。

Web Image Monitor で初期状態に戻す

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. ［機器の管理］をポイントし、［機器のホーム画面の管理］をクリックします。

3. ［アイコンを初期値に戻す］をクリックします。

4. ［OK］を 2 回クリックします。

初期設定メニューで初期状態に戻す

1. ［初期設定］キーを押し、アイコンを初期状態に戻します。

［ホーム編集］ ▶ ［アイコンを初期値に戻す］ ▶ ［実行］

補足

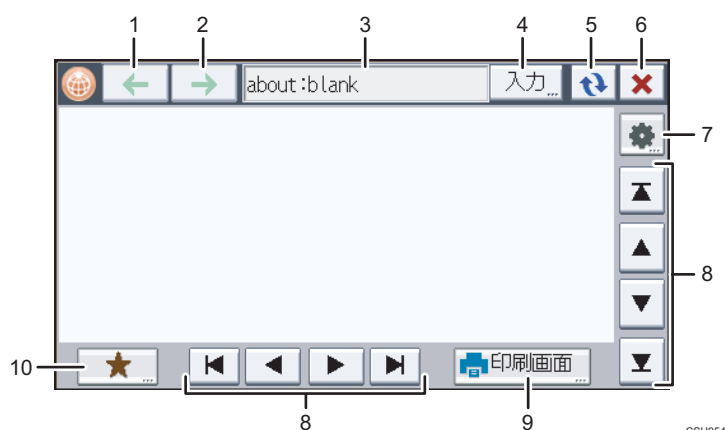
- Embedded Software Architecture アプリケーションをインストールしているときは、初期状態に戻しても、アプリケーションアイコンは消去されません。

Web ページを操作画面に表示する

本機の操作部にサーバー製品から取得した情報（HTML）を Web ページとして表示したり、そのまま本機から印刷したりできます。

ブラウザー画面の見かた

重要

- 本機でブラウザー画面を表示するには、Web アクセスカードが装着されている必要があります。
- Web ブラウザーとサーバー間の通信は盗聴されたり、改ざんされたりすることがあります。個人情報などの重要な情報を入力するときは、SSL を有効にし、本機とサーバー間の通信を暗号化してください。通信が暗号化されているときは、URL が「https」から始まり、また、URL バーの色が変わります。SSL の設定方法は、『セキュリティーガイド』を参照してください。
- Web サイトが正当かどうかを確認するには、サーバー証明書に記載されている URL と画面の上部に表示されている URL が一致することを確認してください。サーバー証明書を表示する方法は、P.89「サーバー証明書を表示する」を参照してください。

1. [←]

   直前に表示した Web ページを表示します。

2. [→]

   [←] を押す前に表示していた Web ページを再び表示します。

3. アドレスバー

   表示している Web ページの URL が表示されます。

4. [入力]

   URL アドレスを入力して、Web ページを表示するときに押します。

5. [更新]

   表示しているページを最新の状態に更新します。

6. [×]

   ページの読み込みを中止します。

7. [⚙]

ブラウザーの設定や Web ページの表示設定を変更するときに押します。

8. スクロールバー

画面をスクロールします。現在表示されている範囲以外を表示させるときに使用します。

9. [印刷画面]

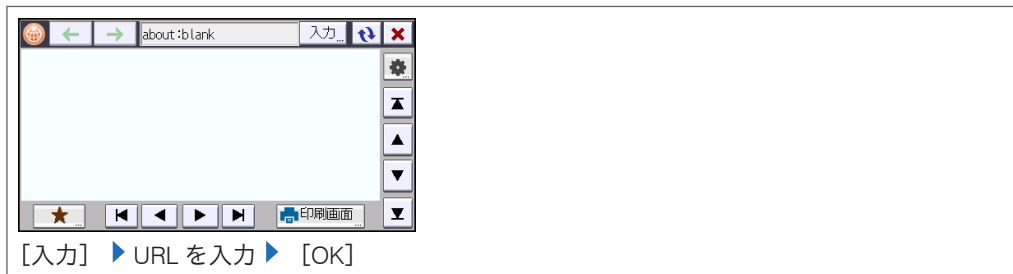
表示中のページを印刷できます。詳しくは、P.92「操作画面に表示した Web ページを印刷する」を参照してください。

10. [★]

よく見る Web ページをお気に入りに追加し、簡単に呼び出すことができます。詳しくは、P.89「お気に入りを設定する」を参照してください。

1. 操作部の［ホーム］キーを押し、［ブラウザー］アイコンを押します。

2. 表示する Web ページの URL を入力します。

［入力］ ▶ URL を入力 ▶ ［OK］

補足

- 最初に表示する Web ページを変更できます。また、Web ページの表示設定を変更できます。詳しくは、P.87「Web ページの表示設定を変更する」を参照してください。
- 認証機能を設定して管理者でログインしているときは、[⚙] を押して、設定を変更することはできません。管理者のときは、［ブラウザー初期設定］から設定を変更してください。詳しくは P.360「ブラウザー初期設定」を参照してください。

Web ページの表示設定を変更する

ホームページの設定や、文字サイズ、文字コードの変更などができます。

1. 操作部の［ホーム］キーを押し、［ブラウザー］アイコンを押します。

2

2.［⚙］を押し、表示設定を変更します。

- ［ホーム画面］
  ホームページとして表示する Web ページの URL を設定します。
  以下の項目のいずれかを選択 ▶［設定］
  - ［現在ページ］
    表示中の Web ページをホームページに設定します。
  - ［ページ表示なし］
    ホームページに何も登録しません。
  - ［URL 入力］
    入力した URL の Web ページをホームページに設定します。
- ［文字サイズ］
  文字サイズを選択 ▶［OK］
- ［文字コード］
  文字コードを選択 ▶［OK］
- ［表示設定］
  アドレスバーや横スクロールバーを表示するかどうかを設定します。
  表示の有無を選択 ▶［OK］

プロキシサーバーを設定する

サーバー製品との接続にプロキシサーバーを使用するときに設定します。プロキシサーバーを使用しないときは、設定する必要はありません。

1. 操作部の［ホーム］キーを押し、［ブラウザー］アイコンを押します。

2.［⚙］を押し、プロキシサーバーの設定を変更します。

［プロキシサーバーの使用］▶［する］▶変更する項目の［変更］を押す ▶ プロキシサーバーの設定を入力 ▶［設定］

プロキシサーバーの設定には以下の項目があります。

- プロキシサーバー名
- プロキシポート
- プロキシユーザー名
- プロキシパスワード
- 例外アドレス

Cookie を確認/消去する

Cookie を使用すると、Web ページによっては設定情報などを保存でき、操作性や利便性が高まります。

Cookie は最新の 20 件が記録されます。認証機能を設定しているときは、ユーザーごとに Cookie が記録されます。

1. 操作部の［ホーム］キーを押し、［ブラウザー］アイコンを押します。

2. ［ ］を押し、Cookie の確認や消去をします。

- ［Cookie 管理］
  - ［詳細参照］
    Cookie の［名称］、［ドメイン］、［パス］、［有効期限］が確認できます。
  - ［消去］
    Cookie を消去します。
  - ［全消去］
    すべての Cookie を消去します。

補足

- 機器管理者の Cookie はログアウトするときに消去されます。

サーバー証明書を表示する

表示中の Web ページを管理しているサーバーのサーバー証明書を表示します。

サーバー証明書は、サーバー証明書を取得できるサイトにアクセスしているときに表示できます。

1. 操作部の［ホーム］キーを押し、［ブラウザー］アイコンを押します。

2. ［ ］を押し、サーバー証明書の内容を確認します。

- ［サーバー証明書］
  「証明書 ID」、「発行者」、「発行先」、「有効期間」を確認します。
  - ［上位のサーバーへ］
    上位のサーバー証明書を表示します。
  - ［下位のサーバーへ］
    下位のサーバー証明書を表示します。

お気に入りを設定する

よく見る Web ページを「お気に入り」にブックマーク登録できます。登録したお気に入りは、簡単に呼び出せます。

お気に入りには、次の 2 種類があります。

- 機器共通お気に入り

  すべてのユーザーが使用できるお気に入りの Web ページの登録先です。50 件まで登録できます。

- ユーザー用お気に入り

  ［お気に入り管理］が［許可］になっているときのお気に入りの Web ページの登録先です。50 件まで登録できます。認証機能を設定しているときは、ユーザーごとに 50 件のお気に入りを登録できます。

よく見る Web ページをお気に入りに追加する

1. 操作部の［ホーム］キーを押し、［ブラウザー］アイコンを押します。
2. お気に入りに追加する Web ページを表示し、お気に入りに追加します。

［お気に入り］▶［機器共通お気に入り］または［ユーザー用お気に入り］を選択▶［新規登録］

3. 追加するお気に入りの設定を必要に応じて変更します。

- タイトル
  お気に入りに追加する Web ページのタイトルを設定します。
- URL
  登録する Web ページの URL です。
- 初期 HTTP リクエストメソッド
  Web サーバーに対する要求方法を設定します。本機から Web サーバーにデータを送るときは、「POST」を選択します。Web サーバーにデータの送付を依頼するときは、「GET」を選択します。

4. ［設定］を押します。

補足

- 「お気に入り」に登録した Web ページへのショートカットを、ホーム画面に登録できます。詳しくは、P.81「アイコンをホーム画面に追加する」を参照してください。お気に入りの Web ページをホーム画面に登録したときは、「タイトル」がショートカット名になります。

お気に入りに登録した Web ページを呼び出す

1. 操作部の［ホーム］キーを押し、［ブラウザー］アイコンを押します。
2. お気に入りに登録した Web ページを呼び出します。

［お気に入り］▶［機器共通お気に入り］または［ユーザー用お気に入り］を選択▶［呼び出し］▶呼び出すお気に入りを選択

お気に入りに登録した Web ページの設定を変更/消去する

1. 操作部の［ホーム］キーを押し、［ブラウザー］アイコンを押します。
2. お気に入りの設定画面を表示します。

［お気に入り］▶［機器共通お気に入り］または［ユーザー用お気に入り］を選択

3. お気に入りに登録したWebページの設定を変更、または消去します。

> - ［変更］
>   お気に入りのタイトル、URL、または［初期HTTPリクエストメソッド］の設定を変更します。
> - ［消去］
>   お気に入りを消去します。

補足

- ホーム画面にショートカットを作成したお気に入りを変更/削除すると、ホーム画面に作成したショートカットも変更/削除されます。

お気に入りをインポート/エクスポートする

1. メディアスロットのカバーを開けます。
2. SDスロットにSDカードをセットします。

   SDカードをセットする方法は、P.202「SDカードを取り付ける」を参照してください。
3. 操作部の［ホーム］キーを押し、［ブラウザー］アイコンを押します。
4. お気に入りをインポートまたはエクスポートします。

   > ［お気に入り］▶［機器共通お気に入り］または［ユーザー用お気に入り］を選択▶［インポート］または［エクスポート］を選択▶［実行］▶［確認］
5. SDカードを取り外します。

   SDカードを取り外す方法は、P.203「SDカードを取り外す」を参照してください。

補足

- インポートおよびエクスポートに対応したファイルの形式は、UTF-8形式です。

履歴を管理する

以前に表示したWebページを履歴から表示できます。履歴は最新の50件が記録されます。

認証機能を設定しているときは、ユーザーごとに50件の履歴が記録されます。

履歴の管理機能として、履歴情報の確認、消去や、保存期間の設定ができます。

1. 操作部の［ホーム］キーを押し、［ブラウザー］アイコンを押します。

2

2. [ ] を押し、履歴を管理します。

- [履歴管理]
  Web ページの再表示や履歴情報の管理をします。
  - [ページを開く]
    再表示する Web ページを選択します。
  - [詳細参照]
    表示した Web ページの [タイトル]、[URL]、または [アクセス日時] を確認します。
  - [消去]
    表示した Web ページの履歴を項目ごとに消去します。
  - [全消去]
    表示した Web ページの履歴をすべて消去します。
- [履歴保持]
  履歴を保存する期間を設定します。

補足

- 機器管理者の履歴はログアウトするときに消去されます。

操作画面に表示した Web ページを印刷する

1. 操作部の [ホーム] キーを押し、[ブラウザー] アイコンを押します。

2. 印刷する Web ページを表示します。

3. [印刷画面へ] を押し、印刷設定を変更します。

- [部数]
  テンキーで印刷する部数を入力します。
- [カラー選択]
  カラーモードを選択します。
- [用紙方向]
  印刷する用紙の向きを選択します。
- [仕上げ]
  1 セットずつページ順にそろえて印刷するときは [ソート] を選択します。ページごとにそろえて印刷するときは [スタック] を選択します。
- [両面設定]
  用紙の両面に印刷するときは、[両面：左右]、または [両面：上下] を選択します。
- [集約]
  1 枚の用紙にまとめて印刷するときは、「2 ページごと」を選択します。仕切り線を印刷するときは、「集約仕切り線」を押して、仕切り線を設定します。

4. [印刷] を押します。

補足

- 印刷する Web ページの幅が用紙より大きいときは、自動的に縮小されます。
- Web ページの URL と、1 ページに収まらなかったときのページ番号は印刷されません。

本機にログインする

本機にログインする方法を説明します。

ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証が設定されているときは、画面に認証画面が表示されます。個人ごとに設定されたログインユーザー名とログインパスワードを入力しないと、本機を操作できません。またユーザーコード認証が設定されているときは、ユーザーコードを入力しないと、本機を操作できません。

本機を操作できる状態になることをログインといいます。また、操作できる状態を解除することをログアウトといいます。ログインして操作したあとは、他の利用者が不正に使用できないよう必ずログアウトしてください。

重要

- **ログインユーザー名、ログインパスワード、ユーザーコードは、ユーザー管理者に確認してください。ユーザー認証についての詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。**
- **ユーザーコード認証のときに、ユーザーコードとして入力するのはアドレス帳に「ユーザーコード」として登録されている数字です。**

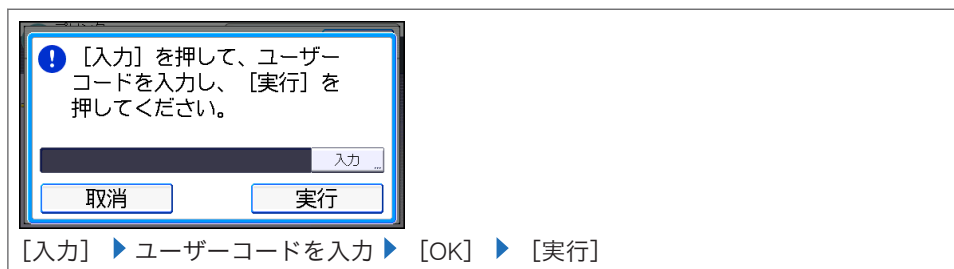
操作部からのユーザーコード認証のしかた

操作部からのユーザーコード認証のしかたについて説明します。

ユーザーコード認証を設定しているときは、ユーザーコードの入力を求める画面が表示されます。

対象機種：Type 1

1. ユーザーコードを入力して認証します。

対象機種：Type 2 Type 3

1. [メニュー] キーを押します。

2. [ログイン] を押します。

3. ユーザーコードを入力 ▶ [OK]

補足

- ユーザーコードは 1 桁から 8 桁の任意の数字です。

ドライバーからのユーザーコード認証のしかた

ユーザーコード認証が設定されているときは、各ドライバーのプロパティ画面でユーザーコードを設定します。

各ドライバーの操作については、各ドライバーのヘルプを参照してください。

補足

- PCL プリンタードライバーは、ユーザーコード認証に対応していません。
- ユーザーコード認証のときは、ログアウトする必要はありません。

操作部からのログインのしかた

対象機種：Type 1 Type 2

ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証のいずれかが設定されているときにログインします。

重要

- 使用している機種が Type 2 のとき、ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証を使用するには、オプションの拡張 HDD が必要です。

対象機種：Type 1

1. ログイン情報を入力してログインします。

[ログイン] ▶ ログインユーザー名を入力 ▶ [OK] ▶ ログインパスワードを入力 ▶ [OK]

対象機種：Type 2

1. [メニュー] キーを押します。
2. [ログイン] を押します。
3. [入力] ▶ ログインユーザー名を入力 ▶ [入力終了]
4. [入力] ▶ ログインパスワードを入力 ▶ [入力終了]

補足

- 認証に成功すると各機能の画面が表示されます。
- 認証に失敗したときは、「認証に失敗しました。」と表示されます。ログインユーザー名またはログインパスワードを確認してください。
- ユーザーコード認証が設定されているときは異なる画面が表示されます。P.93「操作部からのユーザーコード認証のしかた」を参照してください。

操作部からのログアウトのしかた

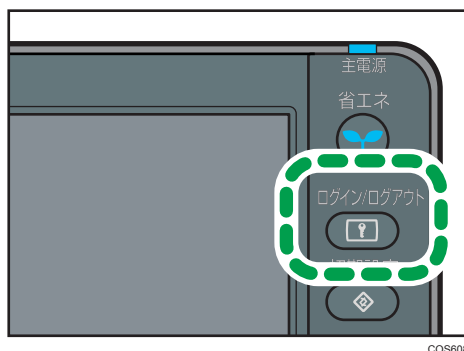
対象機種：Type 1 Type 2

ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証のいずれかが設定されているときにログアウトします。

重要

- 使用している機種が Type 2 のとき、ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証を使用するには、オプションの拡張 HDD が必要です。
- ログインして操作したあとは、他の利用者が不正に使用できないよう必ずログアウトしてください。

対象機種：Type 1

1. [ログイン/ログアウト] キー ▶ [ログアウトする]

対象機種：Type 2

1. [メニュー] キーを押します。
2. [ログアウト] ▶ [する]

プリンタードライバーからのログインのしかた

対象機種：Type 1 Type 2

本機に設定されているログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。初回だけ入力が必要です。

Windows 7 を例に手順を説明します。

1. プリンターのプロパティを開き、［応用設定］タブをクリックします。

プロパティ画面の開きかたについては、P.105「Windows でドライバー設定画面を開く」を参照してください。

2. ［ユーザー認証］にチェックを付け、必要に応じて以下の項目を設定します。

- ［ドライバー暗号鍵］
  パスワードを暗号化して送信するときに、本体で設定した暗号鍵を入力します。

3. ［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

4. ［デバイスとプリンター］ウィンドウから印刷設定の設定画面を開きます。

印刷設定の開きかたについては、P.106「［スタート］から印刷設定画面を開く」を参照してください。

5. ［項目別設定］タブをクリックします。

6. 「メニュー項目」の［印刷方法/認証］をクリックし、以下の項目を設定します。

- ［認証］
  本体やサーバーで設定したユーザー認証用のログインユーザー名とログインパスワードを入力します。

ログインユーザー名とログインパスワードは正しく入力してください。誤って設定すると印刷できません。

7. ［OK］を 2 回クリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

補足

- アプリケーションによっては、本手順で設定した初期値が反映されないことがあります。

Web Image Monitor からのログインのしかた

ユーザー認証が設定されているときに Web Image Monitor からログインします。

ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

補足

- 使用するブラウザーの設定により、ログイン名、パスワードがブラウザーに保存されることがあります。保存されないようにするには、ブラウザーの設定を変更してください。

- ユーザーコード認証のときは、ログインユーザー名にユーザーコードを入力して、[ログイン]をクリックします。

Web Image Monitor からのログアウトのしかた

ユーザー認証が設定されているときに Web Image Monitor からログアウトします。

1. [ログアウト]をクリックします。

補足

- ログアウト後は、Web ブラウザーのキャッシュを削除してください。

ロックアウト機能

対象機種：Type 1 Type 2

本機にはロックアウト機能が設定されています。

ログイン時に管理者が設定した回数以上にパスワードを連続して間違えて入力すると、ロックアウト機能が働き、そのユーザー名でのログインが禁止されます。

ロックアウトされたユーザーは、正しいパスワードを入力しても認証に失敗し、本機を使用できなくなります。

ロックアウトされたときは、解除が必要です。詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

ログインパスワードを変更する

対象機種：Type 1 Type 2

ログインパスワードに登録できる文字は、アルファベット、数字、記号です。

登録できる文字数は、半角で最大 128 文字です。

アルファベットは、大文字、小文字を区別して正しく登録してください。

重要

- **パスワードは、第三者に教えないでください。またパスワードを紙に書いて人目につくところに貼らないでください。**
- **パスワードは、定期的に変更してください。**
- **推測されにくいパスワードにしてください。**

パスワードポリシーについて

本機にはパスワードポリシーが設定されています。

パスワードの複雑度と使用できる最小文字数が設定されていますので、条件を満たすパスワードだけが設定できます。条件については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

パスワードで使用する文字は、以下の文字から選ぶことをお勧めします。

- 英大文字：[A-Z]（26 文字）
- 英小文字：[a-z]（26 文字）
- 数字：[0-9]（10 文字）
- 記号：（スペース）! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [（バックスラッシュ）] ^ _ ` { | } ~（33 文字）

機器の操作部や PC のキーボードですべてのコード列パターンを入力できるわけではありません。

操作部からログインパスワードを変更する

対象機種：Type 1

1. ログイン情報を入力してログインします。

［ログイン］▶ログインユーザー名を入力▶［OK］▶ログインパスワードを入力▶［OK］

2. ［アドレス帳管理］を押し、ユーザーを選択します。

［変更］▶［全て表示］▶変更するユーザーを選択

3. ［認証情報］を押し、ログインパスワードを変更します。

［ログイン用認証情報］▶「ログインパスワード」の［変更］を押す▶ログインパスワードを入力▶［OK］▶ログインパスワードを再入力▶［OK］▶［設定］▶［閉じる］▶［設定］

Web Image Monitor からパスワードを変更する

1. Web Image Monitor にログインします。

ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［アドレス帳］をクリックします。

3. ユーザーまたはグループを選択します。

4. ［変更］をクリックします。

5. 「認証情報」の［変更］をクリックします。

6. 新しいパスワードと確認用のパスワードを入力します。

7. ［OK］を 2 回クリックします。

8. [ログアウト] をクリックします。

プリンタードライバーのログインパスワードを変更する

1. プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。

印刷設定画面の開きかたについては、P.105「Windows でドライバー設定画面を開く」を参照してください。

2. [項目別設定] タブをクリックします。

3. 「メニュー項目」の [印刷方法/認証] をクリックし、以下の項目を設定します。

- [認証]
  本体やサーバーで設定したユーザー認証用のログインユーザー名とログインパスワードを入力します。

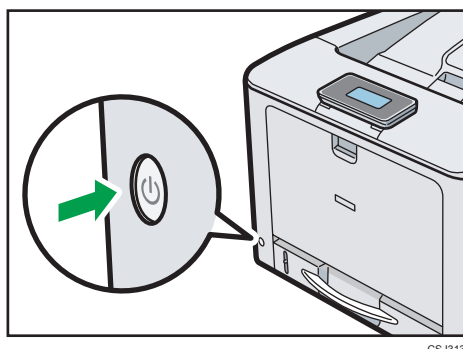
ログインユーザー名とログインパスワードは正しく入力してください。誤って設定すると印刷できません。

4. [OK] を 2 回クリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

電源の入れかた、切りかた

本機の電源の入れかた、切りかたについて説明します。

電源の入れかた

1. 電源プラグが確実にコンセントに差し込まれているか確認します。
2. 主電源スイッチを押します。

操作部の電源ランプが点灯します。

補足

- 電源を入れた後に、自動再起動の処理中の画面が表示されることがあります。機械内部で自動処理をするので、その間、主電源スイッチを触らないでください。再起動できるまでには約 7 分間かかります。

電源の切りかた

⚠注意

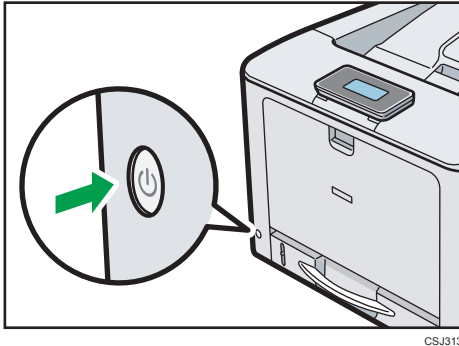
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要

- 本機の電源を切るときは、主電源スイッチを押し続けないでください。主電源スイッチを押し続けると電源が強制的に切れるため、ハードディスクやメモリーが破損して故障の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源ランプが消灯したことを確認してください。

- 動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。

1. 主電源スイッチを押します。

CSJ313

シャットダウンの処理が終了すると自動的に電源ランプが消灯し、本機の電源が切れます。

シャットダウン中の画面表示が消えないときは、サービス実施店に連絡してください。

節電

本機は節電のために、以下のような省エネ機能を搭載しています。

スリープモード

一定時間何も操作しなかったときに、消費電力を抑えるスリープモードに移行します。また、次のいずれかの操作や設定によってもスリープモードに移行します。

- [省エネ] キーを押したとき（対象機種：Type 1）
- [スリープモード移行時間設定] で設定した時間が経過したとき
- [ウィークリータイマー] で指定した時刻と曜日になったとき

[スリープモード移行時間設定] や [ウィークリータイマー] については、使用している機種に応じて以下を参照してください。

- Type 1：P.309「時刻タイマー設定」、P.324「管理者用設定」
- Type 2/Type 3：P.386「システム設定」

スリープモードから復帰するには、以下の操作をしてください。

- [省エネ] キー、または [状態確認] キーを押す（対象機種：Type 1）
- [機能切替] 以外の操作部のいずれかのキーを押す（対象機種：Type 2）
- 操作部のいずれかのキーを押す（対象機種：Type 3）

ウィークリータイマーによるスリープモードへの移行

指定した時刻と曜日になると、本機の電源をオン・オフしたり、自動的にスリープモードに移行します。ウィークリータイマーの設定については、使用している機種に応じて以下を参照してください。

- Type 1：P.309「時刻タイマー設定」
- Type 2/Type 3：P.386「システム設定」

ECO ナイトセンサーによる電源オフ

夜間などに周囲の明るさを検知して自動的に電源を切ります。[明るさ検知自動電源オフ］については、以下を参照してください。

- Type 1：P.324「管理者用設定」
- Type 2/Type 3：P.386「システム設定」

補足

- スリープモード時は、[省エネ］キーがゆっくり明るくなったり暗くなったりします（対象機種：Type 1）。
- 次のようなときは、省エネ機能がはたらきません。
    - 外部の機器と通信中のとき
    - ハードディスクが動作しているとき（対象機種：Type 1/Type 2）
    - 警告画面が表示されているとき
    - サービスコールが点灯しているとき
    - 用紙がつまっているとき
    - トナー補給が表示されているとき
    - トナー補給中のとき
    - 「初期設定」画面が表示されているとき
    - リモートサービス通報画面が表示されているとき
    - 定着ウォームアップ中のとき
    - データ処理中のとき
    - 印刷途中で動作が中断中のとき
    - データインランプが点灯・点滅しているとき
    - 試し印刷/機密印刷/保留印刷/保存文書印刷の画面が表示されているとき（対象機種：Type 1/Type 2）
    - 文書印刷画面が表示されているとき（対象機種：Type 1/Type 2）
- スリープモード中は電力をほとんど消費しませんが、印刷が始まるまで多少時間がかかります。
- 省エネ機能に関する設定を複数しているときは、最初に条件を満たしたものから省エネ機能が有効となります。

設定画面を開く

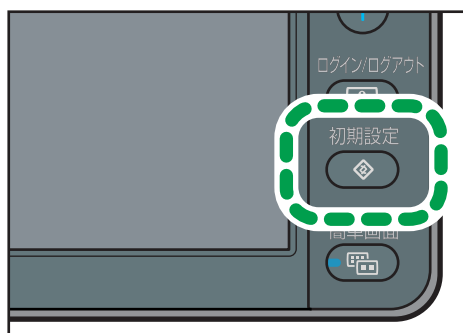
本機の設定画面を開く方法を説明します。

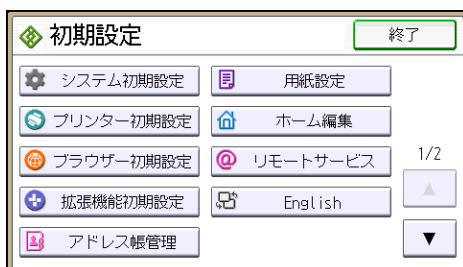
本機の初期設定画面を開く

初期設定画面の開きかたについて説明します。初期設定画面では、各種設定項目の初期値が変更できます。

- 管理者認証が設定されているときは、管理者に確認してください。

対象機種：Type 1

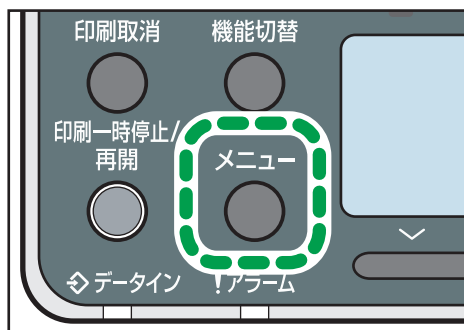
1. [初期設定] キーを押します。

2. 設定する項目を選択します。

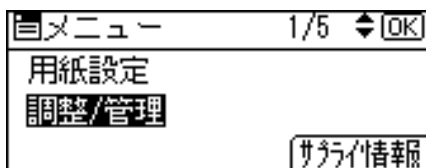
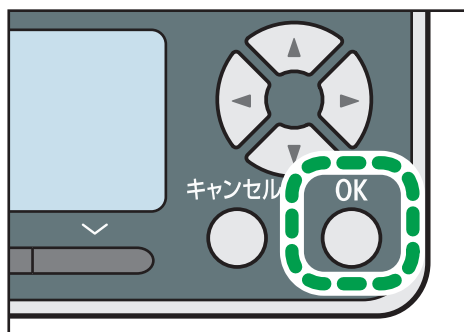
[▼] または [▲] を押して表示する画面を切り替えます。

3. 画面の表示にしたがって初期設定値を変更し、[設定] を押します。
4. [初期設定] キーを押します。

初期設定のメニュー画面の [終了] を押しても終了できます。

操作後は、通常の画面に戻してください。

2

対象機種：Type 2 Type 3

1. ［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して設定する項目を選択します。

3. ［OK］キーを押して選択を確定します。

4. ［メニュー］キーを押します。

［キャンセル］キーを押すことでも終了できます。

操作後は、通常の画面に戻してください。

補足

- 設定/変更した内容は、設定し直さないかぎり有効です。電源を切ったり、スリープモードに入ったりしても取り消されません。

Web ブラウザーで設定画面を開く

Web Image Monitor には、ゲストモードと管理者としてログインする管理者モードがあり、表示されるメニューが異なります。

ゲストモード

ログインしないで使用するモードです。

ゲストモードでは、機器の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、機器に関する設定は変更できません。

管理者モード

管理者としてログインして使用するモードです。

管理者モードでは、機器に関する各種の設定ができます。

重要

- **IPv4 アドレスを入力するときは、各セグメントの先頭につく「0」は入力しないでください。例えば「192.168.001.010」のときは「192.168.1.10」と入力します。「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。**

1. Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）もしくは（ホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

DNS サーバー、WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されているときは、ホスト名を入力できます。

サーバー証明を発行し、SSL（暗号化通信）の設定をしているときは、「https://（本機の IP アドレス）もしくは（ホスト名）/」と入力します。

3. 管理者モードでアクセスするときは、Web Image Monitor のトップページで、［ログイン］をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

4. ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、［ログイン］をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者に確認してください。

Windows でドライバー設定画面を開く

プリンタードライバーの開きかたについて、Windows 7 を例に説明します。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

重要

- プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- プリンターのプロパティの設定はユーザーごとに変更できません。プリンターのプロパティの設定内容が、このプリンタードライバーを使用して印刷するすべてのユーザーの設定です。

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックします。
3. ［プリンターのプロパティ］をクリックします。

［スタート］から印刷設定画面を開く

重要

- プリントサーバーから配布されたドライバーを使用するときは、プリントサーバーで設定された［標準の設定］の内容が初期値として表示されます。
- 印刷設定はユーザーごとに変更できません。印刷設定画面の設定内容が、このプリンタードライバーを使用して印刷するすべてのユーザーの初期値です。

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックします。
3. ［印刷設定］をクリックします。

アプリケーションから印刷設定画面を開く

印刷で使用するアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンタードライバーの印刷設定画面をアプリケーションから表示させて設定します。

アプリケーションから印刷設定画面を開くと、［デバイスとプリンター］ウィンドウから表示される印刷設定の内容が初期値として表示されます。アプリケーションから印刷するときは、必要な項目を変更して印刷します。

画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。ここでは Windows 7 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。

3. ［詳細設定］をクリックします。

- 実際の表示の方法はアプリケーションによって異なります。詳しくは、アプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

かんたん設定を使用する

よく使用する印刷機能の一部は、［かんたん設定］タブの「かんたん設定一覧：」に登録されています。メニューから設定名を選択するだけで、印刷方法を指定できます。

「かんたん設定」を使用するには、「かんたん設定一覧：」から、適用したい設定名をクリックします。設定名を選択するだけで登録されている設定内容が反映されるため、印刷するときに何箇所も設定を変更したり、誤って設定して無駄な印刷をしたりすることを防止できます。

「かんたん設定」は任意に追加、変更、削除できます。また、複数のメンバーで同じかんたん設定を共有して使用することもできます。プリンタードライバーに関する特別な知識がなくても、登録した「かんたん設定」を使うだけで、さまざまな機能を活用できます。

「かんたん設定」を登録するときは、以下の手順で操作してください。

1. 印刷設定画面を開きます。
2. 印刷の設定を必要に応じて指定します。
3. ［かんたん設定に登録...］をクリックします。
4. 設定の名前とコメントを入力して［OK］をクリックします。
5. ［OK］をクリックします。

補足

- 「かんたん設定」の変更や削除について、詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヘルプを表示する

ヘルプのトピックを表示する

プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすると、表示しているタブに対応する内容のトピックが表示されます。

プリンタードライバーの設定画面の表示項目についての説明を表示する

プリンタードライバーの設定画面右上にある？マークのボタンをクリックすると、ポインターの横に？マークが表示されます。

説明を見たい項目をクリックすると、対応する内容のトピックが表示されます。

Mac OS X でドライバー設定画面を開く

プリンタードライバーの開きかたについて、Mac OS X 10.6 に付属の「テキストエディット」を例に説明します。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

1. システム環境設定を開きます。

2. [プリントとファクス] をクリックします。

3. 使用するプリンターのアイコンをクリックします。

アプリケーションからプリント画面を開く

印刷で使用するアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンタードライバーの印刷設定画面をアプリケーションから表示させて設定します。

1. [ファイル] メニューから [プリント] をクリックします。

2. [プリンタ：] で使用するプリンターを選択します。

補足

- プリント画面は、使用している機種やアプリケーションによって異なります。印刷に関する一般的な機能については、Macintosh の使用説明書またはヘルプを参照してください。

ソフトウェアのダウンロードについて

本機と連携して使用できるソフトウェアについて説明します。

Ridoc IO Analyzer でできること

Ridoc IO Analyzer について説明します。

重要

- **Ridoc IO Admin がインストール済みの環境では、Ridoc IO Analyzer は Ridoc IO Admin に対する上書きアップデートとしてインストールされます。**

Ridoc IO Analyzer はネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。IP アドレスを持つ複数のネットワークプリンターを管理できます。ネットワーク管理者の方が使用することをお勧めします。

Ridoc IO Analyzer は、リコーのホームページからダウンロードできます。

（http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/related_goods/analyzer/）

補足

- Ridoc IO Analyzer については、Ridoc IO Analyzer の取扱説明書を参照してください。

Ridoc Desk Navigator Lt でできること

Ridoc Desk Navigator について説明します。

アプリケーションで作成したファイル、スキャナーで読み取った画像データ、既存のイメージファイルなど、多様なデータを 1 つの文書として管理・印刷できます。

Ridoc Desk Navigator は、リコーのホームページからダウンロードできます。

（http://support.ricoh.com/bbv2/html/dr_ut_d/doc_sol/index.htm）

補足

- Ridoc Desk Navigator について詳しくは、Ridoc Desk Navigator のヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi でできること

Ridoc IO Navi について説明します。

ネットワークプリンターの環境を簡単に構築できます。また、ネットワーク上のリコー製プリンターの稼働状態を、パソコンから簡単に確認できます。

Ridoc IO Navi は、リコーのホームページからダウンロードできます。

（http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/utility/ionavi/）

- Ridoc IO Navi について詳しくは、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

3. 用紙をセットする

使用する用紙のサイズ、種類、厚さごとに、セットできる給紙トレイについて説明します。また各給紙トレイに用紙をセットする方法を説明します。

本機にセットできる用紙のサイズと種類

本機で正しく印刷するには、使用する用紙のサイズ、種類、および厚さに合った給紙トレイの選択が必要です。使用する用紙がどの給紙トレイにセットできるかを確認し、操作部などから用紙のサイズや種類を正しく指定してください。

3

用紙をセットするときの流れ

1. 使用する用紙のサイズ、種類、厚さから、どの給紙トレイにセットできるかを確認します。

各用紙に対応した給紙トレイについては、以下に記載している表を参照してください。

2. 用紙をセットする給紙トレイを決めたら、本機の用紙サイズ設定と用紙種類設定を変更します。

用紙サイズ設定と用紙種類設定は、操作部またはWeb Image Monitorで変更します。給紙トレイ1〜4に用紙をセットするときは、給紙トレイの用紙サイズダイヤルも変更します。

操作部の設定については、P.249「用紙の設定」を参照してください。

3. 給紙トレイに用紙をセットします。

用紙のセット方法は、P.117「給紙トレイに用紙をセットする」またはP.123「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。

はがきや封筒のセット方法は、P.129「はがきをセットする」またはP.131「封筒をセットする」を参照してください。

定形サイズ

各用紙サイズに対応した給紙トレイは以下の表のとおりです。「用紙サイズ」の列には用紙サイズの名称と実際のサイズを記載しています。▯および▭は、本機を正面から見たときにセットできる用紙の向きを表しています。

表内の文字の説明は以下のとおりです。

- A：操作部から用紙サイズを指定します。
- B：給紙トレイの用紙サイズダイヤルで用紙サイズを指定します。
- C：給紙トレイの用紙サイズダイヤルを「✱」に設定し、操作部から用紙サイズを指定します。
- -：この用紙サイズは使用できません。

3

用紙サイズ（ミリメートル）

用紙サイズ		手差しトレイ	給紙トレイ 1	給紙トレイ 2～4
A3	297 × 420 mm	A	B	
A4	210 × 297 mm	A	B	
A5	148 × 210 mm	A	B	
A5	148 × 210 mm	A	B	-
A6	105 × 148 mm	A	B	-
B4	257 × 364 mm	A	B	
B5	182 × 257 mm	A	B	
B6	128 × 182 mm	A	B	-
B6	128 × 182 mm	A	-	
洋形 2 号	114 × 162 mm	A	C	-
郵便はがき	100 × 148 mm	A	C	-
往復はがき	200 × 148 mm	A	C	
往復はがき	200 × 148 mm	A	C	-
長形 3 号	120 × 235 mm	A	C	-
長形 4 号	90 × 205 mm	A	C	-
洋長 3 号	120 × 235 mm	A	C	-
洋形 4 号	105 × 235 mm	A	C	-
角形 2 号	240 × 332 mm	A	C	-
8 開	267 × 390 mm	A	C	
16 開	195 × 267 mm	A	C	

用紙サイズ（インチ）

用紙サイズ		手差しトレイ	給紙トレイ 1	給紙トレイ 2～4
11 × 17	11" × 17"	A	B	C
$8^1/_2$ × 14	8.5" × 14"	A	B	C
$8^1/_2$ × 13	8.5" × 13"	A	C	
$8^1/_2$ × 11	8.5" × 11"	A	B	C
$8^1/_4$ × 14	8.25" × 14"	A	-	
$8^1/_4$ × 13	8.25" × 13"	A	C	
8 × 13	8" × 13"	A	C	

用紙サイズ		手差しトレイ	給紙トレイ 1	給紙トレイ 2〜4
$7^{1}/_{4} \times 10^{1}/_{2}$▯▭	7.25" × 10.5"	A	C	
$5^{1}/_{2} \times 8^{1}/_{2}$▯	5.5" × 8.5"	A	C	
$5^{1}/_{2} \times 8^{1}/_{2}$▭	5.5" × 8.5"	A	-	
$8^{1}/_{2} \times 12$▯	8.5" × 12"	A	C	-

不定形サイズ

定められた比率の定形用紙のほかに、幅と長さを任意に指定する不定形サイズの用紙も使用できます。

各給紙トレイに対応した幅と長さは以下の表のとおりです。

用紙サイズ（ミリメートル）

給紙トレイ	幅	長さ
手差しトレイ	64.0〜297.0 mm	127.0〜1260.0 mm
給紙トレイ 1*	90.0〜297.0 mm	148.0〜432.0 mm
給紙トレイ 2〜4	139.7〜297.0 mm	182.0〜432.0 mm

用紙サイズ（インチ）

給紙トレイ	幅	長さ
手差しトレイ	2.52〜11.69"	5.00〜49.60"
給紙トレイ 1*	3.55〜11.69"	5.83〜17.00"
給紙トレイ 2〜4	5.50〜11.69"	7.17〜17.00"

* 幅が 279.4 mm（11.0"）を超え、かつ、長さ 420 mm（16.6"）を超える用紙は、給紙トレイ 1 にはセットできません。

用紙種類

各用紙種類に対応した給紙トレイは以下の表のとおりです。各用紙種類には対応する用紙の厚さが設定されています。「用紙の厚さ」の表と合わせて参照し、使用する用紙に適した用紙種類を確認してください。

表内の文字の説明は以下のとおりです。

- A：使用できます。
- -：使用できません。

用紙種類	厚さ番号	手差しトレイ	給紙トレイ 1	給紙トレイ 2〜4
薄紙	1	A		

用紙種類	厚さ番号	手差しトレイ	給紙トレイ 1	給紙トレイ 2～4
普通紙 1	2	A		
普通紙 2	3	A		
中厚口	4	A		
厚紙 1	5	A		
厚紙 2	6	A		
厚紙 3	7	A	-	
再生紙	1～7[*1]	A		
色紙	1～7[*1]	A		
特殊紙 1	1～3[*2]	A		
特殊紙 2	4、5[*2]	A		
特殊紙 3	6、7[*1*2]	A		
レターヘッドつき用紙	1～7[*1]	A		
印刷済み紙	1～7[*1]	A		
ラベル紙	1～7[*1]	A		
コート紙：光沢強め	-[*2]	A		
封筒	5、6	A		-
コート紙	5～7[*1]	A		

用紙の厚さ

厚さ番号	厚さ
1	56～65 g/m^2
2	66～74 g/m^2
3	75～90 g/m^2
4	91～128 g/m^2
5	129～163 g/m^2
6	164～220 g/m^2
7[*1]	221～256 g/m^2

*1 厚さ番号 7 の用紙は手差しトレイにだけセットできます。

*2 紙厚を設定する必要はありません。

用紙についての注意

⚠注意

- ステープラーの針がついたままの用紙や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

注意事項

- 複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をパラパラとさばいてからセットしてください。
- トレイに少量の用紙が残っている状態で用紙を補給すると、紙が重なって送られることがあります。トレイ内の用紙を一度取り出して、補給する用紙とともに、パラパラとさばいてからセットし直してください。
- カールしている用紙、そりのある用紙は直してからセットしてください。
- トレイにセットできる用紙サイズ、種類については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。
- 使用する環境により、まれに用紙のこすれによる異音が発生することがありますが、本機の故障ではありません。

使用できない用紙

以下のような用紙は使用しないでください。故障や紙づまりの原因になります。

- インクジェット用紙/ジェルジェット用紙、感熱紙、アート紙、 導電性の用紙、ミシンがけ用紙、ふちどり用紙、OHP 用紙、窓付き封筒
- そり、折れ、しわのある用紙、穴があいている用紙、ツルツルすべる用紙、破れのある用紙、すべりにくい用紙、薄くてやわらかい用紙、表面に紙粉が多い用紙

補足

- 一度印刷した用紙の印刷面に、再度印刷しないでください。故障の原因になります。
- 推奨用紙を使用したときでも、用紙の状態によっては、紙づまりが発生することがあります（用紙の保管状態によって、紙づまりなどが発生することもあります）。
- 目の粗いまたは凹凸のある用紙に印刷すると画像がかすれることがあります。
- 本機以外で一度印字された用紙は再使用しないでください。
- 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなることがあります。

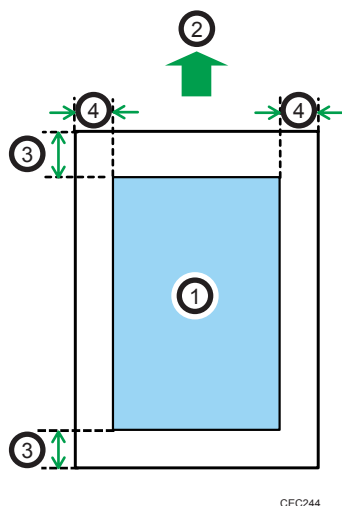
用紙の保管

用紙の保管には、以下の注意を守ってください。

- 直射日光の当たらないところに置いてください。

- 乾燥したところ（湿度 70%以下）に置いてください。
- 平らなところに置いてください。
- 用紙は立てかけないでください。
- 一度開封した用紙は湿気を吸わないようにポリ袋に入れてください。

印刷範囲

本機の推奨印刷範囲は以下の図のとおりです。

1. 印刷範囲
2. 給紙方向
3. 4.2 mm
4. 4.2 mm

補足

- 印刷範囲は、用紙サイズやプリンタードライバーの設定によって異なることがあります。
- プリンタードライバーや印刷条件の設定によっては推奨印刷範囲外に印刷できますが、思いどおりの印刷結果が得られない、または用紙が正しく送られないことがあります。
- 使用している機種が Type 1 または Type 2 で、[最大領域印刷] を有効にしているときは、給紙方向に対して左端、右端、後端のマージンは 0mm になります。最大領域印刷の設定については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
    - Type 1：P.336「プリンター初期設定」
    - Type 2：P.395「印刷設定」

給紙トレイに用紙をセットする

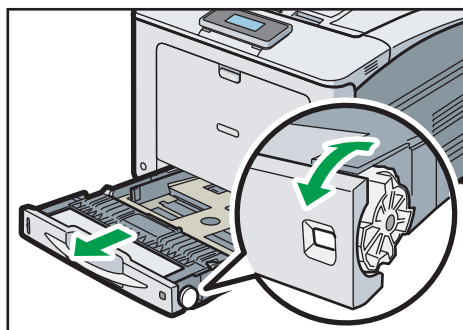
トレイ 1 に用紙をセットする方法を例に説明します。.

⚠注意

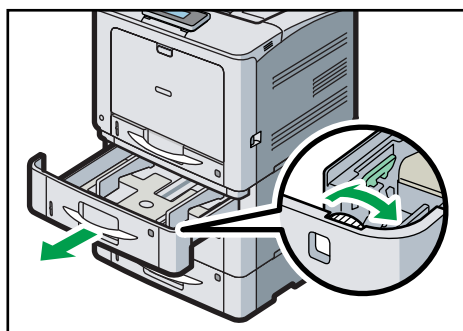
- 用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

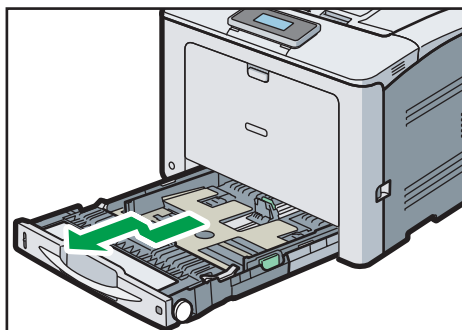
重要

- 使用する用紙に対応した給紙トレイについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。
- セットする用紙のサイズ・用紙の方向に、用紙サイズダイヤルの表示を必ず合わせてください。用紙サイズダイヤルの表示が合っていないと、機械内部を汚したり、思い通りの印刷ができない原因になります。印刷をするときは、プリンタードライバーで用紙サイズと用紙種類を本機の設定に合わせてください。
- 用紙サイズダイヤルにない用紙サイズと印刷方向を使用するときは、用紙サイズダイヤルを「✳」に設定し、操作部で用紙サイズを指定してください。
- セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- 頻繁に紙づまりが発生するときは、用紙の表と裏を逆にしてセットしてください。
- 1 つのトレイに、異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
- 給紙トレイ内の用紙を使い切る前に、用紙を追加してセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- サイドガイドやエンドガイドを無理に動かさないでください。故障の原因になります。
- 用紙をセットした給紙トレイをプリンターにセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドがずれることがあります。
- ラベル紙は 1 枚ずつセットしてください。

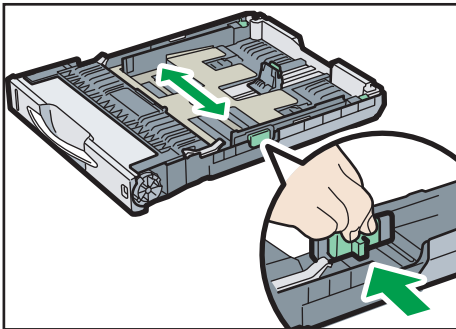
1. **給紙トレイゆっくりと引き出し、セットする用紙サイズと給紙方向に用紙サイズダイヤルを合わせます。**
    - 給紙トレイ 1

CSH053

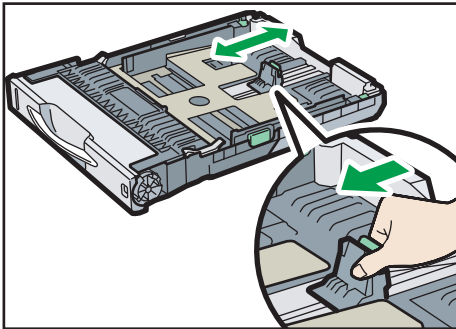
3

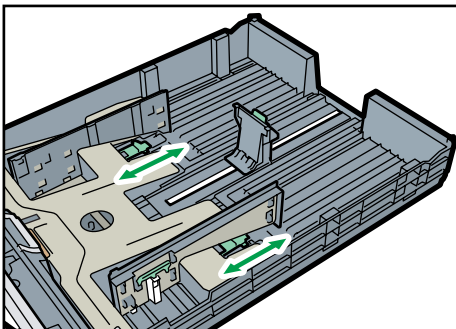
- 給紙トレイ 2〜4

CSJ252

2. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。

CSH054

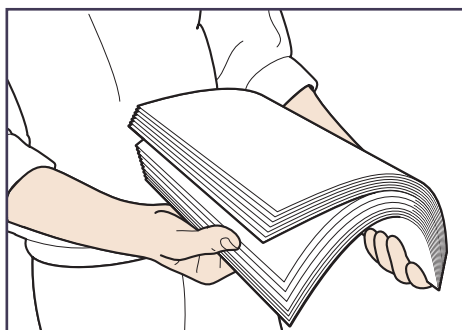
給紙トレイは平らな場所に置いてください。

3. サイドガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。

CSJ119

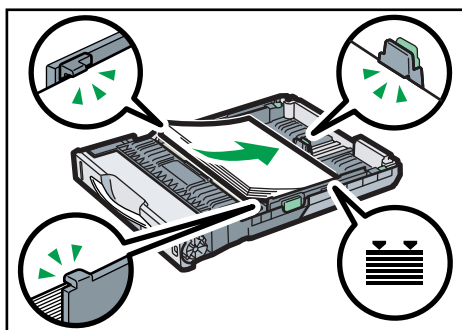
4. エンドガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。

CSJ253

5. 550 枚増設トレイに用紙をセットするときは、トレイの底板にある 2 か所の用紙厚変更スイッチの位置を、セットする用紙の厚さに合わせて変更します。

CSJ168

164g/m^2 より厚い用紙をセットするときは、スイッチを奥側にスライドさせます。
163g/m^2 より薄い用紙をセットするときは、スイッチを手前側にスライドさせます。

6. **用紙をセットする前に、用紙をパラパラとさばきます。**

CBK254

7. **印刷する面を上にして用紙をセットします。**

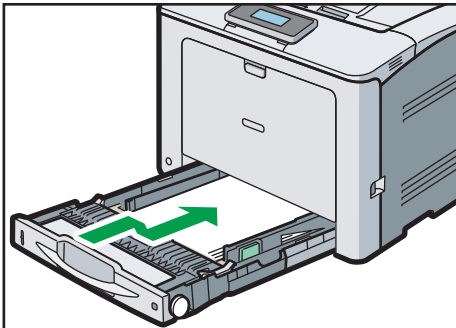
上限表示を超えないようにしてください。

CSJ121

8. **サイドガイドとエンドガイドの位置をセットした用紙に合わせて調整します。**

用紙とサイドガイドやエンドガイドの間にすき間がないことを確認してください。すき間があるときは、サイドガイドやエンドガイドを操作して調整してください。

用紙ガイドを用紙にきつく押し当てすぎると、給紙がうまくいかない原因になるので注意してください。

セットした用紙を給紙トレイの中で大きく動かさないでください。トレイ底板の隙間に用紙端部が入り、紙づまりや用紙折れの原因になります。

9. 前面を持ち上げるようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

CSJ310

紙づまりを防止するため、しっかり奥までトレイを入れてください。

補足

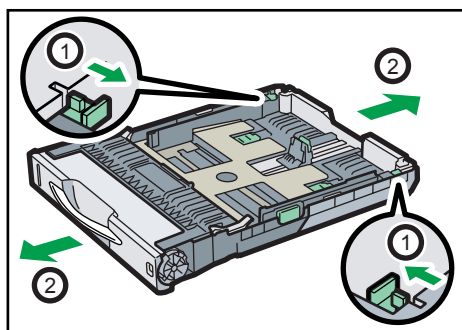
- 給紙トレイ 1 に A4▯より大きい用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。引き出し方法は、P.121「トレイ 1 を延長する」を参照してください。
- はがきは正しい向きでセットしてください。はがきのセットについては、P.129「はがきをセットする」を参照してください。
- トレイ 1 には封筒をセットできます。正しい向きでセットしてください。封筒のセットについては、P.131「封筒をセットする」を参照してください。
- レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、正しい向きでセットしてください。セットについては、P.127「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする」を参照してください。

トレイ 1 を延長する

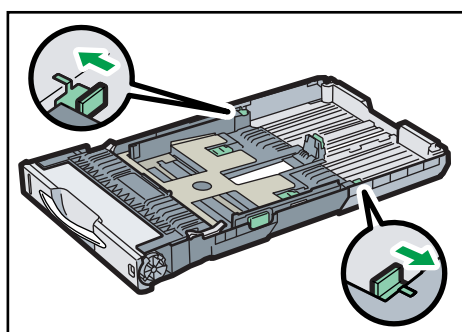
給紙トレイ 1 に A4▯より大きい用紙をセットするときは、延長トレイを引き出して、給紙トレイカバーを取り付けてください。

1. 給紙トレイを完全に引き出します。

給紙トレイの引き出し方法は、P.117「給紙トレイに用紙をセットする」の手順 1 と手順 2 を参照してください。

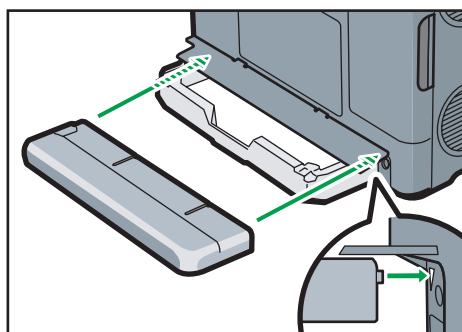
2. **延長トレイの 2 カ所のロックを内側にスライドさせて外し、延長トレイを止まるまで引き出します。**

CSJ122

3. **延長トレイの 2 カ所のロックを外側にスライドさせて元に戻します。**

延長トレイがきちんとロックされていないと、用紙が正しく送られない原因になります。

CSJ123

4. **給紙トレイを差し込んだあと、給紙トレイカバーを取り付けます。背面カバーを水平になるまで持ち上げ、本機の穴に給紙トレイカバー両側の突起を合わせて、給紙トレイカバーを取り付けます。**

CSJ232

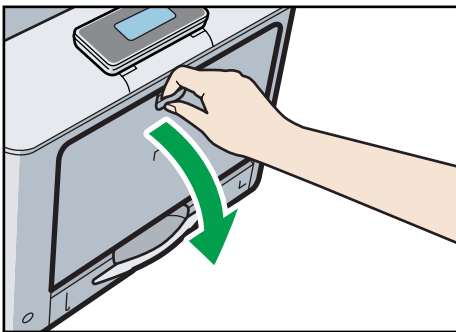
補足

- A4▯以下のサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを使用しないでください。

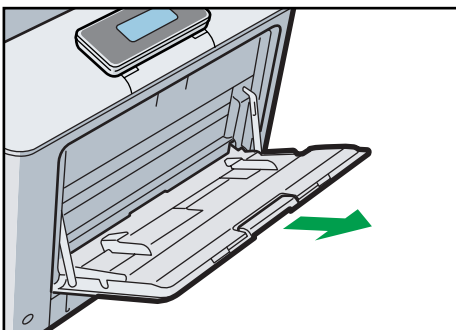
手差しトレイに用紙をセットする

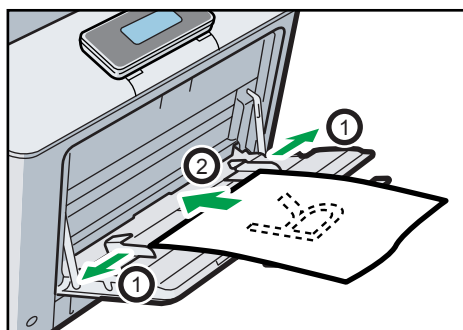
給紙トレイにセットできないサイズや厚さの用紙をセットできます。

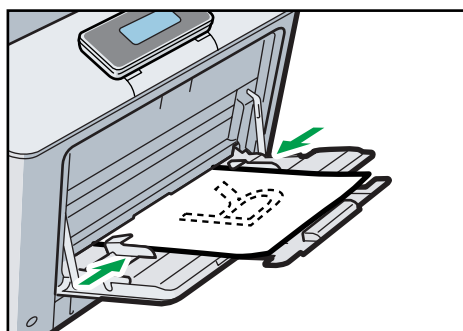
重要

- 使用する用紙に対応した給紙トレイについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。
- 用紙をセットしたら、操作部やドライバーで正しい用紙サイズ・種類と向きを指定してください。正しく印刷されない原因になります。
- セットする用紙の量は、手差しトレイに示された上限表示を超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- 1 つのトレイに、異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
- ラベル紙は 1 枚ずつセットしてください。

1. 手差しトレイ中央のボタンを押し下げながら、手差しトレイを開きます。

CSJ124

A4▯より長い用紙をセットするときは、延長ガイドを引き出します。

CSJ125

2. 用紙ガイドを広げ、印刷する面を下にして、用紙の先端が突き当たるまで差し込みます。

CSJ126

3. 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

CSJ127

補足

- 手差しトレイにセットするときは、できるだけ方向にセットしてください。
- はがきは正しい向きでセットしてください。はがきのセットについては、P.129「はがきをセットする」を参照してください。
- 手差しトレイ には封筒をセットできます。正しい向きでセットしてください。封筒のセットについては、P.131「封筒をセットする」を参照してください。
- レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、正しい向きでセットしてください。セットについては、P.127「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする」を参照してください。

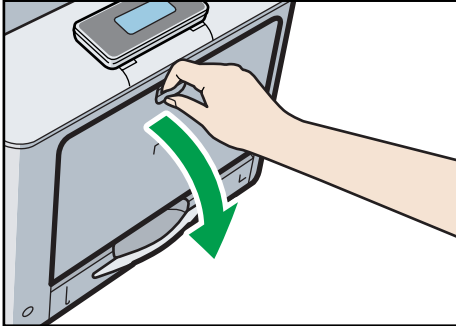
手差しトレイに長尺紙をセットする

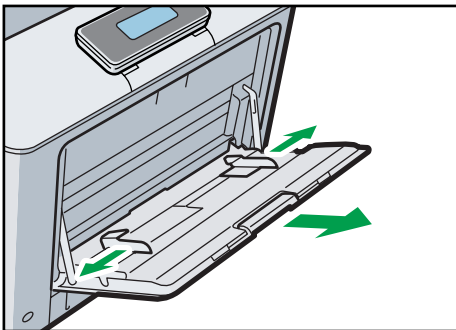
給紙トレイにセットできない長さの用紙（長尺紙）を手差しトレイにセットできます。

重要

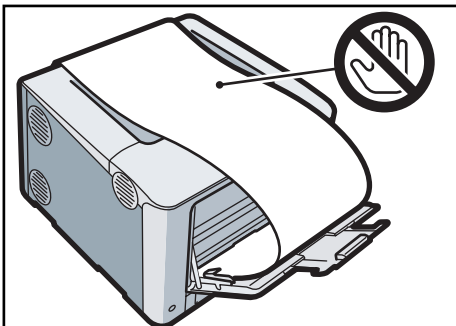
- 長尺紙は 1 枚ずつセットしてください。
- 印刷中の用紙に触れないでください。紙づまりの原因になります。

- 用紙をセットしたら、操作部やドライバーで正しい用紙サイズ・種類と向きを指定してください。正しく印刷されない原因になります。

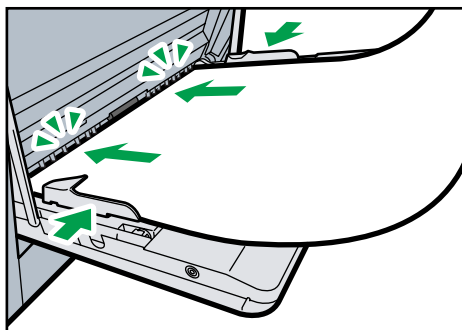
1. 手差しトレイ中央のボタンを押し下げながら、手差しトレイを開きます。

CSJ124

2. 用紙ガイドを広げ、延長ガイドを引き出します。

CSH058

3. 用紙の後端側を排紙トレイにかぶせて、以下の図のようにセットします。

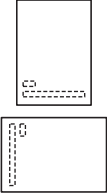
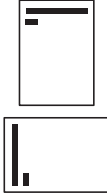
手で支えなくても用紙が落下しないようにセットしてください。

CSH056

排紙トレイにある用紙フェンスは使用しません。

4. 用紙ガイドを用紙の幅に合わせ、用紙の先端が左右ともに突き当たっていることを確認します。

CSH057

天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする

レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、正しく印刷されないことがあります。使用する機能に合わせて、以下のように設定を変更してください。また、用紙を正しくセットしてください。

操作部の設定

- Type 1

  ［プリンター初期設定］の［システム設定］で、［レターヘッド紙使用設定］を［使用する（自動判定）］または［使用する（常時）］に設定してください。［レターヘッド紙使用設定］については、P.340「システム設定」を参照してください。

- Type 2/Type 3

  ［印刷設定］の［一般設定］で［レターヘッド紙使用設定］を［使用する（自動判定）］または［使用する（常時）］に設定してください。［レターヘッド紙使用設定］については、P.395「一般設定」を参照してください。

用紙のセット方向

使用しているアイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	意味
	読み取る面、印刷する面を上にセットしてください。
	読み取る面、印刷する面を下にセットしてください。

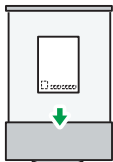
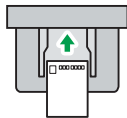
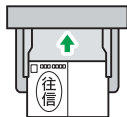
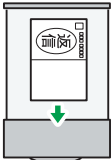
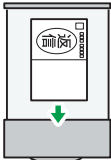
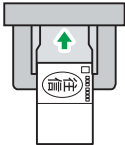
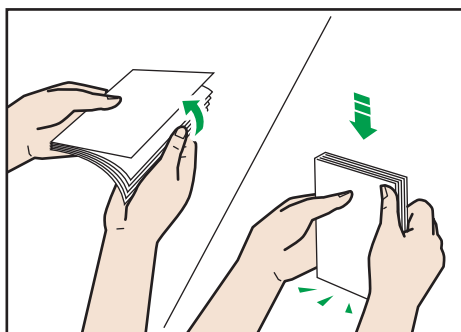
印刷面	トレイ 1～4	手差しトレイ
片面		

印刷面	トレイ 1～4	手差しトレイ
両面		

補足

- ［レターヘッド紙使用設定］を［使用する（自動判定)］に設定したときは、プリンタードライバーで用紙種類を［レターヘッド付き用紙］に設定しているときだけ、レターヘッド紙として印刷します。
- 印刷の途中で片面印刷から両面印刷になったときは、1 部目と 2 部目以降で片面印刷の印刷面が異なることがあります。印刷面を同一にするときは、片面印刷のページと両面印刷のページで給紙するトレイを分けて、片面印刷を給紙するトレイは両面印刷不可の設定をしてください。
- 両面印刷の方法は、P.147「用紙の両面に印刷する」を参照してください。

はがきをセットする

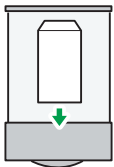
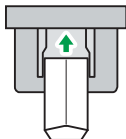
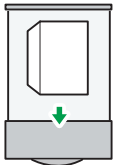
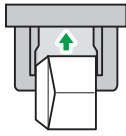
はがきをセットするときの推奨条件について説明します。

重要

- 市販の郵便はがきがセットできます。
- 往復はがきは折り目のないものを使用してください。
- 用紙がカールしていると、紙づまりの原因になったり、印刷品質に影響が出たりします。トレイ上で上向きの反り 2mm 以内、下向きの反り 0mm になるように直してからセットしてください。
- はがきをセットするときは、パラパラとさばいてから端をそろえてください。

CJV001

はがきの種類やセットする向きによって、トレイにセットする方法が異なります。はがきに印刷するときは、必ずはがきのセット方向を確認してください。

はがきの種類と向き	給紙トレイ 1	給紙トレイ 2〜4	手差しトレイ
郵便はがき	• はがきの上辺：手前側 • 印刷する面：上	-	• はがきの上辺：後ろ側 • 印刷する面：下
往復はがき	• はがきの上辺：手前側 • 印刷する面：上	-	• はがきの上辺：後ろ側 • 印刷する面：下

はがきの種類と向き	給紙トレイ 1	給紙トレイ 2〜4	手差しトレイ
往復はがき	• はがきの下辺：左側 • 印刷する面：上	• はがきの下辺：左側 • 印刷する面：上	• はがきの下辺：左側 • 印刷する面：下

補足

- はがきに印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。
- 郵便はがきの厚紙の種類は［厚紙 2］をお勧めします。使用するはがきの用紙厚さに合わせて設定を変更してください。それぞれの設定の用紙厚さについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

封筒をセットする

封筒をセットするときの推奨条件について説明します。

重要

- 窓付き封筒は使用しないでください。
- のり付き封筒は、のりで封筒同士が貼りつくことがあります。さばいてからセットしてください。封筒同士が貼りつくときは、1 枚ずつセットしてください。
- 封筒のフラップ（ふた）の長さや形状によっては紙づまりが起こることがあります。
- フラップを開いた状態でセットしたときは、不定形サイズを指定してください。
- 購入時よりフラップ（ふた）が閉じられている封筒だけ、フラップを閉じた状態でセットし、定形サイズを指定して印刷できます。
- 封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒がそっていたり曲がっているときは、鉛筆や定規で上向きの反り2mm 以内、下向きの反り 0mm になるように直してからセットしてください。

封筒の形やセットする向きによって、トレイにセットする方法が異なります。封筒に印刷するときは、必ず封筒のセット方向を確認してください。

封筒の種類と向き	給紙トレイ 1	手差しトレイ
角形/長形封筒	• フラップ：開く • 封筒の下辺：手前側 • 印刷する面：上	• フラップ：開く • 封筒の下辺：後ろ側 • 印刷する面：下
洋形/洋長形封筒	• フラップ：開く • 封筒の下辺：右側 • 印刷する面：上	• フラップ：開く • 封筒の下辺：右側 • 印刷する面：下

封筒をセットしたあと、プリンタードライバーと操作部の両方で、用紙の種類を「封筒」に設定してください。また、用紙の厚さを設定してください。詳しくは、P.177「はがき、封筒に印刷する」を参照してください。

3

使用できる封筒

使用できる封筒については、リコーホームページ（http://www.ricoh.co.jp）を確認するか、販売店・サービス実施店に問い合わせてください。

トレイによってセットできる封筒サイズが異なります。詳しくは、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

補足

- 一度にセットする封筒は、同じサイズ、同じ用紙種類の封筒にしてください。
- 封筒には両面印刷できません。
- 出力品質を保つため、先端・後端から 15mm、左右端から 10mm 以上が余白となるようにしてください。
- 周囲と異なる厚みの部分があると、均一に印刷できないことがあります。2、3 枚通紙して、印刷結果を確認してください。
- 封筒に印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。
- 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。
- 湿気を吸った封筒は使用しないでください。
- 高温になるところや湿気の多いところで印刷すると、うまく印刷されなかったり封筒にしわができたりすることがあります。
- 推奨封筒または推奨封筒以外でも、環境によってはしわが発生するなど、正しく印刷されないことがあります。
- 封筒の長辺の端に細かいしわができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。また黒くベタ刷りするときに、封筒の用紙が重なりあっている部分にすじが入ることがあります。
- 洋形/洋長形封筒でしわが発生するときは、封筒のセット方向の表で「角形/長形封筒」と同じ向きに封筒をセットしてください。

4. 印刷する

事前に設定すると便利な機能、印刷方法などについて説明します。プリンタードライバーから印刷する方法は、Windows 7 の RPCS プリンタードライバーおよび Mac OS X 10.6 の PostScript 3 プリンタードライバーを例に説明しています。

印刷するための準備

本機を使用する前に設定しておくと便利な機能について説明します。

優先する用紙設定を選択する

本機が印刷データを受信したときに、プリンタードライバーやコマンドの設定を優先させるか、操作部の設定を優先させるかトレイごとに指定できます。

［ドライバー/コマンド優先］を選択したときは、本機に設定されている用紙設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を適用して印刷します。

［機器側設定優先］を選択したときは、本機に設定されている用紙設定で印刷します。プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と本機の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。

対象機種： Type 1

1. **［初期設定］キーを押し、［システム設定］のメニュー画面を表示します。**

   ［プリンター初期設定］ ▶ ［システム設定］

2. **優先する設定を選択します。**

   ［トレイ設定選択］ ▶ 設定する給紙トレイを選択 ▶ ［ドライバー/コマンド優先］または［機器側設定優先］を選択 ▶ ［設定］

対象機種： Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. **［印刷設定］ ▶ ［OK］**
2. **［一般設定］ ▶ ［OK］**
3. **［トレイ設定選択］ ▶ ［OK］**
4. **設定する給紙トレイを選択 ▶ ［OK］**
5. **［ドライバー/コマンド優先］または［機器側設定優先］を選択 ▶ ［OK］**

補足

- ［手差しトレイ］を選択したときは以下の項目も設定できます。

- [機器優先・全紙種許可]、[全サイズ・種類許可]、[全不定形サイズ・種類許可]（対象機種：Type 1）
- [機器側設定優先（全紙種許可)]、[全用紙サイズ・用紙種類許可]、[全不定形サイズ・用紙種類許可]（対象機種：Type 2/Type 3）
- [機器優先・全紙種許可] および [機器側設定優先（全紙種許可)] については、P.135「用紙設定の不一致によるエラーを防止する」を参照してください。
- 設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
  - Type 1：P.340「システム設定」
  - Type 2/Type 3：P.395「一般設定」

4

文書の放置を防止する

対象機種：Type 1

印刷をともなう文書を送信したときに、印刷をしないで本機に強制的に自動蓄積するか印刷を取り消すかを設定します。本機に自動蓄積したときは、文書の種類にかかわらず操作部から印刷するので、文書の放置を防止できます。

印刷をともなう文書には、通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書があります。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細については、P.180「文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

1. [初期設定] キーを押し、[システム設定] のメニュー画面を表示します。

[プリンター初期設定] ▶ [システム設定]

2. ジョブの処理方法を設定します。

[印刷をともなうジョブの制限] ▶ [自動蓄積] または [取消] を選択 ▶ [設定]

補足

- 設定項目については、P.340「システム設定」を参照してください。
- [自動蓄積] を選択したときは、指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。
  - プリンタードライバーで [通常印刷] を指定した文書は、保留印刷文書として蓄積されます。
  - プリンタードライバーで [試し印刷] を指定した文書は、確認用の 1 ページ目も含めて試し印刷文書として蓄積されます。
  - プリンタードライバーで [保存して印刷] を指定した文書は、保存文書として蓄積されます。
- 本機に自動蓄積された文書の印刷方法は、P.187「蓄積文書を印刷する」を参照してください。

用紙設定の不一致によるエラーを防止する

プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズと用紙種類の両方が本機の用紙設定と一致しないときは、エラーが発生し、印刷できません。用紙種類の指定が不要なときは、本機の操作部で手差しトレイを［機器優先・全紙種許可］（Type 1）または［機器側設定優先（全紙種許可）］（Type 2/Type 3）に設定すると、用紙サイズだけ一致していれば、用紙種類にかかわらず印刷できます。

この機能を使用するには、以下の設定が必要です。

- 手差しトレイを自動用紙選択の対象に設定します。
  - Type 1

    ［システム初期設定］の［用紙設定］で、手差しトレイの「自動用紙選択の対象」を［対象］に設定します。詳細については、P.308「用紙設定」を参照してください。
  - Type 2/Type 3

    ［用紙設定］の［自動トレイ選択］で、手差しトレイを［対象にする］に設定します。詳細については、P.374「用紙設定」を参照してください。
- プリンタードライバーで給紙トレイを［自動トレイ選択］に指定します。

対象機種： Type 1

1.［初期設定］キーを押し、［システム設定］のメニュー画面を表示します。

［プリンター初期設定］ ▶ ［システム設定］

2. 用紙種類の指定が不要となるように設定します。

［トレイ設定選択］ ▶ ［手差しトレイ］ ▶ ［機器優先・全紙種許可］ ▶ ［設定］

対象機種： Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1.［印刷設定］ ▶ ［OK］

2.［一般設定］ ▶ ［OK］

3.［トレイ設定選択］ ▶ ［OK］

4.［手差しトレイ］ ▶ ［OK］

5.［機器側設定優先（全紙種許可）］ ▶ ［OK］

補足

- 設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
  - Type 1：P.340「システム設定」
  - Type 2/Type 3：P.395「一般設定」

4

- ［機器優先・全紙種許可］（Type 1）または［機器側設定優先（全紙種許可）］（Type 2/ Type 3）を設定できるのは手差しトレイだけです。
- 使用している機種が Type 1 のときに［手差しトレイ用紙確認］を［表示する］に設定すると、手差しトレイから給紙するときに、用紙のサイズ・種類・セット方向が表示されるので、印刷設定を確認してから印刷できます。

エラー発生時の動作を指定する

印刷設定に関するエラーが発生したときの本機の動作を指定します。

用紙設定が一致しないときに強制印刷する

プリンタードライバーから指示した給紙トレイに、条件の合う用紙サイズや用紙種類がセットされていないとき、用紙がセットされている給紙トレイから強制印刷し、本機をエラーから開放します。強制印刷できない機能を指定して印刷したときは、印刷を中止します。

対象機種： Type 1

1. **［初期設定］キーを押し、［システム設定］のメニュー画面を表示します。**

 ［プリンター初期設定］ ▶ ［システム設定］

2. **エラースキップを有効にします。**

 ［エラースキップ］ ▶ 強制印刷または印刷を中止するまでの時間を指定 ▶ ［設定］

対象機種： Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. **［システム設定］ ▶ ［OK］**
2. **［エラースキップ］ ▶ ［OK］**
3. **強制印刷または印刷を中止するまでの時間を指定 ▶ ［OK］**

補足

- 設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
  - Type 1：P.340「システム設定」
  - Type 2/Type 3：P.386「システム設定」

エラーが発生した文書の印刷を自動的にキャンセルする

印刷エラーが発生したときに、印刷エラーが発生したジョブと、エラーが発生する前に本機が受信していたジョブの印刷を中止するかしないかを設定します。

重要

- 印刷に使用するプリンター言語が RPCS、PCL、PostScript 3、PDF のとき、この機能は有効です。
- 以下の条件のとき、この機能は無効です。
    - RHPP、RGate を使用して印刷したとき
    - スプール印刷が有効に設定されているとき
    - USB 接続など、ジョブの区切りが検知できないプロトコルを使用して印刷したとき
    - メディアプリント（Type 1）、蓄積文書印刷、レポート印刷、拡張機能からの印刷でエラーが発生したとき

対象機種：Type 1

1. ［初期設定］キーを押し、［システム設定］のメニュー画面を表示します。

［プリンター初期設定］ ▶ ［システム設定］

2. エラーが発生した文書の印刷を自動的にキャンセルする設定を有効にします。

［エラー発生時のジョブ自動取消］ ▶ ［エラースキップ］ ▶ 強制印刷または印刷を中止するまでの時間を指定 ▶ ［設定］

対象機種：Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［システム設定］ ▶ ［OK］
2. ［エラー発生時のジョブ自動取消］ ▶ ［OK］
3. ［する］ ▶ ［OK］

補足

- 設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
    - Type 1：P.340「システム設定」
    - Type 2：P.386「システム設定」

エラーで印刷が中止された文書を蓄積する

対象機種：Type 1

エラーで印刷が中止された文書を自動的に本機に蓄積します。エラーが発生したときに、そのまま次の文書の印刷を継続できます。通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書でこの機能を使用できます。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細については、P.180「文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

本機に蓄積された文書は、操作部を使用して印刷を再開できます。詳細は、P.193「エラーで蓄積された文書を印刷する」を参照してください。

重要

- 以下のような印刷設定に関するエラーで印刷が中止されたときに、文書が自動的に蓄積されます。
  - 印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類の用紙がなくなったとき
  - 印刷時に指定した給紙トレイが本機にセットされていないとき
  - プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ、用紙種類が本機のどの給紙トレイとも一致しないとき
- 総ページ数が 1,000 ページまでの文書を 200 件まで自動で蓄積できます。

1. [初期設定] キーを押し、[システム設定] のメニュー画面を表示します。

[プリンター初期設定] ▶ [システム設定]

2. エラーで印刷が中止された文書を蓄積する設定を有効にします。

[エラージョブ蓄積・追い越し] ▶ [する] ▶ 本機がエラーを検知するページ数を指定 ▶ [設定]

補足

- 設定項目については、P.386「システム設定」を参照してください。
- 指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。
  - プリンタードライバーで [通常印刷] を指定した文書は、保留印刷文書として蓄積されます。
  - プリンタードライバーで [試し印刷] を指定した文書は、確認用の 1 ページ目も含めて試し印刷文書として蓄積されます。
  - プリンタードライバーで [保存して印刷] を指定した文書は、保存文書として蓄積されます。
- 本機に自動蓄積された文書の印刷方法は、P.187「蓄積文書を印刷する」を参照してください。

スプール印刷を設定する

対象機種：Type 1 Type 2

スプール印刷とは、パソコンから転送される印刷ジョブを一時的に本機に蓄積して印刷する機能です。スプール印刷をすると、大容量のデータのとき、パソコンが早く印刷処理から開放されます。

重要

- 使用している機種が Type 2 のときはオプションの拡張 HDD が必要です。
- スプール印刷中は本機のハードディスクにアクセスするので、データインランプが点滅します。スプール印刷中に本機やパソコンの電源を切ると、ハードディスクが破損することがあります。スプール印刷中は本機やパソコンの電源を切らないでください。
- diprint、LPR、IPP、ftp、sftp、SMB（TCP/IP（IPv4））、WSD（Printer）以外のプロトコルで受信したデータは、スプール印刷できません。

対象機種：Type 1

1. ［初期設定］キーを押し、［システム設定］のメニュー画面を表示します。

［プリンター初期設定］ ▶ ［システム設定］

2. スプール印刷を有効にします。

［スプール印刷］ ▶ ［する］ ▶ ［設定］

対象機種：Type 2

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［システム設定］ ▶ ［OK］
2. ［スプール印刷］ ▶ ［OK］
3. ［する］ ▶ ［OK］

補足

- 使用している機種が Type 2 のとき、蓄積されたスプールジョブの閲覧や削除には Web Image Monitor を使用します。削除するには、管理者モードで Web Image Monitor にログインしてください。詳しくは、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

スプール中のジョブ一覧を閲覧・削除する

対象機種：Type 1

スプール印刷が設定されているときは、スプール中のジョブ一覧を本機の操作部の画面に表示できます。

1. 操作部の［ホーム］キーを押し、［プリンター］アイコンを押します。
2. ジョブの一覧を表示します。

［その他の機能］ ▶ ［ジョブスプール一覧］

3. スプールされているジョブの一覧が表示されます。

スプール中のジョブを削除するときは、削除する文書を押し、[消去]を押します。

基本的な印刷のしかた

おもなプリンタードライバーには、RPCS プリンタードライバー、PCL プリンタードライバー、および PostScript 3 プリンタードライバーがあります。

RPCS プリンタードライバーは本機に標準で対応しています。PCL プリンタードライバー、および PostScript 3 プリンタードライバーは、使用している機種が Type 1 または Type 2 のときに使用できます。

Windows

- PCL プリンタードライバーを使用するには、オプションのマルチエミュレーションカードまたは PCL カードが必要です。PCL プリンタードライバーの使用方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- PostScript 3 プリンタードライバーを使用するには、オプションの PS3 カードが必要です。PostScript 3 プリンタードライバーの使用方法は、特に説明がないかぎり、RPCS プリンタードライバーと同じです。

Mac OS X

- Mac OS X で PostScript 3 プリンタードライバーを使用するには、オプションの PS3 カードが必要です。

Windows で印刷する

重要

- 本機がスリープモードのときに USB 2.0 経由で印刷すると、印刷できていても、印刷失敗のメッセージがパソコン上に表示されることがあります。正しく印刷されているかどうかを確認してください。

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。

印刷設定画面の開きかたについては、P.106「アプリケーションから印刷設定画面を開く」を参照してください。

2.「かんたん設定」タブが選択されていることを確認します。

4

3. 「かんたん設定一覧：」の［標準設定］をクリックし、以下の項目を設定します。

	• 印刷方法： ［通常印刷］を選択します。 • 原稿サイズ： 印刷する文書のサイズを選択します。 • 原稿方向： 文書の印刷方向を選択します。 • カラー／白黒： カラーで印刷するときは［カラー］を選択します。 モノクロで印刷するときは、［白黒］を選択します。 • 給紙トレイ： 使用する給紙トレイを選択します。 • 用紙種類： 給紙トレイにセットされている用紙の種類を選択します。 • 部数： 印刷部数を入力します。

- 「給紙トレイ：」で［自動トレイ選択］を選択したときは、用紙サイズと用紙種類に応じて給紙トレイが自動で選択されます。
- 設定した内容は、［かんたん設定に登録...］ボタンから、かんたん設定として保存できます。

4. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。

プリンタードライバーの［項目別設定］タブから便利な印刷機能を設定できます。詳細は、P.146「便利な印刷機能の紹介」を参照してください。

5. ［OK］をクリックします。

6. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- 「カラー／白黒：」で［カラー］を選択しているときは、誰にでも見やすく配慮した色で印刷できます。この機能を使用するには、［項目別設定］タブの「メニュー項目：」で［印刷品質］メニューをクリックし、「カラーユニバーサルデザイン対応印刷」で［する］を選択します。操作部で［グレー印刷方式（グレー認識広め）］を［黒１色］に設定しているとき、この機能は使用できません。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
    - Type 1：P.340「システム設定」
    - Type 2/Type 3：P.395「印刷設定」

モノクロ印刷の注意

アプリケーションによっては、文字以外のグレースケールや無彩色部分がカラーイメージとして認識され、CMYK4 色で印刷/課金されることがあります。確実に白黒で印刷するには、プリンタードライバーの［項目別設定］タブにある「メニュー項目：」の［印刷品質］メニューで、「画像設定：」プルダウンメニューから［ユーザー設定］を選択し、「グレー印刷方式：」プルダウンメニューから［黒 1 色］を選択してください。詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Mac OS X で印刷する

対象機種：Type1 Type2

Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーで印刷する方法を説明します。

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーのプリント画面を開きます。

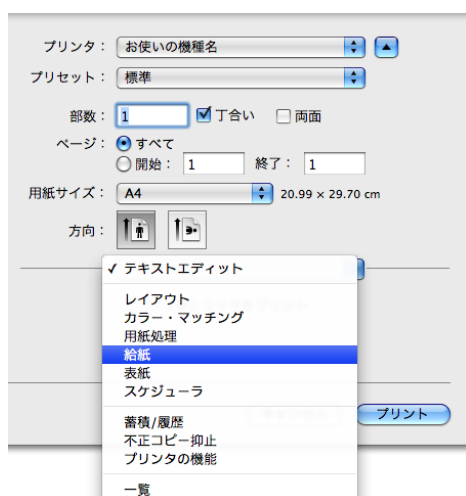
プリント画面の開きかたについては、P.108「アプリケーションからプリント画面を開く」を参照してください。

2. 以下の項目を設定します。

- 用紙サイズ：
  印刷する文書のサイズを選択します。
- 方向：
  文書の印刷方向を選択します。
- 部数：
  印刷部数を入力します。
- 丁合い
  ソートするかどうかを設定します。使用する OS のバージョンによっては、ポップアップメニューから［用紙処理］または［印刷部数と印刷ページ］を選択し、［丁合い］チェックボックスにチェックを入れます。ソートについては、P.152「部単位で印刷する（ソート）」を参照してください。

3. ポップアップメニューから［給紙］を選択します。

使用する Mac OS X のバージョンによっては、［給紙方法］と表示されます。

4

4. 用紙がセットされている給紙トレイを選択します。

［自動選択］を選択したときは、用紙サイズと用紙種類に応じて給紙トレイが自動的に選択されます。プリンタードライバーで指定した用紙サイズが機器にセットされていないときは、本体の設定にしたがって印刷されます。

5. ポップアップメニューから［プリンタの機能］を選択します。

6.「機能セット：」を切り替えて、以下の項目を設定します。

- カラー選択：
  印刷の色を選択します。
  カラーで印刷するときは［カラー］を選択します。
  モノクロで印刷するときは、［白黒］を選択します。
- 用紙の種類：
  給紙トレイにセットされている用紙の種類を選択します。

7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。

プリンタードライバーのメニューから便利な印刷機能を設定できます。詳細は、P.146「便利な印刷機能の紹介」を参照してください。

8. 印刷の指示をします。

- ソートするときは、アプリケーション側のソートの設定を解除してください。

便利な印刷機能の紹介

表紙用の用紙への印刷、合紙の挿入、ソートなど、プリンタードライバーで設定できる便利な印刷機能について説明します。

便利な印刷機能の一覧表

便利な印刷機能	対象機種	対応プリンタードライバーの種類
P.147「用紙の両面に印刷する」	Type 1/Type 2/Type 3	RPCS、PostScript 3、PCL6
P.148「複数のページを集約して印刷する」	Type 1/Type 2/Type 3	RPCS、PostScript 3、PCL6
P.149「1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）」	Type 1/Type 2/Type 3	RPCS、PCL6
P.150「製本印刷する」	Type 1/Type 2/Type 3	RPCS、Windows 用 PostScript 3、PCL6
P.152「部単位で印刷する（ソート）」	ソート： Type 1/Type 2/Type 3 回転ソート： Type 1/Type 2	RPCS、PostScript 3、PCL6
P.153「トナーを節約して印刷する」	Type 1/Type 2/Type 3	RPCS、PostScript 3、PCL6
P.154「原稿に文字やイメージをスタンプする」	Type 1/Type 2/Type 3	RPCS、Windows 用 PostScript 3、PCL6
P.155「複製できない文書を印刷する」	Type 1/Type 2/Type 3	RPCS、PostScript 3、PCL6
P.157「表紙に印刷する」	Type 1/Type 2/Type 3	RPCS、PCL6
P.158「合紙を挿入する」	Type 1/Type 2/Type 3	RPCS、PCL6
P.159「分類コードを使用する」	Type 1/Type 2/Type 3	RPCS、PCL6
P.160「登録したフォームで印刷する（イメージオーバーレイ）」	Type 1/Type 2	RPCS、PCL6
P.162「印刷終了後に本機のエミュレーションを元に戻す」	Type 1/Type 2	RPCS
P.162「バナーページを印刷する」	Type 1/Type 2	PostScript 3、PCL 6

補足

- RPCS プリンタードライバー、Windows 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.164「Windows で便利な印刷機能を使用する」を参照してください。

- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.168「Mac OS X で便利な印刷機能を使用する」を参照してください。
- PCL6 プリンタードライバーの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- Windows 用のプリンタードライバーで設定できるその他の項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

用紙の両面に印刷する

プリンタードライバーで用紙の両面に印刷する方法を説明します。

両面印刷の種類

用紙の一辺でとじる形態で、用紙の開きかたを設定できます。

原稿方向	左開き	上開き	右開き
タテ			
ヨコ			

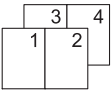
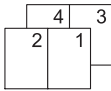
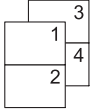
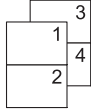
両面印刷の注意

- 両面印刷を設定できる用紙種類は以下のとおりです。

  普通紙（66 から 90 g/m2）、再生紙、特殊紙 1、特殊紙 2、中厚口（91 から 128 g/m2）、厚紙 1（129 から 163 g/m2）、薄紙（56 から 65 g/m2）、色紙、レターヘッド付き用紙、印刷済み紙
- 1 つの文書内に原稿サイズの異なるページがあるときは、そのページの前で改ページすることがあります。
- A4▯よりも短い用紙を使用してトレイ 4 から両面印刷すると、同じ用紙サイズでトレイ 1 ～ 3 から両面印刷するときよりも印刷速度が遅くなります。
- PostScript 3 プリンタードライバーでは、右開きは設定できません。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.165「編集」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.168「レイアウト」を参照してください。

複数のページを集約して印刷する

プリンタードライバーで集約印刷する方法を説明します。集約を設定すると、複数のページを縮小して 1 ページにまとめて印刷ができます。

集約印刷の種類

集約印刷で 1 ページにまとめることができるのは、2 ページ、4 ページ、9 ページ、16 ページです。4 ページ以上を 1 ページにまとめるときは、4 つのパターンからページの並べかたを選択できます。

ここでは 2 ページを 1 ページにまとめるときと、4 ページを 1 ページにまとめるときを例に説明します。

- 2 ページを 1 ページに集約

原稿方向	左から右／上から下	右から左／上から下
タテ	3 4 1 2	4 3 2 1
ヨコ	3 1 4 2	3 1 4 2

- 4 ページを 1 ページに集約

左上→右上→左下→右下	左上→左下→右上→右下	右上→左上→右下→左下	右上→右下→左上→左下
1 2 3 4	1 3 2 4	2 1 4 3	3 1 4 2

集約印刷の注意

- 1 つの文書内に原稿方向の異なるページがあるときは、そのページの前で改ページします。
- 同じ機能を設定できるアプリケーションから印刷するときは、アプリケーション側では機能を設定しないでください。アプリケーション側の設定を有効にして印刷すると、意図しない印刷結果になることがあります。

補足

- 集約印刷と製本印刷を組み合わせて使用するときは、P.150「製本印刷する」を参照してください。
- PostScript 3 プリンタードライバーでは、6 ページを 1 ページにまとめることもできます。

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.165「編集」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.168「レイアウト」を参照してください。

1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）

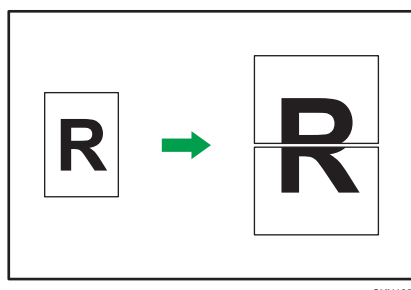
1 ページを複数枚の用紙に分けて拡大印刷し、それらを貼り合わせることで、ポスターのような大判の印刷物を作れます。用紙の端から 15 mm の部分がのりしろとして印刷されます。印刷された用紙を貼り合わせるときは、端から 15 mm を重ねると、継ぎ目が目立たなくなります。

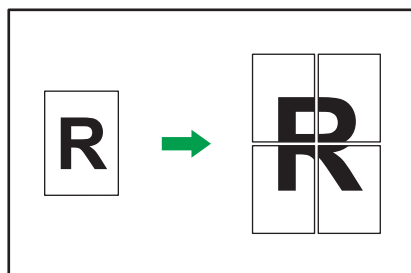
この機能は RPCS プリンタードライバーで使用できます。

拡大連写の種類

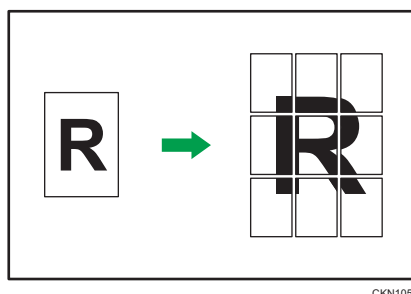
拡大連写で設定できる用紙の分けかたは以下のとおりです。ここでは原稿の向きがのときを例に説明します。

- 2 枚に分けて印刷

  上下 2 枚に分割します。

- 4 枚に分けて印刷

  縦 2 枚、横 2 枚に分割します。

- 9 枚に分けて印刷

  縦 3 枚、横 3 枚に分割します。

CKN105

集約印刷の注意

- 拡大率は、指定した用紙のサイズと分割枚数に応じて決まります。
- 拡大連写で印刷するとき、画像によっては用紙の裏汚れなどの不具合が発生することがあります。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.165「編集」を参照してください。

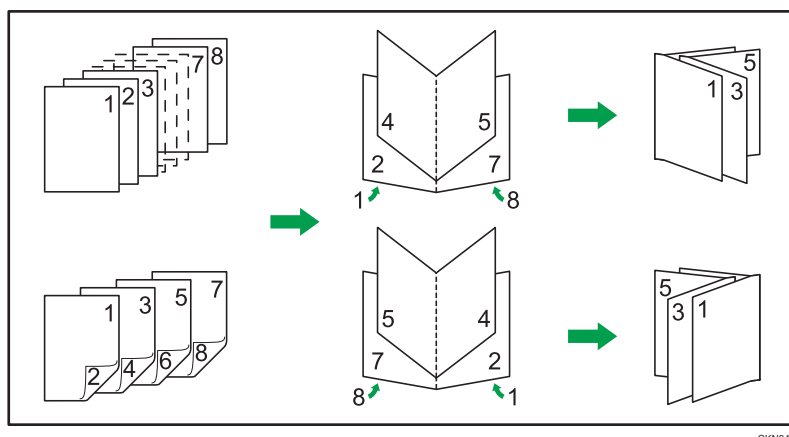
製本印刷する

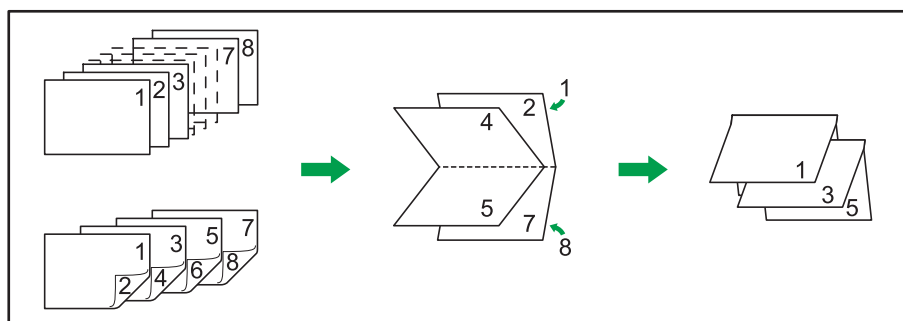
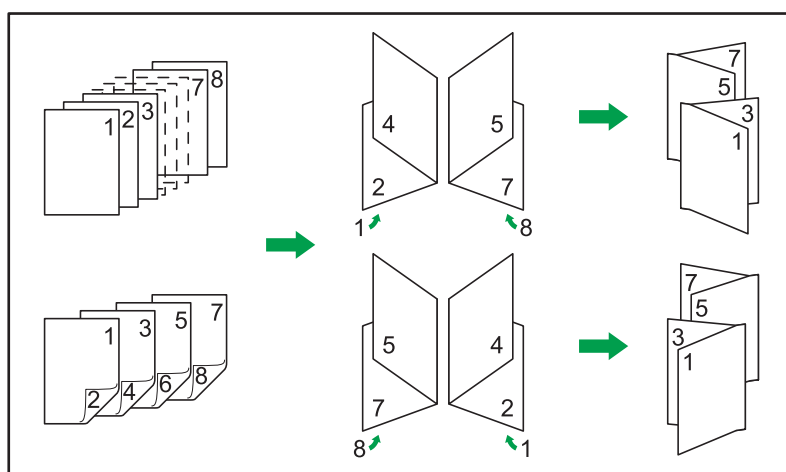
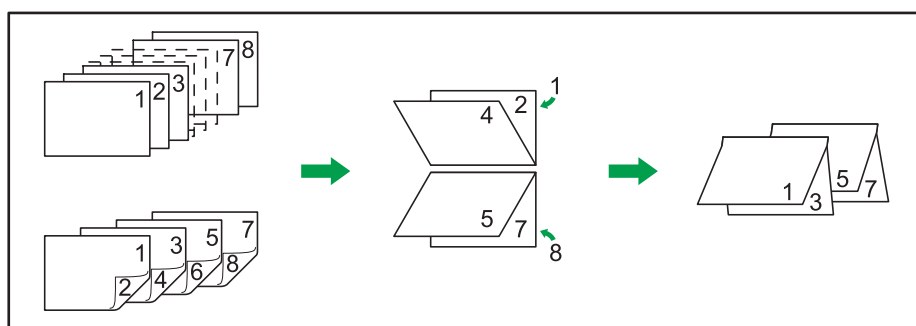
プリンタードライバーで用紙の中央でとじて印刷する方法を説明します。

この機能は RPCS プリンタードライバー、Windows 用の PostScript 3 プリンタードライバーで使用できます。

製本印刷の種類

用紙の中央でとじる形態で、用紙の開きかたを設定できます。

- 週刊誌（左開き）/週刊誌（右開き）

CKN049

- 週刊誌（上開き）

- ミニ本（左開き）/ミニ本（右開き）

- ミニ本（上開き）

製本印刷の注意

- 製本印刷を設定できる用紙種類は以下のとおりです。

  普通紙（66 から 90 g/m2）、再生紙、特殊紙 1、特殊紙 2、中厚口（91 から 128 g/m2）、厚紙 1（129 から 163 g/m2）、薄紙（56 から 65 g/m2）、色紙、レターヘッド付き用紙、印刷済み紙

- 原稿方向が［タテ］のときに、左開きと右開きを指定できます。

- 原稿方向が［ヨコ］のときに、上開きを指定できます。
- PostScript 3 プリンタードライバーを使用するときは、原稿方向が［タテ］の場合に、週刊誌（下開き）を指定できます。
- 1 つの文書内に原稿サイズの異なるページがあるとき、そのページの前で改ページすることがあります。

補足

- 製本印刷と集約印刷を組み合わせて使用するときは、P.148「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。
- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.165「編集」を参照してください。

部単位で印刷する（ソート）

会議資料など複数部数の印刷をするとき、ページ順に仕分けして印刷できます。パソコンから送信されてきたデータをメモリーに読み込み、ソートします。

重要

- **拡張 HDD を装着しているときは、最大 1,000 ページまでの文書を 999 部までソートできます。拡張 HDD を装着していないときは、カラー 50 ページまたはモノクロ 200 ページまでの文書を 999 部までソートできます。**
- **エラーが発生した印刷ジョブを［エラースキップ］により強制印刷したときは、ソートが解除されます。［エラースキップ］については、P.136「用紙設定が一致しないときに強制印刷する」を参照してください。**
- **使用している機種が Type 2 のときは、回転ソートにはオプションの SDRAM モジュールが必要です。**
- **使用している機種が Type 3 のときは、回転ソートは使用できません。**

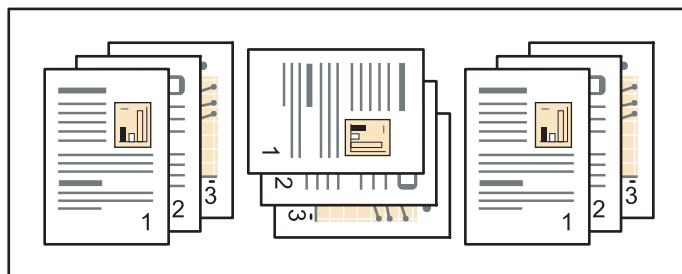
ソートの種類

- ソート

  1 部ずつそろえて印刷します。

- 回転ソート

1 部ずつ交互に向きを変えて印刷します。

同じ用紙サイズで、同じ用紙種の用紙を異なる方向（）にセットした 2 段の給紙トレイが必要です。

ソートの注意

以下の条件で回転ソートが解除されます。

- 用紙サイズが混在しているとき
- 給紙トレイが指定されたとき
- おもて表紙が指定されたとき
- 合紙が指定されたとき
- 不定形サイズが指定されたとき

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.166「仕上げ」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.143「Mac OS X で印刷する」を参照してください。
- プリンタードライバーでソートまたは回転の設定をするときに、[アプリケーションのソート] を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。[プリンターのソート] を指定して印刷してください。

トナーを節約して印刷する

指定した色だけで印刷する

カラー印刷に使用されるシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 色から、指定した色だけで印刷ができます。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.166「印刷品質」を参照してください。

- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.172「プリンタの機能」を参照してください。

トナーセーブ機能を使用する

トナーセーブ機能を使用すると、通常よりも薄い色で印刷されるため、トナーを節約できます。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.166「印刷品質」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.172「プリンタの機能」を参照してください。

4

原稿に文字やイメージをスタンプする

プリンタードライバーでスタンプを設定すると、作成した文書に文字やイメージデータを重ねて印刷できます。

スタンプには、文字データを使用する「スタンプ印字」と、ビットマップファイル（.bmp）を使用する「イメージスタンプ」があります。スタンプ印字とイメージスタンプは同時に指定できません。

スタンプの種類

プリンタードライバーにはいくつかのスタンプ印字があらかじめ登録されています。利用できるスタンプ印字の種類は次のとおりです。

スタンプ印字は RPCS プリンタードライバー、Windows 用の PostScript 3 プリンタードライバーで使用できます。

CONFIDENTIAL	マル秘	DRAFT	社外秘	COPY
A CONFIDENTIAL	A マル秘	A DRAFT	A 社外秘	A COPY

イメージスタンプの注意

- イメージスタンプは RPCS プリンタードライバーで設定できます。
- イメージスタンプを設定するときは、印刷するイメージデータが必要です。詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.167「効果」を参照してください。

複製できない文書を印刷する

本機では、不正コピー抑止用の文字列とマスクパターンを埋め込んで印刷できます。不正コピー抑止には、「不正コピー抑止地紋」と「不正コピーガード」があります。

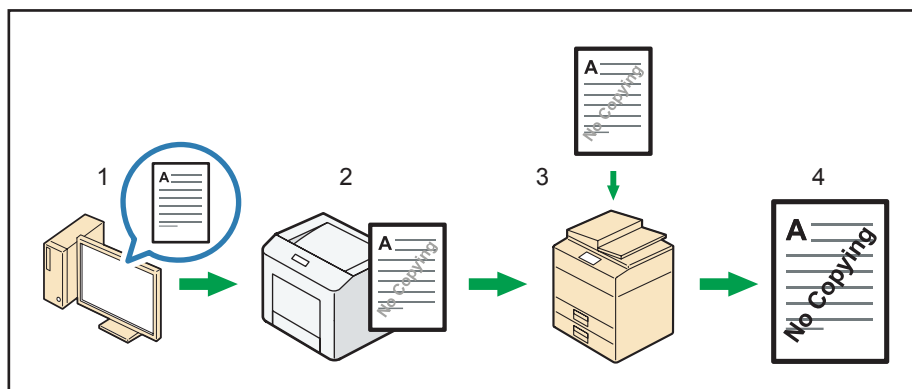
重要

- **不正コピー抑止は、必ずしも情報漏洩を防止するものではありません。**

補足

- 不正コピー抑止が［機器側設定優先］に設定されているときは、本体の設定が優先されます。操作部での設定については、『セキュリティーガイド』を参照してください。Web Image Monitor での設定については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

不正コピー抑止地紋を設定する

不正コピー抑止地紋を設定した文書を印刷すると

1. **不正コピー抑止地紋を設定し、文書を印刷します。**
2. **印刷した文書に、設定した不正コピー抑止文字列およびマスクパターンが埋め込まれます。**
3. **複写機または複合機を使用して、印刷した文書をコピーします。**
4. **コピーした文書に、不正コピー抑止文字列が浮き上がります。**

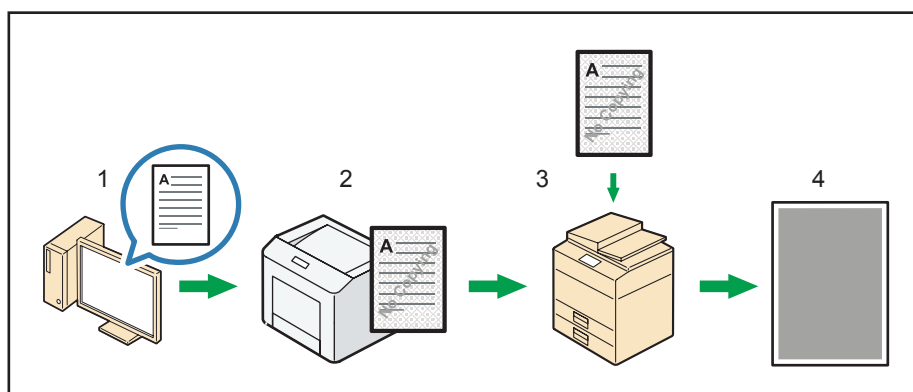
不正コピー抑止地紋の注意

- 印刷するデータに、部分的に地紋と文字列を埋め込むことはできません。
- 地紋効果は、コピー、スキャン、ドキュメントボックスへの蓄積結果をすべて保証しているものではありません。また蓄積結果は、使用する機種とその設定条件により異なります。
- 地紋効果は、コピーするときの原稿種類設定により、画質の一部に濃淡が発生することがあります。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.167「効果」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.169「不正コピー抑止」を参照してください。

不正コピーガードを設定する

不正コピーガードを設定した文書を印刷すると

1. 不正コピーガードを設定し、文書を印刷します。
2. 印刷した文書に、不正コピーガード用の地紋および不正コピー抑止文字列が埋め込まれます。
3. 当社の不正コピーガードモジュールが搭載された複写機または複合機を使用して、印刷した文書をコピーします。
4. コピーした文書の文字や画像がグレー地に変換されます。

不正コピーガードの注意

- 不正コピーガードでグレー地に印刷するには、本機側での設定もあわせて必要です。詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。
- 印刷するデータに、部分的な地紋の埋め込みはできません。
- 普通紙、または白色度 70%以上の再生紙で、B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- 両面印刷するとき、裏面の文字や模様が透けることにより、機能が正常に動作しないことがあります。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.167「効果」を参照してください。

- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.169「不正コピー抑止」を参照してください。

おことわり

- 当社は、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が、常時有効に機能することを保証するものではありません。使用する用紙ならびにコピー機の機種および設定条件などによっては、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が有効に機能しないことがあります。この点をご理解のうえ、ご使用ください。
- 不正コピー抑止地紋および不正コピーガード機能を使用または使用できなかったことにより生じた損害について、当社は一切その責任をおいかねます。あらかじめご了承ください。

表紙に印刷する

原稿の 1 ページ目を表紙用の用紙に印刷したり、1 ページ目の前に表紙用の用紙を挿入します。

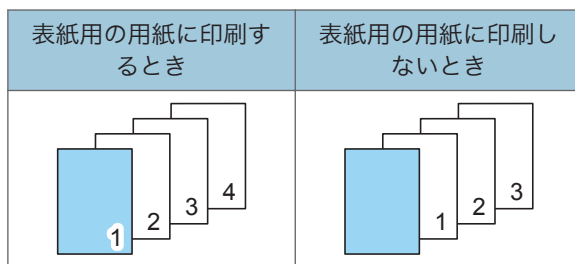
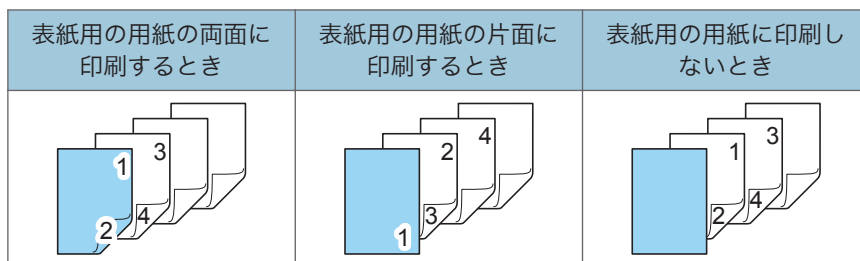
この機能は RPCS プリンタードライバーで使用できます。

重要

- **ソートの設定が必要です。ただし、回転ソートの設定はできません。**

表紙の出力方法

- 片面印刷

表紙用の用紙に印刷するとき	表紙用の用紙に印刷しないとき
1 2 3 4	1 2 3

- 両面印刷

表紙の注意

- おもて表紙をトレイにセットしたあとは、当該の用紙サイズを設定してください。
- 合紙が指定されているときは、おもて表紙の指定はできません。
- 表紙の両面に印刷するときは、両面印刷を指定してください。両面印刷については、P.147「用紙の両面に印刷する」を参照してください。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.164「用紙」を参照してください。

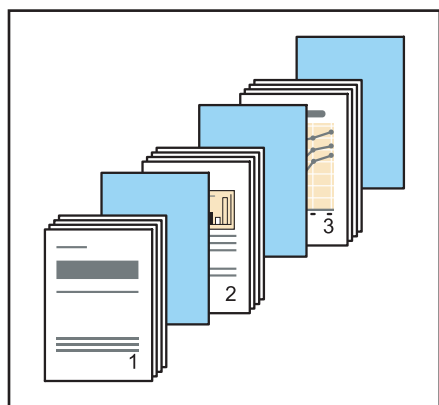
4

合紙を挿入する

ページごとに合紙を挿入します。

この機能は RPCS プリンタードライバーで使用できます。

重要

- **合紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、異なるトレイにセットしてください。**
- **合紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、同じサイズで同じ方向にセットしてください。**

合紙の注意

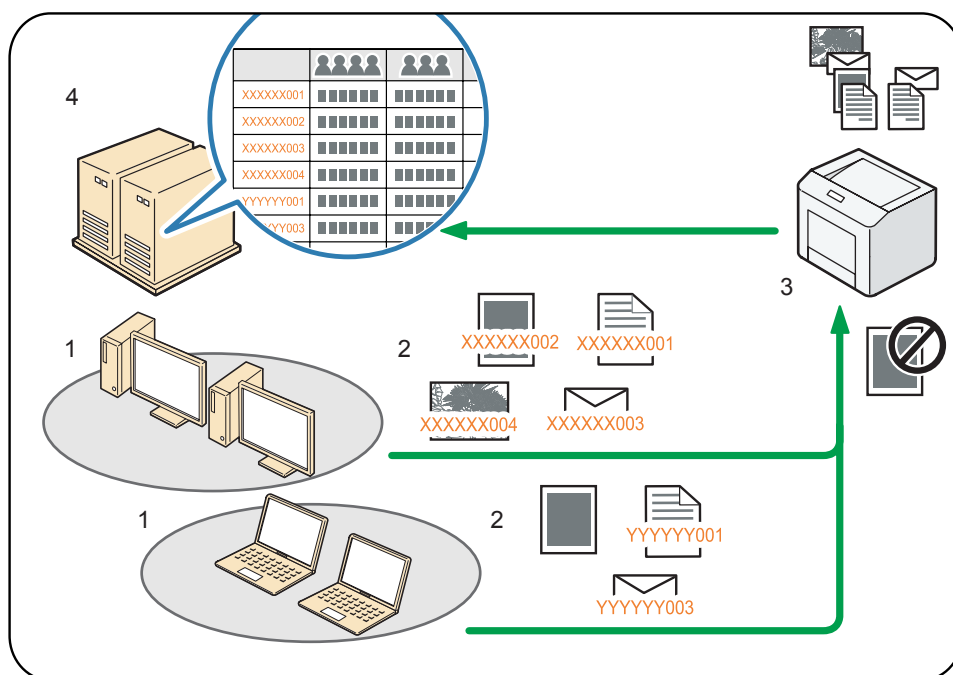
- 表紙が指定されているときは、合紙の挿入はできません。
- 試し印刷を指定しているときは、１部を印刷して蓄積しません。
- 合紙を設定すると、両面印刷、製本印刷は解除されます。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.164「用紙」を参照してください。

分類コードを使用する

分類コードを登録しておくと、分類コードごとの印刷枚数が本機に記録されます。

この機能を使用し、たとえば利用目的や個人ごとに分類コードを設定しておくと、印刷枚数を利用目的や個人ごとに確認ができます。勘定科目ごとの収集やクライアントごとの課金管理などに適しています。

1. **管理する部や課、プロジェクトチーム、ユーザーなど**
2. **利用目的に応じて、分類コードをプリントジョブに入力します。**

   詳細は、P.160「分類コードを入力して印刷する」を参照してください。
3. **印刷します。**

   印刷時に分類コードの入力を必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。詳細は、P.159「分類コードを設定する」を参照してください。
4. **外部ログ管理システムで分類コードを収集し、管理します。**

分類コードを設定する

プリントジョブに分類コードを必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。

重要

- 分類コードを［必須］に設定したとき、分類コードが付与されていないプリントジョブは印刷できません。
- 分類コードを［必須］に設定したときでも、システム設定リストは印刷できます。
- 初期状態は［任意］に設定されています。

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

   ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「機器」カテゴリーの中の［ログ］をクリックします。**
4. **「共通設定」カテゴリーの中の「分類コード」の［必須］か［任意］をクリックします。**
5. **［OK］をクリックします。**
6. **［ログアウト］をクリックします。**
7. **Web Image Monitor を終了します。**

分類コードを入力して印刷する

分類コードが必須の環境で印刷するときは、プリントジョブに分類コードを指定して印刷します。

この機能は RPCS プリンタードライバーで使用できます。

- 分類コードの注意
  - 入力した分類コードはプリンタードライバーに保存されます。
  - 複数の分類コードを切り替えたいときは、プリンタードライバーを別の名前で複数インストールし、それぞれに個別の分類コードを設定します。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.164「印刷方法/認証」を参照してください。

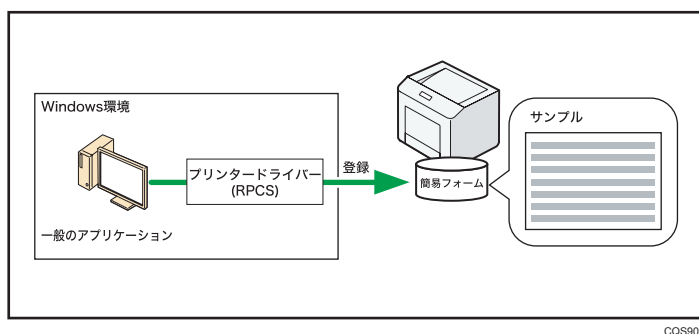
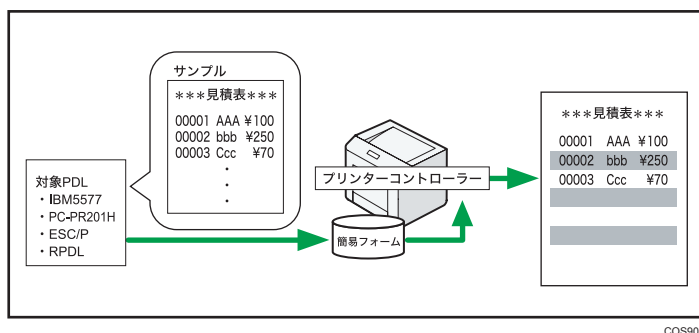
登録したフォームで印刷する（イメージオーバーレイ）

対象機種：Type 1 Type 2

重要

- **使用している機種が Type 2 のときは、オプションの拡張 HDD が必要です。**

本機に登録したフォームデータと印刷する原稿を合成して、1 枚の原稿として印刷できます。

市販の Windows 対応アプリケーションソフトを使用して作成したフォームデータを RPCS プリンタードライバーから本機に登録します。

RPDL、またはエミュレーションの R98、R55、R16 を使用してフォームを実行すると、印刷する原稿と登録しておいたフォームを合成して印刷できます。

フォームデータの登録

RPCS プリンタードライバーを使用して、作成したフォームデータを本機に登録します。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.164「印刷方法/認証」を参照してください。

登録したフォームを使用して印刷する

基幹系業務アプリケーションやホスト端末エミュレーションの設定にコマンドを追加すると、イメージオーバーレイ印刷を使用できます。エミュレーションの R16、R55、R98 が必要です。

IBM AS/400® Pcomm の PDT ファイルの設定例は以下のとおりです。

```
EJC EQU 1B 7E 01 00 00
INZ EQU 1B 7E 0E 00 01 06
RJ1 EQU @ P J L 20 S E T 20 F O R M E X E C U T E 20 = 20 O N
RJ2 EQU @ P J L 20 S E T 20 F O R M E X E C U T E N U M B E R 20 = 20 1
END_MACROS                                  /*イメージオーバーレイ呼び出し
/**********************************************************************************/
/*                    Session Parameters                    */
/**********************************************************************************/
MAXIMUM_PAGE_LENGTH=066
MA  IMUM_PRINT_POSITION=132
DEFAULT_CPI?=010
DEFAULT_LPI?=006
COMPRESS_LINE_SPACING?=NO
FORM_FEED_ANY_POSITION?=YES
HORIZONTAL_PEL=120
UNITS_OF_DRAW_LINE=
KANJI_CODE?=SHIFT_JIS
ZENKAKU_SPACE=
PAGE_LENGTH_TYPE?=6INCH
/**********************************************************************************/
/*                    Control Codes                    */
/**********************************************************************************/
START JOB=INZ SEL LL6 P10 RJ1 RJ2
END JOB=INZ
BACKSPACE=BAK
BELL=BELL
```

CQS909

印刷終了後に本機のエミュレーションを元に戻す

対象機種：Type 1 Type 2

エミュレーションを併用している環境で、RPCS プリンタードライバーから印刷ジョブを送信したときに、自動で直前に使用していたエミュレーションに戻す機能です。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.167「オプション」を参照してください。

バナーページを印刷する

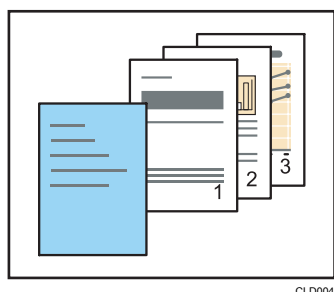
対象機種：Type 1 Type 2

プリンタードライバーで指定した給紙トレイからバナーページを印刷します。バナーページを印刷ジョブの前に挿入し、文書の取り違いを防止します。

バナーページにはユーザー名、ジョブ名、ホスト名、ジョブの印刷日時が印刷されます。

この機能は PostScript 3 プリンタードライバーで使用できます。

CLD004

4

バナーページの注意

- プリンタードライバーの「印刷方法：」で［通常印刷］を指定したときだけ有効です。
- バナーページに印刷されるジョブの印刷日時は、ジョブ履歴の日時と差異が発生することがあります。また、エラーなどで印刷が中止され、再開までに時間が空いたときも、バナーページに印刷される印刷日時と実際の印刷日時に差異が発生することがあります。
- 印刷を中止するときは、バナーページと印刷ジョブそれぞれに印刷中止の操作をしてください。
- 印刷後は、バナーページと印刷ジョブそれぞれのジョブ履歴が記録されます。
- 印刷の設定によっては、バナーページが印刷ジョブと異なる用紙サイズ、用紙種類で印刷されることがあります。
- バナーページの印刷文字列に半角英数字以外が使用されていると、文字化けすることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、複数部数を印刷するときに、部数分のバナーページが印刷されることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、1 つの印刷ジョブに向きやサイズの異なるページが混在するとき、向きやサイズが切り替わるページの前にバナーページが挿入されることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、1 つの印刷ジョブの中に複数のジョブがあると、ジョブごとにバナーページが挿入されることがあります。

補足

- Windows 用のプリンタードライバーでの設定については、P.165「編集」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.172「プリンタの機能」を参照してください。

Windows で便利な印刷機能を使用する

印刷方法/認証

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

   印刷設定画面の開きかたについては、P.106「アプリケーションから印刷設定画面を開く」を参照してください。

2. **[項目別設定] タブをクリックします。**

3. **「メニュー項目：」で [印刷方法/認証] メニューをクリックし、以下の項目を設定します。**

   - 印刷方法：
     拡張 HDD を装着しているときは蓄積印刷を指定できます。
     また、RPCS プリンタードライバーを使用して、イメージオーバーレイを設定できます。
     イメージオーバーレイについては、P.160「登録したフォームで印刷する（イメージオーバーレイ）」を参照してください。
   - 分類コード：
     RPCS プリンタードライバーを使用して分類コードを設定するとき、分類コードを入力します。分類コードについては、P.159「分類コードを使用する」を参照してください。

   その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4. **[OK] をクリックします。**

5. **アプリケーションから印刷の指示をします。**

補足

- イメージオーバーレイは、RPCS プリンタードライバーのかんたん設定画面でも設定できます。

用紙

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

2. **[項目別設定] タブをクリックします。**

3.「メニュー項目：」で［用紙］メニューをクリックし、以下の項目を設定します。

- おもて表紙
  RPCS プリンタードライバーを使用して、おもて表紙を設定します。おもて表紙については、P.157「表紙に印刷する」を参照してください。
- 合紙
  RPCS プリンタードライバーを使用して、合紙を設定します。合紙については、P.158「合紙を挿入する」を参照してください。
- バナーページ
  PostScript 3 プリンタードライバーを使用して、バナーページを設定します。バナーページについては、P.162「バナーページを印刷する」を参照してください。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4.［OK］をクリックします。

5.アプリケーションから印刷の指示をします。

編集

1.アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。

2.［項目別設定］タブをクリックします。

3.「メニュー項目：」で［編集］メニューをクリックし、以下の項目を設定します。

- 集約：
  集約印刷を設定します。集約印刷については、P.148「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。
- 両面：
  両面印刷を設定します。両面印刷については、P.147「用紙の両面に印刷する」を参照してください。
- 製本：
  製本印刷を設定します。製本印刷については、P.150「製本印刷する」を参照してください。
- 拡大連写：
  RPCS プリンタードライバーを使用して、拡大連写を設定します。拡大連写については、P.149「1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）」を参照してください。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4.［OK］をクリックします。

5.アプリケーションから印刷の指示をします。

仕上げ

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. ［項目別設定］タブをクリックします。
3. 「メニュー項目：」で［仕上げ］メニューをクリックし、以下の項目を設定します。

- ソート：
  ソートを設定します。ソートについては、P.152「部単位で印刷する（ソート）」を参照してください。

4

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4. ［OK］をクリックします。
5. アプリケーションから印刷の指示をします。

印刷品質

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. ［項目別設定］タブをクリックします。
3. 「メニュー項目：」で［印刷品質］メニューをクリックし、以下の項目を設定します。

- 画像設定：
  ［ユーザー設定］を選択して「2 色：」プルダウンメニューから 2 色印刷を設定します。印刷に使用する色の組み合わせを指定できます。2 色印刷については、P.153「指定した色だけで印刷する」を参照してください。
- トナーセーブ：
  トナーセーブを設定します。トナーセーブについては、P.154「トナーセーブ機能を使用する」を参照してください。
- CMYK に色分解して、指定した色のみで印刷
  CMYK に色分解し、指定した色だけで印刷するとき、印刷に使用する色を指定します。指定色印刷については、P.153「指定した色だけで印刷する」を参照してください。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4. ［OK］をクリックします。
5. アプリケーションから印刷の指示をします。

効果

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. ［項目別設定］タブをクリックします。
3. 「メニュー項目：」で［効果］メニューをクリックし、以下の項目を設定します。

- スタンプ印字を使用
  スタンプ印字を設定します。スタンプ印字については、P.154「原稿に文字やイメージをスタンプする」を参照してください。
- 不正コピー抑止
  不正コピー抑止を設定します。不正コピー抑止については、P.155「複製できない文書を印刷する」を参照してください。
- イメージスタンプの追加
  RPCS プリンタードライバーを使用して、イメージスタンプを設定します。イメージスタンプについては、P.154「原稿に文字やイメージをスタンプする」を参照してください。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4. ［OK］をクリックします。
5. アプリケーションから印刷の指示をします。

オプション

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. ［項目別設定］タブをクリックします。
3. 「メニュー項目：」で［オプション］メニューをクリックし、以下の項目を設定します。

- 直前のエミュレーションに戻す
  RPCS プリンタードライバーから印刷ジョブを送信したときに、自動で直前に使用していたエミュレーションに戻します。詳しくは、P.162「印刷終了後に本機のエミュレーションを元に戻す」を参照してください。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4. ［OK］をクリックします。
5. アプリケーションから印刷の指示をします。

Mac OS X で便利な印刷機能を使用する

Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーで設定できる便利な印刷機能は以下のとおりです。

プリンタードライバーの ポップアップメニュー項目	便利な印刷機能
レイアウト	両面印刷
	集約印刷
不正コピー抑止	不正コピー抑止
プリンタの機能	トナーセーブ
	指定色印刷
	バナーページ

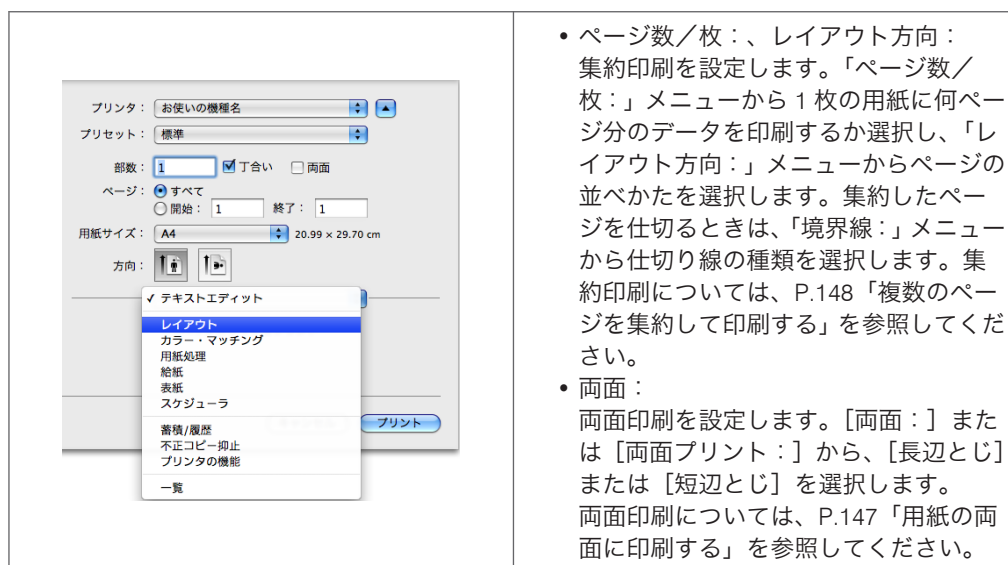
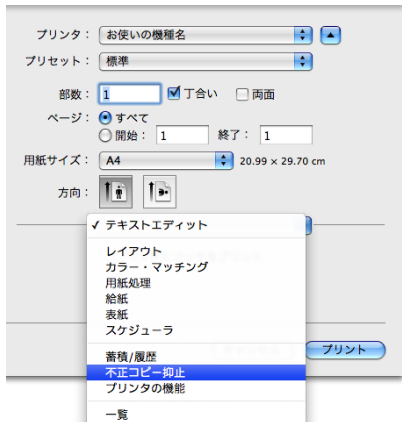
4

レイアウト

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーのプリント画面を開きます。

プリント画面の開きかたについては、P.108「アプリケーションからプリント画面を開く」を参照してください。

2. ポップアップメニューから［レイアウト］を選択し、以下の項目を設定します。

- ページ数／枚：、レイアウト方向：
  集約印刷を設定します。「ページ数／枚：」メニューから 1 枚の用紙に何ページ分のデータを印刷するか選択し、「レイアウト方向：」メニューからページの並べかたを選択します。集約したページを仕切るときは、「境界線：」メニューから仕切り線の種類を選択します。集約印刷については、P.148「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。
- 両面：
  両面印刷を設定します。［両面：］または［両面プリント：］から、［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。
  両面印刷については、P.147「用紙の両面に印刷する」を参照してください。

3. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。

4. 印刷の指示をします。

不正コピー抑止

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーのプリント画面を開きます。
2. ポップアップメニューから［不正コピー抑止］を選択し、以下の項目を設定します。

- 不正コピー抑止の種類：
  不正コピー抑止の種類を選択します。
- 抑止文字列、カラー/濃度、地紋
  不正コピー抑止の各項目を設定します。詳細は、「[不正コピー抑止］で設定できる項目」の表を参照してください。

不正コピー抑止については、P.155「複製できない文書を印刷する」を参照してください。

3. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
4. 印刷の指示をします。

［不正コピー抑止］で設定できる項目

- 抑止文字列

設定項目	機能の説明
文字列の種類：	不正コピー抑止文字として印字する文字列をポップアップメニューから選択します。
任意文字列の入力：	「文字列の種類：」で［任意の文字列］を選択したときは、印字する文字列を入力します。全角 21 文字/半角 64 文字まで入力できます。 印字フォントとして欧文フォントを選択するときは、半角の英数記号で入力してください。
フォント：	フォントの種類を選択します。選択できるフォントは TrueType フォントです。

設定項目	機能の説明
サイズ：	フォントサイズを設定します。小さいフォントサイズを使用すると、地紋として効果的でないことがあります。地紋として効果的なフォントサイズは 50 ポイント以上で、70 から 80 ポイントをお勧めします。
角度：	文字列の回転する角度を指定します。数字を大きくすると、文字列の中央を基点に反時計回りに回転します。地紋として効果的な角度として、30 から 40 度をお勧めします。
文字列と背景の効果：	印刷時、コピー時の効果を設定します。
繰り返し印字：	ページの左上を基点に文字列を縦横に並べて繰り返し印刷します。「位置：」の設定は無効になります。
行間隔：	行間隔を設定します。
位置：	不正コピー抑止文字列を挿入する位置をリストから選択します。

- カラー/濃度

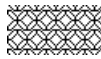
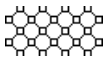
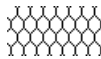
設定項目	機能の説明
カラー：	不正コピー抑止地紋の色をリストから選択します。
濃度：	濃度を設定します。

- 地紋

設定項目	機能の説明
マスクパターン：	背景地紋を付けて印刷します。使用する地紋の種類を選択します。

［文字列と背景の効果：］で設定したときの効果

- ［不正コピー抑止地紋］を選択したとき

設定項目	印刷したときの効果	コピーしたときの効果
文字列・背景		
文字列地紋／背景地紋の入れ替え		

設定項目	印刷したときの効果	コピーしたときの効果
背景のみ		
文字列のみ		

- ［不正コピーガード］を選択したとき

設定項目	印刷したときの効果	コピーしたときの効果 （不正コピーガード非搭載機）	コピーしたときの効果 （不正コピーガード搭載機）
文字列・背景			
背景のみ			

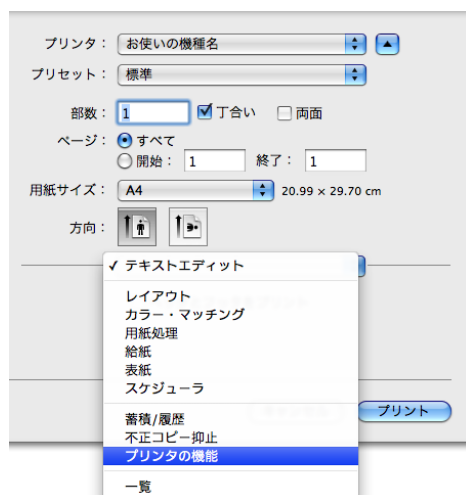
［マスクパターン：］で選択できる地紋の種類

青海波 （せいがいは）	網目 （あみめ）	格子 1 （こうし 1）	格子 2 （こうし 2）	七宝 （しっぽう）
蜀江 （しょっこう）	松皮菱 （まつかわびし）	鱗 （うろこ）	檜垣 （ひがき）	亀甲 （きっこう）

補足

- 不正コピーガードでは、［カラー/濃度］と［地紋］の設定はできません。

プリンタの機能

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーのプリント画面を開きます。
2. ポップアップメニューから［プリンタの機能］を選択します。

3. 「機能セット：」を切り替えて設定する項目を表示し、以下の項目を設定します。

- 印字モード：
  トナーセーブを設定します。トナーセーブについては、P.154「トナーセーブ機能を使用する」を参照してください。
- プリント色版：
  印刷に使用する色を指定します。この機能は「カラー選択：」で［カラー］を選択しているときに設定できます。指定色印刷については、P.153「指定した色だけで印刷する」を参照してください。
- バナーページ印刷：
  バナーページを設定するときは、「バナーページ印刷：」メニューから［する］を選択します。
  「バナーページの給紙方法：」メニューでバナーページを給紙する給紙トレイを選択します。
  「バナーページの用紙種類：」メニューからバナーページで使用する用紙の種類を選択します。
  バナーページについては、P.162「バナーページを印刷する」を参照してください。

4. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
5. 印刷の指示をします。

［プリンタの機能］で設定できるその他の項目

便利な印刷機能のほかに、以下の項目を設定できます。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>機能の説明</th></tr>
<tr><td>解像度：</td><td>解像度を設定します。</td></tr>
<tr><td>フォント：</td><td>フォントを指定します。</td></tr>
<tr><td>イメージスムージング：</td><td>イメージスムージングの設定を選択します。
• ［オフ］
イメージスムージングを行いません。
• ［オン］
すべての画像にイメージスムージング処理をします。
• ［自動］
機器のサポート解像度の、25%以下の解像度を持っている画像に、自動的にイメージスムージング処理をします。
• ［90ppi］～［300ppi 未満］
選択した解像度（ピクセル/インチ）以下の画像に、イメージスムージング処理をします。
［自動］を選択したときは、印刷処理時間が長くなることがあります。
マスクイメージにこの機能を適応するときは、思うような印刷結果が得られないことがあります。</td></tr>
<tr><td>カラー選択：</td><td>カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを選択します。</td></tr>
<tr><td>画質：</td><td>印刷する際の画質を指定します。［標準］と［高画質］の設定は、「解像度：」を［1200dpi］に設定したときに有効になります。
• ［標準］
600×1200dpi 相当の解像度で印刷されます。
• ［2 階調］
600×600dpi 相当の解像度で印刷されます。
• ［高画質」
600×2400dpi 相当の解像度で印刷されます。</td></tr>
<tr><td>RGB 補正：</td><td>RGB データを CMYK データに変換する際の補正方法を指定します。
• ［しない］
補正を行わずに CMYK に変換します。
• ［精密（普通）］
モニタガンマ 1.8 の設定を基準とし、カラープロファイルで選択したプロファイルを参照して CMYK に変換します。
• ［精密（濃いめ）］
モニタガンマ 2.2 の設定を基準とし、カラープロファイルで選択したプロファイルを参照して CMYK に変換します。</td></tr>
</table>

設定項目	機能の説明
カラープロファイル：	RGB から CMYK へカラーマッチングする際のプロファイルを指定できます。「RGB 補正：」を［精密（普通）］または［精密（濃い目）］に設定したときに参照されます。 • ［自動］ 印刷する文書内の各要素（文字、イメージグラフィックス）に適したプロファイルを自動的に適応します。 • ［フォト］ 写真画像など階調性を重視して出力するときに適しています。 • ［ビジネス］ 文字やプレゼンテーション用のグラフィックスなどに適しています。 • ［ベタ］ グラフィックスやロゴなどで使用される原色の再現性を高めたいときに適しています。 • ［POP 広告］ 赤色をより鮮やかに印刷します。POP 広告に適した設定です。 • ［ユーザー設定］ 印刷するデータに setcolorrendering オペレータが含まれるとき、その CRD を有効にしたい場合に設定します。 • ［カラーバリエーション 1］ 人物の印刷に適した色味で印刷します。 • ［カラーバリエーション 2］ 人物・食べ物の印刷に適した色味で印刷します。 • ［カラーバリエーション 3］ 青色を強調した色味で印刷します。風景の印刷などに適しています。 • ［カラーバリエーション 4］ 全体的に濃い色調で印刷します。 • ［カラーバリエーション 5］ 全体的に明るめの色調で印刷します。 • ［カラーバリエーション 6］ 全体的に明るめでコントラストを付けた色調で印刷します。

設定項目	機能の説明
画像モード：	印刷する画像にあわせてディザパターンを指定できます。 • [自動] 印刷する文書内の各要素（文字、イメージグラフィックス）ごとに適したディザパターンを自動的に適応します。 • [写真] 写真に適したディザパターンを適用します。 • [文字] 文字に適したディザパターンを適用します。 • [ユーザー設定] ハーフトーンを設定できるアプリケーションからの印刷で、指定したハーフトーンを有効にするときに設定します。 • [色抜け・かすれ低減] 細い線や小さな文字に適したディザパターンを使用します。
グレー印刷方式：	黒色を印刷する方式を選択します。文字、グラフィックスデータに有効です。 • [黒とグレーは K で印刷] 黒色やグレーのテキストと画像を黒 1 色で印刷します。 • [黒は K で印刷] 黒色のテキストと画像を黒 1 色で印刷します。 • [CMYK4 色で印刷] CMYK（シアン、マゼンタ、イエロー、黒）4 色で印刷します。 • [黒とグレーは K で印刷（文字のみ）] 黒色やグレーのテキストだけを黒 1 色で印刷します。 • [黒は K で印刷（文字のみ）] 黒色のテキストだけを黒 1 色で印刷します。
ブラックオーバープリント：	黒色をほかの色に重ねて印刷するかどうかを選択します。[オフ] を指定したとき、黒色が重なっているほかの色の部分は、分版すると白く抜けます。
CMYK シミュレーション：	CMYK データを出力する際にシミュレートするインクプロファイルを指定できます。 • [しない] シミュレーションを実施しないで印刷します。 • [Euroscale] 欧州のオフセット印刷の色基準をシミュレートします。 • [JapanColor] 日本の印刷の色基準をシミュレートします。 • [JMPA] 雑誌広告の色基準をシミュレートします。
用紙の種類：	用紙の種類を選択します。

設定項目	機能の説明
180 度回転：	画像を 180 度回転させて印刷するかどうか設定します。 • ［オフ］ 180 度回転しません。 • ［オン］ 180 度回転します。
Orientation 設定：	一部のアプリケーションで印刷時の用紙方向の設定ができないとき、用紙方向を指定できます。データが意図せず回転して出力されるときなどは、この設定でデータの原稿方向を指定して印刷してください。

はがき、封筒に印刷する

Windows ではがき、封筒に印刷する

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

2. **以下の項目を設定します。**

- 給紙トレイ：
  はがきまたは封筒をセットした給紙トレイを選択します。
- 原稿サイズ：
  はがきまたは封筒の用紙サイズを選択します。
- 原稿方向：
  はがきまたは封筒の印刷方向を選択します。
- 用紙種類：
  用紙の種類を選択します。
  - 郵便はがき、往復はがきに印刷するときは、[厚紙 2（164 から 220g/m2）] を選択します。
  - 封筒に印刷するときは、[封筒] を選択します。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3. **[OK] をクリックします。**

4. **アプリケーションから印刷の指示をします。**

補足

- 操作部とプリンタードライバーの両方で、用紙設定を正しく行ってから印刷してください。操作部の設定については、P.253「操作部を使用してはがき、封筒を設定する」を参照してください。
- はがきや封筒は正しい向きでセットしてください。はがきのセット方向の詳細は、P.129「はがきをセットする」を参照してください。封筒のセット方向の詳細は、P.131「封筒をセットする」を参照してください。

Mac OS X ではがき、封筒に印刷する

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーのプリント画面を開きます。**

4

2. 以下の項目を設定します。

- 用紙サイズ：
  はがきまたは封筒の用紙サイズを選択します。
- 方向：
  はがきまたは封筒の印刷方向を選択します。

3. ポップアップメニューから［給紙］または［給紙方法］を選択します。

4. はがきまたは封筒がセットされている給紙トレイを選択します。

5. ポップアップメニューから［プリンタの機能］を選択します。

6.「機能セット：」を切り替えて、「用紙の種類：」メニューを表示し、以下の項目を設定します。

- 用紙の種類：
  はがきまたは封筒の用紙の種類を選択します。
  - 郵便はがき、往復はがきに印刷するときは、［厚紙 2（164–220g/m2）］を選択します。
  - 封筒に印刷するときは、［封筒］を選択します。

7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。

8. 印刷の指示をします。

補足

- 操作部とプリンタードライバーの両方で、用紙設定を正しく行ってから印刷してください。
- 操作部の設定については、P.253「操作部を使用してはがき、封筒を設定する」を参照してください。

- はがきや封筒は正しい向きでセットしてください。はがきのセット方向の詳細は、P.129「はがきをセットする」を参照してください。封筒のセット方向の詳細は、P.131「封筒をセットする」を参照してください。

文書を蓄積して印刷する

対象機種：Type 1 Type 2

本機に蓄積された文書の印刷と管理の方法を説明します。

あらかじめプリンタードライバーからの印刷指示で本機のハードディスクにデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータの印刷または削除ができます。

重要

- 使用している機種が Type 2 のときはオプションの拡張 HDD が必要です。
- 以下の条件のとき、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
  - 本機に蓄積されている印刷データの合計が、3,000 件に達しているとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
  - 1 文書の総ページ数が 1,000 ページを超えるとき
  - 送信した印刷データと本機に蓄積されている文書との合計が 9,000 ページを超えるとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
- PageMaker など、独自のドライバーを使用するアプリケーションでは、この機能を使用できません。

この機能で使用できる印刷方法の種類は以下のとおりです。

試し印刷

複数部数印刷するときなど、最初に 1 部だけ印刷し、その結果を確認したあとに操作部を使用して残り部数を印刷できます。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷できます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防止できます。

機密印刷

ネットワークでプリンターを共有しているとき、他人に見られたくない文書を印刷するときなどに有効な機能です。機密印刷を使用すると、本機の操作部からパスワードを入力しないと印刷できなくなるので、他人に見られる心配がありません。

保留印刷

本機に文書を一時的に蓄積し、必要に応じて印刷できます。複数の文書をまとめて印刷するときなどに有効です。また、文書の印刷時刻を指定できます。指定した時刻になると、自動的に印刷されます。

保存印刷

本機に文書を蓄積し、必要に応じて印刷できます。印刷終了後も文書が消去されないので、繰り返し印刷するときなどに有効です。

補足

- 本機の主電源スイッチを切っても、蓄積された印刷文書は消去されずに残りますが、「一時置き文書自動消去」や「保存文書自動消去」の設定が優先されます。文書の自動消去設定については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
    - Type 1：P.339「データ操作/管理」
    - Type 2：P.383「ハードディスク管理」

文書を蓄積する

Windows で文書を蓄積する

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。

2. 以下の項目を設定します。

- 印刷方法：
  印刷方法を選択します。
  試し印刷をするときは、[試し印刷] を選択します。
  機密印刷をするときは、[機密印刷] を選択します。
  保留印刷をするときは、[保留印刷] を選択します。
  本機に文書を蓄積し、あとから操作部を使用して印刷するときは、[プリンターに保存] を選択します。
  本機に文書を蓄積するのと同時に印刷するときは、[保存して印刷] を選択します。

3. [詳細...] をクリックし、以下の項目を設定します。

- ユーザー ID の入力：
  ユーザー ID を入力します。
- パスワード：
  機密印刷をするとき、パスワードを入力します。
  保存印刷をするときは、必要に応じてパスワードを入力します。
- ファイル名：
  保留印刷または保存印刷をするときは、必要に応じてファイル名を指定します。
- 印刷時刻指定
  保留印刷をするときは、必要に応じて印刷時刻を指定します。
  使用している機種が Type 1 のとき、保留印刷の時刻を指定できます。

4. [OK] をクリックします。

5. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。

6. [OK] をクリックします。

7. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- 使用している機種が Type 1 で、以下の条件のとき、保留印刷で指定した時刻に文書が印刷されないことがあります。
    - 指定した印刷時刻と本機のシステム時計の時刻とに数分の差しかないときは、すぐに印刷されることがあります。
    - 本機の電源が切れているときは、指定した時刻に文書が印刷されません。指定時刻を過ぎた文書を印刷するときは、あらかじめ［プリンター初期設定］の［システム設定］にある［主電源 Off 時の未処理文書］を［電源 On で印刷する］に設定してください。詳細は、P.340「システム設定」を参照してください。
    - 操作部の画面にエラーメッセージが表示されているときは、指定した時刻であっても文書が印刷されません。
- 保存印刷で［プリンターに保存（共有)］または［保存して印刷（共有)］を選択すると、文書作成者のほかに、印刷権限を持つユーザーが印刷できます。RPCS プリンタードライバーでユーザー認証を設定したときに、有効な機能です。詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。

Mac OS X で文書を蓄積する

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーのプリント画面を開きます。

プリント画面の開きかたについては、P.108「アプリケーションからプリント画面を開く」を参照してください。

2. ポップアップメニューから［蓄積/履歴］をクリックし、以下の項目を設定します。

- ユーザー ID の入力：
  半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。
- 印刷方法：
  印刷方法を選択します。
  試し印刷をするときは、［試し印刷］を選択します。
  機密印刷をするときは、［機密印刷］を選択します。
  保留印刷をするときは、［保留印刷］を選択します。
  本機に文書を蓄積し、あとから操作部を使用して印刷するときは、［プリンターに保存］を選択します。
  本機に文書を蓄積するのと同時に印刷するときは、［保存して印刷］を選択します。
- パスワード：
  機密印刷をするとき、パスワードを入力します。
  保存印刷をするときは、必要に応じてパスワードを入力します。
  半角数字 4 から 8 文字で任意のパスワードを設定できます。
- 文書名：
  保留印刷または保存印刷をするときは、必要に応じてファイル名を指定します。半角英数字 16 文字以内で任意の文書名を設定できます。
- 印刷時刻を指定する
  保留印刷をするときは、必要に応じて印刷時刻を指定します。
  使用している機種が Type 1 のとき、保留印刷の時刻を指定できます。

3. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。

4. 印刷の指示をします。

試し印刷をするときは、印刷部数を 2 部以上に設定して印刷の指示をします。まず部だけ印刷されます。

補足

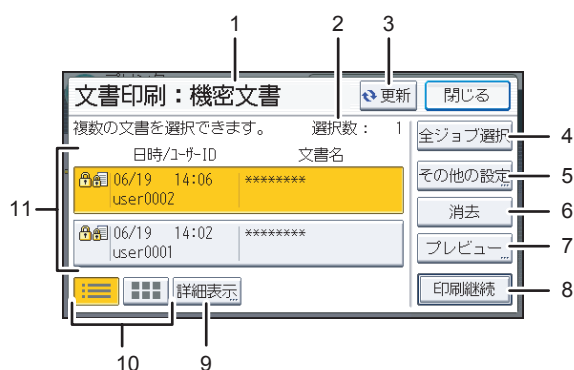
- 使用している機種が Type 1 で、以下の条件のとき、保留印刷で指定した時刻に、文書が印刷されないことがあります。
  - 指定した印刷時刻と本機のシステム時計の時刻とに数分の差しかないときは、すぐに印刷されることがあります。
  - 本機の電源が切れているときは、指定した時刻に文書が印刷されません。指定時刻を過ぎた文書を印刷するときは、あらかじめ［プリンター初期設定］の［システム設定］にある［主電源 Off 時の未処理文書］を［電源 On で印刷する］に設定してください。設定項目については、P.340「システム設定」を参照してください。
  - 操作部の画面にエラーメッセージが表示されているときは、指定した時刻であっても文書が印刷されません。

文書印刷画面の見かた

本機に蓄積した文書を印刷するためのジョブ画面の見かたを説明します。

対象機種： Type 1

ホーム画面で［プリンター］アイコンを押し、［文書印刷］タブを押すと、印刷する文書の種類とユーザー ID を選択する画面が表示されます。

文書の種類またはユーザー ID を押すと、文書一覧画面が表示されます。

1. **文書印刷機能表示**

   選択した文書印刷の種類を表示します。

2. **選択数**

   選択した文書の数を表示します。

3. **［更新］**

   表示内容を更新します。

4. **［全ジョブ選択］**

   選択している文書と同じ種類の文書をすべて選択します。

5. **［その他の設定］**

   保留印刷文書の印刷時刻の変更や、機密文書・保存文書のパスワードの変更ができます。

6. **［消去］**

   選択している文書を消去します。

7. [プレビュー]

   選択した文書の 1 ページ目の印刷イメージを表示します。

8. [印刷継続]

   選択している文書を印刷します。

9. [詳細表示]

   選択している文書の詳細情報を表示します。

10. リスト/サムネール

    一覧画面をリスト表示とサムネール表示で切り替えます。

11. 日時/ユーザー ID/文書名表示

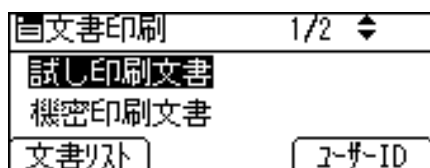
    日時には、パソコンから印刷を指示した時刻が表示されます。

    ユーザー ID には、プリンタードライバーで設定したユーザー ID が表示されます。

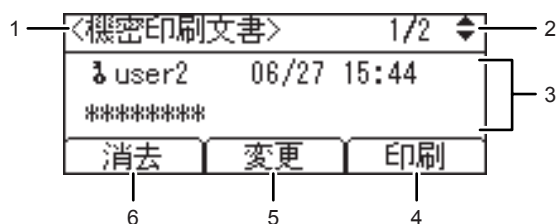
    文書名には文書名が表示されますが、機密印刷文書は文書名が「******」と表示されます。

対象機種：Type 2

拡張 HDD が装着されていると、電源を入れたときに以下の初期画面が表示されます。

初期画面で［文書印刷］を押すと、印刷する文書の種類を選択する画面が表示されます。

文書を選択する画面は、［文書リスト］を押したときに表示される文書一覧画面と、［ユーザー ID］を押したときに表示されるユーザー ID 一覧画面の 2 種類があります。

文書一覧画面

［文書印刷］の画面で［文書リスト］を押すと、次の画面が表示されます。

1. **文書印刷機能表示**

   選択した文書印刷の種類を表示します。

2. **画面ページ数表示**

   蓄積されている文書を表示します。[▼][▲]キーを押すごとに選択した種類の印刷文書を1画面ずつ表示します。

3. **ユーザーID/日時/文書名表示**

   ユーザーIDには、プリンタードライバーで設定したユーザーIDが表示されます。

   日時には、パソコンから印刷を指示した時刻が表示されます。

   文書名には文書名が表示されますが、機密印刷文書は文書名が「******」と表示されます。

4. **[印刷]**

   選択している文書を印刷します。

5. **[変更]**

   パスワードを設定した文書からパスワードを変更または削除できます。機密印刷文書または保存文書のパスワードを変更するときは、[変更]を押して最初に設定したパスワードを入力したあと、確認画面で新しいパスワードを入力して[OK]キーを押します。保存文書のパスワードを削除するときは、[変更]を押して最初に設定したパスワードを入力したあと、確認画面で何も入力しないで[OK]キーを押します。

   また、パスワードを設定していない保存文書にパスワードを追加することもできます。

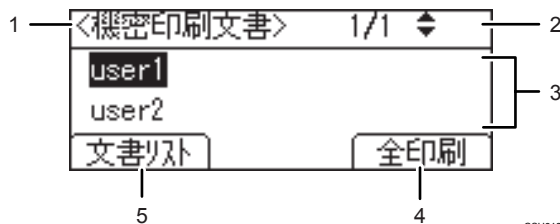
6. **[消去]**

   選択している文書を消去します。

補足

- [変更]を押してパスワードを追加、削除する機能は保存文書が本機に蓄積されているときに使用できます。

ユーザーID一覧画面

[文書印刷]の画面で[ユーザーID]を押すと、次の画面が表示されます。

1. **文書印刷機能表示**

   選択した文書印刷の種類を表示します。

2. **画面ページ数表示**

   現在のページ番号を表示します。[▼][▲]キーを押すごとに画面を切り替えます。

3. ユーザー ID

選択した種類の文書を蓄積しているユーザーの ID が表示されます。

プリンタードライバーで設定したユーザー ID が表示されます。

4. [全印刷]

選択した ID のユーザーが蓄積した文書をすべて印刷します。

5. [文書リスト]

文書一覧画面の表示に切り替えます。ここでは、ユーザー ID 画面で選択したユーザーのジョブだけが表示されます。

補足

- 文書一覧やユーザー ID 一覧を表示しているときに新たに文書が蓄積されたときは、表示は更新されません。表示を更新するには、いったん［メニュー］キーまたは［キャンセル］キーを初期画面に戻るまで押し、もう一度［文書印刷］を押してください。
- 本機に多くの文書を蓄積・保存していると、機能によっては機器の反応が一時的に遅くなることがあります。

蓄積文書を印刷する

蓄積した文書を印刷するには、文書種類ごとに表示されるリストから文書を選んで印刷する方法と、ユーザー ID ごとに表示されるリストから文書を選んで印刷する方法があります。

重要

- 印刷が終了すると、試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書は消去されます。保存文書は、消去されません。保存文書を手動で消去する方法は P.195「蓄積文書を消去する」を参照してください。
- ［保存文書自動消去設定］を有効にしているときは、保存文書が自動的に消去されます。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
    - Type 1：P.339「データ操作/管理」
    - Type 2：P.383「ハードディスク管理」

文書種類から印刷する

対象機種：Type 1

1. ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。

2. ［文書印刷］タブを押します。

3. 印刷する文書種類を選択します。

- 試し印刷をするときは、［試し文書］を押します。
- 機密印刷をするときは、［機密文書］を押します。
- 保留印刷をするときは、［保留文書］を押します。
- 保存印刷をするときは、［保存文書］を押します。

4. 印刷する文書を選択します。

文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、同じ種類の文書をすべて選択できます。

5. 必要に応じて［プレビュー］を押し、文書の印刷イメージを確認します。

6. ［印刷継続］を押します。

- 機密印刷をするときは、テンキーでパスワードを入力し、［実行］を押します。

  複数の文書を選択したときは、パスワードが一致した文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

- 保存印刷するとき、文書にパスワードが設定されている場合は、テンキーでパスワードを入力し、［実行］を押します。

  複数の文書を選択したとき、パスワード付の文書が含まれている場合は、パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が印刷の対象になります。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

7. 文書の印刷設定を変更するときは、［印刷設定］を押して設定します。

設定できる項目については、P.192「印刷設定を変更する」を参照してください。

8. 印刷部数を変更するときは［変更］を押して、テンキーで部数を入力します。

9. ［印刷継続］を押します。

補足

- 複数の文書を選択したときに、部数を変更した場合は、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積する場合に指定した部数で印刷されます。
- 印刷時刻が指定された保留印刷文書を指定時刻になる前に印刷するときは、操作部を使用して印刷します。
- 印刷開始後に印刷を中止するには、［印刷取消］か［印刷中断］キーを押します。印刷を中止すると、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 蓄積した文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

対象機種：Type 2

［文書印刷］を押し、操作部の［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. 文書種類を選択 ▶ ［文書リスト］

- 試し印刷をするときは、［試し印刷文書］を選択します。
- 機密印刷をするときは、［機密印刷文書］を選択します。
- 保留文書を印刷するときは、［保留印刷文書］を選択します。
- 保存文書を印刷するときは、［保存文書］を選択します。

セキュリティーの設定によっては、すべての文書が表示されないことがあります。

2. 印刷する文書を選択 ▶ ［印刷］

- 機密印刷をするときや、パスワードが設定されている保存文書を印刷するときは、スクロールキーでパスワードを入力し、［OK］キーを押します。
- 入力したパスワードが正しくないときは、確認画面が表示されます。［確認］を押して、正しいパスワードを入力します。パスワードが分からなくなったときは、文書管理者にご相談ください。
- 試し印刷文書や保存文書の印刷部数を変更するときは、部数を入力します（最大 999 部）。

3. ［印刷］を押します。

- 印刷開始後に印刷を中止するには、［印刷取消］キーを押します。印刷を中止すると、保存文書以外の蓄積した文書は消去されます。

- 蓄積した文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 保存文書のパスワードは追加、変更、削除できます。パスワードを追加または変更するには、文書一覧画面で［変更］を押して、パスワードを設定します。文書に設定されているパスワードを削除するには、文書一覧画面で［変更］を押し、設定したパスワードを入力して［OK］キーを 2 回押します。
- 用紙の種類や用紙サイズの不一致による警告画面が表示されたときは、P.231「用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき」を参照してください。

ユーザー ID から印刷する

対象機種：Type 1

1. ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。

2. ［文書印刷］タブを押します。

3. 印刷するユーザー ID を選択します。

複数のユーザー ID を同時に選択できません。

4. 印刷する文書を選択します。

文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、同じ種類の文書をすべて選択できます。

5. 必要に応じて［プレビュー］を押し、文書の印刷イメージを確認します。

6. ［印刷継続］を押します。

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

複数の文書を選択したときに、パスワード付の文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

7. 文書の印刷設定を変更するときは、［印刷設定］を押して設定します。

設定できる項目については、P.192「印刷設定を変更する」を参照してください。

8. 印刷部数を変更するときは［変更］を押して、テンキーで部数を入力します。

複数の文書を選択したときに、部数を変更したときは、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。

9. ［印刷継続］を押します。

対象機種：Type 2

文書を個別に選択して印刷する方法と、選択したユーザー ID の文書をすべて印刷する方法があります。

［文書印刷］を押し、操作部の［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

文書を選択して印刷するとき

1. 文書の種類を選択 ▶ ［ユーザー ID］

2. ユーザー ID を選択 ▶ ［文書リスト］

3. 印刷する文書を選択 ▶ ［印刷］

- 機密印刷をするときや、パスワードが設定されている保存文書を印刷するときは、スクロールキーでパスワードを入力し、［OK］キーを押します。
- 入力したパスワードが正しくないときは、確認画面が表示されます。［確認］を押して、正しいパスワードを入力します。パスワードが分からなくなったときは、文書管理者にご相談ください。
- 試し印刷文書や保存文書の印刷部数を変更するときは、部数を入力します（最大 999 部）。

4. ［印刷］を押す

文書をすべて印刷するとき

1. 文書の種類を選択 ▶ ［ユーザー ID］

2. ユーザー ID を選択 ▶ ［全印刷］

- 機密印刷をするときや、パスワードが設定されている保存文書が含まれるときは、スクロールキーでパスワードを入力し、［OK］キーを押します。パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が印刷の対象となります。

4

- 入力したパスワードが正しくないときは、確認画面が表示されます。[確認]を押して、正しいパスワードを入力します。パスワードが分からなくなったときは、文書管理者に確認してください。

3. 印刷部数を設定 ▶ ［印刷］

印刷部数を変更したときは、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。

補足

- 蓄積されていない種類の文書を選択することはできません。
- 印刷開始後に印刷を中止するには、［印刷取消］キーを押します。印刷を中止すると、保存文書以外の蓄積した文書は消去されます。
- 蓄積した文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

4

保留印刷文書の印刷指定時刻を変更する

対象機種：Type 1

1. ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。

2. 印刷指定時刻を変更する文書を選択します。

［文書印刷］タブ ▶ ［保留印刷文書］ ▶ 印刷時刻を変更する文書を選択

3. 印刷時刻を変更します。

［その他の設定］ ▶ ［印刷時刻］ ▶ テンキーで印刷時刻を入力 ▶ ［OK］

印刷時刻の指定を解除するときは、［解除］を押します。

補足

- 保留印刷文書の印刷時刻は、Web Image Monitor でも変更、追加および消去ができます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

印刷設定を変更する

対象機種：Type 1

本機に蓄積した文書は、操作部の印刷詳細設定画面で印刷の設定を変更できます。設定できる項目は以下のとおりです。

- 給紙トレイ

  印刷に使用する給紙トレイを選択します。

- カラー選択

プリンタードライバーからカラー印刷指定した印刷ジョブを、カラーで印刷するか白黒で印刷するかを選択します。

- 両面

  両面印刷をするときに、とじ方向を選択します。

- ソート/スタック

  2 部以上印刷するときに、1 部ごとに印刷（ソート）するかページごとに印刷するかを選択します。

- トナーセーブ

  通常よりも薄く印刷し、トナーを節約するかしないかを選択します。この設定を有効にすると、印刷品質が低下することがあります。

補足

- ［印刷をともなうジョブの制限］または［エラージョブ蓄積・追い越し］で、自動的に蓄積された文書は、印刷詳細設定画面で設定を変更できません。［印刷をともなうジョブの制限］については、P.134「文書の放置を防止する」を参照してください。［エラージョブ蓄積・追い越し］については、P.137「エラーで印刷が中止された文書を蓄積する」を参照してください。

エラーで蓄積された文書を印刷する

対象機種：Type 1

［プリンター初期設定］にある［システム設定］の［エラージョブ蓄積・追い越し］により、文書が本機に蓄積されたときは、操作部を使用して印刷します。

［エラージョブ蓄積・追い越し］については、P.137「エラーで印刷が中止された文書を蓄積する」を参照してください。

1. ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。

2. 印刷する文書を選択します。

［文書印刷］タブ ▶ 文書種類を選択 ▶ 印刷する文書を選択

［全ジョブ選択］を押すと、同じ種類の文書をすべて選択できます。

［プレビュー］を押すと、文書の印刷イメージを確認できます。

3. ［印刷継続］を押します。

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

複数の文書を選択したときに、パスワード付の文書が含まれていたときは、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

4. **印刷部数を変更するときは［変更］を押して、テンキーで部数を入力します。**

5. **［印刷継続］を押します。**

補足

- 複数の文書を選択したときに、部数を変更した場合は、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積する場合に指定した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するときは、プリンター画面の［印刷取消］または［印刷中断］キーを押します。
- 本機に蓄積された文書は、Web Image Monitor でも印刷を再開できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保存文書にアクセス権を設定する

プリンタードライバーからの印刷指示で本機に蓄積された保存文書のアクセス権は、Web Image Monitor から設定できます。

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **メニューエリアの［文書操作］から［プリンター文書印刷］をクリックします。**

3. **アクセス権を変更する保存文書の［詳細情報］アイコンをクリックします。**

4. **「アクセス権」の［変更］をクリックします。**

パスワードの確認画面が表示されたときは、パスワードを入力します。

5. **ユーザーのアクセス権を選択します。**

アクセス権は、［閲覧］、［編集］、［編集/削除］、［フルコントロール］のいずれかを選択します。

全ユーザーに設定するときは、「公開」にある「すべてのユーザー」のなかからアクセス権を選択します。

6. **［OK］をクリックします。**

7. **［ログアウト］をクリックします。**

8. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- 選択できるアクセス権については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

蓄積文書を消去する

対象機種：Type 1

1. ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。
2. 消去する文書を選択します。

［文書印刷］タブ ▶ 文書種類を選択 ▶ 消去する文書を選択

［全ジョブ選択］を押すと、選択した文書種類のすべての文書を選択できます。

3. ［消去］を押します。
   - 機密印刷文書を消去するときは、テンキーでパスワードを入力し、［実行］を押します。

     複数の文書を選択したときは、パスワードが一致した文書が消去の対象です。確認画面には、消去される文書数が表示されます。
   - 保存印刷文書を消去するとき、文書にパスワードが設定されている場合は、テンキーでパスワードを入力し、［実行］を押します。

     複数の文書を選択したときに、パスワード付の文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が消去の対象です。確認画面には、消去される文書数が表示されます。
4. ［消去する］を押します。

補足

- 蓄積した文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

対象機種：Type 2

［文書印刷］を押し、操作部の［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. 消去する文書の文書種類を選択 ▶ ［文書リスト］
   - 試し印刷文書を消去するときは、［試し印刷文書］を押します。
   - 機密印刷文書を消去するときは、［機密印刷文書］を押します。
   - 保留印刷文書を消去するときは、［保留印刷文書］を押します。
   - 保存印刷文書を消去するときは、［保存文書］を押します。
2. 消去する文書を選択 ▶ ［消去］
   - 機密印刷文書や、パスワードが設定されている保存文書を消去するときは、スクロールキーを使用してパスワードを入力し、［OK］キーを押します。
   - 入力したパスワードが正しくないときは、確認画面が表示されます。［確認］を押して、正しいパスワードを入力します。パスワードが分からなくなったときは、文書管理者に確認してください。

3. [消去] を押す

4

操作画面でジョブを管理する（Type 1）

対象機種：Type 1

本機に蓄積されたジョブを管理できます。

ジョブを管理する画面の種類

印刷すると、データは一時的に本機に記憶され、順番に実行されます。状態確認画面やジョブ一覧画面で、蓄積されたジョブを管理できます。

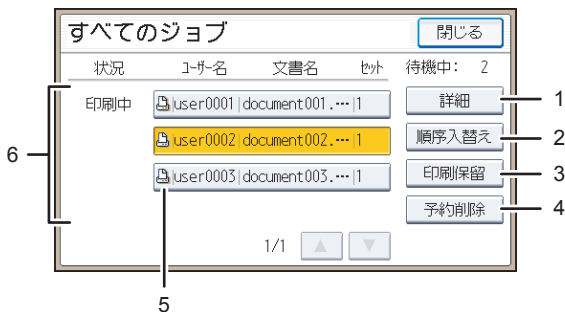
たとえば、設定を間違えたジョブを取り消したい、急ぎの文書を先に印刷したいなど、さまざまな状況に対応できます。

ここでは、状態確認画面やジョブ一覧画面で表示される画面とアイコンについて説明します。

状態確認画面

この画面を表示するには、［状態確認］キーを押して［実行中ジョブ］タブを押してから、［すべてのジョブ］を押します。すべての機能のジョブ一覧を印刷順に表示します。

この画面を開いている間も、ジョブは進行します。

1. ［詳細］

   選択したジョブの内容を表示できます。

2. ［順序入替え］

   選択したジョブの順序を入れ替えます。

3. ［印刷保留］

   選択したジョブの印刷を保留します。

4. ［予約削除］

   選択したジョブを削除します。

5. **印刷した機能のアイコン**

   ：プリンター機能で印刷するジョブ

   ：Ridoc Desk Navigator または Web Image Monitor で印刷するジョブ

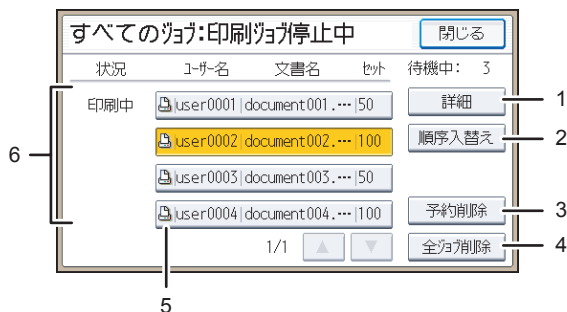
6. **ジョブ一覧**

   ジョブ一覧が表示されます。選択するジョブが表示されないときは、［▲］または［▼］を押して、画面を切り替えてください。

ジョブ一覧画面

この画面を表示するには、［印刷中断］キーを押し、［ジョブ一覧］を押します。すべての機能のジョブ一覧を印刷順に表示します。

この画面を開いている間は、ジョブは中断されます。

1. **［詳細］**

   選択したジョブの内容を表示できます。

2. **［順序入替え］**

   選択したジョブの順序を入れ替えます。

3. **［予約削除］**

   選択したジョブを削除します。

4. **［全ジョブ削除］**

   すべてのジョブを削除します。

5. **印刷した機能のアイコン**

   ：プリンター機能で印刷するジョブ

   ：Ridoc Desk Navigator または Web Image Monitor で印刷するジョブ

6. **ジョブ一覧**

   ジョブ一覧が表示されます。選択するジョブが表示されないときは、［▲］または［▼］を押して、画面を切り替えてください。

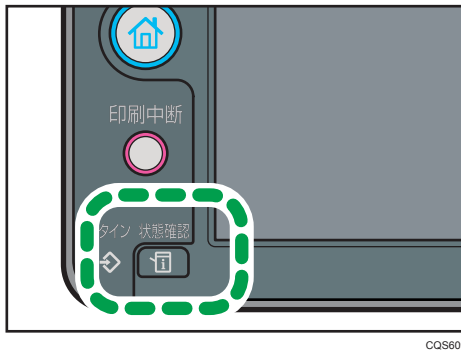
補足

- ユーザー認証を設定しているときは、ログインしているユーザーのジョブだけが表示されます。

ジョブの内容を確認する

ここでは、状態確認画面でジョブの内容を確認する方法を例に説明します。

1. ［状態確認］キーを押し、内容を確認するジョブを選択します。

CQS609

［実行中ジョブ］タブ ▶ ［すべてのジョブ］ ▶ 内容を確認するジョブを選択

2. ［詳細］を押し、内容を確認します。

3. ［閉じる］を3回押します。

補足

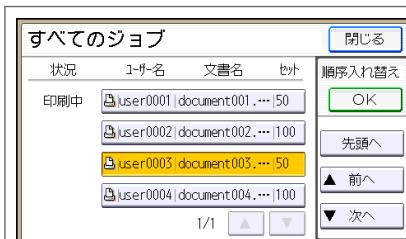
- ジョブ一覧画面でもジョブの内容を確認できます。ジョブが実行中に［印刷中断］キーを押します。［ジョブ一覧］を押して、内容を確認するジョブを選択し、手順2から操作してください。

ジョブの順序を入れ替える

ここでは、状態確認画面でジョブの順序を入れ替える方法を例に説明します。

1. ［状態確認］キーを押し、順序を変更するジョブを選択します。

［実行中ジョブ］タブ ▶ ［すべてのジョブ］ ▶ 順序を変更するジョブを選択

2. ジョブの順序を入れ替えます。

［順序入替え］ ▶ ［先頭へ］、［前へ］、または［次へ］を押して、順序を入れ替え ▶ ［OK］

3. [閉じる]を2回押します。

補足

- ジョブ一覧画面でもジョブの順序を変更できます。ジョブが実行中に[印刷中断]キーを押します。[ジョブ一覧]を押して、順序を変更するジョブを選択し、手順2から操作してください。

ジョブの印刷を保留する

ここでは、状態確認画面でジョブの印刷を保留する方法を例に説明します。

1. [状態確認]キーを押し、印刷を保留するジョブを選択します。

   [実行中ジョブ]タブ ▶ [すべてのジョブ] ▶ 印刷を保留するジョブを選択

2. [印刷保留]を押します。

   選択したジョブ以降のジョブがすべて保留となります。印刷が保留中のジョブの左に、「保留中」が表示されます。

3. [閉じる]を2回押します。

補足

- ジョブ一覧画面でもジョブを保留できます。ジョブが実行中に[印刷中断]キーを押します。[ジョブ一覧]を押して、印刷を保留するジョブを選択し、手順2から操作してください。
- 印刷を再開するには、[印刷再開]を押します。

ジョブを削除する

ここでは、状態確認画面でジョブを削除する方法を例に説明します。

1. [状態確認]キーを押し、削除するジョブを選択します。

   [実行中ジョブ]タブ ▶ [すべてのジョブ] ▶ 削除するジョブを選択

   複数の文書を削除するときは、削除する文書をすべて選択します。

2. 選択したジョブを削除します。

   [予約削除] ▶ [削除する]

3. [閉じる]を2回押します。

補足

- ジョブ一覧画面でもジョブを削除できます。ジョブが実行中に［印刷中断］キーを押します。［ジョブ一覧］を押して、削除ジョブを選択し、手順 2 から操作してください。

ジョブの履歴を確認する

印刷が終了したジョブの履歴を確認できます。また、印刷が終了したジョブの内容も確認できます。

1. ［状態確認］キーを押し、履歴を確認するジョブを選択します。

［ジョブ履歴］ ▶ ［プリンター］または［その他］ ▶ 履歴を確認するジョブを選択

実行済みのジョブの一覧から選択できます。

2. ［詳細］を押し、内容を確認します。

3. ［閉じる］を 2 回押します。

補足

- ［プリンター］、［その他］のカテゴリー別で、最新 100 件のジョブ履歴が表示されます。表示順は、ジョブが終了した順番ではなく、ログが作成された順番になります。

外部メディアを接続して印刷する

対象機種：Type 1 Type 2

本機に接続した外部メディアやデジタルカメラから直接印刷する機能について説明します。

外部メディアを取り付ける/取り外す

対象機種：Type 1

4

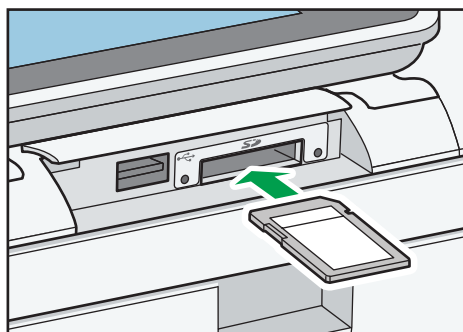
重要

- データ書き込み中には、本体の主電源スイッチを切らないでください。書き込み中のデータが破損することがあります。データ書き込み中にやむをえず本体の電源が切れてしまったときは、お使いのメディア内のデータを確認してください。
- 使用できる SD カードの容量は 32GB までです。

補足

- 外部メディアを差し込んでもメディアアクセスランプが点灯しないときは、次のように対処してください。
    - 外部メディアをセットし直してください。
    - 外部メディアが壊れている可能性があります。SD カードのお買い上げ店などに相談してください。

SD カードを取り付ける

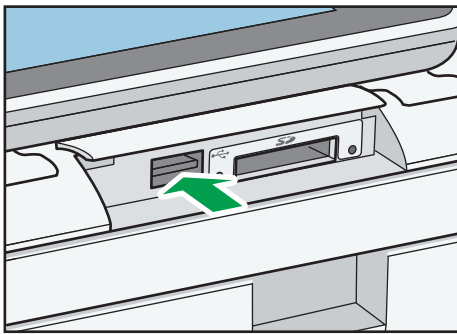
1. メディアスロットのカバーを開けます。
2. SD カードの向きを確認し、メディアスロットにカチッと音がするまでまっすぐ差し込みます。

正しくセットできると、メディアアクセスランプが点灯します。

3. メディアスロットのカバーを閉めます。

USB メモリーを取り付ける

重要

- USB メモリーの種類によっては、使用できないことがあります。
- USB メモリーを取り付けるときは、延長ケーブルを使用しないで、メディアスロットに直接取り付けてください。
- USB メモリーが本体に接触するときは、無理に差し込まないでください。USB メモリーや本体が破損するおそれがあります。

1. メディアスロットのカバーを開けます。
2. USB メモリーの向きを確認し、メディアスロットの奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

CSH008

正しくセットできると、メディアアクセスランプが点灯します。

3. メディアスロットのカバーを閉めます。

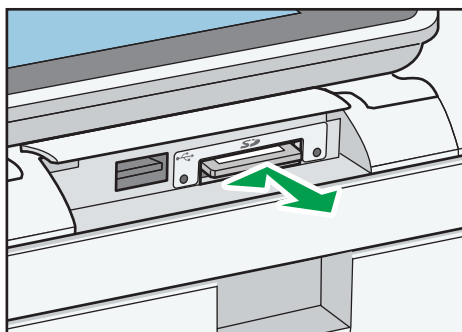
USB メモリーの形状によってメディアスロットのカバーが閉まらないときは、無理に閉めないでください。

補足

- USB メモリーが取り付けられていると、メディアアクセスランプが点灯を続けます。

SD カードを取り外す

1. メディアスロットのカバーを開けます。
2. メディアアクセススランプが点灯していないことを確認します。

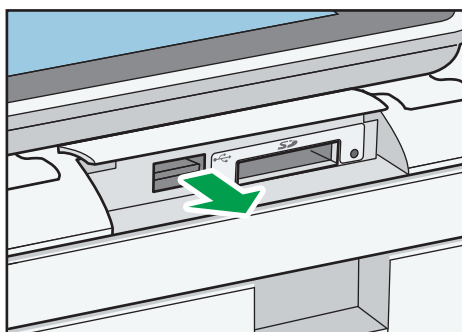
3. SD カードを軽く押してから離します。

CSH009

4. SD カードをつまんで、ゆっくり引き抜きます。

5. メディアスロットのカバーを閉めます。

USB メモリーを取り外す

1. メディアスロットのカバーを開けます。

2. USB メモリーをゆっくり引き抜きます。

CSH010

3. メディアスロットのカバーを閉めます。

メディアスロットから直接印刷する（メディアプリント）

対象機種：Type 1

外部メディア（USB メモリーまたは SD カード）を本機に接続して、外部メディアの文書を直接印刷できます。

コンピューターを使用しないで、簡単に印刷できる便利な機能です。JPEG、TIFF、または PDF 形式の文書を印刷できます。

メディアスロット使用時の注意

- 使用できる外部メディアは USB メモリーと SD カードです。ただし、すべての USB メモリーや SD カードで動作を保証するものではありません。推奨する外部メディアについてはリコーホームページをご覧ください。
- 使用できる SD カードの容量は 32GB 以下（SD または SDHC）です。SDXC メモリーカードには対応していません。
- 使用する USB メモリーがパスワード設定などのセキュリティー機能を有効にしているときは、正しく動作しないことがあります。
- USB スロットには、USB メモリー以外の USB 機器を挿入しないでください。正しく動作しないことがあります。
- USB メモリーを取り付けるときは、延長ケーブルを使用しないで、メディアスロットに直接取り付けてください。
- 外付けの USB ハブやカードリーダーなどは使用できません。
- 本機が外部メディアのデータにアクセスしている間は、本体の電源を切ったり、外部メディアを抜いたりしないでください。外部メディア内のデータが破損することがあります。
- 本機が外部メディアのデータにアクセスしている間に、本体の電源が切れたり外部メディアが抜けたりしたときは、外部メディア内のデータを確認してください。
- 大切な文書やデータは、必ずコピーまたはバックアップしてください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が生じたりしたときに、文書やデータが消失することがあります。本機の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

印刷できるファイル形式

JPEG 形式

- Exif バージョン 1.0 以降の JPEG ファイルに対応しています。

TIFF 形式

- 以下の形式の TIFF ファイルに対応しています： 無圧縮の TIFF ファイル、または MH、MR、MMR 形式で圧縮された TIFF ファイル。

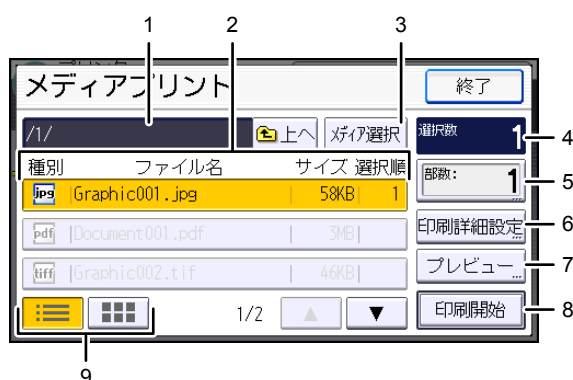
PDF 形式

- Adobe 純正の PDF に対応しています。
- PDF バージョン 1.7（Acrobat 8.0 互換）までの PDF ファイルに対応しています。
- PDF バージョン 1.5 の固有機能である Crypt Filter や、8 コンポーネントを超える DeviceN のカラースペースには対応していません。
- PDF バージョン 1.6 の固有機能であるウォーターマーク注釈や、バージョン 1.6 で機能拡張されたオプショナルコンテンツには対応していません。

- PDF バージョン 1.7 の固有機能である AcroForm を使用している PDF ファイルには対応していません。
- PDF ファイルのサイズが大きいときは、直接印刷できないことがあります。
- 印刷中に PDF ファイルの送信が取り消されるときは、［プリンター初期設定］から［システム設定］の［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に設定してください。［ユーザーメモリー］に設定してもジョブリセットされるときは、Acrobat Reader などの PDF ビューワーからプリンタードライバーを使用し、印刷してください。

メディアプリント画面

4

メディアプリントの画面を表示するには、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押し、プリンター画面の［メディアプリント］を押し、メディアを選択します。外部メディアに保存されている文書は、リスト表示かサムネール表示で確認できます。

1. **現在のフォルダー**

   表示されているフォルダーの場所を表示します。上の階層のフォルダーに戻りたいときは、［上へ］を押します。

2. **文書/フォルダー一覧**

   印刷する文書やフォルダーを選択します。必要に応じて、［▲ ］［▼ ］で画面をスクロールしてください。

   文書の形式、名前、サイズを表示します。複数の文書を選択しているときは、選択された順番も表示します。

   文書の数によって、最大 999 ページ分の画面をスクロールできます。

3. **［メディア選択］**

   メディア選択画面に表示を切り替えます。

4. **選択数**

   選択した文書の数（1～999）を表示します。

5. **部数**

印刷部数（1～999）の指定画面を表示します。

6. **[印刷詳細設定]**

印刷の詳細設定をします。

7. **[プレビュー]**

選択した文書の 1 ページ目の印刷イメージを表示します。イメージ画像の拡大・縮小表示や表示位置の移動ができます。

8. **[印刷開始]**

選択した文書を印刷します。

9. **リスト/サムネール**

一覧画面をリスト表示とサムネール表示で切り替えます。

補足

- 本機は、合計 5990 までの外部メディア内のファイルやフォルダーを認識できます。
- 外部メディア内のファイル名には、パスも含めて、255 バイトまで使用できます。本機が正しく表示できない文字は、ファイル名に使用できません。
- Exif 規格および DCF 規格準拠の JPEG 形式のファイルはサムネールを表示できます。その他のファイルはアイコンが表示されます。
- 印刷できる用紙サイズについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。
- 不定形サイズの PDF ファイルは印刷できないことがあります。
- 印刷設定は、ファイルの選択をすべて解除するまで保持されます。
- PDF 形式のファイルに PDF パスワードが設定されているときは、プリンター機能から別の機能に切り替えるまで保持されます。
- 正しく認識できていない外部メディアを選択したときは、エラーメッセージが表示されます。

メディアプリント機能で印刷する

1. 外部メディアをメディアスロットに差し込みます。

外部メディアの取り付けかたについては、P.202「外部メディアを取り付ける/取り外す」を参照してください。

2. ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。

3.［メディアプリント］を押し、印刷する文書を選択します。

印刷する文書が保存されている外部メディアを選択 ▶ 印刷する文書を選択

一度に選択できる外部メディアはひとつだけです。

同じフォルダーに保存されている同じファイル形式の文書は、複数同時に選択できます。

4. 必要に応じて、以下を設定します。

- ［印刷詳細設定］
  印刷の設定をします。機能によっては同時に設定できないことがあります。
- ［プレビュー］
  文書の印刷イメージを確認します。

5. ［印刷開始］を押して、印刷を開始します。

6. 印刷が終了したら、［メディア選択］を押します。

7. 外部メディアを取り外します。

外部メディアの取り外しかたについては、P.202「外部メディアを取り付ける/取り外す」を参照してください。

4

補足

- セキュリティーの設定によっては、［メディアプリント］が画面に表示されないことがあります。詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。
- 異なるファイル形式の文書は、同時に選択できません。
- フォルダーを移動したり、別の外部メディアを選択したりしたときは、ファイルの選択は解除されます。
- ファイルサイズが 1GB を超える文書は印刷できません。
- JPEG 形式の文書は、サイズの合計が 1GB 以内であれば、最大 999 の文書を同時に選択できます。
- 白黒に見える文書でも、カラーで印刷されることがあります。確実に白黒で印刷するときは、白黒印刷を指定してから印刷してください。
- JPEG 形式の文書を選択しているとき、用紙サイズの自動選択はできません。
- 上記の手順で操作している間に別の外部メディアを挿入したときは、その外部メディアのルート階層にある文書やフォルダーの一覧が表示されます。
- 外部メディアを複数の領域（パーティション）に分割しているときは、先頭のパーティションのデータが読み込まれます。
- USB メモリーをメディアスロットに差し込むと、メディアアクセスランプが常に点灯します。
- SD カードをメディアスロットに差し込むと、メディアアクセスランプが常に点灯します。

デジタルカメラの画像を直接印刷する

対象機種：Type 1 Type 2

重要

- **この機能は、デジタルカメラ接続カードを装着しているときに使用できます。**

本機と PictBridge 対応のデジタルカメラを USB ケーブルで接続し、デジタルカメラから操作すると、撮影した画像を直接印刷できます。

PictBridge 使用時の注意

- 使用するデジタルカメラが、PictBridge 対応であることを確認してください。
- 本機との接続には、デジタルカメラに付属の USB ケーブルを使用してください。
- データの送信中に USB ケーブルを抜かないでください。正しく印刷されないことがあります。
- 1 回の印刷で送信できる画像枚数は 999 枚までです。1000 枚以上の枚数を送信したとき はデジタルカメラ側にエラーを返し、印刷を中止します。
- 1 回の印刷で指定できる部数はデジタルカメラの仕様に依存します。詳細は、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。
- 印刷条件はデジタルカメラ側で設定するため、使用するデジタルカメラによって設定で きる項目が異なります。詳細は、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

PictBridge 機能で印刷する

1. **本機の電源、使用するデジタルカメラの電源が入っていることを確認します。**
2. **本機の USB ポート A、またはメディアスロットに USB ケーブルを接続し、デジタルカメラと接続します。**

   USB ポート A で接続するときは、P.38「プリンターとデジタルカメラを接続する」を参照してください。メディアスロットで接続するときは、P.202「外部メディアを取り付ける/取り外す」を参照してください。
3. **デジタルカメラから、印刷する画像の選択と印刷条件の設定をします。**
4. **デジタルカメラで設定した内容を本機に送信し、印刷します。**

補足

- 使用している機種が Type 1 のときだけ、メディアスロットを使用できます。
- 使用するデジタルカメラによっては、PictBridge を使用するために手動で設定が必要です。詳細は、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。
- 印刷条件はデジタルカメラ側で設定するため、使用するデジタルカメラによって設定できる項目が異なります。詳細は、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

PictBridgeを終了する

重要

- データの送信中にUSBケーブルを抜かないでください。正しく印刷されないことがあります。

1. 本機の操作部が「印刷できます」の状態になっている事を確認します。
2. 本機に接続されているUSBケーブルを抜きます。

対応機能一覧

本機に対応しているPictBridgeの印刷機能を紹介します。

- 単一画像印刷
- 任意選択画像印刷
- インデックス印刷
- 全画像印刷
- トリミング
- 日付/ファイル名印刷
- 用紙サイズ
- 画像印刷サイズ
- 集約
- 両面印刷
- 印刷品質
- カラーマッチング
- 紙種
- 帳票印刷
- トナーセーブ
- カメラメモ出力

補足

- 本機では以下の設定項目には対応していません。
    - DPOF印刷
    - フチなし印刷
- 使用するデジタルカメラによって印刷の機能名や設定できる項目が異なることがあります。詳細は、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

インデックス印刷

画像のインデックスを作成します。

- A3

横コマ数×縦コマ数	用紙の向き
12×16	タテ
16×12	ヨコ

- A4

横コマ数×縦コマ数	用紙の向き
8×12	タテ
12×8	ヨコ

- A5

横コマ数×縦コマ数	用紙の向き
5×8	タテ
8×5	ヨコ

- Letter（$8^1/_2$ "×11 "）

横コマ数×縦コマ数	用紙の向き
8×10	タテ
10×8	ヨコ

- B4

横コマ数×縦コマ数	用紙の向き
10×14	タテ
14×10	ヨコ

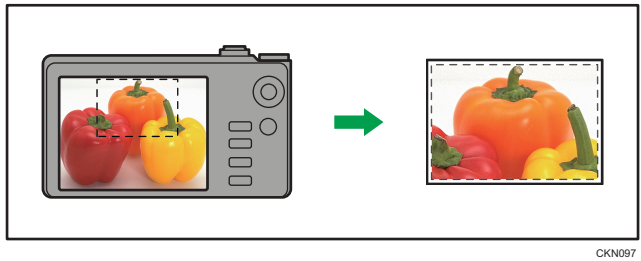
補足

- インデックス印刷は、指定されたサイズの用紙がトレイにセットされている向きによって出力結果が異なります。
- 使用するデジタルカメラによっては、改ページが入ることがあります。
- 各用紙サイズでのコマ数は固定です。
- 本機の用紙サイズや用紙種類の設定については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
    - Type 1：P.365「用紙設定」
    - Type 2：P.374「用紙設定」

トリミング

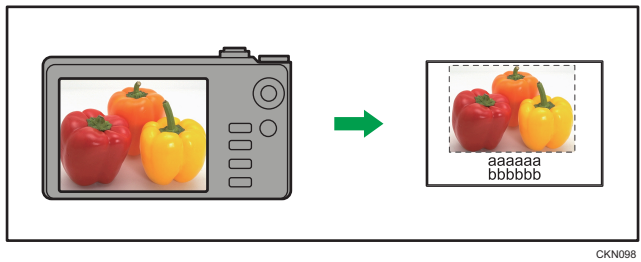
デジタルカメラで指定されたトリミング領域だけを出力します。

4

CKN097

点線はトリミング領域を表しています。

日付 / ファイル名印刷

画像の下に日付やファイル名をつけて出力します。

CKN098

「aaaaaa」ファイル名、「bbbbbb」日付を表しています。

用紙サイズ

デジタルカメラより指定された用紙サイズを使用して出力します。

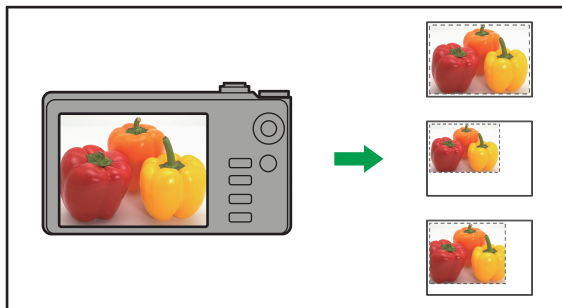
用紙サイズ	サイズ
2L（5 "x7 "）	178×127mm
ハガキ	148×100mm
100×150mm	150×100mm
4 "x6 "	152.4×101.6mm
8 "x10 "	254×203.2mm
Letter（8$^1/_2$ "x11 "）	279.4×216mm
11 "x17 "	431.8×279.4mm
A3	420×297mm
A4	297×210mm
A5	210×148mm
A6	148×105mm
B4	364×257mm
B5	257×182mm

用紙サイズ	サイズ
B6	182×128mm

補足

- 2L（5 "×7 "）、100×150mm、4 "×6 "、8 "×10 "については不定形サイズを指定してください。
- 本機の用紙サイズの設定については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
    - Type 1：P.365「用紙設定」
    - Type 2：P.374「用紙設定」

画像印刷サイズ

デジタルカメラで指定された画像サイズになるように、用紙に出力します。

点線はカメラで指定された画像サイズを表しています。

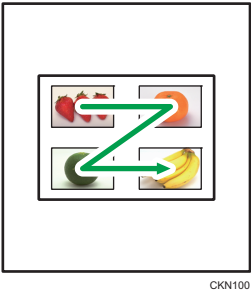
画像印刷サイズで指定できるサイズは以下のとおりです。

- 3.25 "×2.5 "
- 5 "×3.5 "
- 6 "×4 "
- 7 "×5 "
- 10 "×8 "
- 254×178mm
- 110×74mm
- 89×55mm
- 148×100mm
- 8×6cm
- 10×7cm
- 13×9cm

- 15×10cm
- 18×13cm
- 21×15cm
- 24×18cm

集約

指定された用紙に、複数の画像を印刷します。

CKN100

1 枚に印刷できる画像数（コマ数）は下表のとおりです。

用紙サイズ	指定できるコマ数
2L（5 "×7 "）	2、4、8、9
ハガキ	2、4
100×150mm	2、4
4 "×6 "	2、4、8、9
8 "×10 "	2、4、8、9、16、25、32
Letter（$8^1/_2$ "×11 "）	2、4、8、9、16、25、32
11 "×17 "	2、4、8、9、16、25、32、49、64
A3	2、4、8、9、16、25、32、49、64
A4	2、4、8、9、16、25、32
A5	2、4、8、9、16
A6	2、4、8
B4	2、4、8、9、16、25、32、36、49
B5	2、4、8、9、16、25
B6	2、4、8、9

また、指定できるコマ数のコマの並びかたは以下のとおりです。

コマ数	縦方向コマ数×横方向コマ数	用紙の方向
2	2×1	タテ
4	2×2	ヨコ
8	4×2	タテ
9	3×3	ヨコ
16	4×4	ヨコ
25	5×5	ヨコ
32	8×4	タテ
36	6×6	ヨコ
49	7×7	ヨコ
64	8×8	ヨコ

補足

- 使用するデジタルカメラによっては、途中で改ページが入ることがあります。
- 印刷する画像枚数の組み合わせによっては、指定どおりに印刷できないことがあります。

両面印刷

用紙の両面に印刷するかどうかを指定できます。

補足

- 印刷結果は左開きです。開き方向は変更できません。
- 用紙の種類や給紙元のトレイによっては両面印刷できないことがあります。

印刷品質

選択された印刷品質で画像を出力します。

本機では[Default]および[Normal]が選択されたときは600dpi×600dpi(2bit)、[Fine]のときは600dpi×600dpi（4bit）で出力します。

カラーマッチング

画像の色合いを最適化し、出力します。

[Default]および[OFF]が選択されたときは、階調優先によるカラーマッチング処理をします。[ON]が選択されたときは、あざやかさ優先によるカラーマッチング処理をします。

紙種

本機でトレイにセットされている紙種を設定しておくと、デジタルカメラにその情報に通知され、紙種を確認してから出力できます。

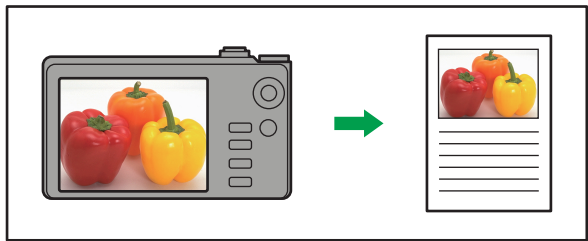
デジタルカメラに通知される紙種	プリンターにセットされている紙種
Default	すべての紙種
Plain Paper	普通紙・再生紙
Photo Paper	HG 普通紙・インクジェットハガキ
Fast Photo Paper	光沢紙

補足

- HG 普通紙、インクジェットハガキ、光沢紙の紙種は、本機で使用できません。
- 本機の用紙種類の設定については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
    - Type 1：P.365「用紙設定」
    - Type 2：P.374「用紙設定」

4

帳票印刷

定められたレイアウトフォーマットを使用した画像を出力します。

トナーセーブ

デジタルカメラより印刷濃度を指定すると、トナーを節約して出力できます。

デジタルカメラからの指定	印刷濃度
Default/OFF	100%
やや薄い	75%
薄い	50%

カメラメモ出力

印刷する画像にテキストデータが添付されているときに、そのテキストデータを印刷します。

プリンタードライバーを使用しないで印刷する

PDF ファイルの直接印刷や仮想プリンターなど、プリンタードライバーを使用しないで印刷する方法を説明します。

PDF ファイルを直接印刷する

対象機種：Type 1 Type 2

重要

- 使用している機種が Type 2 のときは、オプションの PDF ダイレクトプリントカードが必要です。

PDF ファイルを直接印刷するには、個人文書管理ソフト Ridoc Desk Navigator から印刷する方法と、コマンドを使用して印刷する方法があります。

Ridoc Desk Navigator を使用する

PDF ファイルを開くアプリケーションを起動することなく、個人文書管理ソフト Ridoc Desk Navigator に PDF ファイルを登録し、PDF ファイルを直接本機に送って印刷ができます。

Ridoc Desk Navigator はリコーのホームページからダウンロードできます。詳しくは、P.109「ソフトウェアのダウンロードについて」を参照してください。

重要

- Adobe 純正の PDF に対応しています。
- PDF バージョン 1.7（Acrobat 8.0 互換）までの PDF ファイルに対応しています。
- PDF バージョン 1.5 の固有機能である Crypt Filter や、8 コンポーネントを超える DeviceN のカラースペースには対応していません。
- PDF バージョン 1.6 の固有機能であるウォーターマーク注釈や、バージョン 1.6 で機能拡張されたオプショナルコンテンツには対応していません。
- PDF バージョン 1.7 の固有機能である AcroForm を使用している PDF ファイルには対応していません。
- PDF ファイルのサイズが大きいときは、直接印刷できないことがあります。
- 印刷中に PDF ファイルの送信が取り消されるときは、操作部で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に設定してください。
    - Type 1

［プリンター初期設定］ ▶ ［システム設定］ ▶ ［優先メモリー］ ▶ ［ユーザーメモリー］

- Type 2

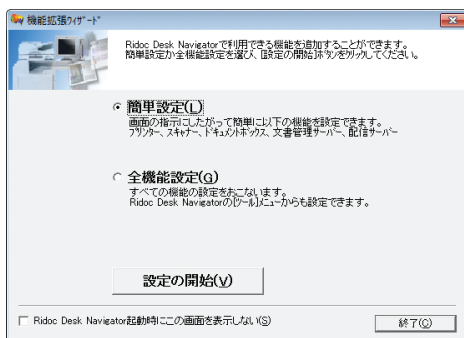
  ［システム設定］ ▶ ［優先メモリー］ ▶ ［ユーザーメモリー］

- ［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に設定してもジョブリセットされるときは、Acrobat Reader などの PDF ビューワーからドライバーを使用し印刷してください。
- 不定形サイズの用紙に印刷するときは、用紙サイズエラーが発生することがあります。
- Ridoc Desk Navigator は Windows 64bit 版、Mac OS X では使用できません。

Ridoc Desk Navigator の拡張機能

4

PDF ファイルを直接印刷するには、Ridoc Desk Navigator の機能拡張を使用して、直接印刷の機能を追加します。

1. Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］、［RICOH Ridoc Desk Navigator］、［機能拡張ウィザード］をクリックします。
2. ［簡単設定］を選んで［設定の開始］をクリックし、［印刷機能の設定 2］画面が表示されるまで［次へ］をクリックします。

3. ［印刷機能の設定 2］画面で、［追加...］をクリックします。

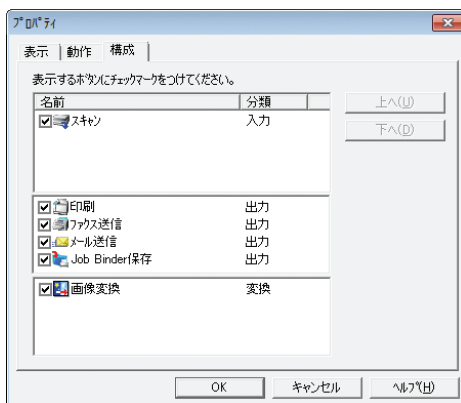
   手順 2 で［全機能設定］を選んだときは、「分類:」のカテゴリーから［出力］を選択します。「選択できる機能」欄から［PDF ダイレクトプリント］を選択し、［追加］をクリックします。

4. ［直接指定...］をクリックし、本機の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
5. ［OK］をクリックします。
6. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
7. ［OK］をクリックします。
8. ［完了］が表示されるまで［次へ］をクリックします。
9. ［完了］をクリックします。

Ridoc Function パレット

Ridoc Function パレットとは、Ridoc Desk Navigator の機能拡張で設定した機能をボタン化したものです。Ridoc Desk Navigator を起動することなく、Windows ファイルの印刷、印刷プレビュー、画像変換などができます。また、これらの機能はパレットのボタンに対象ファイルをドラッグ&ドロップするだけで使用できます。

機能拡張を設定したときは、Ridoc Function パレットに自動でボタンが表示されます。もし、設定した機能のボタンが表示されないときや、ボタンを非表示にするときは、以下の設定をします。

1. Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］、［RICOH Ridoc Desk Navigator］、［Ridoc Function パレット］をクリックします。
2. タスクトレイに表示されたアイコン（）を右クリックし、［プロパティ...］をクリックします。
3. ［構成］タブをクリックし、ボタン表示させる機能にはチェックボックスにマークを付け、ボタン表示させない機能にはチェックボックスのマークを外します。

4. ［OK］をクリックします。

Ridoc Function パレットで PDF ファイルを印刷する

Ridoc Function パレットを使用すると、ファイルを開くアプリケーションを起動することなく、PDF ファイルを本機に直接送信して印刷できます。

1. 印刷する PDF ファイルを Ridoc Function パレットの PDF ダイレクトプリントアイコンにドラッグ&ドロップします。
2. ［OK］をクリックします。

コマンドを使用する

ftp、sftp、lpr などのコマンドを使用して、ファイルを開くアプリケーションを起動することなく、PDF ファイルを直接印刷できます。

コマンドで PDF ファイルを印刷する

PDF ファイルを送信する方法を説明します。ここでは、lpr コマンドを例に説明します。

lpr コマンドでは、本機の IP アドレスのほか、PDF ファイル名を指定します。書式は次のとおりです。

C:¥>lpr -S 本機の **IP** アドレス（またはホスト名） **[-o l]** ¥パス¥ファイル名

コマンドでパスワード付き PDF ファイルを印刷する

パスワード保護された PDF ファイルを直接印刷する方法を説明します。

パスワード保護された PDF ファイルを直接印刷するには、操作部または Web Image Monitor のいずれかでパスワードを指定します。

4

- 操作部を使用する

  操作部を使用して PDF パスワードを設定するには、プリンター初期設定の［PDF 設定］で［PDF パスワード変更］を設定します。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。

  - Type 1：P.358「PDF 設定」
  - Type 2：P.406「PDF 設定」

- Web Image Monitor を使用する

  Web Image Monitor を使用して PDF パスワードを設定するには、［設定］の［PDF 一時パスワード］を設定します。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

Windows からファイルを直接印刷する

対象機種：Type 1 Type 2

Windows で印刷コマンド（lpr、ftp、sftp）を使用したファイル直接印刷の方法を説明します。

重要

- **この方法で印刷できるファイルは、本機が搭載しているエミュレーション用に作られたファイルです。エミュレーション用に作られたファイルとは、例えば PostScript 3 用のポストスクリプトファイルなどです。**
- **搭載していないエミュレーションのファイルは印刷できません。**

セットアップの流れ

Windows からファイル直接印刷するための、環境設定の方法の説明です。

1. 操作部で TCP/IP プロトコルを有効にし、IP アドレスなど TCP/IP に関するネットワーク環境を設定します。

2. **Windows に TCP/IP プロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。**

   ネットワークに関する設定内容はネットワーク管理者に確認してください。

3. **lpr を使用して印刷するときは、ネットワークソフトウェアとして「UNIX 用印刷サービス」を組み込みます。**

補足

- 本機に IP アドレスを設定する方法は、P.255「ネットワークの設定」を参照してください。

IP アドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IP アドレスの代わりにホスト名を使用して本機を指定できます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

DNS を使用している

DNS サーバー上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

DHCP を使用してプリンターの IP アドレスを設定している

システム設定リストの「プリンター名」に印刷された名前をホスト名として使用します。

補足

- システム設定リストの印刷については、P.302「テスト印刷する」を参照してください。

その他

印刷に使用するコンピューターの hosts ファイルに、ネットワークプリンターの IP アドレスとホスト名を追加します。追加のしかたは OS により異なります。

1. **メモ帳などで hosts ファイルを開きます。**

   hosts ファイルは以下の場所にあります。

   ¥WINDOWS¥SYSTEM32¥DRIVERS¥ETC¥HOSTS

2. **hosts ファイルに IPv4 と IPv6 のアドレスとホスト名を以下の形式で追加します。**

   IPv4 のとき

   192.168.15.16 ricoh # NP

   192.168.15.16 は IPv4 アドレスの例、ricoh はプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。IPv6 のとき

   2001:DB::100 ricoh # NP

4

2001:DB::100 は IPv6 アドレスの例、ricoh はプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

3. ファイルを上書き保存します。

補足

- IPv6 環境下の Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 でホスト名を使用しているときは、外部の DNS サーバーでホスト名を解決してください。hosts ファイルは使用できません。
- IPv6 対応の OS は、Windows XP SP2 と Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2、および Windows Vista/7 です。

印刷方法

lpr、ftp、sftp コマンドを使った印刷方法の説明です。

コマンドはコマンドプロンプト ウィンドウで入力します。コマンドプロンプトの場所は次のとおりです。

[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]

補足

- 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- 「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。各コマンドを使用したときの最大セッション数は次のとおりです。
    - lpr：10
    - ftp：3
    - sftp：3
- ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。
- エミュレーションによってはエミュレーション固有の印刷オプションも用意されています。印刷オプションについては、『エミュレーション』の各項目を参照してください。

lpr コマンドで印刷する

IP アドレスを使用してプリンターを指定する

c:> lpr -S プリンターの IP アドレス ［-P オプション］ ［-ol］¥パス名¥ファイル名

IP アドレスの代わりにホスト名を使用する

c:> lpr -S プリンターのホスト名［-P オプション］［-ol］¥パス名¥ファイル名

バイナリーファイルを印刷するときは -o l（小文字の O と、小文字の L）オプションを付けてください。

ホスト名が ricoh のプリンターに、C:¥PRINT ディレクトリにある、名前が file1 の PostScript ファイルを印刷するときのコマンド例は次のとおりです。

c:> lpr -Sricoh -Pfiletype=RPS -o l C:¥PRINT¥file1

仮想プリンターから印刷する

c:> lpr -S プリンターの IP アドレス（またはホスト名）［-P 仮想プリンター名］［-ol］¥パス名¥ファイル名

補足

- 仮想プリンターの設定については、P.225「仮想プリンターを使用する」を参照してください。

ftp/sftp コマンドで印刷する

印刷するファイル数に応じて put または mput コマンドを使用します。

印刷するファイルが 1 つのとき

ftp> put ¥パス名¥ファイル名［オプション］

仮想プリンターから印刷するとき

ftp> put ¥パス名¥ファイル名［仮想プリンター名］

印刷するファイルが複数のとき

ftp> mput ¥パス名¥ファイル名［¥パス名¥ファイル名...］

ftp を起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。ここでは ftp で説明します。

1. 本機の IP アドレス（または hosts ファイルに設定した本機のホスト名）を引数にして ftp コマンドを起動します。

% ftp 本機の IP アドレス（またはホスト名）

2. ユーザー名とパスワードを入力し、［Enter］キーを押します。

User:

Password:

ユーザー名とパスワードは管理者に確認してください。

ユーザー認証が設定されているときは、ユーザー名にログインユーザー名を、パスワードにログインパスワードを入力します。

3. バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。

ftp> bin

バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

4. 印刷するファイルを指定します。

以下は C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 という名前のポストスクリプトファイルを印刷する例と、file1 と file2 を印刷する例です。

ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=RPS

ftp> mput C:¥PRINT¥file1 file2

5. ftp を終了します。

ftp> bye

補足

- ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。
- mput コマンドではオプションを指定できません。
- ftp を使用するときは、pwd コマンドではオプションを指定できません。
- sftp を使用するときは、cd コマンドではオプションを指定できません。
- sftp を使用するときは、pwd コマンドではオプションを指定できません。
- sftp を使用するときは、ssh 設定の公開鍵を作成しておく必要があります。公開鍵の作成については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 個人認証（ベーシック認証・Windows 認証・LDAP 認証・統合サーバー認証）が有効になっているときは、未認証ユーザー（正しくログインユーザー名とログインパスワードを入力しても認証されないユーザー）ではログインできません。
- mput コマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。
- C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 という名前のファイルを RPDL で印刷する例
    - ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=R00
- ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者に確認してください。
- 仮想プリンターの設定については、P.225「仮想プリンターを使用する」を参照してください。

仮想プリンターを使用する

仮想プリンターとは、ネットワーク環境だけで認識できる擬似的なプリンターです。仮想プリンターでは、印刷に関するさまざまなオプション（給紙トレイの指定や両面印刷の有無など）を設定できます。また、割り込み印刷を設定できます。割り込み印刷とは、印刷開始待ちや処理中のジョブを一時停止させて、別のジョブを先に印刷する機能です。

UNIX や Solaris などから印刷するときに仮想プリンターを指定すると、コマンドによる印刷オプションの指示ができないときでも、さまざまな印刷ができます。

仮想プリンターを追加する

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。

ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。

3.「プリンター」カテゴリーの中の［仮想プリンター設定］をクリックします。

4.［追加］をクリックします。

5.「仮想プリンター名」に任意のプリンター名を入力し、「プロトコル」を選択します。

仮想プリンターで使用できるプロトコルは、[TCP/IP（指定なし・通常)]、[TCP/IP(指定なし・優先)]、[TCP/IP（RHPP)]、[TCP/IP（DIPRINT)]、[AppleTalk］です。

[AppleTalk］は、PS3 カード装着時に表示されます。

「プロトコル」で［TCP/IP（DIPRINT)］または［AppleTalk］を指定したとき、仮想プリンターの名前を任意に設定できません。

6.［OK］をクリックします。

7.［ログアウト］をクリックします。

8. Web Image Monitor を終了します。

補足

- 追加できる仮想プリンターの数は 50 個までです。登録されている仮想プリンターが 51 個に達しているとき、［追加］ボタンは表示されません。

仮想プリンターを有効にする

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。

ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。

3. 「プリンター」カテゴリーの中の［基本設定］をクリックします。
4. 「仮想プリンター」の項目から［有効］を選択し、［OK］をクリックします。
5. ［ログアウト］をクリックします。
6. Web Image Monitor を終了します。

仮想プリンターを削除する

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。

   ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。
3. 「プリンター」カテゴリーの中の［仮想プリンター設定］をクリックします。
4. 削除する仮想プリンターを選択し、［削除］をクリックします。
5. ［OK］をクリックします。
6. ［ログアウト］をクリックします。
7. Web Image Monitor を終了します。

補足

- Default の仮想プリンターは削除できません。

仮想プリンターを設定する

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。

   ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。
3. 「プリンター」カテゴリーの中の［仮想プリンター設定］をクリックします。
4. 設定を変更する仮想プリンターを選択し、［変更］をクリックします。
5. 各項目の設定内容を任意に変更し、［OK］をクリックします。

   ここで設定した仮想プリンターを割り込み印刷用の仮想プリンターとして設定するときは、「プロトコル」で［TCP/IP(指定なし：優先)］を選択します。

6. ［ログアウト］をクリックします。
7. Web Image Monitor を終了します。

補足

- 設定内容の詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

- 使用するエミュレーションにより設定できる項目は異なります。詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

仮想プリンターの設定を確認する

仮想プリンターで印刷するとき、仮想プリンター名の指定が必要です。仮想プリンター名や設定内容を確認する手順について説明します。

1. Web Image Monitor を起動します。

起動方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。

3.「プリンター」カテゴリーの中の［仮想プリンター設定］をクリックします。

4. 確認する仮想プリンターを選択し、［詳細情報］をクリックします。

補足

- Web Image Monitor に管理者モードでログインしているとき、［詳細情報］は表示されません。［変更］で現在の設定内容を確認してください。
- 仮想プリンターが［無効］に設定されているときは、仮想プリンターの一覧が表示されません。仮想プリンターを［有効］に設定してください。仮想プリンターを［有効］に設定するには、管理者モードでログインしてください。詳細については、P.225「仮想プリンターを有効にする」を参照してください。

4

仮想プリンターで印刷する

仮想プリンターを使用して印刷するには、各コマンドのオプションに［仮想プリンター名］を指定します。割り込み印刷をするときは、割り込み印刷用に設定した仮想プリンターの名前を指定します。最初に印刷する前に、使用する仮想プリンターを指定してください。

コマンドを使用して印刷するときの例は以下のとおりです。

lpr のとき

c:¥> lpr -S 本機の IP アドレス（またはホスト名［-P 仮想プリンター名］　［-ol］¥パス名¥ファイル名

ftp のとき

ftp>put　¥パス名¥ファイル名　［仮想プリンター名］,

設定が無効になる項目

選択しているエミュレーションによっては、「システム設定」の設定項目が無効になります。詳細は以下のとおりです。

無効になる「システム設定」の設定項目	選択しているエミュレーション
エラーレポート印刷	RPCS、PS3、PDF、PCLXL
180 度回転	RPCS
補助用紙サイズ	RTIFF
給紙トレイ	RPCS、RPDL、RP-GL/GL2、RTIFF、R98、R55、R16
用紙種類	RPCS、RTIFF
排紙トレイ	RPCS、RPDL、RP-GL/GL2、R98、R55、R16

補足

- 設定が有効になる項目については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

印刷を中止する

本機とパソコンから印刷を中止します。中止する方法は印刷データの状態によって異なります。状況を確認し、以下の手順で操作します。

1. 印刷を中止するデータが、本機から印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくてもデータインランプが点滅・点灯していれば、本機はデータを受信しています。

2. 印刷を中止します。

データの印刷状況によって、次のいずれかの手順で操作します。

印刷開始前のとき

Windows で印刷を中止する

1. Windows のタスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。
3. ［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。

Mac OS X で印刷を中止する

1. Dock のプリンターアイコンをクリックします。
2. 印刷を中止するファイルを選択します。
3. ［削除］をクリックします。

印刷中のとき

対象機種：Type 1

1. プリンター画面で印刷を中止します。

［印刷取消］ ▶ ［印刷中止］または［全ジョブ取り消し］を選択 ▶ ［消去する］

印刷中のジョブを消去するときは［印刷中止］、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは［全ジョブ取消］を押します。

対象機種：Type 2 Type 3

1. ［印刷取消］キーを押す ▶ ［ジョブ消去］または［全消去］を選択 ▶ ［消去する］

印刷中のジョブを消去するときは［ジョブ消去］、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは［全消去］を押します。

補足

- インターフェース切替時間が短いと、ひとつのデータが途中で切れて分かれてしまうことがあります。このため、印刷中止の操作をしても、それ以降のデータが印刷されることがあります。このようなときは、データが途切れないようにするために、インターフェース切替時間を長くしてください。
    - Type 1

      [プリンター初期設定] ▶ [システム設定] ▶ [インターフェース切替時間]
    - Type 2/Type 3

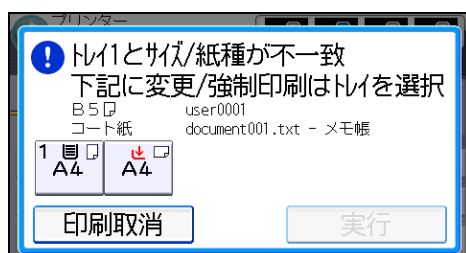
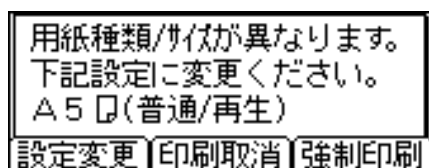
      [インターフェース設定] ▶ [インターフェース切り替え時間]
- 大容量データの印刷を中止するときは、操作部から印刷中止の操作をしたあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき

印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類に一致するトレイがないときや、本機にセットした用紙がなくなったときは、本機の操作部に警告画面が表示されます。表示された内容にしたがって、印刷を継続するか中止するかを選択してください。

対象機種：Type 1

対象機種：Type 2 Type 3

用紙種類/サイズが異なります。
下記設定に変更ください。
A5 (普通/再生)
設定変更 印刷取消 強制印刷

重要

- 以下の条件のとき、トレイを変更して強制印刷できません。
    - 両面印刷ができないトレイを指定して、両面印刷を設定しているとき。ただし、両面印刷を解除すれば、強制印刷できます。
    - おもて表紙や合紙を設定しているとき

強制印刷する

トレイを選択して強制印刷する方法を説明します。

用紙を補給して印刷するときは、正しい用紙をセットしてからトレイを選択してください。

対象機種：Type 1

1. トレイを選択して強制印刷を実行します。

使用するトレイを選択 ▶ ［実行］

4

対象機種： Type 2 Type 3

警告画面で［強制印刷］を押し、操作部の［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［実行］ ▶ 使用するトレイを選択 ▶ ［OK］

補足

- 複数の部数を指定していても、強制印刷の操作によって印刷されるのは 1 部だけです。
- エラースキップを設定すると、自動的に強制印刷を実行できます。エラースキップについては、P.136「用紙設定が一致しないときに強制印刷する」を参照してください。

4

トレイの用紙設定を変更して印刷する

対象機種： Type 2 Type 3

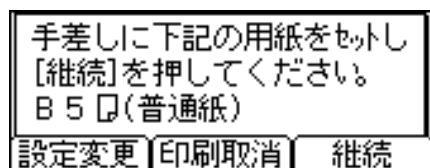
警告画面で［設定変更］を押し、操作部の［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. 用紙サイズを変更するトレイを選択 ▶ ［OK］
2. 使用する用紙サイズを選択 ▶ ［OK］
3. 用紙種類を変更するトレイを選択 ▶ ［OK］
4. 使用する用紙種類を選択 ▶ ［OK］ ▶ ［キャンセル］

手差しトレイからの印刷を継続する

対象機種： Type 2 Type 3

手差しトレイの設定によっては、ジョブで指定した用紙サイズと異なる用紙が給紙されると警告画面が表示されます。

手差しに下記の用紙をセットし
[継続]を押してください。
B５ (普通紙)
設定変更 | 印刷取消 | 継続

この画面が表示されたときは、セットした用紙のサイズを確認してください。

1. 画面に表示されている用紙を手差しトレイにセット ▶ ［継続］

   エラーが発生したページから印刷が再開されます。

補足

- ［設定変更］から用紙サイズや用紙種類を変更しても、実行中のジョブには適用されません。用紙設定を変更するときは、印刷取消をしてから、再度、印刷を実行してください。
- 手差しトレイの動作は［トレイ設定選択］で設定できます。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
  - Type 1：P.340「システム設定」
  - Type 2/Type 3：P.395「一般設定」

印刷を中止する

対象機種：Type 1

1. プリンター画面で印刷を中止します。

［印刷取消］ ▶ ［印刷中止］または［全ジョブ取消］を選択 ▶ ［消去する］

印刷中のジョブを消去するときは［印刷中止］、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは［全ジョブ取消］を押します。

対象機種：Type 2 Type 3

1. ［印刷取消］キーを押す ▶ ［ジョブ消去］または［全消去］を選択 ▶ ［消去する］

印刷中のジョブを消去するときは［ジョブ消去］、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは［全消去］を押します。

補足

- インターフェース切替時間が短いと、ひとつのデータが途中で切れて分かれてしまうことがあります。このため、印刷中止の操作をしても、それ以降のデータが印刷されることがあります。このようなときは、データが途切れないようにするために、インターフェース切替時間を長くしてください。
  - Type 1

    ［プリンター初期設定］ ▶ ［システム設定］ ▶ ［インターフェース切替時間］
  - Type 2/Type 3

    ［インターフェース設定］ ▶ ［インターフェース切り替え時間］
- 大容量データの印刷を中止するときは、操作部から印刷中止の操作をしたあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

エミュレーションの機種情報

各種エミュレーションを使用するときの印刷条件や印刷オプションなどについて、『エミュレーション』に記載している内容と読み替えていただきたい情報を説明しています。

RP-GL/2 エミュレーションの機種情報

プリンタードライバー

ドライバーの種類

ドライバーをインストールするときは、「RICOH RP-GL/2 Color Printer」を選択してください。

プリンタードライバーのオプション設定項目

- 給紙トレイセットアップ

設定値	選択されるトレイ
トレイ 2	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 1 段目
トレイ 3	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 2 段目
トレイ 4	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 3 段目
手差しトレイ	手差しトレイ

  - トレイ 2 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
  - トレイ 3 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
  - トレイ 4 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。

- 排紙トレイセットアップ

設定値	選択されるトレイ
上トレイ	本体トレイ

- プリンター選択

  ［カラー機］を選択します。

プリンタードライバーで設定できる用紙サイズ

- 標準給紙トレイ（トレイ 1）
    - A3
    - A4
    - A5
    - B4
    - B5
    - B6
- 300 枚増設トレイ、550 枚増設トレイ（トレイ 2～4）
    - A3
    - A4
    - A5
    - B4
    - B5

プリンタードライバーで設定できる用紙種類

- 普通紙/再生紙
- 普通紙
- 再生紙
- 特殊紙 1
- 特殊紙 2
- 特殊紙 3

印刷条件

給紙トレイ

印刷条件で指定する給紙トレイの設定値と選択されるトレイです。

設定値	選択されるトレイ
システムデフォルト	操作部で選択されている給紙トレイ
トレイ 1	標準給紙トレイ
トレイ 2	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 1 段目
トレイ 3	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 2 段目

設定値	選択されるトレイ
トレイ 4	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 3 段目
手差し	手差しトレイ

- トレイ 2 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- トレイ 3 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- トレイ 4 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。

印刷オプション

staple

この印刷オプションは指定できません。

punch

この印刷オプションは指定できません。

outbin

この印刷オプションは指定できません。

印刷オプション指定コマンド

emlstaple

この印刷オプションは指定できません。

emlpunch

この印刷オプションは指定できません。

emlpunchhole

この印刷オプションは指定できません。

PCL エミュレーションの機種情報

印刷オプション

tray

印刷オプションで指定する「給紙トレイ」の指定値と選択されるトレイです。

指定値	選択されるトレイ
tray1	標準給紙トレイ
tray2	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 1 段目
tray3	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 2 段目
tray4	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 3 段目
bypass	手差しトレイ
all	自動トレイ選択

- tray2 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- tray3 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- tray4 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。

paper

印刷オプションで指定する「用紙サイズ」の指定値と動作です。

指定値	動作
a3	A3 のトレイから給紙されます。
a4	A4 のトレイから給紙されます。
a5	A5 のトレイから給紙されます。
a6	A6 のトレイから給紙されます。
jisb4	B4 のトレイから給紙されます。
jisb5	B5 のトレイから給紙されます。
jisb6	B6 のトレイから給紙されます。
ledger	ダブルレターのトレイから給紙されます。
legal	リーガルのトレイから給紙されます。
letter	レターのトレイから給紙されます。
halfletter	ハーフレターのトレイから給紙されます。
governmentlg	$8\ ^{1}/_{4} \times 14$ のトレイから給紙されます。
foolscap	$8\ ^{1}/_{2} \times 13$ のトレイから給紙されます。
inch8d5x12	$8\ ^{1}/_{2} \times 12$ のトレイから給紙されます。

指定値	動作
folio	8 $^{1}/_{4}$ × 13 のトレイから給紙されます。
fgl	8 × 13 のトレイから給紙されます。
executive	7 $^{1}/_{4}$ × 10 $^{1}/_{2}$ のトレイから給紙されます。
k8	8 開のトレイから給紙されます。
k16	16 開のトレイから給紙されます。
jpost	郵便ハガキのトレイから給紙されます。
jpostd	往復ハガキのトレイから給紙されます。
c6	洋形 2 号封筒のトレイから給紙されます。
jisenvlong3	長形 3 号封筒のトレイから給紙されます。
jisenvlong4	長形 4 号封筒のトレイから給紙されます。
jisenvforeignlong3	洋長 3 号封筒のトレイから給紙されます。
jisenvforeign4	洋形 4 号封筒のトレイから給紙されます。
jisenvkaku2	角形 2 号封筒のトレイから給紙されます。
custom	不定形のトレイから給紙されます。

mediatype

印刷オプションで指定する「用紙種類」の指定値と動作です。

指定値	動作
plainorrecycled	普通紙/再生紙のトレイから給紙されます。
plain	普通紙のトレイから給紙されます。
recycled	再生紙のトレイから給紙されます。
special	特殊紙 1 のトレイから給紙されます。
special2	特殊紙 2 のトレイから給紙されます。
special3	特殊紙 3 のトレイから給紙されます。
thick	厚紙 1 のトレイから給紙されます。
thick2	厚紙 2 のトレイから給紙されます。
thick3	厚紙 3 のトレイから給紙されます。
middlethick	中厚口のトレイから給紙されます。
thin	薄紙のトレイから給紙されます。
color	色紙のトレイから給紙されます。
letterhead	レターヘッド紙のトレイから給紙されます。

指定値	動作
glossy	コート紙：光沢強めのトレイから給紙されます。
coated	コート紙のトレイから給紙されます。
labels	ラベル紙のトレイから給紙されます。
preprinted	印刷済み紙のトレイから給紙されます。
envelope	封筒のトレイから給紙されます。
custom1	custom1 のトレイから給紙されます。
custom2	custom2 のトレイから給紙されます。
custom3	custom3 のトレイから給紙されます。
custom4	custom4 のトレイから給紙されます。
custom5	custom5 のトレイから給紙されます。
custom6	custom6 のトレイから給紙されます。
custom7	custom7 のトレイから給紙されます。
custom8	custom8 のトレイから給紙されます。

staple

この印刷オプションは指定できません。

punch

この印刷オプションは指定できません。

fold

この印刷オプションは指定できません。

paperface

この印刷オプションは指定できません。

output

この印刷オプションを指定できます。詳しくは『エミュレーション』「PCL エミュレーション」を参照してください。

outbin

この印刷オプションは指定できません。

RTIFF エミュレーションの機種情報

印刷条件

給紙トレイ

印刷条件で指定する給紙トレイの設定値と選択されるトレイです。

設定値	選択されるトレイ
システムデフォルト	操作部に表示されている給紙トレイ
トレイ 1	標準給紙トレイ
トレイ 2	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 1 段目
トレイ 3	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 2 段目
トレイ 4	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 3 段目
手差しトレイ	手差しトレイ

- トレイ 2 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- トレイ 3 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- トレイ 4 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。

用紙サイズ

印刷条件で指定する用紙サイズの設定値です。

- 指定しない、A3R、A4、A4R、A5、A5R、A6R、B4R、B5、B5R、B6R、ハガキ、LT、LTR、HLR、DLR、LGR、フリー、往復ハガキ、往復ハガキ R

印字モード

この印刷条件は指定できません。

エンジン解像度

- 300dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：600dpi

4

印刷オプション

tray

印刷オプションで指定する「給紙トレイ」の指定値と選択されるトレイです。

指定値	選択されるトレイ
1	標準給紙トレイ
2	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 1 段目
3	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 2 段目
4	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 3 段目
T	手差しトレイ

- 指定値 2 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- 指定値 3 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- 指定値 4 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。

paper

印刷オプションで指定する「用紙のサイズと向き」、「用紙の種類」の指定値と動作です。

用紙のサイズと向き

指定値	動作
a3r	A3 タテ（）のトレイから給紙されます。
a4	A4 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
a4r	A4 タテ（）のトレイから給紙されます。
a5	A5 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
a5r	A5 タテ（）のトレイから給紙されます。
a6r	A6 タテ（）のトレイから給紙されます。
b4r	B4 タテ（）のトレイから給紙されます。
b5	B5 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
b5r	B5 タテ（）のトレイから給紙されます。
b6r	B6 タテ（）のトレイから給紙されます。

指定値	動作
dlr	ダブルレタータテ（▯）のトレイから給紙されます。
lgr	リーガルタテ（▯）のトレイから給紙されます。
ltr	レタータテ（▯）のトレイから給紙されます。
lt	レターヨコ（▭）のトレイから給紙されます。
hlr	ハーフレタータテ（▯）のトレイから給紙されます。
pcr	郵便ハガキタテ（▯）のトレイから給紙されます。
wpcr	往復ハガキタテ（▯）のトレイから給紙されます。
wpc	往復ハガキヨコ（▭）のトレイから給紙されます。
free	不定形のトレイから給紙されます。

用紙の種類

指定値	動作
plain	普通紙のトレイから給紙されます。
recycled	再生紙のトレイから給紙されます。
color	色紙のトレイから給紙されます。
special	特殊紙 1 のトレイから給紙されます。
special2	特殊紙 2 のトレイから給紙されます。
special3	特殊紙 3 のトレイから給紙されます。
letterhead	レターヘッド紙のトレイから給紙されます。
thin	薄紙のトレイから給紙されます。
thick	厚紙 1 のトレイから給紙されます。
thick2	厚紙 2 のトレイから給紙されます。
thick3	厚紙 3 のトレイから給紙されます。
labels	ラベル紙のトレイから給紙されます。
coated	コート紙のトレイから給紙されます。
envelope	封筒のトレイから給紙されます。
middlethick	中厚口紙のトレイから給紙されます。
glossy	コート紙：光沢強めのトレイから給紙されます。
preprinted	印刷済み紙のトレイから給紙されます。

bin

印刷オプションで指定する「排紙トレイ」の指定値と選択される排紙トレイです。

本体

指定値	排紙先
0	システムデフォルト
1	本体トレイ

200dpi、300dpi、400dpi、600dpi

この印刷オプションを指定できます。300dpi、または 600dpi を指定できます。

smoothingon、smoothingoff、tonersavemode1、tonersavemode2

この印刷オプションは指定できません。

autopaper

印刷オプションで指定する「用紙のサイズと向き」、「用紙の種類」の指定値と動作です。

用紙のサイズと向き

指定値	動作
a3r	A3 タテ（□）のトレイから給紙されます。
a4	A4 ヨコ（□）のトレイから給紙されます。
a4r	A4 タテ（□）のトレイから給紙されます。
a5	A5 ヨコ（□）のトレイから給紙されます。
a5r	A5 タテ（□）のトレイから給紙されます。
a6r	A6 タテ（□）のトレイから給紙されます。
b4r	B4 タテ（□）のトレイから給紙されます。
b5	B5 ヨコ（□）のトレイから給紙されます。
b5r	B5 タテ（□）のトレイから給紙されます。
b6r	B6 タテ（□）のトレイから給紙されます。
dlr	ダブルレタータテ（□）のトレイから給紙されます。
lgr	リーガルタテ（□）のトレイから給紙されます。
ltr	レタータテ（□）のトレイから給紙されます。
lt	レターヨコ（□）のトレイから給紙されます。
hlr	ハーフレタータテ（□）のトレイから給紙されます。
pcr	郵便ハガキタテ（□）のトレイから給紙されます。
wpcr	往復ハガキタテ（□）のトレイから給紙されます。
wpc	往復ハガキヨコ（□）のトレイから給紙されます。
free	不定形のトレイから給紙されます。

用紙の種類

指定値	動作
plain	普通紙のトレイから給紙されます。
recycled	再生紙のトレイから給紙されます。
color	色紙のトレイから給紙されます。
special	特殊紙 1 のトレイから給紙されます。
special2	特殊紙 2 のトレイから給紙されます。
special3	特殊紙 3 のトレイから給紙されます。
letterhead	レターヘッド紙のトレイから給紙されます。
thin	薄紙のトレイから給紙されます。
thick	厚紙 1 のトレイから給紙されます。
thick2	厚紙 2 のトレイから給紙されます。
thick3	厚紙 3 のトレイから給紙されます。
labels	ラベル紙のトレイから給紙されます。
coated	コート紙のトレイから給紙されます。
envelope	封筒のトレイから給紙されます。
middlethick	中厚口紙のトレイから給紙されます。
glossy	コート紙：光沢強めのトレイから給紙されます。
preprinted	印刷済み紙のトレイから給紙されます。

staple

この印刷オプションは指定できません。

punch

この印刷オプションは指定できません。

punchhole

この印刷オプションは指定できません。

outbin

この印刷オプションは指定できません。

emlstaple

この印刷オプションは指定できません。

emlpunch

この印刷オプションは指定できません。

emlpunchhole

この印刷オプションは指定できません。

その他

選択対象外のトレイ

印刷条件の「用紙サイズ」、「自動用紙選択」を設定したとき、および印刷オプションの paper、autopaper を指定したときに選択対象外になるトレイを示します。

- 自動用紙選択の対象外に設定されているトレイ
- 「普通紙」または「再生紙」以外の紙種が設定されている給紙トレイ
- 両面印刷ができない設定になっているトレイ（両面印刷を指定したとき）

- 印刷オプションの paper、autopaper で紙種を指定したとき、指定した紙種がセットされていない給紙トレイは選択対象外のトレイです。

R98 エミュレーションの機種情報

給紙トレイ

印刷条件で指定する給紙トレイの設定値と選択されるトレイです。

設定値	選択されるトレイ
システムデフォルト	操作部に表示されている給紙トレイ
トレイ 1	標準給紙トレイ
トレイ 2	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 1 段目
トレイ 3	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 2 段目
トレイ 4	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 3 段目
手差しトレイ	手差しトレイ

- トレイ 2 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- トレイ 3 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- トレイ 4 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。

印字モード

この印刷条件は指定できません。

エンジン解像度

- 400dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：600dpi

R55 エミュレーションの機種情報

給紙トレイ

印刷条件で指定する給紙トレイの設定値と選択されるトレイです。

設定値	選択されるトレイ
システムデフォルト	操作部に表示されている給紙トレイ
トレイ 1	標準給紙トレイ
トレイ 2	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 1 段目
トレイ 3	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 2 段目
トレイ 4	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 3 段目
手差しトレイ	手差しトレイ

- トレイ 2 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- トレイ 3 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- トレイ 4 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。

印字モード

この印刷条件は指定できません。

エンジン解像度

- 400dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：600dpi

R16 エミュレーションの機種情報

給紙トレイ

印刷条件で指定する給紙トレイの設定値と選択されるトレイです。

設定値	選択されるトレイ
システムデフォルト	操作部に表示されている給紙トレイ
トレイ 1	標準給紙トレイ
トレイ 2	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 1 段目
トレイ 3	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 2 段目
トレイ 4	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 3 段目
手差しトレイ	手差しトレイ

- トレイ 2 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- トレイ 3 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- トレイ 4 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。

印字モード

この印刷条件は指定できません。

エンジン解像度

- 400dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：600dpi

RPDL エミュレーションの機種情報

給紙トレイ

印刷条件で指定する給紙トレイの設定値と選択されるトレイです。

設定値	選択されるトレイ
システムデフォルト	操作部に表示されている給紙トレイ
トレイ 1	標準給紙トレイ

設定値	選択されるトレイ
トレイ 2	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 1 段目
トレイ 3	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 2 段目
トレイ 4	300 枚増設トレイ（オプション）、または 550 枚増設トレイ（オプション）の 3 段目
手差しトレイ	手差しトレイ

- トレイ 2 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- トレイ 3 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。
- トレイ 4 は、300 枚増設トレイ（オプション）または 550 枚増設トレイ（オプション）を装着しているときに指定できます。

印字モード

この印刷条件は指定できません。

エンジン解像度

- 400dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：600dpi

5. 本機の設定と管理

本機の用紙設定、ネットワーク設定、操作部に表示されるメニューや設定項目、Web ブラウザーを使用した管理方法などについて説明します。

用紙の設定

操作部で用紙サイズや用紙種類を変更する方法を説明します。

用紙サイズを設定する

★重要

- 使用する用紙サイズが用紙ダイヤルにないときは、用紙サイズダイヤルを「＊」にセットし、必ず操作部でも用紙サイズを設定してください。
- 不定形サイズの用紙を印刷するときは、必ず操作部およびプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。
- 不定形サイズの設定ができないアプリケーションでは、印刷できません。

定形サイズを設定する

対象機種：Type 1

1. ［初期設定］キーを押し、［用紙設定］のメニュー画面を表示します。

［システム初期設定］▶［用紙設定］

2. 用紙のサイズを設定します。

［用紙サイズ設定：（トレイ名）］▶セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせを選択▶［設定］

対象機種：Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［用紙設定］▶［OK］
2. ［用紙サイズ設定：（トレイ名）］▶［OK］
3. トレイにセットした用紙のサイズを選択▶［OK］

5

不定形サイズを設定する

対象機種：Type 1

1. [初期設定] キーを押し、[用紙設定] のメニュー画面を表示します。

[システム初期設定] ▶ [用紙設定]

2. 用紙のサイズを設定します。

[用紙サイズ設定：(トレイ名)] ▶ [不定形サイズ指定] ▶ [変更] ▶ [タテ] ▶ テンキーで用紙の長さを入力 ▶ [OK] ▶ [ヨコ] ▶ テンキーで用紙の幅を入力 ▶ [OK]

3. [設定] を 2 回押します。

対象機種：Type 2 Type 3

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

5

1. [用紙設定] ▶ [OK]
2. [用紙サイズ設定：(トレイ名)] ▶ [OK]
3. [不定形サイズ] ▶ [OK]
4. [ヨコ] の長さを指定 ▶ [OK]
5. [タテ] の長さを指定 ▶ [OK]

補足

- 各用紙サイズに対応したトレイについての詳細は、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

用紙の種類を設定する

セットした用紙の種類を設定することで、より適切に印刷できます。

対象機種：Type 1

1. [初期設定] キーを押し、[用紙設定] のメニュー画面を表示します。

[システム初期設定] ▶ [用紙設定]

2. [用紙種類設定：(トレイ名)] を押し、用紙の種類と厚さを設定します。

- [用紙種類]
  用紙の種類を選択 ▶ [設定]
- [用紙厚さ]
  用紙の厚さを選択 ▶ [設定]

対象機種：Type2 Type3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. [用紙設定] ▶ [OK]
2. [用紙種類設定：(トレイ名)] ▶ [OK]
3. トレイにセットした用紙の種類を選択 ▶ [OK]

補足

- 用紙種類ごとの紙の厚さは、［調整/管理］の［一般管理］で設定します。詳細は、P.378「一般管理」を参照してください。
- 各用紙種類に対応したトレイについての詳細は、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

用紙に独自の名前をつけて使用する

Web Image Monitor を使用して、ユーザー用紙種類として独自の名前を付けて登録できます。この機能を使用すると、用途にあった用紙種類や設定を簡単に選択できます。

重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- 本機と使用しているパソコンとの間で双方向通信が働いているときに使用できます。
- RPCS プリンタードライバーで使用できます。
- ユーザー用紙種類の名称はログ収集の対象にはなりません。

用紙種類に名前をつけて登録する

重要

- 使用するプリンタードライバーの各国言語以外で名称を登録すると、プリンタードライバーで文字が正しく表示されないことがあります。
- 英数カタカナ半角文字以外の名称を登録すると、本機の操作部に文字が正しく表示されないことがあります。

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。

   ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。
3. 「機器」カテゴリーの中の［ユーザー用紙種類］をクリックします。
4. 「用紙名称」：に、用紙の用途を判別できる名称を入力します。

5. 「用紙種類：」プルダウンメニューから、用途にあった用紙の種類を選択します。
6. [OK] をクリックします。
7. [ログアウト] をクリックします。
8. Web Image Monitor を終了します。

補足

- 最大 8 種類までユーザー用紙種類を登録できます。

トレイにユーザー用紙種類を設定する

各給紙トレイと登録した用紙種類を関連付けます。

印刷する前に、各給紙トレイに用紙をセットします。Web Image Monitor または本機の操作部を使用して、トレイにユーザー用紙種類を設定します。

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。

   ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。
2. メニューエリアの [機器の管理] から [設定] をクリックします。
3. 「機器」カテゴリーの中の [用紙] をクリックします。
4. 設定するトレイの「用紙種類：」で [ユーザー用紙種類] をラジオボタンで選択し、登録しておいた用紙種類の名称を選択します。
5. [OK] をクリックします。
6. [ログアウト] をクリックします。
7. Web Image Monitor を終了します。

登録した用紙種類に印刷をする

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. 「用紙種類：」プルダウンメニューから登録しておいた用紙種類を選択します。
3. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

操作部を使用してはがき、封筒を設定する

対象機種：Type 1

1. 給紙トレイに、はがきまたは封筒をセットします。

はがきのセット方法は、P.129「はがきをセットする」を参照してください。

封筒のセット方法は、P.131「封筒をセットする」を参照してください。

2. ［初期設定］キーを押し、［用紙設定］のメニュー画面を表示します。

［システム初期設定］ ▶ ［用紙設定］

3. 用紙のサイズを選択します。

［用紙サイズ設定：（トレイ名）］ ▶ ［郵便ハガキ］、［往復ハガキ］、［往復ハガキ］、または封筒のサイズを選択 ▶ ［設定］

4. ［用紙種類設定：（トレイ名）］を押し、用紙の種類と厚さを設定します。

- ［用紙種類］
  - はがきに印刷するとき
    ［普通紙］ ▶ ［設定］
  - 封筒に印刷するとき
    ［封筒］ ▶ ［設定］
- ［用紙厚さ］
  - はがきに印刷するとき
    ［厚紙 2］ ▶ ［設定］
  - 封筒に印刷するとき
    ［厚紙 1］または［厚紙 2］を選択 ▶ ［設定］

対象機種：Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［用紙設定］ ▶ ［OK］

2. ［用紙サイズ設定：（トレイ名）］ ▶ ［OK］

3. ［郵便ハガキ］、［往復ハガキ］、［往復ハガキ］、または封筒のサイズを選択 ▶ ［OK］

4. ［用紙種類設定：（トレイ名）］ ▶ ［OK］

5. はがきのときは［厚紙 2］、封筒のときは［厚紙 1］または［厚紙 2］を選択 ▶ ［OK］

補足

- 操作部とプリンタードライバーの両方で、用紙設定を正しく行ってから印刷してください。プリンタードライバーの設定については、P.177「はがき、封筒に印刷する」を参照してください。

- 各用紙種類に対応したトレイについての詳細は、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。
- 使用している機種が Type 2 または Type 3 のときは、用紙種類ごとの紙の厚さは［調整/管理］の［一般管理］で設定します。詳細は、P.378「一般管理」を参照してください。

ネットワークの設定

イーサネットや無線 LAN を使用するときの設定方法を説明します。

イーサネットを使用する

イーサネットケーブルや拡張無線 LAN ボードを使用して本体をネットワークに接続するときは、使用するネットワーク環境に応じて、必要な項目を操作部で設定してください。

ネットワーク設定が完了したら、「システム設定リスト」を印刷して設定が正しいかを確認します。「システム設定リスト」の印刷手順は、P.302「テスト印刷する」を参照してください。

重要

- **[ネットワーク設定] メニューでの設定が完了したら、セキュリティーを設定してください。セキュリティーの設定については、管理者にお問い合わせください。**

補足

- 設定項目と工場出荷時の値については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
    - Type 1：P.312「インターフェース設定」
    - Type 2/Type 3：P.412「インターフェース設定」
- IPv4 を利用できる環境で IPv4 アドレスに関する設定をするときは、Web Image Monitor も使用できます。詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

IP アドレスを手動で指定する

DHCP サーバーのない環境で本機を使用するときや、IP アドレスを固定したいときなどに、IP アドレスを手動で設定する手順を説明します。設定する IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

対象機種： Type 1

1. [初期設定] キーを押し、[ネットワーク] のメニュー画面を表示します。

[システム初期設定] ▶ [インターフェース設定] ▶ [ネットワーク]

5

2. プロトコルを有効にし、IP アドレスを設定します。

- ［有効プロトコル］
  IPv4 を有効にします。
  ［IPv4］ ▶ ［有効］ ▶ ［設定］
- ［本体 IPv4 アドレス］
  本機の IPv4 アドレスとサブネットマスクを設定します。
  ［指定］ ▶ ［本体 IPv4 アドレス］ ▶ IP アドレスを入力 ▶ ［設定］
  ［サブネットマスク］ ▶ サブネットマスクを入力 ▶ ［設定］ ▶ ［設定］
- ［IPv4 ゲートウェイアドレス］
  本機の IPv4 ゲートウェイアドレスを設定します。
  ゲートウェイアドレスを入力 ▶ ［OK］

対象機種：Type2 Type3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. [インターフェース設定] ▶ [OK]
2. [ネットワーク設定] ▶ [OK]
3. [有効プロトコル] ▶ [OK]
4. [IPv4] ▶ [OK]
5. [有効] ▶ [OK] ▶ [キャンセル]
6. [指定] ▶ [本体 IPv4 アドレス] ▶ [OK] ▶ [指定]
7. [IP アドレス] ▶ IP アドレスを入力 ▶ [OK]
8. [サブネットマスク] ▶ サブネットマスクを入力 ▶ [OK]
9. [ゲートウェイ] ▶ ゲートウェイアドレスを入力 ▶ [OK]

IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）

DHCP 機能を使用して、IP アドレスを自動取得する手順を説明します。DHCP 機能を使用するには、使用している環境に DHCP サーバーが必要です。DHCP 機能が使用できるかは、ネットワーク管理者に確認してください。

対象機種：Type1

1. [初期設定] キーを押し、[ネットワーク] のメニュー画面を表示します。

［システム初期設定］ ▶ ［インターフェース設定］ ▶ ［ネットワーク］

2. プロトコルを有効にし、IP アドレスを自動取得します。

- ［有効プロトコル］
  IPv4 を有効にします。
  ［IPv4］ ▶ ［有効］ ▶ ［設定］
- ［本体 IPv4 アドレス］
  本機の IPv4 アドレスを設定します。
  ［自動的に取得（DHCP）］ ▶ ［設定］

対象機種：Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［インターフェース設定］ ▶ ［OK］
2. ［ネットワーク設定］ ▶ ［OK］
3. ［有効プロトコル］ ▶ ［OK］
4. ［IPv4］ ▶ ［OK］
5. ［有効］ ▶ ［OK］ ▶ ［キャンセル］
6. ［本体 IPv4 アドレス］ ▶ ［OK］
7. ［自動的に取得（DHCP）］ ▶ ［OK］

通信速度を設定する

イーサネットの通信速度は、使用する環境（接続先の機器）を確認してから、設定してください。

重要

- インターフェースの種別が接続する機器と一致しないと接続できません。
- 本機は、ネットワーク関連機器への負荷低減（省エネルギー効果）を目的として、初期設定では 100BASE-TX（100Mbps）が上限となっています。より高速な通信が必要なときは、使用している機種に応じて以下を選択して 1000BASE-T（1Gbps）を有効にしてください。
  - Type 1：［自動：1Gbps 許可］
  - Type 2/Type 3：［自動選択：1Gbps を許可する］

対象機種：Type 1

1. ［初期設定］キーを押し、［ネットワーク］のメニュー画面を表示します。

［システム初期設定］ ▶ ［インターフェース設定］ ▶ ［ネットワーク］

5

2. イーサネットの通信速度を設定します。

［イーサネット速度］ ▶ 通信速度を選択 ▶ ［設定］

対象機種： Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［インターフェース設定］ ▶ ［OK］
2. ［ネットワーク設定］ ▶ ［OK］
3. ［イーサネット速度］ ▶ ［OK］
4. 通信速度を選択 ▶ ［OK］

拡張無線 LAN を使用する

5

対象機種： Type 1 Type 2

重要

- オプションの拡張無線 LAN ボードが必要です。
- 拡張無線 LAN を使用するときは、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、有効プロトコルなどを設定してください。詳細については、P.255「イーサネットを使用する」を参照してください。
- 拡張無線 LAN で設定できる項目と工場出荷時の値については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
  - Type 1：P.312「インターフェース設定」
  - Type 2/Type 3：P.412「インターフェース設定」
- 拡張無線 LAN は、イーサネットインターフェースと同時に使用することはできません。

無線 LAN を自動で設定する

使用している無線アクセスポイントが WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応しているときは、無線 LAN の接続設定とセキュリティーを自動で設定できます。

対象機種： Type 1

1. ［初期設定］キーを押し、［ネットワーク］のメニュー画面を表示します。

［システム初期設定］ ▶ ［インターフェース設定］ ▶ ［ネットワーク］

2. 使用するネットワークインターフェースを［無線 LAN］に設定します。

［ネットワークインターフェース選択］ ▶ ［無線 LAN］ ▶ ［設定］

3. [終了] を押します。

4. [無線 LAN 簡単セットアップ] のメニュー画面を表示します。

[無線 LAN] ▶ [無線 LAN 簡単セットアップ]

5. WPS で無線 LAN を設定します。

- [プッシュボタンによる接続]
  アクセスポイントの WPS ボタンを押してから、操作画面の [接続] を押します。
- [Enrollee による接続]
  操作画面に表示された PIN コードをレジストラに入力してから、操作画面の [接続] を押します。

対象機種：Type 2

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

1. [インターフェース設定] ▶ [OK]
2. [ネットワーク設定] ▶ [OK]
3. [インターフェース選択] ▶ [OK]
4. [無線 LAN] ▶ [OK] ▶ [キャンセル]
5. [無線 LAN] ▶ [OK]
6. [無線 LAN 簡単接続セットアップ] ▶ [OK]
7. [プッシュボタン方式] または [PIN コード方式] を選択 ▶ [OK]

   [プッシュボタン方式] を選択したときは、アクセスポイントの WPS ボタンを押します。

   [PIN コード方式] を選択したときは、表示された PIN コードをレジストラに入力します。

8. [実行] を押す

   無線 LAN 簡単接続が完了したら、[OK] を押します。

無線 LAN を手動で設定する

無線 LAN を手動で設定するには、通信モードと SSID を設定します。設定する SSID はネットワーク管理者に確認してください。

5

対象機種：Type 1

通信モードを設定する

1. ［初期設定］キーを押し、［ネットワーク］のメニュー画面を表示します。

［システム初期設定］ ▶ ［インターフェース設定］ ▶ ［ネットワーク］

2. 使用するネットワークインターフェースを［無線 LAN］に設定します。

［ネットワークインターフェース選択］ ▶ ［無線 LAN］ ▶ ［設定］

3. ［終了］を押します。

4. ［無線 LAN］を押し、無線 LAN の通信モードと通信に使用するチャンネルを設定します。

- ［通信モード］
  無線 LAN の通信モードを設定します。
  ［802.11 アドホックモード］または［インフラストラクチャーモード］を選択 ▶ ［設定］
- ［アドホックチャンネル］
  アドホックモードに使用するチャンネルを設定します。
  チャンネルを選択 ▶ ［設定］

使用する無線 LAN の規格に合わせて、以下のいずれかのチャンネルを選択します。

- IEEE 802.11b/g を使用するとき：1〜11
- IEEE 802.11a を使用するとき：36、40、44、48
- IEEE 802.11n を使用するとき：1〜11、36、40、44、48

SSID を設定する

1. ［初期設定］キーを押し、［無線 LAN］のメニュー画面を表示します。

［システム初期設定］ ▶ ［インターフェース設定］ ▶ ［無線 LAN］

2. 通信に使用する SSID を設定します。

［SSID 設定］ ▶ ［SSID 入力］ ▶ SSID を入力 ▶ ［設定］

SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。

対象機種：Type 2

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

通信モードを設定する

1. [インターフェース設定] ▶ [OK]
2. [ネットワーク設定] ▶ [OK]
3. [インターフェース選択] ▶ [OK]
4. [無線 LAN] ▶ [OK] ▶ [キャンセル]
5. [無線 LAN] ▶ [OK]
6. [通信モード] ▶ [OK]
7. [802.11 アドホックモード] または [インフラストラクチャーモード] を選択 ▶ [OK]
8. 手順 7 で [802.11 アドホックモード] を選択したときは、[アドホックチャネル] を選択 ▶ [OK]
9. 使用する無線 LAN の規格に合わせてアドホックチャネルを選択 ▶ [OK]

   IEEE 802.11b/g を使用するとき：1〜11

   IEEE 802.11a を使用するとき：36、40、44、48

   IEEE 802.11n を使用するとき：1〜11、36、40、44、48

SSID を設定する

1. [インターフェース設定] ▶ [OK]
2. [無線 LAN] ▶ [OK]
3. [SSID 設定] ▶ [OK]
4. [SSID 入力] ▶ SSID を入力 ▶ [OK]

   SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。

補足

- 拡張無線 LAN の通信モードや SSID は Web Image Monitor でも設定できます。詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

無線 LAN 使用時の注意

無線 LAN では、LAN ケーブルの代わりに電波を利用して情報をやりとりします。無線 LAN の電波は、一定の範囲内であれば壁などの障害物も越えて到達するため、セキュリティーに関する設定を行っていないときは、以下のような問題が発生することがあります。

個人情報の漏洩

ID、パスワード、クレジットカードの番号やメールの内容などが、第三者に盗み見られる。

ネットワークへの不正侵入

- ウイルスなどによってデータやシステムを破壊・改ざんされる。
- 特定の人物になりすまして不正な情報を流される。
- 機密情報が持ち出される。

これらの問題が発生する可能性を少なくするためには、本機や無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品に搭載されている機能を確認し、セキュリティーに関する設定をすることをお勧めします。

ネットワークの電波状態が悪いとき

電波状態が悪いと、接続が途切れたり、接続できなくなったりします。本機の「電波状態」とアクセスポイントの電波状態を確認し、電波状態が悪いときは、次の点に注意して対処してください。

- 本機とアクセスポイントを近づける。
- アクセスポイントと本機の間の見通しをよくする。
- アクセスポイントや本機の近くから電子レンジなど電波の発する機器を遠ざける。

TCP/IP プロトコル（IPv4/IPv6 について）

IP アドレスとは TCP/IP ネットワークで機器を判別するための、重複しない特定の番号（アドレス）です。

その中で IPv4 というプロトコルに基づく 32 ビットのアドレス空間を「IPv4」（xxx.xxx.xxx.xxx の形で表される）、IPv6 というプロトコルに基づくアドレス空間を「IPv6」（xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx の形で表される）といいます。

本機では「IPv6」の工場出荷時の設定は「無効」になっています。IPv6 環境で使用するときは、操作部で「IPv6」の設定を「有効」にしてください。IPv6 を有効にしても IPv4 は使用できます。

IPv6 環境では、本体の電源を入れたときにネットワークケーブルが本体に接続されていれば、自動で本体にローカルのアドレスが設定されます。これを「リンクローカルアドレス」と呼び、IPv4 環境での Autonet に相当します。

補足

- アクセスポイントの電波状態は、使用しているアクセスポイントの使用説明書を参照して確認してください。
- WEP キー、WPA、IEEE 802.1X など、無線 LAN のセキュリティーに関する設定については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

本機の管理

ネットワークから本機の状態を監視したり、設定を変更する方法を説明します。

Web ブラウザーを使用する

Web ブラウザーを使用して本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更したりできます。この機能を Web Image Monitor といいます。

どんなことができるのか？

Web Image Monitor は、離れた場所にある機器の状態確認や設定変更をネットワークを介したパソコンの Web ブラウザー上からできる機能です。

Web Image Monitor では以下の操作ができます。

- 機器の状態/設定の表示
- ジョブの状態/履歴の確認
- 印刷中ジョブの中止
- 本機のリセット
- アドレス帳の管理
- 本機の各種設定
- ネットワークプロトコルに関する設定
- セキュリティーの設定

本機の環境設定

この機能は TCP/IP プロトコルを使用して動作します。Web Image Monitor を使用するときは、本機で TCP/IP プロトコルを設定してください。TCP/IP が正しく設定されると、この機能は自動的に有効になります。

推奨ブラウザー

- Windows 環境：

  Internet Explorer 6.0 以降

  Firefox 2.0 以降

- Macintosh 環境：

  Firefox 2.0 以降

  Safari 3.0 以降

また、Web Image Monitor はスクリーンリーダーに対応しています。推奨するアプリケーションと動作環境は次のとおりです。

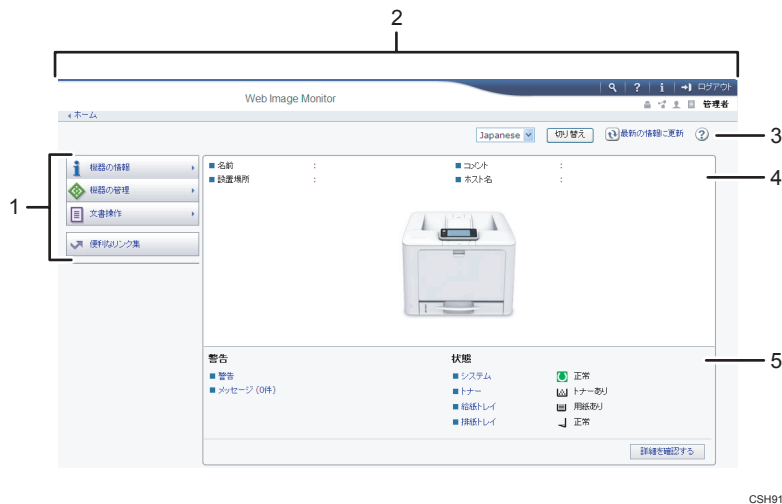
- 95Reader Ver.6.0（XPReader）以降
- Windows、Microsoft Internet Explorer 5.5 SP2 以降

補足

- 使用するブラウザーのバージョンが推奨ブラウザーより低いときや、使用するブラウザーの設定で「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていないときは、表示や操作に不具合が生じることがあります。
- プロキシサーバーを使用するときは、ブラウザーの設定を変更してください。詳細については、ネットワーク管理者に確認してください。
- Firefox を使用するときは、テーブルのくずれ、フォントや色の相違などが発生することがあります。
- IPv6 環境下の Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 でホスト名を使用するときは、外部の DNS サーバーでホスト名の解決をしてください。hosts ファイルは使用できません。
- Internet Explorer 8 以降を使用しているとき、ダウンロードに時間がかかることがあります。本体の URL を［インターネットオプション］から信頼済みサイトとして登録し、サイトの SmartScreen フィルター機能を無効にしてください。Internet Explorer の設定については、Internet Explorer のヘルプを参照してください。
- Web ブラウザーに表示される URL をブックマーク登録すると、Web Image Monitor 画面をすぐに呼び出せます。ログイン前のトップページ画面を登録してください。ログイン後のトップページ画面を登録すると、正しく表示されません。
- ユーザー認証が設定されているときは、Web Image Monitor を表示するときにログインユーザー名とログインパスワードが必要です。詳細については、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。
- Web Image Monitor から設定するときは、設定値が無効になることがあります。操作部からログインしないでください。

Web Image Monitor のトップページを表示する

トップページの説明です。Web Image Monitor 画面の表示については、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

5

1. **メニューエリア**

 メニュー項目を選択すると、選択した内容が表示されます。

2. **ヘッダーエリア**

 ヘルプ、バージョン情報や、キーワード検索用のボタンが表示されます。

 また、ゲストモードと管理者モードを切り替えるために［ログイン］または［ログアウト］が表示されます。

3. **更新/ヘルプ**

 （最新の情報に更新）：ワークエリア内の情報が更新されます。Web ブラウザー画面全体を更新するときは、ブラウザーの［更新］をクリックしてください。

 （ヘルプ）：ヘルプファイルを閲覧したり、ダウンロードしたりできます。

4. **基本情報エリア**

 本機の基本情報が表示されます。

5. **ワークエリア**

 トップページでは、現在の機器の状態を表示します。また、メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。

Web Image Monitor の設定項目一覧

本機で使用できる Web Image Monitor の設定項目です。

ゲストモードでは、機器の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、機器に関する設定を変更することはできません。

管理者モードでは、機器に関する各種の設定ができます。

機器の情報

- 構成

メニュー	ゲストモード	管理者モード
機能	参照可	参照可
システム	参照可	参照可
バージョン	参照可	参照可
エミュレーション	参照可	参照可

- 状態

メニュー	ゲストモード	管理者モード
警告	参照可	参照可
メッセージ	参照可	参照可
状態	参照可	参照可
トナー	参照可	参照可
給紙トレイ	参照可	参照可
排紙トレイ	参照可	参照可

- 消耗品

メニュー	ゲストモード	管理者モード
トナー	参照可	参照可
ドラムユニット	参照可	参照可
その他	参照可	参照可

- カウンター

メニュー	ゲストモード	管理者モード
トータル	参照可	参照可
プリンター	参照可	参照可
カバレッジ	参照可	参照可
その他の機能	参照可	参照可

- ユーザー別カウンター

メニュー	ゲストモード	管理者モード
ユーザー別カウンター	参照・変更とも不可	参照・変更とも可

- eco 指数カウンター表示

メニュー	ゲストモード	管理者モード
機器トータルカウンター	参照・変更とも不可	参照・変更とも可

メニュー	ゲストモード	管理者モード
ユーザー別カウンター	参照・変更とも不可	参照・変更とも可

- ジョブ

メニュー	ゲストモード	管理者モード
プリンター	参照可	参照可

- 問い合わせ情報

メニュー	ゲストモード	管理者モード
機械修理	参照可	参照可
営業窓口	参照可	参照可

補足

- 「eco 指数カウンター表示」は、使用している機種が Type 1 のときだけ表示されます。

機器の管理

- 設定

機器

メニュー	ゲストモード	管理者モード
システム	参照可	参照・変更とも可
優先機能設定	参照可	参照・変更とも可
用紙	参照可	参照・変更とも可
ユーザー用紙種類	参照可	参照・変更とも可
日付・時刻	参照可	参照・変更とも可
タイマー	参照可	参照・変更とも可
ログ	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
ログダウンロード	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
メール	参照可	参照・変更とも可
自動メール通知	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
要求時メール通知	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
ユーザー認証管理	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
管理者認証管理	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
管理者登録/変更	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
印刷利用量制限	参照・変更とも不可	参照・変更とも可

メニュー	ゲストモード	管理者モード
LDAP サーバー	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
ファームウェアアップデート	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
Kerberos 認証	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
機器設定情報のインポート設定（サーバー）	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
インポートテスト	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
eco 指数カウンター集計期間/管理者メッセージ設定	参照可	参照・変更とも可
強制セキュリティー印字	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
不正コピー抑止：プリンター	参照可	参照・変更とも可

5

補足

- 「優先機能設定」、「eco 指数カウンター集計期間/管理者メッセージ設定」、「強制セキュリティー印字」は、使用している機種が Type 1 のときだけ表示されます。
- 「ログ」、「ログダウンロード」は、使用している機種が Type 2 または Type 3 のときだけ表示されます。
- 「印刷利用量制限」は、ユーザー認証を有効にしているときに参照・変更できます。

プリンター

メニュー	ゲストモード	管理者モード
基本設定	参照可	参照・変更とも可
トレイ読み替え（PCL）	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
トレイ読み替え（PS）	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
トレイ読み替え（RPDL）	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
イメージオーバーレイ用フォーム割り当て	参照可	参照・変更とも可
プリンターフォーム一覧	参照可	参照・変更とも可
PDF グループパスワード	参照・変更とも不可	変更可
PDF 固定パスワード	参照・変更とも不可	変更可
PDF 一時パスワード	参照・変更とも可	参照・変更とも不可
仮想プリンター設定	参照・変更とも可	参照・変更とも可

メニュー	ゲストモード	管理者モード
プリンター言語のファイルシステム操作許可設定	参照可	参照・変更とも可

補足

- 「トレイ読み替え（PCL）」、「トレイ読み替え（PS）」、「トレイ読み替え（RPDL）」は、使用している機種が Type 1 または Type 2 で、オプションの PCL カード、PS3 カード、またはマルチエミュレーションカードを装着しているときだけ表示されます。

インターフェース

メニュー	ゲストモード	管理者モード
インターフェース設定	参照可	参照・変更とも可
無線 LAN 設定	参照可	参照・変更とも可

ネットワーク

メニュー	ゲストモード	管理者モード
IPv4	参照可	参照・変更とも可
IPv6	参照可	参照・変更とも可
AppleTalk	参照可	参照・変更とも可
SMB	参照可	参照・変更とも可
SNMP	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
SNMPv3	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
SSDP	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
Bonjour	参照可	参照・変更とも可
システムログ	参照可	参照可

セキュリティー

メニュー	ゲストモード	管理者モード
ネットワークセキュリティー	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
アクセスコントロール	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
IPP 認証	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
SSL/TLS	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
ssh	参照可	参照・変更とも可

メニュー	ゲストモード	管理者モード
サイト証明書	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
機器証明書	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
IPsec	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
ユーザーロックアウト	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
IEEE 802.1X	参照・変更とも不可	参照・変更とも可

@Remote

メニュー	ゲストモード	管理者モード
RC Gate セットアップ	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
RC Gate ファームウェア更新	参照・変更とも不可	参照可
RC Gate プロキシサーバー	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
機器の故障を通報する	参照・変更とも不可	参照・変更とも可

補足

- 「機器の故障を通報する」は、使用している機種が Type 2 または Type 3 のときだけ表示されます。

Webpage

メニュー	ゲストモード	管理者モード
Webpage 設定	参照可	参照・変更とも可

補足

- ゲストモードでは、ヘルプファイルのダウンロードだけ実行できます。

拡張機能初期設定

メニュー	ゲストモード	管理者モード
起動設定	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
拡張機能情報	参照可	参照可
インストール	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
アンインストール	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
管理者用設定	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
追加プログラム起動設定	参照・変更とも不可	参照・変更とも可

メニュー	ゲストモード	管理者モード
追加プログラムインストール	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
追加プログラムアンインストール	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
拡張機能複製	参照・変更とも不可	参照・変更とも可
カードセーブデータ複製	参照・変更とも不可	参照・変更とも可

- アドレス帳

ゲストモード	管理者モード
参照・変更とも不可	参照・変更とも可

- 印刷取消

ゲストモード	管理者モード
参照・変更とも不可	変更可

- 機器のリセット

ゲストモード	管理者モード
参照・変更とも不可	変更可

- 機器のホーム画面の管理

メニュー	ゲストモード	管理者モード
アイコンの編集	参照可	参照・変更とも可
アイコンを初期値に戻す	参照・変更とも不可	変更可
ホーム画面設定	参照可	参照・変更とも可

- 操作部画面の監視

ゲストモード	管理者モード
参照・変更とも不可	変更可

補足

- 「機器のホーム画面の管理」、「操作部画面の監視」は、使用している機種がType 1 のときだけ表示されます。

文書操作

- プリンター文書印刷

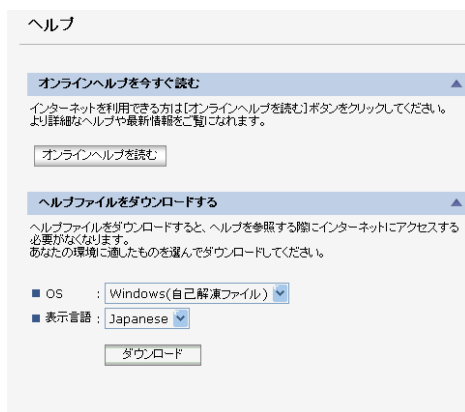
ゲストモード	管理者モード
参照・変更とも可	参照・変更とも可

補足

- セキュリティーの設定によっては、すべての項目が表示されないことがあります。

Web Image Monitor のヘルプについて

Web Image Monitor のヘルプを表示する方法です。

Web Image Monitor のヘルプをはじめて使用するときは、ヘルプボタン（?）をクリックすると設定画面が表示され、2 種類の方法で Web Image Monitor のヘルプを閲覧できます。

インターネットの Web Image Monitor のヘルプを見る

最新の Web Image Monitor のヘルプを閲覧できます。

Web Image Monitor のヘルプをダウンロードして見る

Web Image Monitor のヘルプを使用しているパソコンのローカルディスクにダウンロードし、直接開いて閲覧できます。

また、ヘルプファイルを Web サーバーに格納してヘルプボタンにリンクさせると、インターネットに接続しないでヘルプを閲覧できます。

補足

- ヘッダーエリアに表示されたヘルプボタン（?）をクリックすると、通常は Web Image Monitor のヘルプの目次を表示します。
- ワークエリアに表示されたヘルプボタン（?）をクリックすると、通常はワークエリアに表示された内容についてのヘルプを表示します。

Web Image Monitor ヘルプをダウンロードする

1. 使用している OS をドロップダウンメニューから選択します。
2. 使用している言語をドロップダウンメニューから選択します。

3. ［ダウンロード］をクリックします。
4. 表示されるメッセージに従って、ヘルプファイルをダウンロードします。
5. ダウンロードした圧縮ファイルを任意の場所に保存し、解凍します。
6. ヘルプボタン（ ）からのリンクを設定するために、ダウンロードしたヘルプファイルを Web サーバーに保存してください。

ダウンロードしたヘルプへのリンク（URL）

Web サーバーに格納したヘルプファイルを、ヘルプボタン（ ）にリンクさせる方法です。

1. 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスします。

   ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。
2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。

3. 「Webpage」の［Webpage 設定］をクリックします。
4. ヘルプリンク先設定の「URL」にヘルプファイルへのパスを入力します。

   たとえば、Web サーバー上にコピーしたファイルの URL が http://a.b.c.d/HELP/JA/index.html のとき、「http://a.b.c.d/HELP/」と入力します。
5. ［OK］をクリックします。
6. 「設定の書き換え中」画面が表示されます。1〜2 分経ってから［OK］をクリックします。

- ヘルプファイルをローカルディスクに保存したときは、ヘルプボタン（ ）からのリンクはできません。ヘルプファイルを直接開いてください。

機器の状態をメールで通知する

本機に用紙切れや紙詰まりなどのアラートが発生したときに、メール通知機能を使用して機器の状態などを通知できます。

機器の状態を通知するメールは、あらかじめ設定した送信先メールアドレスに送信されます。アラートを通知するタイミングや状態なども設定できます。

重要

- **メールソフトによっては、メールを受信したときにフィッシングの警告が出ることがあります。送信者を警告対象外に設定してください。回避方法は、メールソフトのヘルプを参照してください。**

本機のメール通知機能は次の 2 種類です。

- 自動メール通知

  あらかじめ設定したメールアドレスに、機器の状態などをメールで自動通知する機能です。

- 要求時メール通知

  管理者からの要求に応じて、機器の状態などをメールで通知する機能です。

自動メール通知で設定できるものは、以下のとおりです。

- サービスコールが発生したとき
- トナーがなくなったとき
- トナーの残りがわずかになったとき
- 用紙づまりがおきたとき
- カバーオープンが検知されたとき
- 用紙がなくなったとき
- 給紙トレイでエラーが発生したとき
- 排紙トレイが満杯になったとき
- ユニットの接続にエラーが発生したとき
- 廃トナーボトルが満杯になったとき
- 廃トナーボトルが満杯に近づいたとき
- ファームウェアのアップデートを確認するとき*1
- 文書保存領域が満杯に近づいたとき
- プロキシ認証エラーがおきたとき*1
- アクセス攻撃を検知したとき
- トナーの残りがわずかになったとき（残量レベル選択）

*1 @Remote を使用しているときに設定できます。

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。

3.「機器」の［メール］をクリックします。

4. **設定画面に示された以下の項目のうち、必要なものを設定します。**
    - 管理者メールアドレス：機器に問題が発生したときや消耗品の交換が必要なときに、メール通知をする宛先の設定をします。
    - 受信欄の各項目：メール受信のときに必要なプロトコルを設定します。
    - SMTP 欄の各項目：SMTP サーバーに関する設定をします。使用するメール環境を確認して、必要な項目を設定してください。SMTP サーバーのメールの認証も設定できます。
    - POP before SMTP 欄の各項目：POP サーバーに関する設定をします。使用するメール環境を確認して、必要な項目を設定してください。POP サーバーのメールの認証も設定できます。
    - POP3/IMAP4 欄の各項目：POP3 サーバーまたは IMAP4 サーバーに関する設定をします。使用するメールの環境を確認して、必要な項目を設定してください。
    - メール通信ポート欄の各項目：メールサーバーにアクセスするときに使用するポートの設定をします。
    - メール通知アカウント欄の各項目：自動メール通知または要求時メール通知を使用するときに設定します。
5. **［OK］をクリックします。**
6. **［ログアウト］をクリックします。**
7. **Web Image Monitor を終了します。**

メール通知用アカウントの設定

メール通知用アカウントの設定について説明します。「自動メール通知」と「要求時メール通知」を使用するためには、あらかじめメール通知用アカウントの設定が必要です。Web Image Monitor で以下の設定をしてください。

1. **Web Image Monitor に管理者としてログインします。**

    ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。
2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「機器」の［メール］をクリックします。**
4. **設定画面に示された以下の項目を設定します。**
    - メール通知用メールアドレス：使用するメールアドレスを半角の英数字で入力します。通知メールの差出人（From:）になります。要求メールを送るときは、このアドレスを宛先（To:）にします。
    - メール通知の受信：要求時メール通知機能を使用するかどうかを選択します。
    - メール通知ユーザー名：「メール通知用メールアドレス」に設定したメールアカウントのユーザー名を入力します。

5

- メール通知パスワード：「メール通知用メールアドレス」に設定したメールアカウントのパスワードを入力します。

5. ［OK］をクリックします。

6. ［ログアウト］をクリックします。

7. Web Image Monitor を終了します。

補足

- Web Image Monitor については、P.263「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。

メールの認証について

メールサーバーの不正利用を防止するために、メールの認証を設定できます。

SMTP 認証を設定したとき

SMTP サーバーへのメール送信時に、SMTP AUTH プロトコルを使用してユーザー名とパスワードを入力し、認証を設定すると、SMTP サーバーの不正利用を防止できます。

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

   ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。
3. 「機器」の［メール］をクリックします。
4. 設定画面に示された以下の項目を設定します。
    - SMTP サーバー名：SMTP サーバー名を半角の英数字で指定します。
    - SMTP ポート番号：ポート番号を指定します。通常、SMTP で使用されるポート番号は「25」です。
    - SSL：SSL を使用するかしないかを設定します。
    - SMTP 認証：SMTP 認証をするかしないかを指定します。
    - SMTP 認証メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
    - SMTP 認証ユーザー名：SMTP アカウント名を半角の英数字で入力します。realmID を指定するときは、SMTP 認証ユーザー名の後に@realmID の形式で追加してください。
    - SMTP 認証パスワード：使用する SMTP アカウントのパスワードを設定します。
    - SMTP 認証暗号化：SMTP 認証を有効にしたときに、パスワードを暗号化するかどうかを選択します。

［自動選択］：認証方式が PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5、DIGEST-MD5 のときに指定します。

［有効］：認証方式が CRAM-MD5、DIGEST-MD5 のときに指定します。

［無効］：認証方式が PLAIN、LOGIN のときに指定します。

5. ［OK］をクリックします。
6. ［ログアウト］をクリックします。
7. Web Image Monitor を終了します。

POP before SMTP 認証を設定したとき

メールを送信するときに、あらかじめ POP3 サーバーにログインするかどうかを選択します。

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

   ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。
2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。
3. 「機器」の［メール］をクリックします。
4. 設定画面に示された以下の項目を設定します。
   - POP before SMTP： POP before SMTP 認証をするかしないかを設定します。
   - POP メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
   - POP ユーザー名：POP アカウント名を半角の英数字で入力します。
   - POP パスワード：使用する POP アカウントのパスワードを設定します。
   - POP 認証後待機時間：POP before SMTP を有効に設定したときに、POP サーバーにログインしてから SMTP サーバーに接続を開始するまでの時間を入力します。
5. ［OK］をクリックします。
6. ［ログアウト］をクリックします。
7. Web Image Monitor を終了します。

補足

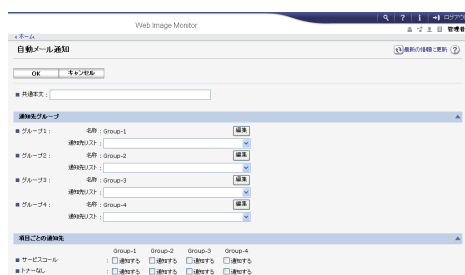
- Web Image Monitor については、P.263「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。

自動メール通知の設定

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。

3.「機器」の［自動メール通知］をクリックします。

4. 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- 共通本文：機器の設置場所や、サービスコールが発生したときの連絡先など、任意の文字列を設定できます。
- 通知先グループの各項目：通知先アドレスをグループ分けして設定できます。
- 項目ごとの通知先の各項目：機器の状態やエラーなど、各通知項目ごとに、メールを送信するグループを設定できます。

  項目の詳細を設定するときは、［各項目の詳細設定］の［編集］をクリックし、表示される設定画面で各項目を設定して［OK］をクリックします。

5.［OK］をクリックします。

6.［ログアウト］をクリックします。

7. Web Image Monitor を終了します。

補足

- 設定項目については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

自動メール通知の内容

［自動メール通知］で選択した項目のエラーが発生すると、本機から以下の件名でメールを送信し、エラーの発生を通知します。

「アラート発生通知：XXXXX（発生したエラーの内容）」

メールには、発生したエラーの内容やプリンターのプロトコル設定情報が記載されています。エラーの内容に応じて、エラーを解除してください。

以下の内容でエラーが発生したときは、サービス実施店に連絡してください。

- トレイ 1～4 エラーです
- オプション RAM エラーです
- アドレス帳データエラーです
- SD カードからの認証に失敗しました

- HDD ボードエラーです
- イーサネットボードエラーです
- パラレルインターフェースエラーです
- Bluetooth エラーです（Bluetooth デバイス接続エラー）
- Bluetooth エラーです（Bluetooth デバイス抜け）
- 無線 LAN エラーです（無線 LAN カードエラー）
- USB エラーです
- プリンターエラーです

発生したエラーが解除されると、本機から以下の件名でメールを送信し、エラーが解除されたことを通知します。

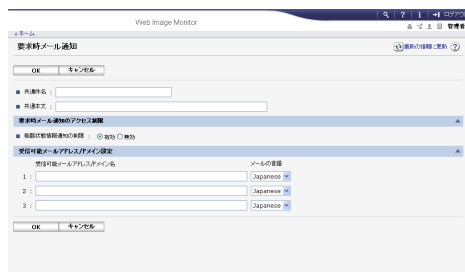
「アラート復旧通知：XXXXX（解除されたエラーの内容）」

要求時メール通知の設定

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。

3.「機器」の［要求時メール通知］をクリックします。

4. 設定画面に示された項目を設定します。

- 共通件名：返信メールの件名に共通で付加する文字列を入力します。
- 共通本文：機器の設置場所や、サービスコールが発生したときの連絡先など、任意の文字列を設定できます。
- 機器状態情報通知の制限：機器の設定内容や状態などの情報へのアクセスを制限するかどうかを選択します。
「有効」を選択すると、要求があっても返信メールを送信しません。
「無効」を選択すると、要求があれば返信メールを送信します。
- 受信可能メールアドレス/ドメイン設定の各項目：メールで情報を要求し、返信メールとして情報を受け取ることができるメールアドレスまたはドメイン名を入力します。

5. ［OK］をクリックします。

6. ［ログアウト］をクリックします。

7. Web Image Monitor を終了します。

補足

- 設定項目については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

要求メールの書式について

要求時メール通知機能を使用するには、定められた書式の要求メールを本機に送信します。要求メールは、メールソフトを使用して、以下の書式で記述してください。

項目	記述内容
To（メールソフトでは「宛先」などと表示される部分）	「通知用メールアドレス」に設定したメールアドレスを指定します。
Subject（メールソフトでは「件名」などと表示される部分）	requeststatus
From（メールソフトでは「送信者」、「差出人」などと表示される部分）	有効なメールアドレスを指定してください。機器の情報はここで指定されたアドレスに送信されます。

補足

- 要求メールの大きさは最大 1MB です。
- Subject の記述では、アルファベットの大文字・小文字を区別しません。
- 要求メールの本文には意味がありません。記述した内容はすべて無視されます。
- 本機の電源を入れた直後は、要求メールが正しく送信されないことがあります。

5

アドレス帳を登録する

アドレス帳にユーザーを登録する方法を説明します。

重要

- 使用している機種が Type 2 または Type 3 のときは、Web Image Monitor からアドレス帳を設定できます。詳細は、P.283「Web Image Monitor でアドレス帳を登録する」を参照してください。

アドレス帳について

対象機種：Type 1

ユーザーごとにユーザーコードなどを登録して一括管理できます。

アドレス帳の登録データはバックアップを取ることをお勧めします。バックアップの設定項目は、P.324「管理者用設定」の［ユーザー個別設定・アドレス帳　バックアップ/リストア］を参照してください。

重要

- アドレス帳の登録データは、ハードディスクに記録されます。万一、本機のハードディスクに不具合が生じたときは、記録されたデータが消失することがあります。お客様のデータ消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティー機能を強化した設定で本機を使用しているときは、一般ユーザーによるアドレス帳へのユーザー登録が制限されていることがあります。

アドレス帳で登録・管理できる内容は以下のとおりです。

登録情報

アドレス帳にユーザー名、キー表示名、ヨミガナなどを登録します。

ユーザーを管理するための基本情報となります。

認証情報

ユーザーコードを登録し、使用者ごとに機能を制限して、使用状況を確認できます。また認証方法によっては、ログイン用の認証情報を設定できます。

登録先グループ

登録済みのユーザーをグループに登録します。

補足

- ネットワーク上のパソコンから Web Image Monitor を使用して、アドレス帳の登録、変更、消去ができます。
- Web Image Monitor を使用して、アドレス帳に登録されている内容のバックアップがとれます。バックアップをとって使用することをお勧めします。詳細については、P.283「アドレス帳をバックアップ/リストアする」を参照してください。
- Web Image Monitor の操作方法は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

操作画面で本機の利用者及び使用状況を管理する

ユーザーコード認証を設定すると、プリンターの使用者を制限し、使用状況を確認できます。

補足

- ユーザーコードの設定方法は、P.286「ユーザーコード認証について」を参照してください。

Web Image Monitor でアドレス帳を登録する

Web Image Monitor でアドレス帳にユーザー情報を登録したり、編集や削除が行えます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

アドレス帳をバックアップ/リストアする

アドレス帳をバックアップする

Web Image Monitor で、本機のアドレス帳データを保存する方法を説明します。

1. **Web Image Monitor を起動し、管理者モードにログインします。**

   ログイン方法は、P.105「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［アドレス帳］をクリックします。**
3. **［メンテナンス］をクリックします。**
4. **暗号鍵を入力し、［バックアップ］をクリックします。**

   暗号鍵は、アドレス帳暗号化で設定されている暗号鍵を入力します。

   詳細は管理者にお問い合わせください。

5. **［保存］をクリックします。**

   表示されるメッセージに従って、ファイルを保存します。

6. **［ログアウト］をクリックします。**
7. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- アドレス帳のバックアップについての詳細は Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

アドレス帳をリストアする

Web Image Monitor で、本機に保存したアドレス帳データを復元する方法を説明します。

1. **Web Image Monitor を起動し、管理者モードにログインします。**
2. **メニューエリアの［機器の管理］から［アドレス帳］をクリックします。**
3. **［メンテナンス］をクリックします。**
4. **［リストア設定］をクリックします。**
5. **表示されるメッセージに従って、リストアするファイルを指定します。**
6. **［OK］をクリックします。**
7. **メッセージを確認し、［OK］をクリックします。**
8. **［ログアウト］をクリックします。**
9. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- アドレス帳のリストアについての詳細は Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

ユーザー情報の登録

対象機種：Type 1

名前や見出しなどのユーザー情報を登録します。ユーザー情報は 1,000 件まで登録できます。

ユーザー情報を登録する

1. **［初期設定］キーを押し、［登録情報］のメニュー画面を表示します。**

［アドレス帳管理］▶［新規登録］▶［登録情報］

2. **ユーザー情報を登録します。**

- ［名前］
  ユーザーの名前を登録します。
  名前を入力 ▶［OK］
- ［見出し 1］、［見出し 2］、［見出し 3］
  登録するユーザーの分類を選択します。
  ユーザーの分類を選択 ▶［設定］

- ［名前］を入力すると、キー表示名とヨミガナも自動的に設定されます。

- [見出し 1]、[見出し 2]、[見出し 3] で選択できるキーは次のとおりです。
    - [常用]：最初に表示されるページに登録されます。
    - [あ] - [わ]、[AB] - [XYZ]、[1] - [5]：それぞれの見出しのついたページに表示されます。[常用] と見出しごとにもう 1 つ選択できます。

3. 登録した情報を確定します。

[閉じる] ▶ [設定]

ユーザー情報を変更する

1. [初期設定] キーを押し、「アドレス帳:変更」のメニュー画面を表示します。

[アドレス帳管理] ▶ [変更]

2. 変更するユーザーを選択します。

[全て表示] または [ユーザーコード] を選択 ▶ 変更するユーザーのキーを押す

ユーザーは、名前/ヨミガナ、ユーザーコードから検索できます。

[番号指定] を押して、登録番号からも指定できます。

3. ユーザーの登録情報を変更します。

[登録情報] ▶ 変更する項目を選択 ▶ ユーザーの情報を変更 ▶ [OK] または [設定] を押す

4. 変更した情報を確定します。

[閉じる] ▶ [設定]

ユーザーの並び順を入れ替える

1. [初期設定] キーを押し、[管理者用設定] のメニュー画面を表示します。

[システム初期設定] ▶ [管理者用設定]

2. ユーザーの並び順を入れ替えます。

[並び順入れ替え] ▶ [全て表示] または [ユーザーコード] を選択 ▶ 移動するユーザーのキーを押す ▶ 移動する場所にあるユーザーのキーを押す

[番号指定] を押して、登録番号からも移動先と移動元を指定できます。

補足

- 同じ見出し内の名前順を入れ替えられますが、異なる見出しで名前を移動することはできません。たとえば、[常用]見出しにある登録名を[AB]見出しへの移動はできません。

見出しを編集する

1. [初期設定]キーを押し、[管理者用設定]のメニュー画面を表示します。

[システム初期設定] ▶ [管理者用設定]

2. 見出しを編集します。

[見出し編集] ▶ 編集する見出しを押す ▶ 新しい名称を入力 ▶ [OK] ▶ [設定]

5

ユーザー情報を消去する

1. [初期設定]キーを押し、「アドレス帳:消去」のメニュー画面を表示します。

[アドレス帳管理] ▶ [消去]

2. 消去するユーザーを選択します。

[全て表示]または[ユーザーコード]を選択 ▶ 消去するユーザーのキーを押す

ユーザーは、名前/ヨミガナ、ユーザーコードから検索できます。

[番号指定]を押して、登録番号からも指定できます。

3. ユーザーを消去します。

[消去する] ▶ [閉じる]

ユーザーコード認証について

対象機種：Type 1

- **ユーザーコードはすべての機能に共通です。ユーザーコードを変更、消去したときは、そのユーザーコードはすべての機能で管理、制限が無効になります。**

ユーザーコード認証を設定すると、プリンターの使用者を制限し、使用状況を確認できます。

ユーザーごとの使用状況は、「ユーザー別カウンター表示/クリア/印刷」で確認できます。また、ユーザーごとに印刷利用量を制限できます。印刷利用量の制限については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

また、キーカードを装着することによって、さらに詳しい機能ごとの集計管理や利用者制限ができます。

補足

- ユーザーコードは 1,000 件まで登録できます。
- プリンタードライバーのユーザーコードを自動的に登録するときは、［ユーザー認証管理］の［プリンター機能制限］で［自動登録］を選択してください。プリンタードライバーにはシステム初期設定で登録したユーザーコードを設定します。［ユーザー認証管理］については、P.324「管理者用設定」を参照してください。
- プリンタードライバーのユーザーコードの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ユーザーコード認証の設定については、「セキュリティーガイド」を参照してください。

ユーザーコードを登録する

1. ［初期設定］キーを押し、「アドレス帳:変更」のメニュー画面を表示します。

［アドレス帳管理］ ▶ ［変更］

2. ユーザーコードを登録するユーザーを選択します。

［全て表示］ ▶ ユーザーコードを登録するユーザーのキーを押す

ユーザーは、名前/ヨミガナから検索できます。

［番号指定］を押して、登録番号からも指定できます。

3. ユーザーコードを登録します。

［認証情報］ ▶ ［ユーザーコード］ ▶ ユーザーコードを入力 ▶ ［OK］

4. 登録した情報を確定します。

［閉じる］ ▶ ［設定］

補足

- ユーザーコードは 1 桁から 8 桁まで指定できます。
- ユーザー情報の登録方法は、P.284「ユーザー情報の登録」を参照してください。

ユーザーコードを変更する

重要

- ユーザーコードを変更しても、カウンターの数値はクリアされません。

1. ［初期設定］キーを押し、「アドレス帳:変更」のメニュー画面を表示します。

［アドレス帳管理］ ▶ ［変更］

2. ユーザーコードを変更するユーザーを選択します。

［全て表示］または［ユーザーコード］を選択 ▶ 変更するユーザーコードの登録されているユーザーのキーを押す

ユーザーは、名前/ヨミガナ、ユーザーコードから検索できます。

［番号指定］を押して、登録番号からも指定できます。

3. ユーザーコードを変更します。

［認証情報］ ▶ ［ユーザーコード］ ▶ 新しいユーザーコードを入力 ▶ ［OK］

4. 変更した情報を確定します。

［閉じる］ ▶ ［設定］

ユーザーコードを消去する

重要

- ユーザーコードをクリアすると、カウンターの数値は自動的にクリアされます。

1. ［初期設定］キーを押し、「アドレス帳:変更」のメニュー画面を表示します。

［アドレス帳管理］ ▶ ［変更］

2. ユーザーコードを消去するユーザーを選択します。

［全て表示］または［ユーザーコード］を選択 ▶ 消去するユーザーコードの登録されているユーザーのキーを押す

ユーザーは、名前/ヨミガナ、ユーザーコードから検索できます。

［番号指定］を押して、登録番号からも指定できます。

3. ユーザーコードを消去します。

［認証情報］ ▶ ［ユーザーコード］ ▶ ［クリア］ ▶ ［OK］

4. **変更した情報を確定します。**

［閉じる］ ▶ ［設定］

補足

- ユーザーごと消去するときは、P.284「ユーザー情報の登録」を参照してください。

ユーザーごとのカウンターを表示する

1. **［初期設定］キーを押し、［管理者用設定］のメニュー画面を表示します。**

［システム初期設定］ ▶ ［管理者用設定］

2. **ユーザーごとのカウンターを表示します。**

［ユーザー別カウンター表示/クリア/印刷］ ▶ ［プリンターカウンター］または［印刷利用量カウンター］を選択

ユーザーコードごとにカウンターが表示されます。

［印刷利用量カウンター］はユーザー認証管理を有効にしているときだけ表示されます。

3. **カウンターを確認し、［閉じる］を押します。**

ユーザーごとのカウンターを印刷・クリアする

1. **［初期設定］キーを押し、［管理者用設定］のメニュー画面を表示します。**

［システム初期設定］ ▶ ［管理者用設定］

2. **カウンターを印刷またはクリアするユーザーを選択します。**

［ユーザー別カウンター表示/クリア/印刷］ ▶ ［プリンターカウンター］または［印刷利用量カウンター］を選択 ▶ 画面左側のユーザーコードを選択

複数のユーザーコードを同時に選択できます。

［印刷利用量カウンター］はユーザー認証管理を有効にしているときだけ表示されます。

3. 選択したユーザーのカウンターを印刷またはクリアします。

- カウンターを印刷するとき
「ユーザー別」の［一覧印刷］を押す ▶［プリンター］または［印刷合計］を選択 ▶［印刷開始］
- カウンターをクリアするとき
「ユーザー別」の［クリア］を押す ▶［プリンター］、［印刷利用量］または［全カウンター］を選択 ▶［実行］

4. ［閉じる］を押します。

すべてのユーザーのカウンターを印刷・クリアする

1. ［初期設定］キーを押し、［管理者用設定］のメニュー画面を表示します。

［システム初期設定］▶［管理者用設定］

2. 全ユーザーのカウンターを印刷またはクリアします。

- カウンターを印刷するとき
［ユーザー別カウンター表示/クリア/印刷］▶［プリンターカウンター］または［印刷利用量カウンター］を選択 ▶「全ユーザー」の［一覧印刷］を押す ▶［プリンター］または［印刷合計］を選択 ▶［印刷開始］
- カウンターをクリアするとき
［ユーザー別カウンター表示/クリア/印刷］▶［プリンターカウンター］または［印刷利用量カウンター］を選択 ▶「全ユーザー」の［クリア］を押す ▶［プリンター］または［印刷合計］を選択 ▶［実行］

ユーザーをグループに登録する

対象機種：Type 1

ユーザーをグループで管理できます。

ユーザーをグループ分けするには、あらかじめグループの登録が必要です。ここでは、グループの登録から説明します。

重要

- 1 つのグループに登録できる宛先は最大 500 件です。

グループを登録する

1. ［初期設定］キーを押し、［登録情報］のメニュー画面を表示します。

［システム初期設定］▶［管理者用設定］▶［グループ登録/変更/消去］▶［新規登録］▶［登録情報］

2. グループの情報を登録します。

- [名前]
  グループ名を登録します。
  グループ名を入力 ▶ [OK]
- [見出し 1]、[見出し 2]、[見出し 3]
  登録するグループの分類を選択します。
  グループの分類を選択 ▶ [設定]

- [名前] を入力すると、キー表示名とヨミガナも自動的に設定されます。
- [見出し 1]、[見出し 2]、[見出し 3] で選択できるキーは次のとおりです。
  - [常用]：最初に表示されるページに登録されます。
  - [あ] - [わ]、[AB] - [XYZ]、[1] - [5]：それぞれの見出しのついたページに表示されます。[常用] と見出しごとにもう 1 つ選択できます。

3. 登録した情報を確定します。

[閉じる] ▶ [設定]

ユーザーをグループに登録する

1. [初期設定] キーを押し、「アドレス帳:変更」のメニュー画面を表示します。

[アドレス帳管理] ▶ [変更]

2. グループに登録するユーザーを選択します。

[全て表示] または [ユーザーコード] を選択 ▶ 登録するユーザーのキーを押す

ユーザーは、名前/ヨミガナ、ユーザーコードから検索できます。

[番号指定] を押して、登録番号からも指定できます。

3. 選択したユーザーをグループに登録します。

[登録先グループ] ▶ 登録するグループを選択

選択したグループが反転表示されます。

4. 登録した情報を確定します。

[閉じる] ▶ [設定]

グループを別のグループに登録する

1. [初期設定] キーを押し、[グループ登録/変更/消去] のメニュー画面を表示します。

[システム初期設定] ▶ [管理者用設定] ▶ [グループ登録/変更/消去]

2. グループに登録するグループを選択します。

[変更] ▶ 登録するグループのキーを押す

グループは名前/ヨミガナから検索できます。

[番号指定] を押して、登録番号からも指定できます。

3. 登録先のグループを選択します。

[登録先グループ] ▶ 登録先のグループを選択

選択したグループが反転表示されます。

4. 登録した情報を確定します。

[閉じる] ▶ [設定]

グループに登録されているユーザーを確認する

1. [初期設定] キーを押し、[グループ登録/変更/消去] のメニュー画面を表示します。

[システム初期設定] ▶ [管理者用設定] ▶ [グループ登録/変更/消去]

2. グループを選択し、登録されているユーザーを表示します。

[変更] ▶ 登録ユーザーを確認するグループを選択 ▶ [登録済ユーザー/グループ]

グループは名前/ヨミガナから検索できます。

[番号指定] を押して、登録番号からも指定できます。

3. 登録されている情報を確認して画面を閉じます。

[閉じる] ▶ [設定]

登録したユーザーをグループから削除する

1. [初期設定] キーを押し、「アドレス帳:変更」のメニュー画面を表示します。

[アドレス帳管理] ▶ [変更]

2. グループから削除するユーザーを選択します。

[全て表示] または [ユーザーコード] を選択 ▶ グループから削除するユーザーのキーを押す

ユーザーは、名前/ヨミガナ、ユーザーコードから検索できます。

[番号指定] を押して、登録番号からも指定できます。

3. 選択したユーザーを削除するグループを選択します。

[登録先グループ] ▶ 削除するグループを選択

選択したグループの反転表示が解除されます。

4. 変更した情報を確定します。

[閉じる] ▶ [設定]

登録したグループをグループから削除する

1. [初期設定] キーを押し、[グループ登録/変更/消去] のメニュー画面を表示します。

[システム初期設定] ▶ [管理者用設定] ▶ [グループ登録/変更/消去]

2. グループから削除するグループ名を選択します。

[変更] ▶ 削除するグループのキーを押す

グループは名前/ヨミガナから検索できます。

[番号指定] を押して、登録番号からも指定できます。

3. 選択したグループを削除するグループを選択します。

[登録先グループ] ▶ 削除するグループを選択

選択したグループの反転表示が解除されます。

4. 変更した情報を確定します。

[閉じる] ▶ [設定]

グループ情報を変更する

1. [初期設定] キーを押し、[グループ登録/変更/消去] のメニュー画面を表示します。

[システム初期設定] ▶ [管理者用設定] ▶ [グループ登録/変更/消去]

2. 変更するグループを選択します。

[変更] ▶ 変更するグループのキーを押す

グループは名前/ヨミガナから検索できます。

[番号指定] を押して、登録番号からも指定できます。

3. グループの情報を変更します。

[登録情報] ▶ グループの登録情報を変更

4. 変更した情報を確定します。

[閉じる] ▶ [設定]

グループを消去する

1. [初期設定] キーを押し、[グループ登録/変更/消去] のメニュー画面を表示します。

[システム初期設定] ▶ [管理者用設定] ▶ [グループ登録/変更/消去]

2. 消去するグループを選択します。

[消去] ▶消去するグループのキーを押す

グループは名前/ヨミガナから検索できます。

[番号指定] を押して、登録番号からも指定できます。

3. グループを消去します。

[消去する] ▶ [閉じる]

アドレス帳の認証情報

対象機種：Type 1

本機のアドレス帳にある認証情報について説明します。

LDAP 認証

LDAP サーバーを使用するときに LDAP 認証を設定することによって、ユーザーごとにユーザー名とパスワードを設定します。

LDAP サーバーを利用するには、あらかじめ登録が必要です。LDAP サーバーの登録方法は、P.297「LDAP サーバーを設定する」を参照してください。

重要

- **[LDAP 認証]で[指定しない]を選択したときは、[管理者用設定]の[LDAP サーバー登録/変更/消去]で設定したユーザー名とパスワードが有効になります。詳細については、P.297「LDAP サーバーを設定する」を参照してください。**
- **ユーザー認証を設定しているときは、管理者に確認してください。**

1. [初期設定]キーを押し、「アドレス帳:変更」のメニュー画面を表示します。

[アドレス帳管理] ▶ [変更]

2. LDAP 認証を設定するユーザーを選択します。

[全て表示]または[ユーザーコード]を選択 ▶ LDAP 認証を設定するユーザーのキーを押す

ユーザーは、名前/ヨミガナ、ユーザーコードから検索できます。

[番号指定]を押して、登録番号からも指定できます。

3. 選択したユーザーに LDAP 認証を設定します。

[認証情報] ▶ [LDAP 認証] ▶ [別の認証情報] ▶ 「ログインユーザー名」の[変更]を押す ▶ ログインユーザー名を入力 ▶ [OK] ▶ 「ログインパスワード」の[変更]を押す ▶ パスワードを入力 ▶ [OK] ▶ 確認用にもう一度パスワードを入力 ▶ [OK] ▶ [設定]

補足

- ユーザーの登録については、P.284「ユーザー情報の登録」を参照してください。

使用できる機能を確認する

対象機種：Type 1

ユーザー認証では、ログインユーザー名、ログインパスワードにより個人やグループ単位でのアクセス制限を設定しています。

それぞれのユーザー、グループは、認証により本機へのアクセスを許可され、管理者によってアクセス権を与えられた機能だけを使用できます。

ユーザーが使用できる機能

ユーザーが使用できる機能は、プリンターを使用した印刷や蓄積などです。

ユーザー認証で、使用できる機能が制限されているときは、次の手順で使用できる機能を確認できます。

1. ［初期設定］キーを押し、「アドレス帳:変更」のメニュー画面を表示します。

［アドレス帳管理］▶［変更］

2. 使用できる機能を確認します。

［全て表示］または［ユーザーコード］を選択▶［認証情報］▶［プリンター機能使用許可］または［その他の機能使用許可］を押す▶使用できる機能を確認▶［閉じる］

LDAP 認証の準備

重要

- 使用している機種が Type 2 または Type 3 のときは、Web Image Monitor から LDAP 認証を設定できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

LDAP サーバーを設定する

対象機種：Type 1

LDAP サーバーの設定方法を説明します。

LDAP サーバーを登録すると、ユーザー認証管理に LDAP 認証を使用できます。Ver.2.0 と Ver.3.0 の LDAP サーバーに対応しています。

LDAP 認証の詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

5

LDAP サーバーを登録/変更する

Kerberos 認証を使用するときは、あらかじめレルムの登録が必要です。レルムの登録方法は、P.300「レルムを設定する」を参照してください。

1. [初期設定] キーを押し、[管理者用設定] のメニュー画面を表示します。

   [システム初期設定] ▶ [管理者用設定]

2. 登録または変更する LDAP サーバーを選択します。

   [LDAP サーバー登録/変更/消去] ▶ [登録/変更] ▶ [＊未登録] または変更する LDAP サーバーを選択

3. LDAP サーバーの名称を任意の名前で登録します。

   [名前] ▶ 任意の名前を入力 ▶ [OK]

4. ホスト名または LDAP サーバーの IPv4 アドレスを 128 文字以内で指定します。

   [サーバー名] ▶ ホスト名または IPv4 アドレスを入力 ▶ [OK]

5. 検索を開始するルートフォルダーを指定します。

   [検索開始位置] ▶ 検索開始位置を入力 ▶ [OK]

   ここで指定したフォルダーの中に登録されているメールアドレスが検索の対象となります。

例えば、ABC 商事の販売部を検索対象としたときは、「dc=販売部、o=ABC 商事」と入力します（ここではアクティブディレクトリを例にして説明します。dc が組織名、o が会社名です）。

使用するサーバー環境によっては、検索開始位置の登録が必要です。登録が必要なときは、何も指定しないで検索をするとエラーが発生します。使用するサーバーの環境を確認して、入力してください。

6. LDAP サーバーと通信をするときに使用するポート番号を指定します。

［ポート番号］▶ポート番号を入力▶［OK］

7. LDAP サーバーと通信するときに、SSL 通信を使用するかどうかを設定します。

［SSL］▶［利用する］または［利用しない］▶［設定］

SSL 通信をするには、SSL に対応した LDAP サーバーが必要です。

SSL を［利用する］に設定すると、ポート番号が「636」に自動で切り替わります。

SSL を使用しないときは、セキュリティーで問題が発生することがあります。詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

8. LDAP サーバーの認証方法を選択します。

- 認証を使用しないとき
  ［認証］▶［認証しない］
- 認証を使用するとき
  ［認証］▶［認証する］▶［Kerberos 認証］、［ダイジェスト認証］、または［平文認証］のいずれかを選択▶必要に応じて認証情報を設定

認証するときは、LDAP サーバーの認証設定にあわせて認証方式を選択してください。認証情報は、代表者アカウントのユーザー名とパスワードを設定します。代表者アカウントを使用しないでユーザーごとに認証するときは、ユーザー名やパスワードの設定をしないでください。

- ［Kerberos 認証］

  パスワードが解読できないように加工して KDC サーバーへ送信し、KDC サーバーで認証します。

  ユーザー名とパスワードのほかに、レルム名の指定が必要です。

- ［ダイジェスト認証］

  本機でパスワードが解読できないように加工して LDAP サーバーへ送信します。

  ［ダイジェスト認証］は Ver.3.0 の LDAP サーバーを使用しているときに設定できます。

- ［平文認証］

  パスワードの加工をしないでそのまま LDAP サーバーへ送信します。

使用するサーバー環境によりユーザー名の指定方法が異なります。使用するサーバー環境を確認して入力してください（例として Domain Name¥User Name、User Name@Domain Name、CN=名前、OU=部署名、DC=サーバー名のような指定方法があります）。

また、本機のアドレス帳に登録したユーザー名、パスワードを使用して LDAP サーバーに接続することもできます。詳しくは、P.295「LDAP 認証」を参照してください。

9. LDAP サーバーに正しく接続できることを確認して画面を閉じます。

［接続テスト］ ▶ ［閉じる］ ▶ ［設定］

接続テストでは、認証設定に応じて認証の確認もできます。

接続に失敗したときは、設定を確認し、再度接続テストをしてください。

本機能では、検索条件、検索開始位置の確認はできません。

10. LDAP サーバーで使用している文字コードを選択します。

日本語文字コード ▶ ［UIF-8］、［Shift-JIS］、［EUC-JP］、または［JIS］のいずれかを選択 ▶ ［設定］

11. 検索するために必要な項目の属性を設定します。

検索条件 ▶ ［名前］、または［メールアドレス］を押す ▶ 属性を入力 ▶ ［OK］ ▶ ［設定］ ▶ ［設定］

代表的な検索のキーワードとして属性を 64 文字以内で入力します。入力した属性を使用して、LDAP サーバーのアドレス帳から検索します。

サーバー環境により属性の値が異なることがあります。使用するサーバー環境を確認して、属性を設定してください。

各項目が空白のときは、LDAP サーバーのアドレス帳からその属性での検索はできません。

登録した LDAP サーバーを消去する

1. ［初期設定］キーを押し、［管理者用設定］のメニュー画面を表示します。

［システム初期設定］ ▶ ［管理者用設定］

2. 消去する LDAP サーバーを選択します。

［LDAP サーバー登録/変更/消去］ ▶ ［消去］ ▶ 消去する LDAP サーバーを選択

3. 選択した LDAP サーバーを消去します。

［消去する］ ▶ ［閉じる］

レルムを設定する

対象機種：Type 1

Kerberos 認証で使用するレルムを設定します。

レルムとは Kerberos 認証を使用したネットワークエリアです。レルムを登録するには、「レルム名」、「KDC サーバー名」を必ず設定してください。使用するネットワーク環境を確認して、必要に応じて「ドメイン名」を設定してください。

レルムは 5 つまで登録できます。

5

レルムを登録/変更する

1. ［初期設定］キーを押し、［管理者用設定］のメニュー画面を表示します。

［システム初期設定］ ▶ ［管理者用設定］

2. 登録または変更するレルム設定を選択します。

［レルム登録/変更/消去］ ▶ ［登録/変更］ ▶ ［*未登録］または設定を変更するレルム名を選択

3. レルム名を指定します。

［レルム名］ ▶ レルム名を入力 ▶ ［OK］

レルム名の代わりにホスト名も入力できます。

レルム名では全角文字が使用できません。

4. ［KDC サーバー名］を指定します。

［KDC サーバー名］ ▶ KDC サーバー名を入力 ▶ ［OK］

KDC サーバー名の代わりにホスト名または IPv4 アドレスも入力できます。

KDC サーバー名では全角文字が使用できません。

5. ドメイン名を指定します。

［ドメイン名］ ▶ ドメイン名を入力 ▶ ［OK］

ドメイン名の代わりにホスト名も入力できます。

ドメイン名では全角文字が使用できません。

6. 登録した情報を確定します。

［設定］ ▶ ［閉じる］

登録したレルムを消去する

1.［初期設定］キーを押し、［管理者用設定］のメニュー画面を表示します。

［システム初期設定］ ▶ ［管理者用設定］

2. 消去するレルム設定を選択します。

［レルム登録/変更/消去］ ▶ ［消去］ ▶ 消去するレルム名を選択

3. 選択したレルムを消去します。

［消去する］ ▶ ［閉じる］

テスト印刷する

重要

- テスト印刷で出力されるリストは、レイアウトがA4（およびLetter）サイズに固定されます。給紙トレイのいずれかに、A4（またはLetter）サイズの用紙（普通紙・再生紙）をセットすることをお勧めします。

対象機種：Type 1

1. [初期設定] キーを押し、[テスト印刷] のメニュー画面を表示します。

[プリンター初期設定] ▶ [テスト印刷]

2. 印刷するリストを選択します。

   [ヘキサダンプ] を選択したときは、ここでは何も印刷されません。

対象機種：Type 2 Type 3

操作部の [メニュー] キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

1. [テスト印刷] ▶ [OK]
2. 印刷するリストを選択 ▶ [OK]

システム設定リストの見かた

システム設定リストの印刷例です。

対象機種：Type 1

CSH955

1. **システム構成情報**

   本機やシステムのバージョン、カウンター情報、メモリー容量、および取り付けた外部オプションの名称などの情報です。

2. **用紙設定**

   トレイの用紙サイズと紙種が表示されます。用紙サイズはトレイにセットした用紙のサイズです。

   「不定形サイズ」と記載されているときは、フリーサイズに設定されています。

   用紙サイズで「R」と記載されているときは、用紙方向がに設定されています。

3. **データ操作/管理**

   プリンター初期設定の［データ操作/管理］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

4. **システム設定**

   プリンター初期設定の［システム設定］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

5. **システム設定（EM）**

   プリンター初期設定の［システム設定（EM）］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

6. **登録プログラム一覧**

   登録されているプログラムのエミュレーションが表示されます。

7. **PCL 設定**

   プリンター初期設定の［PCL 設定］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

8. PS 設定

プリンター初期設定の［PS 設定］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

9. PDF 設定

プリンター初期設定の［PDF 設定］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

10. インターフェース設定

システム初期設定の［インターフェース設定］の項目と設定値です。

11. インターフェース情報

動作モードなどのインターフェース設定の情報です。

12. 調整/管理：画像

調整/管理：画像にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

13. 調整/管理：印刷

調整/管理：印刷にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

14. システム初期設定

システム初期設定にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

補足

- ［PCL 設定］、［PS 設定］の項目は、エミュレーションが追加されたときに表示されます。

対象機種： Type 2 Type 3

1. **システム構成情報**

   本機やシステムのバージョン、カウンター情報、メモリー容量、取り付けた外部オプションの名称などの情報、およびトナーの消耗状態です。

2. **用紙設定**

   トレイの用紙サイズと紙種が表示されます。用紙サイズは本機の操作部で設定した値です。

   「不定形サイズ」と記載されているときは、フリーサイズに設定されています。

   用紙サイズで「R」と記載されているときは、用紙方向がに設定されています。

3. **調整/管理**

   ［調整/管理］メニューの項目と設定値です。

4. **システム設定**

   ［システム設定］メニューの項目と設定値です。

5. **一般設定**

   ［一般設定］メニューの項目と設定値です。

6. **EM 設定（対象機種：Type 2）**

   エミュレーションカードが装着されているときの項目と設定値です。

7. **登録プログラム一覧（対象機種：Type 2）**

   登録されているプログラムのエミュレーションが表示されます。

8. **PCL 設定（対象機種：Type 2）**

   ［PCL 設定］メニューの項目と設定値です。

9. **PS 設定（対象機種：Type 2）**

   ［PS 設定］メニューの項目と設定値です。

10. **PDF 設定（対象機種：Type 2）**

    ［PDF 設定］メニューの項目と設定値です。

11. **インターフェース設定**

    ［インターフェース設定］メニューの項目と設定値です。

12. **インターフェース情報**

    動作モードやプリンター名など、インターフェース設定の情報です。

13. **ユーザー用紙種類**

    ユーザー用紙種類を登録すると、登録されている用紙名称と用紙種類が印刷されます。

補足

- 印刷される項目は、使用している機種やオプションの装着状況によって異なります。

プリンター本体の設定（Type 1）

対象機種：Type 1

本機の初期設定画面で設定できる各項目について説明します。

システム初期設定

本機で設定できる「システム初期設定」の各種項目について説明します。

基本設定

定型文字列登録/変更/消去

各種設定で文字入力をするときによく使用する文字列を登録します。

「.co.jp」や「いつもお世話になっております。」など、よく使用する文字列をあらかじめ登録しておくと、文字入力するときに便利です。

定型文字列は 40 件まで登録できます。

ブザー音

キーを押したときのブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

- 最小
- 小
- 中
- 大
- OFF

工場出荷時の設定：**中**

優先機能設定

電源を入れた直後やシステムオートクリアされたときに、優先的に表示する機能を設定します。

- ホーム
- アプリケーション
    - プリンター
    - ブラウザー
- 拡張機能
- URL

工場出荷時の設定：**ホーム**

画面表示色切り替え

画面表示色を設定します。

- ブルーグレー
- グレー
- ブルー
- グリーン
- レッド

工場出荷時の設定：**ブルーグレー**

キーリピート設定

画面や操作部のキーを押し続けたときに、操作をリピートするかしないかを設定します。リピートする操作は機能によって異なります。

- リピートしない
- 通常
- リピート時間：中
- リピート時間：長

工場出荷時の設定：**通常**

mm/inch 切替

操作部に表示される用紙サイズの単位を切り替えます。

- mm
- inch

工場出荷時の設定：mm

状態確認/ジョブ一覧表示時間

システム状態画面とジョブ一覧画面の表示時間を設定します。

[する］に設定したときは、表示させる時間を 10-999（1 秒単位）の範囲で設定します。

工場出荷時の設定：**する**：15 秒

外付けキーボード

外付けキーボードを USB 接続しているとき、キーボードのキー配列を設定します。

工場出荷時の設定：**使用しない**

Compatible ID

Compatible ID の有効/無効を設定します。

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**有効**

5

補足

- ［システム初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

用紙設定

重要

- **「用紙サイズ設定」で、実際にセットした用紙のサイズと異なる設定をすると、用紙のサイズが正しく認識されません。このとき、用紙がつまったり画像がずれたりして印刷されることがあります。**

給紙トレイ優先設定：プリンター

プリンター機能で、優先する給紙トレイを設定します。

工場出荷時の設定：**トレイ 1**

用紙サイズ設定：トレイ 1〜4

給紙トレイ 1〜4 にセットする用紙のサイズを設定します。不定形サイズを設定するときは、［不定形サイズ指定］を押してタテ・ヨコのサイズを入力します。設定できる用紙サイズについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

装着しているトレイだけが表示されます。

また、トレイの用紙サイズダイヤルで指定する用紙サイズは表示されません。用紙サイズダイヤルで正しい用紙サイズを指定してください。

プリンター手差し用紙サイズ

手差しトレイにセットする用紙のサイズを設定します。設定できる用紙サイズについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

工場出荷時の設定：**A4**

用紙種類設定：手差しトレイ

手差しトレイにセットする用紙種類を設定します。設定できる用紙種類については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

- 用紙種類

  ［標準］または［カスタム］の用紙種類を設定します。

  工場出荷時の設定：**普通紙**

- 用紙厚さ

  工場出荷時の設定：**普通紙（66-90g/m2）**

- 両面印刷の対象

  工場出荷時の設定：**対象**

- 自動用紙選択の対象

工場出荷時の設定：**対象外**

用紙種類設定：トレイ 1〜4

給紙トレイ 1〜4 にセットする用紙種類を設定します。設定できる用紙種類については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

装着しているトレイだけが表示されます。

- 用紙種類

  ［標準］または［カスタム］の用紙種類を設定します。

  工場出荷時の設定：**普通紙**

- 用紙厚さ

  工場出荷時の設定：**普通紙（66-90g/m2）**

- 両面印刷の対象

  工場出荷時の設定：**対象**

- 自動用紙選択の対象

  工場出荷時の設定：**対象**

補足

- ［システム初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。
- 本機では［普通紙 1］または［普通紙 2］を設定できます。普通紙の種類の設定については、P.366「調整/管理：印刷」を参照してください。

時刻タイマー設定

スリープモード移行時間設定

一定時間操作を行わなかったときに、節電のためにスリープモードに移行します。

スリープモードに移行するまでの時間を設定します。

［システム初期設定］にある［管理者用設定］の［移行時間設定でのスリープモード移行］が「する」になっているとき設定できます。

工場出荷時の設定：**1 分**

「1-240」（1 分単位）の範囲で時間をテンキーで入力します。

エラー表示中のときなど、スリープモードに移行しないことがあります。

インストールされる Embedded Software Architecture アプリケーションの種類によって、スリープモードへの移行時間が設定よりも長くかかることがあります。

プリンターオートリセット時間設定

プリンター機能が初期状態になるまでの時間を設定します。

工場出荷時の設定：**する、60 秒**

「する」を選択したときは、「10-999」（1 秒単位）の範囲でテンキーで入力します。

年月日設定

システム時計の年月日を設定します。

「年」「月」「日」の切り替えは、←、→を押してカーソルを移動させます。

「年」「月」「日」はテンキーで入力します。

時刻設定

システム時計の時刻を設定します。

時刻は 24 時間制（1 秒単位）で入力します。

「時」「分」「秒」の切り替えは、←、→を押してカーソルを移動させます。

「時」「分」「秒」はテンキーで入力します。

オートログアウト時間設定

ログインして一定時間画面の操作を行わなかったときに、自動的にログアウトします。これは「オートログアウト」といいます。

オートログアウト機能が働くまでの時間を設定します。

工場出荷時の設定：**する、180 秒**

「する」を選択したときは、「60-999」（1 秒単位）の範囲でテンキーで入力します。

定着部オフモード（省エネ）移行設定

省エネモードに移行するかしないかを選択します。

- 移行する

  省エネモードに移行します。消費電力をさらに節約できますが、省エネモード中は本機の起動が遅くなり、印刷が始まるまで時間がかかります。

- 移行しない

  省エネモードに移行しません。

工場出荷時の設定：**移行しない**

定着部オフモード解除設定

省エネモードを解除する条件を選択します。

- 印刷実行時

  印刷を実行すると省エネモードが解除されます。

- 操作部操作時

  操作部でキーを操作すると省エネモードが解除されます。

工場出荷時の設定：**印刷実行時**

定着部オフモード移行時間

省エネモードに移行するまでの待機時間を設定します。「10 秒〜240 分」（1 秒単位）の範囲で入力します。

5

待機時間は以下のときにリセットされます。

- 印刷を実行したとき
- 「定着部オフモード解除設定」を「印刷実行時」に設定しているときに、初期設定画面の「調整/管理：印刷」「調整/管理：画像」「問い合わせ情報」を押したとき
- 「定着部オフモード解除設定」を「操作部操作時」に設定しているときに、操作部のキーを押したとき

工場出荷時の設定：**10 秒**

ウィークリータイマー

本機の電源をオン・オフしたり、スリープモードに移行する時間を設定します。24 時間単位で月曜日から日曜日まで設定できます。

ウィークリータイマーを使用するには、［年月日設定］と［時刻設定］でのシステム時計の設定が必要です。

ウィークリータイマーを［毎日同時刻］または［曜日ごと］に設定しているときは、［明るさ検知自動電源オフ］の［オン移行時間］で設定した時間が過ぎても、電源は入りません。

- 毎日同時刻
- 曜日ごと
- 無効

工場出荷時の設定：**無効**

「毎日同時刻」または「曜日ごと」を選択したときは、以下を設定します。

オフ解除コード設定

オフ解除コードは、ウィークリータイマーを設定している時間帯に本機の使用を制限するための暗証コード（最大 8 桁）です。オフ解除コードを設定すると、ウィークリータイマーで「スリープモード」や「電源オフ」に設定されている日時に本機を使用するときに、オフ解除コードの入力が求められます。

オフ解除コードを使用するには、管理者認証の設定が必要です。詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。

- 設定する
- 設定しない

工場出荷時の設定：**設定しない**

スケジュール設定

ウィークリータイマーのスケジュールを 6 件まで設定できます。

タイマー停止期間

ウィークリータイマーでの電源オンをしない期間を設定できます。

［タイマー停止期間］で設定した期間は、ウィークリータイマーで主電源を入れる時刻になると、オフ解除コードが解除されます。また、［タイマー停止期間］で設定した期間の終了時に電源が切れていたときは、手動で本機の主電源スイッチを入れるまで、ウィークリータイマーの主電源オン時刻は無効となります。

補足

- ［システム初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

インターフェース設定

ネットワーク

- 本体 IPv4 アドレス

  ネットワーク上における本機の IPv4 アドレスとサブネットマスクの設定方法を選択します。

  ［指定］を選択したとき、［本体 IPv4 アドレス］と［サブネットマスク］を「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

  ［指定］を選択したとき、［本体 IPv4 アドレス］は、ネットワーク内の他の機器の IPv4 アドレスと重複しないように設定してください。

  物理アドレス（MAC アドレス）も表示されます。

  - 自動的に取得（DHCP）
  - 指定
    - 本体 IPv4 アドレス：11.22.33.44
    - サブネットマスク：0.0.0.0

  工場出荷時の設定：**自動的に取得（DHCP）**

- IPv4 ゲートウェイアドレス

  別のネットワークのパソコンや機器から印刷や情報の取得などをするときに、ゲートウェイとなるホストやルーターのアドレスです。

  別のネットワークのパソコンや機器から本機を使用するときに設定してください。アドレスは「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

  工場出荷時の設定：**0.0.0.0**

- 本体 IPv6 アドレス

  ネットワーク上における本機の IPv6 アドレスを表示します。

  - リンクローカルアドレス

    設定されている本機のリンクローカルアドレスを表示します。

  - 手動設定アドレス

    設定されている本機の手動設定アドレスを表示します。

- DHCPv6 アドレス

          本機の DHCPv6 アドレスを表示します。

        - ステートレスアドレス：1-5

          「IPv6 ステートレスアドレス自動設定」が「有効」に設定されているとき、設定されているステートレスアドレスを表示します。

- IPv6 ゲートウェイアドレス

  ネットワーク上における本機の IPv6 ゲートウェイアドレスを表示します。

- IPv6 ステートレスアドレス自動設定

  IPv6 ステートレスアドレス自動設定の有効/無効を設定します。

  工場出荷時の設定：**有効**

- DHCPv6 設定

  DHCPv6 を設定します。[有効] に設定されているとき、「動作モード」から [ルーター要求]、[IP アドレス取得]、[IP アドレス取得しない] を選択します。また、「DNS サーバーアドレス」から [自動取得(DHCPv6)]、[指定] を選択します。

  工場出荷時の設定：**無効**

- DNS 設定

  DNS サーバーの運用について設定します。[指定] を選択したとき、DNS サーバーの IPv4 アドレスを「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

  IPv4 アドレスを設定後 [接続テスト] を押すと、DNS サーバーへの接続テストが実行されます。設定した DNS サーバーに接続できることを確認してください。

    - 自動的に取得（DHCP）
    - 指定
        - DNS サーバー 1：0.0.0.0
        - DNS サーバー 2：0.0.0.0
        - DNS サーバー 3：0.0.0.0

  工場出荷時の設定：**自動的に取得（DHCP）**

- DDNS 設定

  ダイナミック DNS について設定します。

  工場出荷時の設定：**有効**

- IPsec

  本機の IPsec 機能の有効/無効を設定します。IPsec の詳細については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

  工場出荷時の設定：**無効**

- ドメイン名

ドメイン名を設定します。[指定]を選択するときは、ドメイン名を半角英数63文字以内で入力してください。

- 自動的に取得(DHCP)
- 指定

工場出荷時の設定:**自動的に取得(DHCP)**

- WINS設定

WINSサーバーの運用について設定します。

[使用する]を選択したとき、WINSサーバーのIPv4アドレスを「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。(xは数値)

DHCPを使用しているときは、[スコープID]を設定します。[スコープID]は、半角文字で入力してください。

プライマリーWINSサーバーアドレス、セカンダリーWINSサーバーアドレスに「255.255.255.255」を入力しないでください。

- 使用する
  - プライマリーWINSサーバー:0.0.0.0
  - セカンダリーWINSサーバー:0.0.0.0
  - スコープID
- 使用しない

工場出荷時の設定:**使用する**

- 有効プロトコル

ネットワークで使用するプロトコルを選択します。

- IPv4
  - 有効
  - 無効

  工場出荷時の設定:**有効**
- IPv6
  - 有効
  - 無効

  工場出荷時の設定:**無効**
- SMB
  - 有効
  - 無効

  工場出荷時の設定:**有効**
- AppleTalk

- 有効
        - 無効

    工場出荷時の設定：**無効**

    - @Remote サービス
        - 有効
        - 無効

    工場出荷時の設定：**有効**

    - ファームウェアアップデート（IPv4）
        - 有効
        - 無効

    工場出荷時の設定：**有効**

    - ファームウェアアップデート（IPv6）
        - 有効
        - 無効

    工場出荷時の設定：**有効**

- SMB コンピューター名

    SMB コンピューター名を設定します。

    最大 15 文字（全角は 2 文字換算）で入力してください。

    "*+,/:;<>=?[¥]|.およびスペースは入力できません。

    RNP および rnp ではじまるコンピューター名を設定することはできません。

    アルファベットは大文字だけを使用してください。

- SMB ワークグループ

    SMB ワークグループを設定します。

    最大 15 文字（全角は 2 文字換算）で入力してください。

    "*+,/:;<>=?[¥]|.およびスペースは入力できません。

    アルファベットは大文字だけを使用してください。

- イーサネット速度

    イーサネットの通信速度を選択します。使用している環境に合わせた速度を選択してください。

    本機は、ネットワーク関連機器への負荷低減（省エネルギー効果）を目的として、初期設定では 100BASE-TX（100Mbps）が上限となっています。より高速な通信が必要なときは、［自動：1Gbps 許可］を選択して 1000BASE-T（1Gbps）を有効にしてください。

    ハブとの相性で通信ができないときは、使用するネットワーク環境に合わせて速度を選択してください。

- 自動：1Gbps 不許可
- 自動：1Gbps 許可
- 10Mbps 全二重固定
- 10Mbps 半二重固定
- 100Mbps 全二重固定
- 100Mbps 半二重固定

工場出荷時の設定：**自動：1Gbps 不許可**

本機側の設定	接続可能な接続先の設定
自動選択(1Gbps 許可)	自動設定
自動選択(1Gbps 不可)	自動設定、10 Mbps 半二重固定、100 Mbps 半二重固定
10 Mbps 全二重固定	10 Mbps 全二重固定
10 Mbps 半二重固定	自動設定、10 Mbps 半二重固定
100 Mbps 全二重固定	100 Mbps 全二重固定
100 Mbps 半二重固定	自動設定、100 Mbps 半二重固定

- ネットワークインターフェース選択

  拡張無線 LAN ボードを装着したときに、無線 LAN でネットワーク接続するかイーサネット経由でネットワーク接続するかを選択します。本機に拡張無線 LAN ボードを装着しているときに表示されます。

  イーサネットと無線 LAN が両方接続されているときは、設定されているインターフェースが有効になります。

  - イーサネット
  - 無線 LAN

  工場出荷時の設定：**イーサネット**

- Ping コマンド実行

  ping コマンドで、IPv4 アドレスを使用してネットワーク接続を確認します。

  接続に失敗したときは、、次のことを確認した後、再度 ping コマンドを実行してください。

  - [有効プロトコル] の「IPv4」が [有効] に設定されていることを確認してください。
  - 指定した IPv4 アドレスの機器が、ネットワークに接続されていることを確認してください。
  - 指定した IPv4 アドレスの機器に、同時アクセスされることがあります。

- SNMPv3 通信許可設定

SNMPv3 の暗号化通信を設定します。［暗号化のみ］を設定するときは、本機に暗号パスワードの設定が必要です。

- 暗号化のみ
- 暗号化/平文

工場出荷時の設定：**暗号化/平文**

- SSL/TLS 通信許可設定

SSL/TLS の暗号化通信を設定します。［暗号文のみ］を設定するときは、本機にサーバー証明書の導入が必要です。

- 暗号文のみ
- 暗号文優先
- 暗号文/平文

工場出荷時の設定：**暗号文優先**

- ホスト名

ホスト名を設定します。ホスト名は半角英数 63 文字以内で入力してください。

先頭末尾にハイフンを入力してホスト名を設定することはできません。

ハイフンを 2 つ続けて入力してホスト名を設定することはできません。

RNP または rnp ではじまるホスト名を設定することはできません。

- 本体名

本体名を設定します。最大 31 文字（全角は 2 文字換算）で入力してください。

- イーサネット用 IEEE 802.1X 認証

イーサネット用の IEEE 802.1X 認証を設定します。

工場出荷時の設定：**無効**

IEEE 802.1X 認証については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

- IEEE 802.1X 認証初期化

IEEE 802.1X の設定値を初期化します。IEEE 802.1X 認証については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

- 初期化しない
- 初期化する

- USB 速度

USB の速度設定を選択します。

- 自動設定
- フルスピード

工場出荷時の設定：**自動設定**

5

パラレルインターフェース

［パラレルインターフェース］は、本機に拡張 1284 ボードを装着しているときに表示されます。

- パラレルタイミング

  パラレルインターフェースの制御信号のタイミングを設定します。

  - ACK inside
  - ACK outside
  - STB down

  工場出荷時の設定：**ACK outside**

- パラレル通信速度

  パラレルインターフェースの通信速度を設定します。

  - 高速
  - 標準

  工場出荷時の設定：**高速**

- セレクト状態

  パラレルインターフェースのセレクト信号のレベルを設定します。

  工場出荷時の設定：**HIGH**

- インプットプライム

  インプットプライム信号が送られてきたときに、プライム信号を有効にするかしないかを設定します。

  工場出荷時の設定：**無効**

- 双方向通信

  パラレルインターフェースで使用しているとき、状態取得要求に対するプリンターの返答モードを設定します。［しない］に設定したときは、双方向通信機能が働きません。また、Windows の自動検知によるプリンタードライバーのインストールも行われません。

  工場出荷時の設定：**する**

- 信号線制御

  印刷時のエラーの処理を設定します。

  - ジョブ受付優先
  - プリンター優先

  工場出荷時の設定：**ジョブ受付優先**

5

無線 LAN

［無線 LAN］は、本機に拡張無線 LAN ボードを装着しているときに表示されます。各設定は同時に実施してください。詳しくは、P.258「拡張無線 LAN を使用する」を参照してください。

- 通信モード

  無線 LAN の通信モードを設定します。

  - 802.11 アドホックモード
  - インフラストラクチャーモード

  工場出荷時の設定：**インフラストラクチャーモード**

- SSID 設定

  無線 LAN のネットワークを識別する SSID を設定します。SSID で使用できる文字は、半角英数字と表示可能な半角記号で 32 バイト以内です。大文字と小文字も区別されます。

- アドホックチャンネル

  ［802.11 アドホックモード］を選択したときに使用するチャンネルを設定します。使用する無線 LAN の規格に合わせてチャンネルを設定してください。

  - IEEE 802.11b/g（2.4GHz）を使用するとき

    1〜11

  - IEEE 802.11a（5GHz）を使用するとき

    36、40、44、48

  - IEEE 802.11n（2.4GHz/5GHz）を使用するとき

    1〜11、36、40、44、48

  工場出荷時の設定：**11**

- セキュリティー方式選択

  無線 LAN の暗号化を設定します。

  ［WEP］に設定したときは、必ず WEP キーを入力します。［WPA2］に設定したときは、暗号方式を設定します。「WPA2」は［通信モード］で［インフラストラクチャーモード］を選択したときに設定できます。

  - WEP

    WEP キーは、64bitWEP を使用するときは、16 進数では 10 桁、半角英数では 5 桁の文字列が使用できます。128bit WEP を使用するときは、16 進数では 26 桁、半角英数では 13 桁の文字列が使用できます。

  - WPA2

    - WPA2 認証方式

      ［WPA2-PSK］または［WPA2］を選択します。

［WPA2-PSK］を選択したときは、PSK を入力します。PSK は半角英数を 8-63 文字の範囲で入力します。

［WPA2］が選択されているときは、認証設定および証明書のインストールが必要です。設定方法は、『セキュリティーガイド』を参照してください。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

- 無線 LAN 簡単セットアップ

WPS（Wi-Fi Protected Setup）の実行方式を選択して、無線 LAN を自動で設定します。

  - プッシュボタンによる接続
  - Enrollee による接続

- 電波状態

インフラストラクチャーモードのときに接続したアクセスポイントとの電波状態を表示します。電波状態は、［電波状態］を押したときに測定されます。

- 設定値初期化

無線 LAN の設定を工場出荷時の設定に戻します。

  - 初期化しない
  - 初期化する

リスト印刷

使用するネットワーク環境に関する項目を確認できます。インターフェース設定リストは現在のネットワーク設定や情報について記載しています。

補足

- ［システム初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

メール設定

SMTP サーバー

SMTP サーバー名を設定します。「サーバー名」ではスペースが使用できません。

DNS が有効なときは、ホスト名を入力します。DNS が無効なときは、SMTP サーバーの IPv4 アドレスを入力します。

- SSL

「SSL」を［利用する］に設定するとポート番号が「465」に自動で切り替わります。

工場出荷時の設定：**利用しない**

- ポート番号

  「ポート番号」は、「1-65535」の範囲でテンキー入力します。

  工場出荷時の設定：25

SMTP 認証

SMTP 認証（PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5、DIGEST MD5）を設定します。

SMTP サーバーへのメール送信時に、ユーザー名とパスワードを入力して認証することで、SMTP サーバーのセキュリティーレベルを強化できます。

SMTP サーバーが認証を必要とするときは、［SMTP AUTH］を［使用する］に設定し、［ユーザー名］、［メールアドレス］、［パスワード］、パスワードの［暗号化］方法を設定します。

- 使用する
  - ユーザー名

    ［ユーザー名］では、スペースが使用できません。SMTP サーバーの種類によっては、realm の指定が必要なことがあります。そのときは、ユーザー名の後に@を付加して、"ユーザー名@realm"と入力してください。
  - メールアドレス
  - パスワード

    ［パスワード］では、スペースが使用できません。
  - 暗号化
    - 自動

      認証方式が PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5、DIGEST-MD5 のときに指定します。
    - する

      認証方式が CRAM-MD5、DIGEST-MD5 のときに指定します。
    - しない

      認証方式が PLAIN、LOGIN のときに指定します。

      工場出荷時の設定：**自動**
- 使用しない

工場出荷時の設定：**使用しない**

POP before SMTP

POP 認証（POP before SMTP）を設定します。この機能は、本機が IPv4 を使用してネットワークに接続しているときだけ使用できます。IPv6 を使用しているときは使用できません。SMTP サーバーにメールを送信する前に、POP サーバーに接続して認証を行い、SMTP サーバーのセキュリティーレベルを強化できます。

POP 認証をするときは、［POP before SMTP］を［する］に設定します。［認証後待機時間］で指定した時間が経過したあとに、SMTP サーバーにメールを送信します。［す

る］を選択したときは、［POP3/IMAP4 設定］で［サーバー名］を入力します。また、［メール通信ポート設定］で［POP3］のポート番号を確認してください。

- する
    - 認証後待機時間

      ［認証後待機時間］は、「0-10000」（1 ミリ秒単位）の範囲でテンキーで入力します。

      工場出荷時の設定：**300 ミリ秒**
    - ユーザー名

      ［ユーザー名］では、スペースが使用できません。
    - メールアドレス
    - パスワード

      ［パスワード］では、スペースが使用できません。
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

受信プロトコル

メールを受信するときの受信プロトコルを設定します。

- POP3
- IMAP4
- SMTP

工場出荷時の設定：**POP3**

POP3/IMAP4 設定

メールを受信するときに、POP3/IMAP4 サーバー名を設定します。ここで設定した POP3 サーバー名は［POP before SMTP］で使用されます。

- サーバー名

  DNS が有効なときは、ホスト名を入力します。DNS が無効なときは、POP3、または IMAP4 サーバーの IPv4 アドレスを入力します。POP3、または IMAP4 の［サーバー名］では、スペースが使用できません。
- 暗号化
    - 自動

      POP サーバーの設定に合わせ、パスワードの暗号化を自動設定します。
    - する

      パスワードを暗号化します。
    - しない

      パスワードを暗号化しません。

  工場出荷時の設定：**自動**

管理者メールアドレス

管理者のメールアドレスを設定します。

メール通信ポート設定

メールを受信するときに、使用するサーバーのポート番号を設定します。また、ここで設定したPOP3のポート番号は、［POP before SMTP］で使用されます。「1-65535」の範囲でテンキー入力します。

- POP3

  工場出荷時の設定：110

- IMAP4

  工場出荷時の設定：143

メール受信間隔時間設定

POP3、IMAP4サーバーに、メールを受信する間隔（分）を指定します。「2-1440」（1分単位）の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定： 15分

サーバー側メール保持

メールを受信するときに、POP3/IMAP4サーバーに保持するかどうかを設定します。

- しない
- すべて
- エラー時のみ

工場出荷時の設定：**しない**

自動メール通知

本機でエラーが発生したときに、エラーの詳細情報を指定したメールアドレスに通知するかどうかを指定します。設定を変更したときは、いったん本機の電源を切り、あらためて電源を入れなおしてください。詳細については、P.273「機器の状態をメールで通知する」を参照してください。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

補足

- ［システム初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

管理者用設定

管理者用設定は、管理者が設定する項目です。管理者認証の設定によって表示される項目が異なります。設定を変更するときは、管理者に確認してください。管理者認証を設定して使用することをお勧めします。

アドレス帳登録/変更/消去

本機を使用するユーザーの情報を登録、変更、消去します。アドレス帳の設定方法は、P.281「アドレス帳について」を参照してください。

ユーザーは 1,000 件まで登録できます。

Web Image Monitor からもアドレス帳の登録、変更、消去ができます。

「認証情報」の「印刷利用量制限」については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

- 新規登録

  ユーザーの情報を新規登録します。登録できる項目は以下のとおりです。

  - 登録情報

    登録番号、名前、ヨミガナ、キー表示名、表示優先度、見出し 1、見出し 2、見出し 3

  - 認証情報

    ログイン用認証情報、ユーザーコード、プリンター機能使用許可、その他の機能使用許可、印刷利用量制限

  - 認証保護

    認証保護を設定します。

  - 登録先グループ

    登録先グループ名

- 変更

  登録したユーザーの情報を変更します。変更できる項目は以下のとおりです。

  - 全て表示

    登録してあるすべての情報の中からユーザーを選択して、アドレス帳の登録情報を変更します。

  - ユーザーコード

    ユーザーコードからユーザーを選択して、アドレス帳の登録情報を変更します。

- 消去

  ユーザーの情報を消去します。

グループ登録/変更/消去

ユーザーの情報をグループに登録できます。グループは100件まで登録できます。グループの設定方法は、P.290「ユーザーをグループに登録する」を参照してください。

Web Image Monitorからもグループの登録、変更、消去ができます。

- 新規登録

  グループを新規登録します。登録できる項目は以下のとおりです。

  - 登録情報

    登録番号、名前、ヨミガナ、キー表示名、表示優先度、見出し1、見出し2、見出し3

  - 登録済ユーザー/グループ

    登録済ユーザー/グループ名

  - 認証保護

    認証保護を設定します。

  - 登録先グループ

    登録先グループ名

- 変更

  登録したグループの情報を変更します。

- 消去

  グループの情報を消去します。

並び順入れ替え

登録したユーザーの並び順を入れ替えます。

同じ見出し内での並び順入れ替えはできますが、見出しをまたいだ移動はできません。

（例：登録されているユーザー「企画課」を「常用」から「か」へ移動することはできません。）

並び順入れ替えの詳細については、P.285「ユーザーの並び順を入れ替える」を参照してください。

見出し編集

目的のユーザーを探しやすいように見出しの名称を編集します。見出し編集の詳細については、P.286「見出しを編集する」を参照してください。

アドレス帳見出し切り替え

ユーザーコードを選択するときに、表示する見出しを選択します。見出しの並べ替えについて詳細は、P.284「ユーザー情報の登録」を参照してください。

- 見出し1（五十音順）

- 見出し 2（アルファベット順）
- 見出し 3（5 分類用）

工場出荷時の設定：**見出し 1（五十音順）**

ユーザー個別設定・アドレス帳　バックアップ/リストア

SD カードを使用して本機のアドレス帳データの保存や、保存したアドレス帳データを本機に復元します。

復元すると、本機に保存されているアドレス帳は上書きされます。また、ユーザー別のカウンターがクリアされます。

アドレス帳のバックアップ/リストアは、Web Image Monitor でも設定できます。詳しくは、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

- バックアップ

  本機のアドレス帳データを SD カードに保存します。

  バックアップに必要な空き容量は最大で 41MB です。SD カードの空き容量は「メディア情報取得」で確認できます。

- リストア

  SD カードに保存したアドレス帳データを復元します。

- フォーマット

  SD カードをフォーマットします。

- メディア情報取得

  SD カードの空き容量やデータの内容などが表示されます。

アドレス帳ユーザー自動消去

アドレス帳に登録されているユーザー数が上限に達しているとき、登録の古い順に自動で削除します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

アドレス帳データ一括消去

アドレス帳のデータを一括消去します。

- 消去する
- 消去しない

ユーザー別カウンター表示/クリア/印刷

ユーザーによる機能ごとのカウンターを表示、印刷したり、カウンターの数値を「0」に戻したりします。印刷方法は、P.289「ユーザーごとのカウンターを印刷・クリアする」および P.290「すべてのユーザーのカウンターを印刷・クリアする」を参照してください。「印刷利用量カウンター」については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

5

5 件以上登録しているときは［▲前へ］［▼次へ］で全カウンターを表示します。

- 全ユーザー一覧印刷

  すべてのユーザーのカウンターの使用量を印刷します。

- 全ユーザークリア

  すべてのユーザーのカウンターの数値を 0 に戻します。

- ユーザー別一覧印刷

  ユーザーごとのカウンターの使用量を印刷します。

- ユーザー別クリア

  ユーザーごとの各カウンターの数値を 0 に戻します。

eco 指数カウンター表示/クリア

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

ユーザー別 eco 指数カウンター表示/クリア

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

eco 指数カウンター集計期間/管理者メッセージ設定

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

上限到達時動作設定

- ジョブ中断
- ジョブ終了後制限
- 継続利用許可

工場出荷時の設定：**継続利用許可**

印刷利用量制限度数設定

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

印刷利用量上限初期値

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

メディアスロット使用

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

ユーザー認証管理

- 認証しない
- ユーザーコード認証

  ユーザーコードごとに機能のアクセス制限を設定します。ユーザーコード認証をするときは、ユーザーコードを登録してください。

  ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証についての詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。

  制限する機能：

- プリンター機能制限
    - 制限しない
    - カラー/白黒
    - カラー
    - 自動登録
    - その他の機能制限
        - ブラウザー
- プリンタージョブ認証
    - すべて
    - 簡易（限定）
    - 簡易
- ベーシック認証
- Windows 認証
- LDAP 認証
- 統合サーバー認証

工場出荷時の設定：**認証しない**

拡張認証管理

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

管理者認証管理

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

管理者登録/変更

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

セキュリティー強化

セキュリティー機能を利用するかしないかを設定します。詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

LDAP サーバー登録/変更/消去

LDAP 認証に使用する LDAP サーバーを設定します。

LDAP サーバーの対応バージョンは Ver2.0 と Ver3.0 です。ダイジェスト認証を使用できるのは、LDAP Ver.3.0 だけです。LDAP サーバーの登録方法は、P.297「LDAP サーバーを設定する」を参照してください。

- 登録/変更

    LDAP サーバーを登録/変更します。

    - 名前
    - サーバー名

- 検索開始位置
        - ポート番号
        - SSL
        - 認証
        - 日本語文字コード
        - 検索条件
    - 消去

      登録済みの LDAP サーバーを消去します。

移行時間設定でのスリープモード移行

スリープモード機能を利用するかしないかを設定します。

工場出荷時の設定：する

通信テストコール実行

@Remote センターサーバー（RICOH Gateway）に通信テストをします。@Remote を使用しているときに実行できます。この機能は［機器情報通知実行］を使用しているときは実行できません。

機器情報通知実行

@Remote センターサーバー（RICOH Gateway）に機器情報を通知します。@Remote を使用しているときに実行できます。この機能は［通信テストコール実行］を使用しているときは実行できません。

サービスモード移行禁止設定

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

ファームウェアバージョン表示

本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

ネットワークセキュリティーレベル

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

メモリー自動消去設定

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

メモリー全消去

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

ログ一括消去

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

ログ転送設定

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

不正コピー抑止印刷：プリンター

不正コピー抑止設定

本体側で不正コピー抑止を設定するかどうかを指定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

不正コピー抑止強制設定

優先する不正コピー抑止の設定を指定します。

- ドライバー/コマンド優先

  プリンタードライバーやコマンドの設定で印刷します。

- ドライバー/コマンド優先(一部除)

  地紋の種類、色、濃度を本体側の設定で印刷します。それ以外はプリンタードライバーやコマンドの設定で印刷します。

- 機器側設定優先

  プリンタードライバーの設定にかかわらず、本体側の設定で印刷します。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

不正コピー抑止の種類

使用する不正コピー抑止の種類を指定します。

- 不正コピーガード

  印刷した文書をオプションの不正コピーガードモジュールが搭載された複写機または複合機でコピーまたはスキャンすると、画像を抹消しグレー地にします。

- 不正コピー抑止地紋

  不正コピー抑止の文字列地紋や背景地紋を付けて印刷します。印刷した文書をコピーまたはスキャンすると、地紋効果で文字列が浮き出るため、容易な不正コピーを抑止できます。

工場出荷時の設定：不正コピー抑止地紋

不正コピーガードの効果

印刷時、コピー時の不正コピーガードの効果を設定します。

- 文字列と背景
- 背景のみ

工場出荷時の設定：**文字列と背景**

不正コピー抑止地紋の効果

印刷時、コピー時の不正コピー抑止地紋の効果を設定します。

- 文字列と背景

- 背景のみ
- 文字列のみ
- 文字列/背景地紋の入替

工場出荷時の設定：**文字列と背景**

地紋マスクパターン

背景地紋を付けて印刷します。使用する地紋パターンを設定します。設定できる項目は以下のとおりです。

なし、青海波（セイガイハ）、網目（アミメ）、格子 1（コウシ 1）、格子 2（コウシ 2）、七宝（シッポウ）、蜀江（ショッコウ）、松皮菱（マツカワビシ）、鱗（ウロコ）、檜垣（ヒガキ）、亀甲（キッコウ）

工場出荷時の設定：**なし**

地紋の濃度

背景地紋の濃度を設定します。

工場出荷時の設定：3

文字列選択

印刷した文書に埋め込まれる抑止文字列のパターンを設定します。設定できる項目は以下のとおりです。

指定しない、複写禁止、コピー禁止、禁複写、NO COPY！、これはコピーです、複写無効、COPY につき無効です、極秘、社外秘、CONFIDENTIAL、マル秘、ユーザー名、ファイル名、日付と時刻、ユーザー名+ファイル名、ユーザー名+日時、ファイル名+日時、ユーザー名+ファイル名+日時、任意文字列 1、任意文字列 2

工場出荷時の設定：**複写禁止**

「ユーザー名」とはパソコンのログインユーザー名です。

任意文字列の登録/変更

任意の抑止文字列を登録します。登録した抑止文字列は［文字列選択］から選択できます。

文字列のフォント（PCL）

PCL 用の抑止文字列で使用するフォントの種類を設定します。エミュレーションの［PCL］または［PCLXL］を選択したときに、設定できます。

工場出荷時の設定：Arial

文字列のフォント（PS）

PostScript 3 用の抑止文字列で使用するフォントの種類を設定します。エミュレーションの［PS3］を選択したときに、設定できます。

工場出荷時の設定：**平成角ゴシック** W5

ポイントサイズ

抑止文字列のフォントの大きさを 50〜300 ポイントの範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**70 ポイント**

文字列の行間隔

文字列の行間隔を 50〜300 ポイントの範囲でテンキーで入力します。[文字列を繰り返し印字] が [しない] 以外に設定されているときに表示されます。

工場出荷時の設定：**70 ポイント**

文字列の角度

文字列の回転する角度を設定します。数字を大きくすると、文字列の中央を基点に反時計回りに回転します。角度は 0〜359 度の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**30 度**

文字列を繰り返し印字

ページの左上を基点に文字列を縦横に並べて繰り返し印刷します。

- する
- する：改行時 180 度回転
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

文字列の位置

文字列を挿入する位置を設定します。[文字列の角度] が 0 度に設定されているとき、[文字列を繰り返し印字] が [しない] に設定されている場合に表示されます。設定できる項目は以下のとおりです。

左上、中央上、右上、中央、左下、中央下、右下

工場出荷時の設定：**中央**

USB ポート固定

USB ポートで新規接続時にプリンタードライバーを再度インストールするかしないかを設定します。

- しない
- レベル 1

  プリンタードライバーをインストール済みの PC に本機と同一の機種を USB 接続するとき、新規のプリンタードライバーをインストールしなくても機器を使用できます。

- レベル 2

  この機能を使用するときは、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

工場出荷時の設定：**しない**

レルム登録/変更/消去

Kerberos 認証で使用するレルムを登録します。レルムを登録するには、「レルム名」「KDC サーバー名」を必ず設定してください。レルム登録についての詳細は、P.300「レルムを設定する」を参照してください。

- レルム名
- KDC サーバー名
- ドメイン名

機器データ暗号化設定

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

機器証明書登録・消去

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

機器設定情報：インポート（サーバー）設定

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

機器設定情報：インポート（サーバー）実行

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

機器設定情報：エクスポート（メディア）

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

機器設定情報：インポート（メディア）

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

強制セキュリティー印字：プリンター

プリンターから文書を出力するときに、ユーザー情報や機器の情報を印字するかしないかを設定します。[する] に設定したときは、[出力日時]、[出力者名]、[機番]、[本体 IP アドレス]、[印字位置調整] の項目で印字設定をします。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

ユーザー別ホーム利用

ユーザー別ホーム画面の利用を許可するか、禁止するか設定します。詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

- 許可する
- 禁止する

工場出荷時の設定：**禁止する**

利用量カウンター定期/指定リセット設定

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

サプライ残量表示

待機画面にトナー残量を表示するかしないかを選択します

- ホーム画面
    - 表示する
    - 表示しない

  工場出荷時の設定：**表示する**

- プリンターアプリ画面
    - 表示する
    - 表示しない

  工場出荷時の設定：**表示する**

明るさ検知自動電源オフ

センサーで室内の明るさを検知し、本機の電源を自動でオン・オフします。

- 電源オフ

  室内が暗くなったことを検知すると、電源を切ります。

- 電源オフ&オン

  室内が暗くなったことを検知すると電源を切り、明るくなったことを検知すると電源を入れます。ただし、ウィークリータイマーの設定で本機の電源が切れているときは、[オン移行時間］で設定した時間が過ぎても、電源は入りません。

- 無効

  明るさ検知を使用しません。

工場出荷時の設定：**電源オフ**

オフ移行時間

室内が暗くなったことを検知してから本機の電源を切るまでの時間を設定します。

- 1 分
- 5 分
- 30 分
- 60 分
- 120 分

工場出荷時の設定：**120 分**

以下のようなときにはタイマーがリセットされます。

- オフ移行時間が経過する前に ECO ナイトセンサーで明るさの変化を検知したとき
- 操作部のキーを操作したとき、または印刷を実行したとき

- 主電源スイッチを入れたとき
- 本機がスリープモードに移行したとき
- 本機が省エネモードに移行したとき
- 初期設定画面またはアドレス帳ショートカット画面を表示したとき
- Web Image Monitor を使用して設定を変更したとき
- プログラムをダウンロードしたとき
- 本機の設定をインポート・エクスポートしたとき

オン移行時間

室内が明るくなったことを検知してから本機の電源を入れるまでの時間を設定します。

- 1 分
- 5 分
- 30 分
- 60 分
- 120 分

工場出荷時の設定：**1 分**

以下のようなときにはタイマーがリセットされます。

- オフ移行時間が経過する前に ECO ナイトセンサーで明るさの変化を検知したとき
- 本機がスリープモードに移行したとき
- ［明るさ検知自動電源オフ］の設定が変更されたとき
- 主電源スイッチを入れたとき

センサー感度

オフセンサー感度

電源を切る明るさのレベルを設定します。

- 0（暗い）～15（明るい）

  レベル 0（非常に暗い）月明かり程度

  レベル 5（暗い）薄暗い室内程度

  レベル 7（やや暗い）日が沈んだ夕刻の室内程度

  レベル 9（明るい）電気をつけている夜の室内程度

  レベル 15（非常に明るい）日の光があたる室内程度

工場出荷時の設定：**0**

オンセンサー感度

電源を入れる明るさのレベルを設定します。

- 0（暗い）～15（明るい）

  レベル 0（非常に暗い）月明かり程度

  レベル 5（暗い）薄暗い室内程度

  レベル 7（やや暗い）日が沈んだ夕刻の室内程度

  レベル 9（明るい）電気をつけている夜の室内程度

  レベル 15（非常に明るい）日の光があたる室内程度

工場出荷時の設定：8

［オンセンサー感度］は［オフセンサー感度］より高い値だけ設定できます。

［オフセンサー感度］、［オンセンサー感度］の明るさのレベルについての説明は目安です。実際のレベルは環境により異なります。

切り替え言語選択

操作部の表示言語を登録できます。登録した言語は［初期設定］画面の表示言語切り替えキーで切り替えられます。

印刷後待機状態

スリープモード中に印刷した後の本機の状態を設定します。

- 操作画面オン

  印刷した後、通常の待機状態になります。

- 操作画面オフ（省エネ）

  印刷した後、スリープモードに戻ります。

工場出荷時の設定：**操作画面オフ（省エネ）**

プリントサーバー使用不可な省エネモード

拡張 USB プリントサーバーを使用するときに、本機のスリープモードへの移行を禁止します。

スリープモード中は、拡張 USB プリントサーバーを使用して印刷できません。拡張 USB プリントサーバーを使用するときは、［移行を禁止する］を指定してください。

- 移行を禁止する
- 移行を禁止しない

工場出荷時の設定：**移行を禁止する**

補足

- ［システム初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

プリンター初期設定

本機で設定できる「プリンター初期設定」の各種項目について説明します。

テスト印刷

本機の使用環境や印刷に関する設定を変更したとき、またはプログラムを登録したときは、設定状況の一覧表を印刷して確認することをお勧めします。

印字できるすべての文字やフォントの種類も印刷して確認できます。

一括リスト印刷

システム設定リスト、エラー履歴、ネットワークサマリー、サプライ情報リストを印刷します。

システム設定リスト

プリンター初期設定の設定値を印刷します。詳細はP.302「システム設定リストの見かた」を参照してください。選択されているすべてのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

エラー履歴

印刷時に発生したエラー情報を、エラー履歴として印刷します。オートジョブキャンセルや、パネルからのジョブキャンセル情報も出力されます。

エラー履歴には最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし最も古い履歴が試し印刷、機密印刷、保留印刷、保存印刷のときは消去されずに蓄積エラー履歴として 30 件別に蓄積されます。

ネットワークサマリー

ネットワークの設定内容が印刷されます。

サプライ情報リスト

サプライ情報が印刷されます。

印刷条件リスト

印刷条件の設定値を印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R98］、［R16］、［R55］、［RPGL］、［RTIFF］を選択しているときに印刷できます。

メニューリスト

設定できる各項目と設定内容をツリー状に印刷します。

登録フォームリスト

拡張 HDD が装着されているときのメニュー項目です。本機に登録されているフォームの一覧を印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R55］を選択しているときに印刷できます。

カラーサンプル

画像つきのカラーサンプルを印刷します。エミュレーションで［RPGL］を選択しているときは、ペン色の調整に使用するパレットのカラーサンプル一覧が印刷されます。

全文字印刷

印刷できるすべての文字を印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R98］、［R16］、［R55］を選択しているときに印刷できます。

フォントリスト

印刷できるすべてのフォントを印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R98］、［R16］、［R55］を選択しているときに印刷できます。

PCL 情報リスト

PCL の設定情報および PCL が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで［PCL］を選択しているときに印刷できます。

PS 情報リスト

PostScript の設定情報、および PostScript が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで［PS3］を選択しているときに印刷できます。

PDF 情報リスト

PDF の設定情報、および PDF が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで［PDF］を選択しているときに印刷できます。

ヘキサダンプ

印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られてきたデータを 16 進数で印刷します。

補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。
- 給紙トレイの中から A4（Letter）サイズの普通紙 / 再生紙がセットされているトレイを自動で選択します。もし、どの給紙トレイにも A4（Letter）サイズの普通紙 / 再生紙がセットされていないときは、優先給紙トレイを選択します。優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4（Letter）サイズより小さいと、端が切れることがあります。逆に優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4（Letter）サイズより大きいと、余白が大きくなることがあります。
- テスト印刷で出力されるシステム設定リスト、エラー履歴は、レイアウトが A4（および Letter）サイズに固定されます。したがって給紙トレイのいずれかに、A4（または Letter）サイズの用紙（普通紙・再生紙）をセットすることをお勧めします。
- 印刷条件リスト、登録フォームリスト、全文字印刷、フォントリスト、PS 情報リストおよび PDF 情報リストは優先給紙トレイから出力されます。優先給紙トレイに A4 より大きいサイズの用紙があるときは、それぞれの用紙のサイズに合わせて拡大されて出力されます。

データ操作/管理

メニュープロテクト

管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。詳細については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

テスト印刷禁止

［する］に設定すると、テスト印刷を禁止します。

テスト印刷の禁止については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

一時置き文書全消去

本機に一時的に蓄積されている試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書をすべて消去します。

保存文書全消去

本機に蓄積されている保存文書をすべて消去します。

一時置き文書自動消去設定

本機に一時的に蓄積されている試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書を自動で消去するかしないかを設定します。

印刷指定時刻が有効な保留印刷文書は、自動で消去できません。

- する

  自動消去する時間を 1〜200 時間（1 時間単位）の範囲でテンキーで入力します。

  するを選択したときの工場出荷時の設定は、8 時間に設定されています。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

保存文書自動消去設定

本機に蓄積されている保存文書を自動で消去するかしないかを設定します。

- する

  自動消去する時間を 1〜180 日（1 日単位）の範囲でテンキーで入力します。

- しない

工場出荷時の設定：**する　3 日**

補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

システム設定

エラーレポート印刷

印刷処理中に、文法エラー、メモリー不足などにより正常に印刷できなかったとき、エラーレポートを印刷するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

エラースキップ

プリンタードライバーから指示した用紙サイズや用紙種類の条件に合うトレイがないときの本機の動作を設定します。この機能の設定については、P.136「用紙設定が一致しないときに強制印刷する」を参照してください。

- しない

  ジョブリセットするのか印刷を続けるのかを選択する画面が表示されます。ジョブリセットするときは［印刷取消］を押します。条件に合わなくても印刷するときは、給紙するトレイを選択し、［実行］を押します。

  選択したトレイに用紙がセットされていないときは、用紙が補充されるまで印刷しません。

- 即時、1 分、5 分、10 分、15 分

  設定した時間が経過すると、用紙がセットされているトレイを優先給紙トレイ→トレイ 1→トレイ 2→トレイ 3→トレイ 4 の順に探して強制印刷します。強制印刷できない機能を指定して印刷したときは、印刷を中止します。

  この設定は、エラーの発生したジョブから本機を解放するための機能です。サイズ、紙種の異なる用紙で代替するため、印刷結果は保証されません。

工場出荷時の設定：**しない**

エラージョブ蓄積・追い越し

エラーで印刷が中止された文書を自動的に本機に蓄積します。エラーが発生したときに、そのまま次の文書の印刷を継続できます。通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書でこの機能を使用できます。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細については、P.180「文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

本機に蓄積された文書は、操作部を使用して印刷を再開できます。詳細は、P.193「エラーで蓄積された文書を印刷する」を参照してください。

指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。詳細については、P.137「エラーで印刷が中止された文書を蓄積する」を参照してください。

- する

  本機がエラーを検知するページ数を 1～999 ページの範囲で指定できます。

エラーを検知するページ数が 2 ページ以上のときは、1 ページ目の印刷速度が遅くなることがあります。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

画像エラー処理

送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部でデータを処理できないときのプリンターの動作を設定します。

- 印刷取消

  エラーが発生したページでジョブをキャンセルします。キャンセルされたページ以降は印刷されません。

- エラーシート印刷

  エラーが発生したページは、エラーが発生した箇所まで印刷されます。エラーが発生したページ以降は通常どおり印刷され、最後にエラーシートが印刷されます。ただし電子ソートの指示は解除されます。

工場出荷時の設定：**印刷取消**

エラー表示設定

プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーを操作部に表示するかしないかを設定します。

- 簡易表示
- すべて表示

工場出荷時の設定：**すべて表示**

用紙サイズエラー検知

用紙サイズエラーを検知するかどうかを設定します。

- 検知する

  印刷時に、［用紙設定］メニューやトレイの用紙サイズダイヤル、プリンタードライバーの用紙サイズ設定と、トレイから給紙された用紙のサイズが合っているかどうかを検知します。サイズエラーを検知したときは、エラーメッセージを表示し、印刷を停止します。

- 検知しない

  用紙サイズエラーを検知しません。

工場出荷時の設定：**検知する**

PDL エラージョブ自動取消の確認画面

使用するプリンター言語、オプション、セキュリティーなどの制約によって印刷エラーが発生したとき、印刷を中止して確認画面を表示するかしないかを設定します。

- 表示する
- 表示しない

工場出荷時の設定：**表示しない**

エラー発生時のジョブ自動取消

印刷エラーが発生したときに、印刷エラーが発生したジョブと、エラーが発生する前に本機が受信していたジョブの印刷を中止するかしないかを設定します。この機能の設定については、P.136「エラーが発生した文書の印刷を自動的にキャンセルする」を参照してください。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

180 度回転

用紙の向きに対して、画像の向きを 180 度回転して印刷するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

エミュレーション検知

プリンターに送られたデータを自動的に判断して、使用するエミュレーションを決定します。R16、R55、RP-GL/GL2、RTIFF、PS3、PDF が対象です。それ以外のエミュレーションは、優先エミュレーション / プログラムで設定されているエミュレーションが対象です。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

［エミュレーション検知］を［する］に設定しても、エミュレーション切り替えコマンドを受信したときは、エミュレーション切り替えコマンドが優先されます。［する］のときの各エミュレーションの動作については、『エミュレーション』「プリンターの設定」「プログラムを呼び出す」「エミュレーション検知に関する注意事項」を参照してください。

転送されたデータの種類によっては、正しいエミュレーションに切り替わらないことがあります。

連続してデータを送信するとき、［エミュレーション検知］が機能しないことがあります。そのときはデータを送信する間隔をあけてください。

圧縮データの解凍印刷

圧縮データの解凍印刷をするかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

優先エミュレーション / プログラム

主電源スイッチを「On」にしたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

- RPCS
- RPDL
- R98
- R16
- R55
- RPGL
- RTIFF
- PCL
- PCLXL
- PS3
- PDF
- PictBridge
- プログラム 01～16

工場出荷時の設定：**RPCS**

［プログラム 01］～［プログラム 16］に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されてプリンターが起動します。プログラムは本機の操作部で設定した印刷条件を登録したものです。プログラム登録は MS-DOS または UNIX で印刷するときに使用します。

優先メモリー

優先的に使用するメモリー内容を設定します。印刷する用紙サイズ、解像度、エミュレーションなどによって選択します。

- ユーザーメモリー

  外字やフォントなどのデータを登録するためにメモリーが優先的に使用されます。

- ページメモリー

  印刷の高速化のためにフレームメモリーとして使用されます。

工場出荷時の設定：**ページメモリー**

印刷枚数

PCL カード、またはマルチエミュレーションカードが装着されているときのメニュー項目です。印刷枚数を設定します。

5

プリンタードライバーで印刷部数を指定したときは、プリンタードライバーの設定が適用されます。

1〜999（1 枚単位）の範囲で枚数をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**1 枚**

スプール印刷

スプール印刷をするかどうかを設定します。スプール印刷とは、パソコンから転送されるプリントジョブを一時的に本機に蓄積し、印刷する機能です。

［する］を選択すると、最初の印刷に時間がかかります。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

主電源 Off 時の未処理文書

本機の主電源スイッチを入れたときに、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書を印刷するかしないかを設定します。

- 電源 On で印刷する

  本機の主電源スイッチを入れたときに、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書があるときは、自動ですべて印刷します。

- 電源 On で印刷しない

  本機の主電源スイッチを入れたときに、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書があるときは、印刷指定時刻が無効となり、［一時置き文書自動消去設定］の対象となります。

工場出荷時の設定：**電源 On で印刷しない**

印刷をともなうジョブの制限

印刷をともなう文書を送信したときに、印刷をしないで本機に強制的に自動蓄積するか印刷を取り消すかを設定します。本機に自動蓄積したときは、文書の種類にかかわらず操作部から印刷するので、文書の放置を防止できます。

印刷をともなう文書には、通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書があります。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細については、P.180「文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

［自動蓄積］を選択したときは、指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。詳細については、P.134「文書の放置を防止する」を参照してください。

- しない
- 自動蓄積

  文書を印刷しないで本機に強制的に自動蓄積します。

- 印刷取消

  文書の印刷を強制的に取り消します。

工場出荷時の設定：**しない**

初期画面の切り替え

ホーム画面から［プリンター］を押したときに表示される画面を設定します。

- ジョブ一覧画面

  ジョブの一覧を表示します。

- 文書印刷画面

  本機に蓄積されている文書とユーザー ID の一覧を表示します。

工場出荷時の設定：**ジョブ一覧画面**

補助用紙サイズ

A4 と Letter（$8^1/_2$ × 11）の切り替えをするかしないかを設定します。

- 自動
- 使用しない

工場出荷時の設定：**使用しない**

レターヘッド紙使用設定

レターヘッド紙印刷を使用するかどうかを設定します。レターヘッド紙印刷を使用すると、両面印刷のときに、奇数ページジョブの最終ページが両面印刷され、レターヘッド紙の表面に印刷されます。

- 使用しない

  レターヘッド紙印刷を使用しません。

- 使用する（自動判定）

  レターヘッド紙が 1 ページ目に指定されたときに、レターヘッド紙印刷を使用します。

- 使用する（常時）

  常にレターヘッド紙印刷を使用します。

工場出荷時の設定：**使用する（自動判定）**

両面印刷禁止に設定してあるトレイから給紙したとき、両面印刷は解除されます。

印刷の途中で片面印刷から両面印刷になったとき、ソートの 2 部目以降はすべて両面印刷になります。2 部目以降も片面で印刷するときは、両面印刷を禁止しているトレイから給紙してください。

レターヘッド紙を使用するときは用紙のセット方向に注意が必要です。詳細については、P.127「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする」を参照してください。

トレイ設定選択

本機に印刷データを送信したときに、プリンタードライバーやコマンドの設定を優先させるか、操作部の設定を優先させるかトレイごとに指定できます。装着しているト

レイだけを表示します。この機能の設定については、P.133「優先する用紙設定を選択する」を参照してください。

- 手差しトレイ用紙確認

  手差しトレイから給紙するときに、用紙のサイズ・種類・セット方向を操作部に表示するかしないかを設定します。［表示する］を選択すると、手差しトレイの印刷設定を確認してから印刷できます。

  - 表示する
  - 表示しない

  工場出荷時の設定：**表示しない**

- 手差しトレイ
  - ドライバー/コマンド優先

    トレイを指定して印刷するとき、本機に設定されている用紙設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を適用して印刷します。

  - 機器側設定優先

    本機に設定されている用紙設定で印刷します。プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と本機の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。

  - 機器優先・全紙種許可

    用紙種類の指定が不要なときに指定すると、用紙サイズだけ一致していれば、用紙種類にかかわらず印刷できます。この機能の設定については、P.135「用紙設定の不一致によるエラーを防止する」を参照してください。

  - 全サイズ・種類許可

    プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定が本機のどのトレイとも一致しないとき、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を手差しトレイに適用し、印刷を継続できます。対象となるのは RPCS、PS3、PDF、PCL です。

  - 全不定形サイズ・種類許可

    プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定が本機のどのトレイとも一致しないとき、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定が不定形サイズのときだけ、その設定を手差しトレイに適用して印刷を継続できます。対象となるのは RPCS、PS3、PDF、PCL です。

  工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

- トレイ 1～4
  - ドライバー/コマンド優先
  - 機器側設定優先

  工場出荷時の設定：**機器側設定優先**

5

トレイ設定コマンド優先時の紙種別紙厚設定

レターヘッド紙、ラベル紙、封筒、コート紙の用紙厚を指定します。

［トレイ設定選択］で、各給紙トレイの設定を［機器側設定優先］以外に指定すると、［システム初期設定］の［用紙設定］で指定した用紙厚ではなく、ここで指定した用紙厚が適用されます。

プリンタードライバーまたはコマンドで、給紙トレイを指定し、用紙種類にレターヘッド紙、ラベル紙、封筒、コート紙を指定して印刷すると、ここで指定した用紙厚が適用されます。

- レターヘッド：手差しトレイ

  項目は以下のとおりです。

  薄紙 56〜65g/m2、普通紙 66〜90g/m2、中厚口 91〜128g/m2、厚紙 1 129〜163g/m2、厚紙 2 164〜220g/m2、厚紙 3 221〜256g/m2

  工場出荷時の設定：**普通紙 66〜90g/m2**

- レターヘッド：トレイ 1〜4

  項目は以下のとおりです。

  薄紙 56〜65g/m2、普通紙 66〜90g/m2、中厚口 91〜128g/m2、厚紙 1 129〜163g/m2、厚紙 2 164〜220g/m2

  工場出荷時の設定：**普通紙 66〜90g/m2**

- ラベル紙

  項目は以下のとおりです。

  薄紙 56〜65g/m2、普通紙 66〜90g/m2、中厚口 91〜128g/m2、厚紙 1 129〜163g/m2、厚紙 2 164〜220g/m2

  工場出荷時の設定：**厚紙 1 129〜163g/m2**

- 封筒

  項目は以下のとおりです。

  厚紙 1 129〜163g/m2、厚紙 2 164〜220g/m2

  工場出荷時の設定：**厚紙 2 164〜220g/m2**

- コート紙：手差しトレイ

  項目は以下のとおりです。

  厚紙 1 129〜163g/m2、厚紙 2 164〜220g/m2、厚紙 3 221〜256g/m2

  工場出荷時の設定：**厚紙 1 129〜163g/m2**

- コート紙：トレイ 1〜4

  項目は以下のとおりです。

  厚紙 1 129〜163g/m2、厚紙 2 164〜220g/m2

  工場出荷時の設定：**厚紙 1 129〜163g/m2**

トレイ指定時動作切り替え

PCL カード、またはマルチエミュレーションカードが装着されているときのメニュー項目です。プリンタードライバーから給紙トレイを指定して用紙サイズ・用紙種類を指示したときに、指定した給紙トレイに指示した条件の用紙がなかったとき、自動用紙選択をするかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

拡張リミットレス給紙

自動用紙選択ではなく、給紙トレイ指定時でもリミットレス給紙をするように設定します。

- する

  ［する］を選択したときは、プリンタードライバーや印刷条件の「リミットレス給紙」の設定に関係なく、リミットレス給紙機能が有効になります。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

グレー印刷方式（グレー認識広め）

目で見たときに、モノクロのように見える画像を、モノクロで印刷するかしないかを設定します。

- 黒 1 色
- カラー

工場出荷時の設定：**カラー**

以下の条件のとき、この設定が無効になります。

- プリンタードライバーの［印刷品質］タブの［ユーザー設定の変更...］で、［画質調整］タブの［グレー印刷方式：］から ［黒 1 色（グレー認識範囲を広げる)］を選択していないとき
- プリンタードライバーで［カラーユニバーサルデザイン対応印刷］を選択しているとき

受信バッファ

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

- 128KB
- 256KB

工場出荷時の設定：128KB

インターフェース切替時間

パラレルインターフェース、または USB2.0 インターフェースで、データの送信が終了してから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えると、ほかのインターフェースからデータの受信ができます。

- 10 秒
- 15 秒
- 20 秒
- 25 秒
- 60 秒

工場出荷時の設定：**15 秒**

設定時間が短すぎると、データの送信中にタイムアウトすることがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、ほかのエミュレーションに切り替わったりします。

5

補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

システム設定（EM）

［システム設定（EM)］は、エミュレーションで RPDL、R16、R55、R98、RPGL を選択しているときに表示されます。

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

  白紙でも排紙します。

- スペース

  排紙コマンドの前にスペースコード（20H、A0H、8140H）があるときは排紙します。それ以外のコードがあるときは排紙しません。

- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**しない**

用紙なしエラー表示タイミング

現在選択されているトレイに用紙がセットされていないときのデータ受信を停止するタイミングを設定します。[印刷実行時] に設定すると用紙がセットされていなくても、データは受信できます。[用紙なし時] に設定すると用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

- 印刷実行時

  用紙がセットされていなくても、データは受信できます。

- 用紙なし時

  用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

工場出荷時の設定：**印刷実行時**

自動排紙時間

一定時間、パソコンからデータが送信されてこないとき、本機に蓄積されたデータを強制的に印刷するかしないかを設定します。

たとえば、改ページコードがなく [強制排紙] を押さないと印刷できないようなデータが自動的に印刷されるように設定できます。自動的に印刷するときは、データが送信されてこないときに印刷を開始するまでの時間を設定します。

たとえば [10 秒] に設定すると、10 秒間データが送信されてこないときに、強制的に印刷します。設定時間が経過すると自動的に排紙されるので、同一ページ内のデータであっても、設定時間を超えて送信されてきたデータは、次のページに印刷されます。

- 自動排紙しない
- 10 秒、15 秒、20 秒、25 秒、60 秒、300 秒

工場出荷時の設定：**自動排紙しない**

マクロキャッシュ

マクロキャッシュの値は、RPDL を選択しているときに有効になります。

フォームオーバーレイ印刷するためのフォームデータをキャッシュするために使用するメモリー容量を設定します。ここで設定した容量によって、キャッシュできるフォーム数が変わります。

- マクロなし
- マクロ 2.1MB
- マクロ 4.3MB
- マクロ 8.4MB

工場出荷時の設定：**マクロなし**

印刷データを展開するためのメモリーが確保できなくなるような設定はできません。メモリーが十分でないとき、設定が無効になることがあります。

水平補正初期値

印刷時の給紙方向に対し、垂直方向の長さの補正値を 99.00～101.00%の間で設定できます。エミュレーションの RP-GL/GL2 が搭載されているときに設定できます。

ここで設定した値が RP-GL/GL2 の印刷条件「21.水平補正」の初期値となります。すでに登録したプログラムには反映されません。詳細については、『エミュレーション』「RP-GL/2 エミュレーション」を参照してください。

工場出荷時の設定：100.00%

垂直補正初期値

印刷時の給紙方向に対し、水平方向の長さの補正値を 99.00～101.00%の間で設定できます。エミュレーションの RP-GL/GL2 が搭載されているときに設定できます。

ここで設定した値が RP-GL/GL2 の印刷条件「22.垂直補正」の初期値となります。すでに登録したプログラムには反映されません。詳細については、『エミュレーション』「RP-GL/2 エミュレーション」を参照してください。

工場出荷時の設定：100.00%

補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

PCL 設定

［PCL 設定］は、エミュレーションで PCL または PCLXL を選択しているときに表示されます。PCL カードが必要です。

用紙サイズ

用紙サイズを設定します。

- 設定できる用紙サイズ

  A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、11×17、81/2×14、81/2×11、81/4×14、51/2×81/2、81/2×13、81/2×12、81/4×13、8×13、71/4×101/2、8K、16K、往復ハガキ、郵便ハガキ、角形 2 号、長形 3 号、長形 4 号、洋形 2 号、洋形 4 号、洋長 3 号、不定形

工場出荷時の設定：A4

最大領域印刷

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

両面印刷

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：**しない**

印刷方向

用紙の印刷方向を設定します。

- タテ
- ヨコ

工場出荷時の設定：**タテ**

行数

1 ページあたりの行数を設定します。

行数は 5～128（1 行単位）の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**64**

フォントソース

使用するフォントが記録されている場所を設定します。

本機にフォントをダウンロードしているときだけ、[RAM]、[HDD] が選択できます。

- 内蔵メモリー
- RAM
- HDD
- SD

工場出荷時の設定：**内蔵メモリー**

フォント番号

使用するフォント番号を設定します。

- [フォントソース] で [内蔵メモリー] を選択しているとき

  フォント番号は 0～63 の範囲でテンキーで入力します。

  工場出荷時の設定：**0**
- [フォントソース] で [RAM]、[HDD] のいずれかを選択しているとき

  フォント番号は、機器に設定されているフォントの数まで設定できます。

  工場出荷時の設定：**1**

ポイントサイズ

使用するフォントのポイントサイズを設定します。

ポイントサイズは 4.00～999.75（0.25 ポイント単位）の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**12.00**

フォントピッチ

使用するフォントのピッチを設定します。

フォントピッチは0.44～99.99（0.01ピッチ単位）の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**10.00**

シンボルセット

使用するシンボルセットを設定します。

- 設定できるシンボルセット

  Roman-8、Roman-9、ISO L1、ISO L2、ISO L5、ISO L6、ISO L9、PC-775、PC-8、PC-8 D/N、PC-850、PC-852、PC-858、PC8-TK、PC-1004、Win L1、Win L2、Win L5、Win Baltic、Desktop、PS Text、MS Publ、Math-8、PS Math、Pifont、Legal、ISO 4、ISO 6、ISO 11、ISO 15、ISO 17、ISO 21、ISO 60、ISO 69、Win 3.0、MC Text、UCS-2、PC-864、Arabic-8、Win Arabic、PC-866、PC-866U、ISO Cyrillic、Win Cyrillic、PC-851、Greek-8、ISO Greek、PC-8 Greek、Win Greek、PC-862、Hebrew-7、Hebrew-8、ISO Hebrew

工場出荷時の設定：**PC-8**

クーリエフォント

クーリエフォントの種類を設定します。

- レギュラー
- ダーク

工場出荷時の設定：**レギュラー**

A4サイズ最大幅印刷

A4サイズの用紙に印刷するときに、用紙幅最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

LF設定

CR（復帰）、LF（改行）、FF（改ページ）コードを受信したときの本機の動作を設定します。

- LF=CR+LF
- LF=LF

工場出荷時の設定：**LF=LF**

「LF=CR+LF」に設定したときは次の動作をします。

- CR

  そのまま（CR=CR）処理します。

5

- LF

  改行コードを変換（LF=CR+LF）して処理します。

- FF

  改ページコードを変換（FF=CR+FF）して処理します。

  ［LF=LF］に設定したときは、CR=CR、LF=LF、FF=FF として処理します。

解像度

解像度を設定します。

- 300dpi
- 600dpi（2 階調）
- 600dpi（標準）
- 600dpi（高画質）

工場出荷時の設定：**600dpi（2 階調）**

5

白紙排紙

白紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態であるときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

  白紙でも排紙します。

- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

PS 設定

［PS 設定］は、エミュレーションで PS3 を選択しているときに表示されます。PS3 カードが必要です。

ジョブタイムアウト

ジョブが中断したときに、現在のジョブを中止するまでの本機の待機時間を設定します（秒単位）。

- ドライバー/コマンド優先

  プリンタードライバーまたはコマンドによるジョブタイムアウトの設定が、本機の操作部による設定より優先されます。

- 機器側設定優先

  本機の操作部によるジョブタイムアウトの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

  ［機器側設定優先］を選択したときは、0〜999 秒の範囲でテンキーで入力します。

  工場出荷時は「0」に設定されています。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

ウェイトタイムアウト

本機がジョブ終了を検知できないときに、ジョブ受信を中止するまでの本機の待機時間を設定します。

- ドライバー/コマンド優先

  プリンタードライバーまたはコマンドによるウェイトタイムアウトの設定が、本機の操作部による設定より優先されます。

- 機器側設定優先

  本機の操作部によるウェイトタイムアウトの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

  ［機器側設定優先］を選択したときは、0〜999 秒の範囲でテンキーで入力します。

  工場出荷時は「300」に設定されています。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

用紙選択方式

PostScript の DeferredMediaSelection の初期値を指定し、給紙トレイ選択方法を設定します。

- 自動選択

  DeferredMediaSelection の初期値を true にします。ジョブで指定した用紙設定と一致する給紙トレイが選択されます。

- 給紙トレイから選択

  DeferredMediaSelection の初期値を false にします。PostScript Language Reference の媒体選択にしたがって給紙トレイが選択されます。

工場出荷時の設定：**給紙トレイから選択**

両面印刷

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：しない

両面印刷ページ切り替えコマンド

PS コマンドで両面印刷するとき、setpagedevice コマンドのあとのページをどちらの面に印刷するかを指定します。

- 有効

  両面印刷を解除し、setpagedevice コマンドのあとのページを用紙の表面に印刷します。

- 無効

  両面印刷を解除しないで、setpagedevice コマンドのあとのページを用紙の裏面に印刷します。

工場出荷時の設定：**有効**

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

  白紙でも排紙します。

- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

データ形式

データ形式を設定します。

- バイナリーデータ
- TBCP

工場出荷時の設定：**バイナリーデータ**

この設定は、パラレル、AppleTalk 接続以外のときに有効です。

パラレル接続で、プリンタードライバーからバイナリーデータを送ると印刷ジョブがキャンセルされます。

イーサネット接続で以下の条件のときに、印刷ジョブがキャンセルされます。

- バイナリーデータを設定時に、プリンタードライバーから送られてきたデータの形式が TBCP のとき
- TBCP を設定時に、プリンタードライバーから送られてきたデータの形式がバイナリーデータのとき

解像度

解像度を設定します。

- 600dpi（2 階調）

5

- 600dpi（標準）
- 600dpi（高画質）
- 1200dpi

工場出荷時の設定：**600dpi（2 階調）**

トナーセーブ

トナーを節約するかしないかを設定します。「する」に設定すると薄く印刷されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

RGB 補正

RGB 設定を補正します。

- しない
- 精密（普通）
- 精密（濃いめ）

工場出荷時の設定：**精密（濃いめ）**

カラープロファイル

カラープロファイルを設定します。

- 自動
- ビジネス
- ベタ
- フォト
- ユーザー設定

工場出荷時の設定：**自動**

プロセスカラーモデル

プロセスカラーモデルを設定します。

- カラー
- 白黒

工場出荷時の設定：**カラー**

最大領域印刷

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印刷方向自動検知

印刷データの向きを自動検知するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

グレー印刷方式

黒またはグレー部分の印刷方法を指定します。

- 黒とグレーは K で印刷
- 黒は K で印刷
- CMYK4 色で印刷
- 黒とグレーは K（文字のみ）
- 黒は K で印刷（文字のみ）

工場出荷時の設定：**黒とグレーは K で印刷**

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

PDF 設定

［PDF 設定］は、エミュレーションで PDF を選択しているときに表示されます。

PDF パスワード変更

印刷する PDF ファイルに設定されたパスワードを本機に設定したり、変更したりします。

PDF グループパスワード

この機能は本機では使用できません。

両面印刷

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：**しない**

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態であるときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する
  白紙でも排紙します。
- しない
  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

最終ページから印刷

最終ページから印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

解像度

解像度を設定します。

- 600dpi（2 階調）
- 600dpi（標準）
- 600dpi（高画質）
- 1200dpi

工場出荷時の設定：**600dpi（2 階調）**

トナーセーブ

トナーを節約するかしないかを設定します。「する」に設定すると薄く印刷されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

RGB 補正

RGB 設定を補正します。

- しない
- 精密（普通）
- 精密（濃いめ）

工場出荷時の設定：**精密（濃いめ）**

カラープロファイル

カラープロファイルを設定します。

- 自動
- ビジネス
- ベタ
- フォト

- ユーザー設定

工場出荷時の設定：**自動**

プロセスカラーモデル

プロセスカラーモデルを設定します。

- カラー
- 白黒

工場出荷時の設定：**カラー**

最大領域印刷

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印刷方向自動検知

印刷データの向きを自動検知するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

ブラウザー初期設定

本機で設定できる［ブラウザー初期設定］の各種項目について説明します。

補足

- 認証機能を設定しているときは、[⚙] で設定した内容が［ブラウザー初期設定］で設定した内容よりも優先されます。
- ［ユーザー別設定］で［許可する］に設定している項目は、[⚙] で設定した内容が［ブラウザー初期設定］で設定した内容よりも優先されます。

ブラウザー初期設定

［ブラウザー初期設定］の各種項目について説明します。

ホーム画面

ホームページを設定します。ホームページとして表示する Web ページの URL を設定してください。

- 現在のページ
  表示中の Web ページをホームページに設定します。
- ページ表示なし
  ホームページに何も登録しません。
- URL 入力
  ホームページに設定する Web ページの URL を入力します。

キャッシュファイル

キャッシュファイルを使用するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

［使用する］を選択したときは、［変更］を押し、キャッシュファイルの容量を設定します。

キャッシュファイルを削除するときは、［キャッシュを削除］を押します。

履歴保持

履歴を保持するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

［する］を選択したときは、［変更］を押し、履歴を保持する期間を設定します。

JavaScript

JavaScript、および拡張 JavaScript を使用するかどうかを設定します。

- JavaScript
  - 有効
  - 無効

  工場出荷時の設定：**有効**
- 拡張 JavaScript
  - 有効
  - 無効

  工場出荷時の設定：**無効**

Cookie の使用

Cookie を使用するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

プロキシサーバーの使用

プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

サーバー接続にプロキシーサーバーを使用するときは、［する］を選択し、次の項目を設定してください。

- プロキシサーバー名
- プロキシポート
- プロキシユーザー名
- プロキシパスワード
- 例外アドレス

ユーザーエージェント

Web サーバーに通知するブラウザーの種類、バージョンなどを入力してください。

初期 HTTP リクエストメソッド

Web ページをお気に入りに登録するときの初期 HTTP リクエストメソッドを選択します。

- POST
- GET

工場出荷時の設定：**GET**

表示設定

アドレスバーと横スクロールバーを表示するかどうかを設定します。

- URL バー表示
    - 表示する
    - 表示しない

    工場出荷時の設定：**表示する**
- 横スクロールバー表示
    - 表示する
    - 表示しない

工場出荷時の設定：**表示する**

警告確認表示

- ページ移動確認

  URL リンクをクリックしたときに、ページ移動を確認するダイアログを表示するかどうかを設定します。

  - 表示する
  - 表示しない

  工場出荷時の設定：**表示する**

- セキュリティー警告確認

  SSL で保護されたページへ移動するときに、確認ダイアログを表示するかどうかを設定します。

  - 表示する
  - 表示しない

  工場出荷時の設定：**表示する**

お気に入り管理

［機器共通お気に入り］に登録したお気に入りを管理します。

- お気に入りの呼び出し/登録/変更
  - 新規登録
  - 変更
  - 消去
  - 一括消去
- お気に入りのインポート/エクスポート
  - インポート
  - エクスポート

ユーザー別設定

［ユーザー別設定］の各種項目について説明します。

ホーム画面

[]でのホームページ設定を許可するかどうかを設定します。

- 許可する
- 許可しない

工場出荷時の設定：**許可する**

お気に入り管理

Web ページを［ユーザー用お気に入り］に登録することを許可するかどうかを設定します。

- 許可する
- 許可しない

工場出荷時の設定：**許可する**

プロキシサーバーの使用

プロキシーサーバーの使用を許可するかどうかを設定します。

- 許可する
- 許可しない

工場出荷時の設定：**許可する**

履歴保持

［⚙］での履歴の保持期間の設定を許可するかどうかを設定します。

- 許可する
- 許可しない

工場出荷時の設定：**許可する**

表示設定

［⚙］での画面設定を許可するかどうかを設定します。

- 許可する
- 許可しない

工場出荷時の設定：**許可する**

ログ表示

［ブラウザー初期設定］にある［ログ表示］の各種項目について説明します。

送信ログ

拡張 JavaScript を使用した Web ページの送信ログを確認できます。

ダウンロードログ

拡張 JavaScript を使用した Web ページのダウンロードログを確認できます。

印刷ログ

拡張 JavaScript を使用した Web ページの印刷ログを確認できます。

拡張機能初期設定

拡張機能のインストールやアンインストール、各種設定ができます。詳細については、『VM カード JavaTM Platform 拡張機能初期設定』を参照してください。

補足

- ［拡張機能初期設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

アドレス帳管理

［システム初期設定］の［管理者用設定］にある［アドレス帳登録/変更/消去］、［グループ登録/変更/消去］の設定ができます。詳細については、P.324「管理者用設定」を参照してください。

補足

- ［アドレス帳管理］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

用紙設定

［システム初期設定］にある［用紙設定］の設定ができます。詳細については、P.308「用紙設定」を参照してください。

補足

- ［用紙設定］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

ホーム編集

よく使用するプログラムや Web ページへのショートカットをホーム画面に登録できます。詳細については、P.80「ホーム画面をカスタマイズする」を参照してください。

補足

- ［ホーム編集］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

リモートサービス

@Remote サービスの通信画面を表示します。

補足

- ［リモートサービス］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

表示言語切り替えキー

キーを押すと、操作部の表示言語の切り替えができます。詳細については、P.73「表示言語を切り替える」を参照してください。

［システム初期設定］の［管理者用設定］にある［切り替え言語選択］で表示言語を登録します。表示言語の登録については、P.324「管理者用設定」を参照してください。

補足

- ［表示言語切り替え］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

問い合わせ情報

本機の修理依頼、トナーの発注などの連絡先を確認できます。詳細については、P.531「初期設定から問い合わせ情報を確認する」を参照してください。

補足

- ［問い合わせ情報］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

調整/管理：印刷

普通紙設定

セットする普通紙の種類として、紙の厚さにより［普通紙 1］、［普通紙 2］のどちらかを選択します。

［システム初期設定］の［用紙設定］で、各トレイの「用紙種類設定」の「用紙厚さ」を［普通紙］に設定したときは、セットした紙の厚さによって［調整/管理：印刷］の［普通紙設定］で［普通紙 1］または［普通紙 2］のどちらかを選択します。工場出荷時は［普通紙 1］に設定されています。実際の厚さについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

- 手差しトレイ
    - 普通紙 1
    - 普通紙 2

工場出荷時の設定：**普通紙 1**

- トレイ 1～4
    - 普通紙 1
    - 普通紙 2

  工場出荷時の設定：**普通紙 1**

サプライ交換通知時期設定

サプライの交換時期を通知するタイミングを設定します。トナー、ドラムユニット（ブラック）、ドラムユニット（カラー）、廃トナーボトル交換の通知タイミングを個別に設定できます。

- 早めに通知
- 通常
- 遅めに通知

工場出荷時の設定：**通常**

サプライエンド時動作

ドラムユニットのサプライエンド時に印刷を継続するかしないかを選択します。

- 印刷継続
- 印刷停止

工場出荷時の設定：**印刷継続**

白黒画像認識

白黒画像認識をするかしないかを選択します。白黒画像認識とは、印刷がカラー指定をされていても、すべてのページが白黒の原稿のときは、白黒モードで印刷できる機能です。

- ページごと
- 文書ごと

工場出荷時の設定：**文書ごと**

クリーニング

中間転写ユニットをクリーニングします。

カール低減

印刷後の用紙の反りを減らすために設定します。この機能を有効にすると、ファーストプリントおよび印刷速度が通常よりも遅くなります。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

水滴対応（両面印刷時）

両面ユニットを乾燥させることで、両面印刷時の裏面の画像抜けを防止します。この機能を有効にすると、両面印刷時のファーストプリントが通常よりも遅くなります。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

高湿対応（画像抜け抑制）

湿度の高い環境で印刷するときに、画像抜けを防止します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

補足

- ［調整/管理：印刷］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

調整/管理：画像

色ずれ補正

本機を移動したときや通常の印刷を繰り返したときなどにカラー原稿を印刷すると、色ずれが発生することがあります。このとき、色ずれ補正をすると、適正な印刷結果を得られます。詳細は、P.433「色ずれが発生したとき」を参照してください。

自動濃度階調補正

中間調からハイライト部分の階調を600×600dpi（1bit）、600×600dpi（2bit）、600×600dpi（4bit）、1200×1200dpi（1bit）の各解像度について自動補正します。

- 補正実行

  選択した解像度で自動濃度階調補正を実行します。

- 前回値に戻す

  補正値を前回値に戻します。

- 初期値に戻す

  補正値を初期値に戻します。

階調補正

カラー印刷の階調はさまざまな要因によって微妙に変化します。印刷を繰り返していると色味が変化したり、トナーを交換したときに色味が変わることがあります。このとき、カラー階調を補正すると、適切な階調の印刷結果を得られます。通常は設定する必要はありません。詳細については、P.434「色合いが異なるとき」を参照してください。

- 自動濃度補正

  自動的にカラー階調を補正します。

- 補正 1 シート印刷・補正設定

  補正 1 シートを印刷します。
- 補正 2 シート印刷・補正設定

  補正 2 シートを印刷します。
- 補正値クリア

  カラー階調の補正値を工場出荷時の設定に戻します。

印刷位置調整

トレイごとの印刷位置をあわせるために印刷位置を調整できます。通常は設定する必要はありませんが、オプションの給紙トレイを取り付けたときに調整します。詳細については、P.439「印刷位置がおかしいとき」を参照してください。

- 調整シート印刷

  調整シートを印刷します。本機にセットされているトレイだけ表示されます。
  - 給紙トレイ 1〜4
  - 手差しトレイ
  - 両面ユニット
- 調整値設定

  トレイごとの印刷位置を調整します。本機にセットされているトレイだけ表示されます。
  - ヨコ：トレイ 1〜4
  - ヨコ：手差しトレイ
  - ヨコ：両面時裏面
  - タテ：トレイ 1〜4
  - タテ：手差しトレイ
  - タテ：両面時裏面

４C描画モード

印刷時に CMYK 各色のトナーを重ね合わせる量を切り替えます。文字、罫線などのにじみが気になるときに［文字優先］を選択すると改善されることがあります。通常は［写真優先］に設定してください。

- 文字優先
- 写真優先

工場出荷時の設定：**写真優先**

補足

- ［調整/管理：画像］への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

プリンター本体の設定（Type 2/Type 3）

対象機種：Type 2 Type 3

本機の操作部に表示されるメニューや、設定項目について説明します。

［メニュー］キー機能一覧

操作部では、本機を使用するために必要な各種の基本的な設定や調整ができます。ここでは設定できるメニューと項目一覧を説明します。

メモリー内残存データ状態確認

メモリー内のデータ状態を確認します。詳細は P.420「メモリー内残存データ状態確認」を参照してください。

メモリー内残存データ状態確認を画面に表示するには、以下の条件が必要です。

- 拡張 HDD が装着されている
- セキュリティー管理メニューでメモリー自動消去設定が［する］に設定されている

用紙設定

設定項目
用紙サイズ設定：手差しトレイ
用紙サイズ設定：トレイ 1
用紙サイズ設定：トレイ 2
用紙サイズ設定：トレイ 3
用紙サイズ設定：トレイ 4
用紙種類設定：手差しトレイ
用紙種類設定：トレイ 1
用紙種類設定：トレイ 2
用紙種類設定：トレイ 3
用紙種類設定：トレイ 4
両面印刷トレイ
自動トレイ選択
優先給紙トレイ

補足

- 本機に装着されているトレイが画面に表示されます。

調整/管理

設定項目
品質調整
一般管理
時刻タイマー設定
ハードディスク管理

補足

- ［ハードディスク管理］は、使用している機種が Type 2 で、拡張 HDD を装着しているときに表示されます。

テスト印刷

設定項目
一括リスト印刷
システム設定リスト
エラー履歴
ネットワークサマリー
サプライ情報リスト
印刷条件リスト
メニューリスト
登録フォームリスト
カラーサンプル
全文字印刷
フォントリスト
PCL 情報リスト
PS 情報リスト
PDF 情報リスト
ヘキサダンプ

補足

- ［PCL 情報リスト］、［PS 情報リスト］、［PDF 情報リスト］は、使用している機種が Type 2 で、PS3 カード、PDF ダイレクトプリントカード、PCL カードを装着しているときに表示されます。
- 使用するエミュレーションによって表示されない項目があります。

システム設定

設定項目
エラーレポート印刷
エラースキップ
画像エラー処理
エラー表示設定
エラー発生時のジョブ自動取消
補助用紙サイズ
スリープモード設定
定着部オフモード（省エネ）移行設定
ウィークリータイマー
オフ解除コード設定
明るさ検知自動電源オフ
プリントサーバー使用不可な省エネモード
白黒印刷優先設定
エミュレーション検知
圧縮データの解凍印刷
優先エミュレーション/プログラム
優先メモリー
白黒画像認識
スプール印刷
RAM ディスク
自動メール通知
機械番号

補足

- ［エミュレーション検知］、［優先エミュレーション/プログラム］は、使用している機種が Type 2 で、マルチエミュレーションカード、PS3 カード、PDF ダイレクトプリントカード、PCL カードのいずれかを装着しているときに表示されます。
- 使用するエミュレーションによって表示されない項目があります。
- ［スプール印刷］は、使用している機種が Type 2 で、拡張 HDD を装着しているときに表示されます。
- ［RAM ディスク］は、拡張 HDD を装着していないときに表示されます。

印刷設定

設定項目
一般設定
システム設定（EM）
PCL 設定
PS 設定
PDF 設定

補足

- ［システム設定（EM）］は、使用している機種が Type 2 で、マルチエミュレーションカードを装着しており、 RPDL、R16、R55、R98、RPGL/GL2 のいずれかを起動しているときに表示されます。
- ［PCL 設定］は、使用している機種が Type 2 で、PCL カードを装着しているときに表示されます。
- ［PS 設定］は、使用している機種が Type 2 で、PS3 カードを装着しているときに表示されます。
- ［PDF 設定］は、使用している機種が Type 2 で、PDF ダイレクトプリントカードまたは PS3 カードを装着しているときに表示されます。
- 使用するエミュレーションによって表示されない項目があります。

セキュリティー管理

設定項目
セキュリティー強化
サービスモード移行禁止設定
ファームウェアバージョン表示
ネットワークセキュリティーレベル
メモリー自動消去設定
メモリー全消去
拡張認証管理
ログ転送設定
機器データ暗号化設定

補足

- ［サービスモード移行禁止設定］は、機器管理者としてログインしているときだけ表示されます。

5

- ［メモリー自動消去設定］と［メモリー全消去］は、使用している機種が Type 2 で、拡張 HDD を装着しているときに表示されます。
- ［機器データ暗号化設定］は、使用している機種が Type 2 で、拡張 HDD を装着し、機器管理者でログインしたときに表示されます。
- ［拡張認証管理］は、使用している機種が Type 2 で、個人認証システムを装着しているときに表示されます。

機器設定情報

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

インターフェース設定

設定項目
受信バッファ
インターフェース切り替え時間
ネットワーク設定
パラレルインターフェース設定
無線 LAN
USB 設定

補足

- 無線 LAN は、使用している機種が Type 2 で、拡張無線 LAN ボードを装着しているときに表示されます。
- パラレルインターフェース設定は、使用している機種が Type 2 で、拡張 1284 ボードを装着しているときに表示されます。

表示言語切替

設定項目
日本語
English

補足

- RPDL、R55、R98、R16、RTIFF は英語表示に対応していません。

用紙設定

本機で設定できる「用紙設定」の各種項目について説明します。

重要

- **「用紙サイズ設定」と「用紙種類設定」は、本機に装着されているトレイだけ画面に表示されます。**

用紙サイズ設定：手差しトレイ

手差しトレイにセットする用紙サイズを設定します。

工場出荷時の設定：A4▭

用紙サイズ設定：トレイ 1～4

トレイ 1～4 にセットする用紙サイズを設定します。

工場出荷時の設定：A4▭

用紙種類設定：手差しトレイ

手差しトレイにセットする用紙の種類を設定します。

工場出荷時の設定：**表示しない（普通紙）**

用紙種類設定：トレイ 1～4

トレイ 1～4 にセットする用紙の種類を設定します。

工場出荷時の設定：**表示しない（普通紙）**

両面印刷トレイ

［対象にする］を選択すると、プリンタードライバーから指定された用紙サイズ、用紙種類に応じて、給紙トレイが自動的に選択されます。

- トレイ 1～4、手差しトレイ
    - 対象にする
    - 対象にしない

工場出荷時の設定：**対象にする**

自動トレイ選択

［対象にする］を選択すると、プリンタードライバーから指定された用紙サイズ、用紙種類に応じて、給紙トレイが自動的に選択されます。

- トレイ 1～4、手差しトレイ
    - 対象にする
    - 対象にしない

工場出荷時の設定：**対象にする**

優先給紙トレイ

「優先給紙トレイ」とは、本機の電源を入れたときに選択される給紙トレイで、自動トレイ選択や拡張リミットトレス給紙機能を有効にしたときに一番最初に対象となるトレイです。

- トレイ 1
- トレイ 2

- トレイ 3
- トレイ 4
- 手差しトレイ

工場出荷時の設定：**トレイ 1**

補足

- 設定できる用紙サイズおよび用紙種類については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

調整/管理

本機で設定できる「調整/管理」の各種項目について説明します。

品質調整

色ずれ補正

本機を移動したときや通常の印刷を繰り返したときなどにカラー原稿を印刷すると、色ずれが発生することがあります。このとき、色ずれ補正をすると、適正な印刷結果を得られます。詳細については、P.433「色ずれが発生したとき」を参照してください。

自動濃度階調補正

中間調からハイライト部分の階調を 600×600dpi（1bit）、600×600dpi（2bit）、600×600dpi（4bit）、1200×1200dpi（1bit）の各解像度について自動補正します。

- 補正実行

  選択した解像度について自動濃度階調補正を実行します。

- 前回値に戻す

  補正値を前回値に戻します。

- 初期値に戻す

  補正値を初期値に戻します。

階調補正

カラー印刷の階調はさまざまな要因によって微妙に変化します。印刷を繰り返していると色味が変化したり、トナーを交換したときに色味が変わることがあります。このとき、カラー階調を補正すると、適切な階調の印刷結果を得られます。通常は設定する必要はありません。詳細については、P.434「色合いが異なるとき」を参照してください。

- 自動濃度補正

  自動的にカラー階調を補正します。

- 補正 1 シート印刷

  補正 1 シートを印刷します。
- 補正 2 シート印刷

  補正 2 シートを印刷します。
- 補正値クリア

  カラー階調の補正値を工場出荷時の設定に戻します。

印刷位置調整

トレイごとの印刷位置をあわせるために印刷位置を調整できます。通常は設定する必要はありませんが、オプションの給紙トレイを取り付けたときに調整します。詳細については、P.439「印刷位置がおかしいとき」を参照してください。

- 調整シート印刷

  調整シートを印刷します。本機にセットされているトレイだけ表示されます。
  - 給紙トレイ 1～4
  - 手差しトレイ
  - 両面ユニット
- 調整実行

  トレイごとの印刷位置を調整します。本機にセットされているトレイだけ表示されます。
  - ヨコ：トレイ 1～4
  - ヨコ：手差しトレイ
  - ヨコ：両面時裏面
  - タテ：トレイ 1～4
  - タテ：手差しトレイ
  - タテ：両面時裏面

クリーニング

中間転写ユニットをクリーニングします。

4C 描画モード

印刷時に CMYK 各色のトナーを重ね合わせる量を切り替えます。文字、罫線などのにじみが気になるときに［文字優先］を選択すると改善されることがあります。通常は［写真優先］に設定してください。

- 文字優先
- 写真優先

工場出荷時の設定：**写真優先**

カール低減

印刷後の用紙の反りを減らすために設定します。この機能を有効にすると、ファーストプリントおよび印刷速度が通常よりも遅くなります。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

水滴対応（両面印刷時）

両面ユニットを乾燥させることで、両面印刷時の裏面の画像抜けを防ぎます。この機能を有効にすると、両面印刷時のファーストプリントが通常よりも遅くなります。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

高湿対応（画像抜け抑制）

湿度の高い環境で印刷するときに、画像抜けを防ぎます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

一般管理

普通紙設定

[再生紙設定]、[色紙設定]、[レターヘッド紙設定]、[ラベル紙設定]、[印刷済み紙設定] で [普通紙] を選択したときの普通紙の厚さを、トレイごとに設定します。実際の厚さについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

- 普通紙 1
- 普通紙 2

工場出荷時の設定：**普通紙 1**

再生紙設定

再生紙の厚さをトレイごとに設定します。実際の厚さについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

- 薄紙
- 普通紙
- 中厚口
- 厚紙 1
- 厚紙 2

- 厚紙 3（手差しトレイのみ）

工場出荷時の設定：**普通紙**

色紙設定

色紙の厚さをトレイごとに設定します。実際の厚さについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

- 薄紙
- 普通紙
- 中厚口
- 厚紙 1
- 厚紙 2
- 厚紙 3（手差しトレイのみ）

工場出荷時の設定：**普通紙**

レターヘッド紙設定

レターヘッド紙の厚さをトレイごとに設定します。実際の厚さについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

- 薄紙
- 普通紙
- 中厚口
- 厚紙 1
- 厚紙 2
- 厚紙 3（手差しトレイのみ）

工場出荷時の設定：**普通紙**

ラベル紙設定

ラベル紙の厚さをトレイごとに設定します。実際の厚さについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

- 薄紙
- 普通紙
- 中厚口
- 厚紙 1
- 厚紙 2
- 厚紙 3（手差しトレイのみ）

工場出荷時の設定：**厚紙 1**

封筒設定

封筒の厚さをトレイ 1 と手差しトレイそれぞれに設定します。実際の厚さについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

- 厚紙 1
- 厚紙 2

工場出荷時の設定：**厚紙 2**

コート紙設定

コート紙の厚さをトレイごとに設定します。実際の厚さについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

- 厚紙 1
- 厚紙 2
- 厚紙 3（手差しトレイのみ）

工場出荷時の設定：**厚紙 1**

印刷済み紙設定

印刷済み紙の厚さをトレイごとに設定します。実際の厚さについては、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

- 薄紙
- 普通紙
- 中厚口
- 厚紙 1
- 厚紙 2
- 厚紙 3（手差しトレイのみ）

工場出荷時の設定：**普通紙**

サプライ交換通知時期設定

サプライの交換時期を通知するタイミングを設定します。トナー、ドラムユニット（ブラック）、ドラムユニット（カラー）、廃トナーボトル交換の通知タイミングを個別に設定できます。

- 早めに通知
- 通常
- 遅めに通知

工場出荷時の設定：**通常**

サプライエンド時動作

ドラムユニットのサプライエンド時に印刷を継続するかしないかを選択します。

- 印刷継続
- 印刷停止

工場出荷時の設定：**印刷継続**

サプライ残量表示

待機画面にトナー残量を表示するかどうか選択します。

- 待機画面に表示する
- 表示しない

工場出荷時の設定：**待機画面に表示する**

メニュープロテクト

メニュープロテクトをするかしないかを設定できます。メニュープロテクトするときはそのレベルを選択します。プロテクトの強さを弱めるときは、[レベル 1] を選択します。

機器管理者としてログインしているときだけ設定できます。

- レベル 1
- レベル 2
- しない

工場出荷時の設定：**レベル 2**

テスト印刷禁止

テスト印刷を禁止するかしないかを設定できます。

機器管理者としてログインしているときだけ設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

用紙サイズエラー検知

用紙サイズエラーを検知するかどうかを設定します。

- 検知する

  印刷時に、[用紙設定] メニューやトレイの用紙サイズダイヤル、プリンタードライバーの用紙サイズ設定と、トレイから給紙された用紙のサイズが合っているかどうかを検知します。サイズエラーを検知したときは、エラーメッセージを表示し、印刷を停止します。

- 検知しない

  用紙サイズエラーを検知しません。

工場出荷時の設定：**検知する**

ブザー音

パネルのキーを押したときやプリンターに異状が発生したときに、音を出すか出さないかを選択します。

- ON

- OFF

工場出荷時の設定：ON

画面コントラスト調整

画面のコントラストを 7 段階に調整できます。

キーリピート設定

スクロールキーの長押しで、画面のスクロール、数値を入力するときの数値の増減、文字を選択するときの左右の移動をさせるかさせないかの設定をします。また、させるときはその長押しの時間を設定できます。

- リピートしない
- 通常
- リピート時間：中
- リピート時間：長

工場出荷時の設定：**通常**

優先機能設定

本機の電源を入れた直後やオートオフモードから復帰したときに、優先的に使用する機能を設定します。

［機能切替］キーを押したときに表示される順番で、各機能が拡張機能 1～3 に割り当てられます。

- プリンター
- 拡張機能 1
- 拡張機能 2
- 拡張機能 3

工場出荷時の設定：**プリンター**

時刻タイマー設定

オートリセット時間設定

一定時間操作をしないとき自動的に初期画面へ戻るまでの時間を設定します。この機能は次のようなときに働きます。

- 通常のメニュー操作時
- 認証に関する警告画面の表示時

［印刷停止/再開］キーを押してジョブを一時停止させたときは、ここで設定した時間が経過すると、自動的に印刷を再開します。

- する

  オートリセットを設定したときは、オートリセットするまでの時間を 10～999 秒（1 秒単位）の範囲で設定します。工場出荷時は **60 秒**に設定されています。

- しない

工場出荷時の設定：**する**

年月日設定

システム時計の年月日を設定します。

「年」「月」「日」の切り替えは、[◀] [▶] キーを押してカーソルを移動します。

「年」「月」「日」は [▼] [▲] キーで設定します。

時刻設定

システム時計の時刻を設定します。

時刻は 24 時間制（1 秒単位）で入力します。

「時」「分」「秒」の切り替えは、[◀] [▶] キーを押してカーソルを移動します。

「時」「分」「秒」は [▼] [▲] キーで設定します。

ハードディスク管理

拡張 HDD が装着されているときのメニュー項目です。

一時置き文書全消去

拡張 HDD に蓄積されている一時置き文書（試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書）をすべて消去します。

保存文書全消去

拡張 HDD に蓄積されている保存文書をすべて消去します。

一時置き文書自動消去設定

拡張 HDD に蓄積されている一時置き文書（試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書）を自動的に消去するかしないかを設定できます。自動消去するときは、その間隔を設定します。

- する

  自動消去するときは、自動消去する時間を 1〜200 時間（1 時間単位）の範囲で設定します。工場出荷時は **8 時間**に設定されています。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

保存文書自動消去設定

拡張 HDD に蓄積されている保存文書を自動的に消去するかしないかを設定できます。自動消去するときは、その間隔を設定します。

- する

  自動消去するときは、自動消去する時間を 1〜180 日（1 日単位）の範囲で設定します。工場出荷時は **3 日間**に設定されています。

- しない

工場出荷時の設定：**する**

テスト印刷

本機で設定できる「テスト印刷」の各種項目について説明します。

一括リスト印刷

システム設定リストとエラー履歴、ネットワークサマリー、サプライ情報リストが印刷されます。

選択されているすべてのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

システム設定リスト

本機のシステム構成やシステム設定の設定内容などが印刷されます。

選択されているすべてのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

詳細 P.302「システム設定リストの見かた」を参照してください。

エラー履歴

エラーになったジョブの履歴が印刷されます。

選択されているすべてのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

ネットワークサマリー

ネットワークの設定内容が印刷されます。

サプライ情報リスト

サプライ情報が印刷されます。

印刷条件リスト

印刷条件の設定内容が印刷されます。

エミュレーションで［RPDL］、［R98］、［R16］、［R55］、［RPGL］、［RTIFF］を選択しているときに印刷できます。

メニューリスト

設定できる各項目と設定内容をツリー状に印刷します。

選択されているすべてのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

登録フォームリスト

拡張 HDD が装着されているときのメニュー項目です。

登録されているフォームの一覧が印刷されます。

エミュレーションで［RPDL］、［R55］、［RPGL］を選択しているときに印刷できます。

カラーサンプル

画像つきのカラーサンプルを印刷します。エミュレーションで［RPGL］を選択しているときは、ペン色の調整に使用するパレットのカラーサンプル一覧が印刷されます。

全文字印刷

現在設定されているプリンター言語やエミュレーションで印刷できるすべての文字が印刷されます。

エミュレーションで［RPDL］、［R98］、［R16］、［R55］を選択しているときに印刷できます。

フォントリスト

現在設定されているプリンター言語やエミュレーションで印刷できるフォントの一覧が印刷されます。

エミュレーションで［RPDL］、［R98］、［R16］、［R55］を選択しているときに印刷できます。

PCL 情報リスト

PCL カードが装着されているときのメニュー項目です。PCL のシステム情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。

エミュレーションで［PCL］［PCLXL］を選択しているときに印刷できます。

PS 情報リスト

PS3 カードが装着されているときのメニュー項目です。PS3 のシステム情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。

エミュレーションで［PS3］を選択しているときに印刷できます。

PDF 情報リスト

PS3 カードまたは PDF ダイレクトプリントカードが装着されているときのメニュー項目です。PDF の情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。

エミュレーションで［PDF］を選択しているときに印刷できます。

ヘキサダンプ

印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られたデータを 16 進数で印刷するモードに移行します。

選択されているすべてのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

補足

- 給紙トレイの中から A4（Letter）サイズの普通紙 / 再生紙がセットされているトレイを自動で選択します。もし、どの給紙トレイにも A4（Letter）サイズの普通紙 / 再生紙がセットされていないときは、優先給紙トレイを選択します。優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4（Letter）サイズより小さいと、端が切れることがあります。逆に優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4（Letter）サイズより大きいと、余白が大きくなることがあります。
- テスト印刷で出力されるシステム設定リスト、エラー履歴は、レイアウトが A4（および Letter）サイズに固定されます。したがって給紙トレイのいずれかに、A4（または Letter）サイズの用紙（普通紙・再生紙）をセットすることをお勧めします。

- 印刷条件リスト、登録フォームリスト、全文字印刷、フォントリスト、PS 情報リストおよび PDF 情報リストは優先給紙トレイから出力されます。優先給紙トレイに A4 より大きいサイズの用紙があるときは、それぞれの用紙のサイズに合わせて拡大されて出力されます。

システム設定

本機で設定できる「システム設定」の各種項目について説明します。

エラーレポート印刷

エミュレーションが RPCS、PS3、PDF または PCLXL のとき、プリンター内部でのデータ処理中にエラーが発生したときにエラーレポートを印刷するかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

エラースキップ

プリンタードライバーから指示された紙サイズ・紙種が一致するトレイがなかったときの本機の動作を設定します。

- しない

  プリンタードライバーから指示された紙サイズ・紙種のトレイがセットまたは設定されるまで印刷されません。
- 即時

  用紙サイズ・用紙種類が一致しないときでもすぐに印刷します。
- 1 分

  用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを 1 分間表示し、その後印刷を実行します。
- 5 分

  用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを 5 分間表示し、その後印刷を実行します。
- 10 分

  用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを 10 分間表示し、その後印刷を実行します。
- 15 分

  用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを 15 分間表示し、その後印刷を実行します。

工場出荷時の設定：**しない**

画像エラー処理

送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部で処理できないときのプリンターの動作を設定します。

- 印刷取り消し

  エラーが発生したページでジョブをリセットします。リセットされたページ以降は印刷されません。

- エラーシート印刷

  エラーが発生したページはエラー発生直前の画像まで印刷します。エラーが発生したページ以降は印刷されますが、電子ソートの指示は解除されます。ジョブの終わりにエラーシートを印刷します。エラーコードと、エラーによって出力結果が不完全になったページを最大 16 ページ分印刷します。

工場出荷時の設定：**印刷取り消し**

エラー表示設定

プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーをディスプレイに表示するかしないかを設定できます。

- 簡易表示
- すべて表示

工場出荷時の設定：**すべて表示**

エラー発生時のジョブ自動取消

印刷エラーが発生したときに、印刷エラーが発生したジョブと、エラーが発生する前に本機が受信していたジョブの印刷を中止するかしないかを設定します。この機能の設定については、P.136「エラーが発生した文書の印刷を自動的にキャンセルする」を参照してください。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

補助用紙サイズ

指定した用紙サイズが給紙トレイにないときに、用紙サイズの切り替えをするかどうかを設定します。

本機能は A4、Letter（8 $^{1}/_{2}$"×11"）間の用紙サイズ切り替えだけに対応しています。

切り替えをしたとき、A4 と Letter（8 $^{1}/_{2}$"×11"）では最大印字領域が異なるので、それぞれの領域を越えた描画は、端部が切れたり、正常に印刷されなかったりします。

- 自動
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

スリープモード設定

スリープモードを設定すると、本機の消費電力を節約できます。

スリープモード移行設定

スリープモードに移行するかしないかを選択できます。

- 移行する
- 移行しない

工場出荷時の設定：**移行する**

スリープモード移行時間設定

スリープモードへの移行時間を設定します。移行時間の間に本機を使用しないと、スリープモードに切り替わります。スリープモード中は本機の起動が遅くなり、印刷が始まるまで多少時間がかかります。

- 1 分
- 5 分
- 15 分
- 30 分
- 45 分
- 60 分
- 120 分
- 240 分

工場出荷時の設定：**1 分**

定着部オフモード（省エネ）移行設定

定着部オフモード（省エネ）移行設定

省エネモードに移行するかしないかを選択します。

- 移行する

  省エネモードに移行します。消費電力をさらに節約できますが、省エネモード中は本機の起動が遅くなり、印刷が始まるまで時間がかかります。

- 移行しない

  省エネモードに移行しません。

工場出荷時の設定：**移行しない**

定着部オフモード解除設定

省エネモードを解除する条件を選択します。

- 印刷実行時

  印刷を実行すると省エネモードが解除されます。

- 操作部操作時

操作部でキーを操作すると省エネモードが解除されます。

工場出荷時の設定：**印刷実行時**

定着部オフモード移行時間

省エネモードに移行するまでの待機時間を設定します。操作部のキーを押したり印刷を実行すると待機時間はリセットされます。

- 10 秒
- 30 秒
- 1 分
- 15 分
- 30 分
- 60 分
- 120 分
- 240 分

待機時間は以下のときにリセットされます。

- 印刷を実行したとき
- 「定着部オフモード解除設定」を「印刷実行時」に設定しているときに、［メニュー］キーを押して、［調整/管理］を開いたとき
- 「定着部オフモード解除設定」を「操作部操作時」に設定しているときに、操作部のキーを押したとき

工場出荷時の設定：**10 秒**

ウィークリータイマー

毎日、または指定した曜日に、自動で電源をオン・オフしたり、スリープモードに移行します。詳細は Web Image Monitor で設定します。

ウィークリータイマーを使用するには、［年月日設定］と［時刻設定］でのシステム時計の設定が必要です。設定項目については P.382「時刻タイマー設定」を参照してください。

ウィークリータイマーを［毎日同時刻（Web 設定時刻）］または［曜日ごと（Web 設定時刻）］に設定しているときは、［明るさ検知自動電源オフ］の［オン移行時間］で設定した時間が過ぎても、電源は入りません。

- 毎日同時刻（Web 設定時刻）
- 曜日ごと（Web 設定時刻）
- 使用しない

工場出荷時の設定：**使用しない**

オフ解除コード設定

オフ解除コードは、ウィークリータイマーを設定している時間帯に本機の使用を制限するための暗証コード（最大 8 桁）です。オフ解除コードを設定すると、ウィーク

リータイマーで「スリープモード」や「電源オフ」に設定されている日時に本機を使用するときに、オフ解除コードの入力が求められます。

オフ解除コードを使用するには、管理者認証の設定が必要です。詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。

[ウィークリータイマー] を [毎日同時刻 (Web 設定時刻)] または [曜日ごと (Web 設定時刻)] に設定しているときに設定できます。

- 設定する
- 設定しない

工場出荷時の設定：**設定しない**

明るさ検知自動電源オフ

センサーで室内の明るさを検知し、本機の電源を自動でオン・オフします。

オフモード設定

室内の明るさの変化を検知したときの本機の動作を設定します。

- 電源オフ

  室内が暗くなったことを検知すると、電源を切ります。

- 電源オフ＆オン

  室内が暗くなったことを検知すると電源を切り、明るくなったことを検知すると電源を入れます。ただし、ウィークリータイマーの設定で本機の電源が切れているときは、[オン移行時間] で設定した時間が過ぎても、電源は入りません。

- 無効

  明るさ検知を使用しません。

  工場出荷時の設定：**電源オフ**

オフ移行時間

室内が暗くなったことを検知してから本機の電源を切るまでの時間を設定します。

- 1 分
- 5 分
- 30 分
- 60 分
- 120 分

工場出荷時の設定：**120 分**

以下のようなときに、タイマーがリセットされます。

- オフ移行時間が経過する前に ECO ナイトセンサーで室内の明るさの変化を検知したとき

5

- 操作部のキーを操作したとき、または印刷を実行したとき
- 主電源スイッチを入れたとき
- 本機がスリープモードに移行したとき
- 本機が省エネモードに移行したとき
- 初期設定画面を表示したとき
- Web Image Monitor を使用して設定を変更したとき
- プログラムをダウンロードしたとき
- 本機の設定をインポート・エクスポートしたとき

オン移行時間

室内が明るくなったことを検知してから本機の電源を入れるまでの時間を設定します。

- 1 分
- 5 分
- 30 分
- 60 分
- 120 分

工場出荷時の設定：**1 分**

以下のようなときに、タイマーがリセットされます。

- オフ移行時間が経過する前に ECO ナイトセンサーで明るさの変化を検知したとき
- 本機がスリープモードに移行したとき
- ［明るさ検知自動電源オフ］の設定が変更されたとき
- 主電源スイッチを入れたとき

センサー感度

オフセンサー感度

電源を切る明るさのレベルを設定します。

- 0（暗い）～15（明るい）

  レベル 0（非常に暗い）月明かり程度

  レベル 5（暗い）薄暗い室内程度

  レベル 7（やや暗い）日が沈んだ夕刻の室内程度

  レベル 9（明るい）電気をつけている夜の室内程度

  レベル 15（非常に明るい）日の光があたる室内程度

工場出荷時の設定：**0**

5

オンセンサー感度

電源を入れる明るさのレベルを設定します。ウィークリータイマーが設定されているときは、［オンセンサー感度］の設定は無効となります。

- 0（暗い）～15（明るい）

  レベル 0（非常に暗い）月明かり程度

  レベル 5（暗い）薄暗い室内程度

  レベル 7（やや暗い）日が沈んだ夕刻の室内程度

  レベル 9（明るい）電気をつけている夜の室内程度

  レベル 15（非常に明るい）日の光があたる室内程度

工場出荷時の設定：**8**

［オンセンサー感度］は［オフセンサー感度］より高い値だけ設定できます。

［オフセンサー感度］、［オンセンサー感度］の明るさのレベルについての説明は目安です。実際のレベルは環境により異なります。

プリントサーバー使用不可な省エネモード

オプションの拡張 USB プリントサーバーを使用するときに、本機のスリープモードへの移行を禁止します。

スリープモード中は、拡張 USB プリントサーバーを使用して印刷できません。拡張 USB プリントサーバーを使用するときは、［移行を禁止する］を指定してください。

- 移行を禁止する
- 移行を禁止しない

工場出荷時の設定：**移行を禁止する**

白黒印刷優先設定

カラートナーの消費を節約するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

エミュレーション検知

本機に送られたデータを自動的に判断して、エミュレーションを決定できます。対象となるのは RPDL、PS3、PDF、PCL、RTIFF、RPGL、R55、R16 です。対象エミュレーションのいずれかが搭載されているときに表示されます。それ以外のエミュレーションは、優先エミュレーションで設定されているエミュレーションになります。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

［エミュレーション検知］を［する］に設定しても、エミュレーション切り替えコマンドを受信したときは、エミュレーション切り替えコマンドが優先されます。［する］のときの各エミュレーションの動作については、『エミュレーション』「プリンターの設定」「プログラムを呼び出す」「エミュレーション検知に関する注意事項」を参照してください。

転送されたデータの種類によっては、正しいエミュレーションに切り替わらないことがあります。

連続してデータを送信するときは、［エミュレーション検知］が機能しないことがあります。エミュレーションが検知できないときは、データを送信する間隔をあけてください。

圧縮データの解凍印刷

本機に送られた圧縮データを扱うか扱わないかを選択します。対応している圧縮形式は GZIP 形式です。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

優先エミュレーション/プログラム

電源を入れたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

「プログラム 1」～「プログラム 16」に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されて本機が起動します。

- RPCS
- RPDL
- R98
- R16
- R55
- RPGL
- RTIFF
- PCL
- PCLXL
- PS3
- PDF
- PictBridge
- プログラム 1～16

工場出荷時の設定：**RPCS**

優先メモリー

優先的に使用するメモリー内容を設定します。印刷する用紙サイズ、解像度、エミュレーションなどによって選択してください。

- ユーザーメモリー

  PDL のワークメモリーに多くのメモリー領域を割り当てる設定です。メモリー不足で印刷できないときに設定します。

- ページメモリー

  画像メモリーに多くのメモリー領域を割り当てる設定です。印刷物によっては印刷速度を上げられます。

工場出荷時の設定：**ページメモリー**

白黒画像認識

白黒画像認識をするかしないかを選択します。白黒画像認識とは、印刷がカラー指定をされていても、すべてのページが白黒の原稿のときは、白黒モードで印刷できる機能です。

- ページごと
- 文書ごと

工場出荷時の設定：**文書ごと**

スプール印刷

スプール印刷をするかどうかを設定します。スプール印刷とは、パソコンから転送されるプリントジョブを一時的に本機に蓄積し、印刷する機能です。

拡張 HDD を装着しているときだけ表示されます。

［する］を選択すると、最初の印刷に時間がかかります。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

RAM ディスク

拡張 HDD を装着していない状態で PDF ダイレクトプリントをするときに指定します。拡張 HDD を装着していないときだけ表示されます。

2MB 以上の値を指定してください。

設定を変更したときは、いったん本機の電源を切り、あらためて電源を入れなおしてください。

- 0MB
- 2MB
- 4MB
- 8MB

- 16MB

工場出荷時の設定：4MB

自動メール通知

本機でエラーが発生したときに、エラーの詳細情報を指定したメールアドレスに通知するかどうかを指定します。

設定を変更したときは、いったん本機の電源を切り、あらためて電源を入れなおしてください。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

機械番号

本機の機番を表示します。

印刷設定

本機で設定できる「印刷設定」の各種項目について説明します。

一般設定

印刷枚数設定

PCL カード、 PS3 カード、 PDF ダイレクトプリントカードのいずれかが装着されているときのメニュー項目です。印刷枚数を 1～999 枚の間で設定できます。プリンタードライバーで印刷部数を指定したときは、プリンタードライバーの設定が有効になります。

工場出荷時の設定：1

180 度回転

180 度回転印刷をするかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

レターヘッド紙使用設定

レターヘッド紙のように印刷方向や印刷面が決まっている用紙を正しく印刷するために設定します。

この機能を有効にして両面印刷をすると、奇数ページジョブの最終ページが両面印刷されます。

両面印刷ができない紙サイズのとき、両面印刷は解除されます。

両面印刷を許可しているトレイからソート印刷をすると、1 部目と 2 部目以降で印刷面が異なることがあります。印刷する面をすべて同一にするときは、両面印刷を禁止しているトレイから給紙してください。

この機能を使用するときは、用紙のセット方向に注意が必要です。詳細は P.127「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）をセットする」を参照してください。

- 使用しない

  レターヘッド紙印刷を使用しません。

- 使用する（自動判定）

  印刷方向や印刷面が決まっている用紙が 1 ページ目に指定されたときに、レターヘッド紙印刷をします。

- 使用する（常時）

  常にレターヘッド紙印刷を使用します。

工場出荷時の設定：**使用する（自動判定）**

トレイ設定選択

用紙設定（用紙サイズ、用紙種類）を機器側で行うか、プリンタードライバーやコマンドで行うかを設定します。

本機に装着されているトレイが画面に表示されます。

手差しトレイ

手差しトレイの用紙設定を機器側で行うか、プリンタードライバーやコマンドで行うかを設定します。

[全用紙サイズ・用紙種類許可] および [全不定形サイズ・用紙種類許可] を設定して蓄積された文書は、蓄積後に設定を変更しても蓄積したときの設定で印刷されます。

[全用紙サイズ・用紙種類許可] および [全不定形サイズ・用紙種類許可] に設定したときは、手差しトレイも拡張リミットレス給紙機能の対象となります。

- ドライバー/コマンド優先

  給紙トレイを指定して印刷するときは、本機に設定されている用紙設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を適用して印刷します。

- 機器側設定優先

  本機に設定されている用紙設定で印刷します。プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と本機の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。

- 機器側設定優先（全紙種許可）

  用紙種類の指定が不要なときに指定すると、用紙サイズだけ一致していれば、用紙種類にかかわらず印刷できます。この機能の設定については、P.135「用紙設定の不一致によるエラーを防止する」を参照してください。

- 全用紙サイズ・用紙種類許可

  プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定が本機のどのトレイとも一致しないとき、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を手差しトレイに適用し、印刷を継続できます。対象となるのは RPCS、PS3、PDF、PCL です。

- 全不定形サイズ・用紙種類許可

  プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定が本機のどのトレイとも一致しないとき、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定が不定形サイズの場合だけ、その設定を手差しトレイに適用して印刷を継続できます。対象となるのは RPCS、PS3、PDF、PCL です。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

トレイ 1〜4

トレイ 1〜4 の用紙設定を機器側で行うか、プリンタードライバーやコマンドで行うかを設定します。

- ドライバー/コマンド優先
- 機器側設定優先

工場出荷時の設定：**機器側設定優先**

トレイ指定時動作切り替え

プリンタードライバーから給紙トレイを指定して用紙サイズ・用紙種類を指示した際に、指定した給紙トレイに指示した条件の用紙がなかったとき、自動用紙選択をするかどうかを設定します。

PCL カード、PS3 カード、PDF ダイレクトプリントカードのいずれかが装着されているときのメニュー項目です。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

拡張リミットレス給紙

自動用紙選択ではなく、給紙トレイ指定時でもリミットレス給紙をするように設定します。リミットレス給紙とは、印刷中に給紙トレイの用紙がなくなったとき、他の給紙トレイに自動的に切り替えて印刷する機能です。

- する

  ［する］を選択したときは、プリンタードライバーや印刷条件の［リミットレス給紙］の設定に関係なく、リミットレス給紙機能が有効になります。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

グレー印刷方式（グレー認識広め）

目で見たときに、モノクロのように見える画像を、モノクロで印刷するかしないかを設定します。

- 黒 1 色
- カラー

工場出荷時の設定：**カラー**

以下の条件のとき、この設定が無効になります。

- プリンタードライバーの［印刷品質］タブの［ユーザー設定の変更...］で、［画質調整］タブの［グレー印刷方式：］から ［黒 1 色（グレー認識範囲を広げる)］を選択していないとき
- プリンタードライバーで［カラーユニバーサルデザイン対応印刷］を選択しているとき

システム設定（EM）

対象機種：Type 2

エミュレーションカードが装着されているときのメニュー項目です。

RPDL、R98、R55、R16、RPGL/GL2 のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。

白紙排紙

白紙排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定できます。

- する
- スペース

  排紙コマンドの前にスペースコード（20H、A0H、8140H）があるときは排紙します。
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

用紙なしエラー

現在選択されているトレイに用紙がセットされていないときのデータ受信を停止するタイミングを設定します。［印刷実行時］に設定すると用紙がセットされていなくても、データは受信できます。［用紙なし時］に設定すると用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

- 印刷実行時

  用紙がセットされていなくても、データは受信できます。
- 用紙なし時

用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

工場出荷時の設定：**印刷実行時**

自動排紙時間

一定時間パソコンからデータが送信されないときに、本機内にあるデータを強制的に印刷するかどうかを設定します。「自動排紙しない」に設定するとデータは自動的には印刷されません。自動的に印刷させるときは、データが送信されなくなってから強制的に印刷するまでの時間を設定します。設定された時間が経過すると送信されてきたデータが 1 ページの途中までであっても強制的に印刷されるため、適切な時間を設定することが重要です。

- 自動排紙しない
- 10 秒
- 15 秒
- 20 秒
- 25 秒
- 60 秒
- 300 秒

工場出荷時の設定：**自動排紙しない**

マクロキャッシュ

プリンター言語モジュールがマクロキャッシュとして使用するメモリーの上限を設定します。

- マクロ無し
- マクロ 2.1MB
- マクロ 4.3MB
- マクロ 8.4MB

工場出荷時の設定：**マクロ無し**

水平補正初期値

印刷時の給紙方向に対し、垂直方向の長さの補正値を 99.00～101.00%の間で設定できます。エミュレーションの RP-GL/GL2 が搭載されているときに設定できます。

ここで設定した値が RP-GL/GL2 の印刷条件「21.水平補正」の初期値となります。すでに登録したプログラムには反映されません。詳細については、『エミュレーション』「RP-GL/2 エミュレーション」を参照してください。

工場出荷時の設定：**100.00%**

垂直補正初期値

印刷時の給紙方向に対し、水平方向の長さの補正値を 99.00～101.00%の間で設定できます。エミュレーションの RP-GL/GL2 が搭載されているときに設定できます。

ここで設定した値が RP-GL/GL2 の印刷条件「22.垂直補正」の初期値となります。すでに登録したプログラムには反映されません。詳細については、『エミュレーション』「RP-GL/2 エミュレーション」を参照してください。

工場出荷時の設定：100.00%

PCL 設定

対象機種：Type 2

PCL カードが装着されているときのメニュー項目です。エミュレーションの［PCL］または［PCLXL］を呼び出しているときだけ設定できます。

用紙サイズ

- A3
- B4
- A4
- B5
- A5
- B6
- A6
- 11×17
- $8^{1}/_{2}$×14
- $8^{1}/_{2}$×13
- $8^{1}/_{2}$×12
- $8^{1}/_{2}$×11
- $8^{1}/_{4}$×14
- $8^{1}/_{4}$×13
- 8×13
- $7^{1}/_{4}$×$10^{1}/_{2}$
- $5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$
- ハガキ
- 往復ハガキ
- 角形 2 号封筒
- 長形 3 号封筒
- 長形 4 号封筒
- 洋形 2 号封筒
- 洋形 4 号封筒

- 洋長 3 号封筒
- 8K
- 16K
- 不定形サイズ

工場出荷時の設定：A4

最大領域印刷

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

両面印刷

両面印刷をするかしないかを設定できます。両面印刷をするときはその方向を設定します。オプションの両面ユニットが装着されているときのメニュー項目です。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：**しない**

印刷方向

- タテ
- ヨコ

工場出荷時の設定：**タテ**

行数

5～128 行まで 1 行ごとに設定できます。

工場出荷時の設定：64

フォントソース

- 内蔵メモリー
- RAM
- HDD
- SD
- SD Font Download

工場出荷時の設定：**内蔵メモリー**

フォント番号

フォント読込先のフォント番号を指定します。フォントソースが内蔵メモリーのときは 0～63 の間で設定できます。

5

フォントソースが内蔵メモリーのときの初期値は 0 で、その他のときの初期値は 1 です。

工場出荷時の設定：0

ポイントサイズ

フォントサイズを設定します。4.00〜999.75（0.25 ごと）の間で設定できます。

工場出荷時の設定：12.00

フォントピッチ

文字間を設定します。0.44〜99.99（0.01 ごと）の間で設定できます。

工場出荷時の設定：10.00

シンボルセット

Roman-8、Roman-9、ISO L1、ISO L2、ISO L5、ISO L6、ISO L9、PC-775、PC-8、PC-8 D/N、PC-850、PC-852、PC-858、PC8-TK、PC-1004、Win L1、Win L2、Win L5、Win Baltic、Desktop、PS Text、MS Publ、Math-8、PS Math、Pifont、Legal、ISO 4、ISO 6、ISO 11、ISO 15、ISO 17、ISO 21、ISO 60、ISO 69、Win 3.0、MC Text、UCS-2、PC-864、Arabic-8、Win Arabic、PC-866、PC-866U、ISO Cyrillic、Win Cyrillic、PC-851、Greek-8、ISO Greek、PC-8 Greek、Win Greek、PC-862、Hebrew-7、Hebrew-8、ISO Hebrew

工場出荷時の設定：PC-8

クーリエフォント

- レギュラー
- ダーク

工場出荷時の設定：レギュラー

A4 サイズ最大幅印刷

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

LF 設定

- LF＝CR＋LF
- LF＝LF

工場出荷時の設定：LF＝LF

解像度

- 300dpi
- 600dpi ２階調
- 600dpi 標準
- 600dpi 高画質

5

工場出荷時の設定：**600dpi 2 階調**

白紙排紙

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

PS 設定

対象機種：Type2

PS3 カードが装着されているときのメニュー項目です。エミュレーションの［PS3］を呼び出しているときだけ設定できます。

ジョブタイムアウト

ジョブが中断したときに、現在のジョブを中止するまでの本機の待機時間を設定します（秒単位）。［0］に設定したときは、ジョブタイムアウトは行われません。

［機器側設定優先］を選択したときは、0〜999 の値を入力します。工場出荷時は、**0** に設定されています。

- ドライバー/コマンド優先
- 機器側設定優先

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

ウェイトタイムアウト

本機がジョブ終了を検知できないときに、ジョブ受信を中止するまでの本機の待機時間を設定します（秒単位）。［0］に設定したときは、ウェイトタイムアウトは行われません。

［機器側設定優先］を選択したときは、0〜999 の値を入力します。工場出荷時は、**300** に設定されています。

- ドライバー/コマンド優先
- 機器側設定優先

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

用紙選択方式

PostScript の DeferredMediaSelection の初期値を指定し、給紙トレイ選択方法を設定します。

- 自動選択

  DeferredMediaSelection の初期値を true にします。ジョブで指定した用紙設定と一致する給紙トレイが選択されます。

- 給紙トレイから選択

DeferredMediaSelection の初期値を false にします。PostScript Language Reference の媒体選択にしたがって給紙トレイが選択されます。

工場出荷時の設定：**給紙トレイから選択**

両面印刷

両面印刷をするかしないかを設定できます。両面印刷をするときはその方向を設定します。オプションの両面ユニットが装着されているときのメニュー項目です。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：**しない**

両面印刷ページ切り替えコマンド

PS コマンドで両面印刷するとき、setpagedevice コマンドのあとのページをどちらの面に印刷するかを指定します。

- 有効

  両面印刷を解除し、setpagedevice コマンドのあとのページを用紙の表面に印刷します。

- 無効

  両面印刷を解除しないで、setpagedevice コマンドのあとのページを用紙の裏面に印刷します。

工場出荷時の設定：**有効**

白紙排紙

白紙排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

データ形式

データ形式を設定します。

- バイナリデータ
- TBCP

工場出荷時の設定：**バイナリデータ**

解像度

解像度を設定します。

- 600dpi 2 階調
- 600dpi 標準

- 600dpi 高画質
- 1200dpi

工場出荷時の設定：**600dpi 2階調**

トナーセーブ

トナーを節約するかしないかを設定します。「する」に設定すると薄く印刷されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

RGB 補正

RGB 設定を補正します。

- しない
- 精密（ふつう）
- 精密（濃いめ）

工場出荷時の設定：**精密（濃いめ）**

カラープロファイル

カラープロファイルを設定します。

- 自動
- ビジネス
- ベタ
- フォト
- ユーザー設定

工場出荷時の設定：**自動**

プロセスカラーモデル

プロセスカラーモデルを設定します。

- カラー
- 白黒

工場出荷時の設定：**カラー**

最大領域印刷

用紙サイズいっぱいに印刷するかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印刷方向自動検知

データの印刷方向を自動検知するかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

グレー印刷方式

黒またはグレー部分の印刷方法を指定します。

- 黒とグレーは K で印刷
- 黒は K で印刷
- CMYK4 色で印刷
- 黒とグレーは K で印刷（文字のみ）
- 黒は K で印刷（文字のみ）

工場出荷時の設定：**黒とグレーは K で印刷**

PDF 設定

対象機種：Type2

PS3 カード、または PDF ダイレクトプリントカードが装着されているときのメニュー項目です。エミュレーションの［PDF］を呼び出しているときだけ設定できます。

PDF パスワード変更

印刷する PDF ファイルに設定されたパスワードを本機に設定したり、変更したりします。

PDF グループパスワード

この機能は本機では使用できません。

両面印刷

両面印刷をするかしないかを設定できます。両面印刷をするときはその方向を設定します。オプションの両面ユニットが装着されているときのメニュー項目です。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：**しない**

白紙排紙

白紙排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

最終ページから印刷

ページ順を逆にし、最終ページから印刷できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

解像度

解像度を設定します。

- 600dpi 2 階調
- 600dpi 標準
- 600dpi 高画質
- 1200dpi

工場出荷時の設定：**600dpi 2 階調**

トナーセーブ

トナーを節約するかしないかを設定します。「する」に設定すると薄く印刷されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

RGB 補正

RGB 設定を補正します。

- しない
- 精密（ふつう）
- 精密（濃いめ）

工場出荷時の設定：**精密（濃いめ）**

カラープロファイル

カラープロファイルを設定します。

- 自動
- ビジネス
- ベタ
- フォト
- ユーザー設定

工場出荷時の設定：**自動**

プロセスカラーモデル

プロセスカラーモデルを設定します。

- カラー

- 白黒

工場出荷時の設定：**カラー**

最大領域印刷

用紙サイズいっぱいに印刷するかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印刷方向自動検知

データの印刷方向を自動検知するかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

セキュリティー管理

本機で設定できる「セキュリティー管理」の各種項目について説明します。各項目の詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

拡張認証管理

個人認証システム装着時に表示されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

セキュリティー強化

ドライバー暗号鍵

ユーザー認証を設定しているときに送信するパスワードを暗号化します。ドライバー暗号鍵を設定するときは、本機で設定した暗号鍵を印刷するドライバーに入力してください。パスワードを暗号化します。

アドレス帳暗号化

本機のアドレス帳情報を暗号化します。内部の部品が流出したときにも暗号化によりアドレス帳の情報を読み取ることはできません。暗号化するときは暗号鍵を設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

個人情報表示制限

ユーザー認証を設定しているときに設定できます。

個人認証ができない接続方法でジョブ履歴を確認する際に、個人情報をすべて「********」で表示します。登録者の情報がわからないため、不特定のユーザーに登録した文書の情報が漏れることを防止できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

文書保護強化

パスワード設定によって、文書の印刷や消去などの操作が制限され、不特定の人による文書アクセスが避けられます。文書保護強化を設定したとき、誤ったパスワードを 10 回入力すると文書はロックされ、アクセスできなくなります。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

SNMPv1, v2 による設定

SNMPv1、v2 を使用した設定を禁止するかしないかを設定できます。

- 禁止する
- 禁止しない

工場出荷時の設定：**禁止しない**

簡易暗号化使用制限

高度な暗号化が設定できないときに、簡易暗号化処理（利用制限）をします。

- 制限する
- 制限しない

工場出荷時の設定：**制限しない**

実行中ジョブへの認証の実施

ジョブキャンセル等の操作に認証を必要とするかしないかを設定できます。

[ログイン権限］に設定すると認証の許可があるユーザーおよび機器管理者が操作できます。

[アクセス権限］に設定すると印刷を行ったユーザーおよび機器管理者が操作できます。

- ログイン権限
- アクセス権限
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

5

パスワードポリシー

ベーシック認証が設定されているときに設定できます。

- 複雑さ設定

  複雑度 1：英大文字、英小文字、10 進数の数字、記号（#など）から 2 種類以上を組み合わせてパスワードを設定します。

  複雑度 2：英大文字、英小文字、10 進数の数字、記号（#など）から 3 種類以上を組み合わせてパスワードを設定します。

  工場出荷時の設定：**制限しない**

- 最小文字数（0～32）

  文字数を制限しないときは［0］を入力します。

@Remote サービス

@Remote サービスのための HTTPS 通信を禁止するかしないかを設定できます。禁止するときは、サービス実施店にご相談ください。

- 禁止する
- 禁止しない

工場出荷時の設定：**禁止しない**

ファームウェアアップデート

ファームウェアのアップデートを禁止するかしないかを設定できます。

- 禁止する
- 禁止しない

工場出荷時の設定：**禁止しない**

構成変更

ファームウェアの構成変更を禁止するかしないかを設定できます。

- 禁止する
- 禁止しない

工場出荷時の設定：**禁止しない**

サービスモード移行禁止設定

サービスモードへの移行を禁止するかしないかを設定できます。機器管理者としてログインしているときだけ設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

ファームウェアバージョン表示

本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

ネットワークセキュリティーレベル

ネットワークセキュリティーのレベルを選択します。

- レベル 0
- レベル 1
- レベル 2
- FIPS140

工場出荷時の設定：**レベル 0**

メモリー自動消去設定

拡張 HDD が装着されているときのメニュー項目です。メモリーの自動消去をするかしないかを設定できます。上書き回数を設定するときは、［乱数方式］を選択してください。

- する

  消去方式

  - NSA 方式
  - DoD 方式
  - 乱数方式

    上書き回数（1〜9 回の範囲で設定）

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

メモリー全消去

拡張 HDD が装着されているときのメニュー項目です。メモリー内のデータをすべて消去します。上書き回数を設定するときは、［乱数方式］を選択してください。

- 消去方式
  - NSA 方式
  - DoD 方式
  - 乱数方式

    上書き回数（1〜9 回の範囲で設定）

工場出荷時の設定：**乱数方式**

ログ転送設定

ログの転送をするかしないかを設定できます。

- する（ログ収集サーバーからだけ設定可能）
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

機器データ暗号化設定

拡張 HDD が装着されているときのメニュー項目です。拡張 HDD のデータを暗号化します。データを暗号化したときは、操作部の画面に以下のメニューが表示されます。

- 暗号化
    - 全データ初期化
    - ファイルシステムデータのみ引き継ぎ
    - 全データ引き継ぎ

インターフェース設定

5

本機で設定できる「インターフェース設定」の各種項目について説明します。

受信バッファ

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

- 128KB
- 256KB

工場出荷時の設定：**128KB**

インターフェース切り替え時間

現在のインターフェースからデータが送信されなくなった時点から、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えるとほかのインターフェースからのデータを受信できます。

設定時間が短すぎると 1 つのデータを受信中にタイムアウトになってしまうことがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、異なるエミュレーションに切り替わったり、印刷を中止したデータが途中から印刷されたりします。

- 10 秒
- 15 秒
- 20 秒
- 25 秒
- 60 秒

工場出荷時の設定：**15 秒**

ネットワーク設定

ネットワーク環境に本機を接続して印刷するための設定をします。詳しい各項目の設定方法は、P.255「ネットワークの設定」を参照してください。

本体 IPv4 アドレス

- 自動的に取得（DHCP）

この項目を選択すると、DHCP が有効になります。

- 指定
    - IP アドレス

      工場出荷時の設定：11.22.33.44
    - サブネットマスク

      工場出荷時の設定：0.0.0.0
    - ゲートウェイ

      工場出荷時の設定：0.0.0.0

工場出荷時の設定：**指定**

IPv6 ステートレス設定

IPv6 ステートレスアドレス設定の有効/無効を切り替えます。

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**有効**

DHCPv6 設定

DHCPv6 を設定します。

- DHCPv6 設定

  DHCPv6 の有効/無効を切り替えます。

    - 有効
    - 無効

  工場出荷時の設定：**無効**
- 動作モード

  ［DHCPv6］を［有効］に設定しているとき、DHCPv6 の動作モードを選択します。

    - ルーター要求
    - IP アドレス取得
    - IP アドレス取得しない

  工場出荷時の設定：**ルーター要求**
- DNS サーバーアドレス

  ［DHCPv6］を［有効］に設定しているとき、DNS サーバーアドレスの指定方法を設定します。

    - 自動取得(DHCPv6)
    - 指定

  工場出荷時の設定：**自動取得(DHCPv6)**

IPsec

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**無効**

有効プロトコル

- IPv4
  - 有効
  - 無効

  工場出荷時の設定：**有効**
- IPv6
  - 有効
  - 無効

  工場出荷時の設定：**無効**
- SMB
  - 有効
  - 無効

  工場出荷時の設定：**有効**
- AppleTalk

  ［AppleTalk］は、PS3 カードまたは PDF ダイレクトプリントカードを装着しているときに表示されます。
  - 有効
  - 無効

  工場出荷時の設定：**有効**

イーサネット速度

イーサネットボードを使用してネットワーク通信するときの通信速度を選択できます。

本機は、ネットワーク関連機器への負荷低減（省エネルギー効果）を目的として、初期設定では 100BASE-TX（100Mbps）が上限となっています。より高速な通信が必要なときは、［自動選択：1 Gbps を許可する］を選択して 1000BASE-T（1Gbps）を有効にしてください。

- 自動選択：1Gbps を許可する
- 自動選択：1Gbps を許可しない
- 10Mbps 半二重固定
- 10Mbps 全二重固定
- 100Mbps 半二重固定

- 100Mbps 全二重固定

工場出荷時の設定：**自動選択：1Gbps を許可しない**

本機側の設定	接続可能な接続先の設定
自動選択(1Gbps 許可)	自動設定
自動選択(1Gbps 不可)	自動設定、10 Mbps 半二重固定、100 Mbps 半二重固定
10 Mbps 全二重固定	10 Mbps 全二重固定
10 Mbps 半二重固定	自動設定、10 Mbps 半二重固定
100 Mbps 全二重固定	100 Mbps 全二重固定
100 Mbps 半二重固定	自動設定、100 Mbps 半二重固定

イーサネット用 IEEE 802.1X 認証

イーサネット用の IEEE 802.1X 認証を設定します。

IEEE 802.1X 認証については P.255「ネットワークの設定」を参照してください。

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**無効**

IEEE 802.1X 認証初期化

IEEE 802.1X 認証の設定値を初期化します。

インターフェース選択

インターフェース選択は、拡張無線 LAN ボードを装着しているときに表示されます。

- イーサネット
- 無線 LAN

工場出荷時の設定：**イーサネット**

SSL/TLS 通信許可設定

SSL/TLS の暗号化通信を設定します。[暗号文のみ]を設定するときは、本機にサーバー証明書の導入が必要です。

- 暗号文のみ
- 暗号文優先
- 暗号文/平文

工場出荷時の設定：**暗号文優先**

パラレルインターフェース設定

パソコンと本機をパラレルで接続しているときの通信に関する設定をします。拡張1284 ボード装着時に表示されます。

- パラレルタイミング

  パラレルインターフェースのタイミングを設定します。

  - ACK inside
  - ACK outside
  - STB down

  工場出荷時の設定：**ACK outside**

- パラレル通信速度

  パラレル通信で DMA 転送を使用して受信をするかどうかを設定します。

  - 高速
  - 標準

  工場出荷時の設定：**高速**

- セレクト状態

  パラレルインターフェースのセレクト信号のレベルを設定します。

  - HIGH
  - LOW

  工場出荷時の設定：**HIGH**

- インプットプライム

  インプットプライム信号が送られてきたとき、プライム信号を有効にするかどうかを設定します。通常は変更する必要はありません。

  - 有効
  - 無効

  工場出荷時の設定：**無効**

- 双方向通信

  パラレルインターフェースで使用しているとき、状態取得要求に対するプリンターの返答モードを設定します。市販のプリントボックスなどに接続して問題が発生したときは、［OFF］に設定します。

  - ON
  - OFF

  工場出荷時の設定：**ON**

無線 LAN

無線 LAN を使用するときに必要な項目を設定します。拡張無線 LAN ボード装着時に表示されます。

無線 LAN 簡単接続セットアップ

WPS（Wi-Fi Protected Setup）の実行方式を選択して、無線 LAN を自動で設定します。

5

- プッシュボタン方式
- PIN コード方式

工場出荷時の設定：**プッシュボタン方式**

通信モード

無線 LAN の通信モードを設定します。

通信モードは、Web Image Monitor を使用して設定することもできます。

- 802.11 アドホックモード
- インフラストラクチャーモード

工場出荷時の設定：**インフラストラクチャーモード**

SSID 設定

SSID を設定します。設定した SSID を確認することもできます。

SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号（ASCII 文字列 0x20〜0x7e）で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。

SSID は、Web Image Monitor を使用して設定することもできます。

アドホックチャネル

802.11 アドホックモードを選択したときに使用するチャンネル（チャネル）を設定します。使用する無線 LAN の規格に合わせてチャンネルを設定してください。使用できるチャンネルは以下のとおりです。

- IEEE 802.11b/g（2.4GHz）を使用するとき

  1〜11
- IEEE 802.11a（5GHz）を使用するとき

  36、40、44、48
- IEEE 802.11n（2.4GHz/5GHz）を使用するとき

  1〜11、36、40、44、48

工場出荷時の設定：11

セキュリティー方式選択

無線 LAN の暗号化をするかしないかを設定できます。暗号化するときはその方式を選択し、キーを設定します。

- しない
- WEP

  ［詳細設定］キーを押し、WEP キーを入力します。WEP キーは、16 進数または ASCII 文字列で入力します。

  64bit WEP を使用するときは、16 進数では 10 桁、ASCII 文字列では 5 桁の文字列が使用できます。128bit WEP を使用するときは、16 進数では 26 桁、ASCII 文字列では 13 桁の文字列が使用できます。

WEP キーは、Web Image Monitor を使用して設定することもできます。

- WPA2

  WPA2 は、[通信モード] で [インフラストラクチャーモード] を選択したときに設定できます。

  [詳細設定] キーを押し、認証方式を以下から選択します。

  - WPA2-PSK/WPA2

    [WPA2-PSK] を選択したときは、PSK を半角英数字 8-63 文字の範囲で入力します。

    [WPA2] を選択したときは、認証方式や機器証明書の導入などの設定が必要です。詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

工場出荷時の設定：**しない**

電波状態

無線 LAN の電波状態を確認します。

設定値初期化

無線 LAN の設定を初期化します。

USB 設定

本機とパソコンを USB で接続するときの通信に関する設定をします。

- USB 速度
  - 自動選択
  - フルスピード

  工場出荷時の設定：**自動選択**

- USB ポート固定
  - レベル 1
  - レベル 2
  - しない

  工場出荷時の設定：**しない**

補足

- Web Image Monitor からの設定方法は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

表示言語切替

操作部の画面に表示する言語として、日本語と英語を選択できます。

工場出荷時は、**日本語**に設定されています。

補助メニュー

本機で設定できる「補助メニュー」の各種項目について説明します。

強制排紙

改行コードがないなどの理由で印刷できないデータを印刷します。

エラー履歴表示

エラーなどにより文書を印刷できなかったときは、エラーの履歴が残り、操作部で確認できます。

- すべて
- 試し印刷文書
- 機密印刷文書
- 保留印刷文書
- 保存文書

給紙トレイ

印刷する給紙トレイを切り替えます。本機に装着されているトレイが画面に表示されます。

RPDL、RTIFF、R98、R55、R16 のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。詳細は『エミュレーション』「プリンターの設定」「給紙トレイを選択する」を参照してください。

- トレイ 1
- トレイ 2
- トレイ 3
- トレイ 4
- 手差しトレイ

工場出荷時の設定：**トレイ 1**

エミュレーション呼び出し

エミュレーションやプログラムを切り替えるときに使用します。

搭載されているエミュレーションか登録されているプログラムを選択できます。詳細は『エミュレーション』「プリンターの設定」に記載されている「エミュレーションを切り替える」または「プログラムを呼び出す」を参照してください。

- RPCS
- RPDL
- R98
- R16
- R55

5

- RPGL
- RTIFF
- PCL
- PCLXL
- PS3
- PDF
- PictBridge
- プログラム 1～16

工場出荷時の設定：RPCS

印刷条件

アプリケーションやパソコンに合わせて印刷条件を設定します。

RPDL、RPGL、RTIFF、R98、R55、R16 のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。詳細は『エミュレーション』を参照してください。

印刷部数

印刷部数を設定します。

RPGL、RTIFF のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。詳細は『エミュレーション』「プリンターの設定」「印刷部数を設定する」を参照してください。

プログラム登録/消去

設定した印刷条件を登録します。プログラムを登録すると、登録した順にユーザーメモリースイッチ番号が設定されます。ユーザーメモリースイッチ番号は、エミュレーションごとに、登録された順番で「1」から自動的に採番されます。ユーザーメモリースイッチ番号は、印刷条件リストの「プログラムキー登録状況」で確認できます。

RPDL、RPGL、RTIFF、R98、R55、R16 のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。

- プログラム登録
- プログラム消去
- プログラム内容印刷

メモリー内残存データ状態確認

対象機種：Type 2

本機能を画面に表示するには、以下の条件が必要です。

- 拡張 HDD が装着されている
- [セキュリティー管理] で [メモリー自動消去設定] が [する] に設定されている

メモリー内のデータ状態を確認する

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［メモリー内残存データ状態確認］ ▶ ［OK］
2. メモリー内にデータが残っているかどうかを確認 ▶ ［OK］

   「消去対象残存データあり」：メモリー内にデータが残っています。

   「消去対象残存データなし」：メモリー内にデータはありません。

拡張機能初期設定

対象機種：Type 2

このメニューは使用できません。拡張機能は Web Image Monitor から設定します。詳細については、『VM カード JavaTM Platform 拡張機能初期設定』を参照してください。

6. こまったときには

困ったときの対処方法を説明します。

よくあるご質問 -FAQ-

リコーではお客様からいただくよくあるご質問（FAQ）をホームページで公開しております。

お客様からよく寄せられるご質問をご覧いただけます。

ホームページの URL は次のようになります。

http://www.ricoh.co.jp/support/qa/

検索方法は以下の 2 種類があります。

自然文検索

空欄に質問文を入力し、検索ボタンを押してください。FAQ データベースから、該当する回答の候補を検索できます。

製品別検索

お客様からよく寄せられるご質問を、機種名を選択して検索できます。

マークが表示されたとき

紙づまりや用紙補給など、お客様による操作が必要となったときに操作部に表示されるマークについて説明します。

マーク	状態
：用紙づまり表示	用紙がつまったときに表示されます。 紙づまりを取り除く方法は、P.482「用紙がつまったとき」を参照してください。
：用紙補給表示	用紙がなくなったときに表示されます。 用紙の補給方法は、P.111「用紙をセットする」を参照してください。
：トナー補給表示	トナーがなくなったときに表示されます。 トナーの補給方法は、P.508「トナーを補給する」を参照してください。
：廃トナーボトル満杯表示	廃トナーが満杯になったときに表示されます。 廃トナーボトルの交換方法は、P.513「廃トナーボトルを交換する」を参照してください。
：サービスコール表示	機械が故障したり、修理が必要なときに表示されます。 P.528「お問い合わせ」を参照してください。
：カバーオープン表示	本機の前カバーや上カバーが開いているときに表示されます。

ブザー音が鳴ったとき

本機は、機器の状況をブザー音でお知らせします。

ブザー音のパターン	意味	状態
“ピッ”	入力完了音	操作部や画面のキーを押したことをお知らせします。
“ピッピー”	入力無効音	無効なキーが押されたときやパスワード入力などを間違えたときにこの音が鳴ります。
“ピーピー”	準備完了音	スリープモードを解除したときや電源を入れたときに、印刷できる状態になったことをお知らせします。
“ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー”	弱注意音 （同じパターンを 4 回繰り返します）	用紙切れのときなどにこの音が鳴ります。
“ピッピッピッピッピ” “ピッピッピッピッピ” “ピッピッピッピッピ” “ピッピッピッピッピ” “ピッピッピッピッピ”	強注意音 （同じパターンを 5 回繰り返します）	紙づまり、トナー補給や何らかの異常により、お客様による対処が必要となったときにこの音が鳴ります。

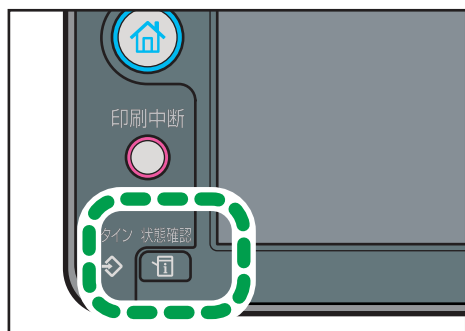
補足

- 鳴動中のブザー音を止めることはできません。このため紙づまりやトナー補給のときに、前カバーなどの開閉を続けて行うと、本機が正常な状態に戻っていてもブザー音が鳴り続けることがあります。
- ブザー音を鳴らすか鳴らさないかの設定については、使用している機種に応じて以下を参照してください。
    - Type 1：P.306「基本設定」
    - Type 2/Type 3：P.378「一般管理」

6

本機の状態や設定内容を確認する（Type 1）

対象機種：Type 1

［状態確認］キーから本機の状態や設定内容を確認できます。

確認できる項目は以下のとおりです。

保守/機器

保守/機器では次の項目が確認できます。

- トナー残量

  トナーの残量がわかります。

- 給紙トレイ

  給紙トレイにセットされている用紙の種類とサイズなどがわかります。

- 排紙トレイ満杯

  排紙トレイに用紙が満杯になったかどうかがわかります。

- 用紙づまり

  用紙の紙づまり状態と対処方法がわかります。

- カバーオープン

  前カバーや上カバーが開いているかどうかがわかります。

メモリー/文書数

メモリー/文書数では次の項目が確認できます。

- HDD メモリー残量

  ハードディスクのメモリー残量がわかります。

- HDD 内文書数

  ハードディスク内に蓄積されている総文書数がわかります。

- プリンター文書

  ハードディスク内に蓄積されている保留印刷文書/保存文書/機密印刷文書/試し印刷文書数がわかります。

機器アドレス

機器アドレスでは次の項目が確認できます。

- 本体 IPv4 アドレス

  本機の IPv4 アドレスがわかります。

- 本体 IPv6 アドレス

  本機の IPv6 アドレスがわかります。

  「手動設定アドレス」には手動で設定した IPv6 アドレスが表示されます。

補足

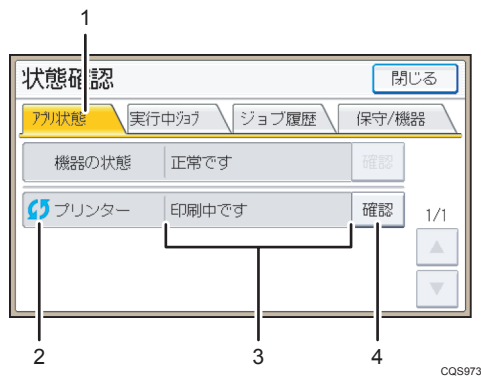
- 異常がないときは、[保守/機器] に、[排紙トレイ満杯]、[用紙づまり]、[カバーオープン] の項目は表示されません。
- セキュリティーの設定によっては [機器アドレス] の項目が表示されないことがあります。
- 紙づまりの確認方法や紙づまりの取り除きかたは、P.482「用紙がつまったとき」を参照してください。

6

[状態確認] キーのランプが点灯したとき（Type 1）

対象機種：Type 1

[状態確認] キーのランプが点灯しているときは、[状態確認] キーを押して [状態確認] 画面を表示します。[状態確認] 画面で機器の状態を確認してください。

[状態確認] 画面

1. **[アプリ状態] タブ**

   機器の状態を表示します。

2. **状態確認アイコン**

   表示されるアイコンが示す状態は次のとおりです。

   ：ジョブを実行中です。

   ：機器でエラーが発生しています。

   ：プリンター機能でエラーが発生しています。または機器でエラーが発生しているため、プリンター機能を使用できません。

3. **メッセージ**

   状態のメッセージを表示します。

4. **[確認]**

   エラーが発生しているときは、[確認] を押して詳細を確認します。[確認] を押すとエラーメッセージまたは画面が表示されます。表示されるエラーメッセージを確認して、P.443「メッセージが表示されたとき」の対処方法を参照してください。

ランプが点灯するおもな原因は次のとおりです。

状態	原因	対処方法と参照先
文書やレポートなどを印刷できない。	印刷中に用紙がなくなりました。	用紙を補給してください。用紙の補給方法は、P.111「用紙をセットする」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
文書やレポートなどを印刷できない。	排紙先のトレイが用紙でいっぱいになっています。	トレイから用紙を取り除いてください。
エラーが発生した。	[状態確認]画面で「エラーが発生しました」と表示されている機能で問題が発生しています。	[確認]を押してください。そのあと画面に表示されるメッセージを確認して対処してください。詳しくは、P.443「メッセージが表示されたとき」の対処方法を参照してください。
ネットワークに接続できない。	何らかの理由で、ネットワークに接続できなくなりました。	• [確認]を押してください。そのあと画面に表示されるメッセージを確認して対処してください。詳しくは、P.443「メッセージが表示されたとき」の対処方法を参照してください。 • イーサネットケーブルが正しく接続されているか、また本機の設定が正しいか確認してください。接続方法は、P.33「パソコンに接続する」を参照してください。 • ネットワークの接続については、管理者に確認してください。 • 上記の対処をしても[状態確認]キーのランプが消灯しないときは、サービス実施店に連絡してください。

6

本機の操作ができないとき

メッセージはおもなものについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

重要

- **サービスコール（🔧）のメッセージには、連絡先と機械番号が表示されるので、確認のうえ、サービス実施店に連絡してください。連絡先が空欄のときは、販売店に連絡してください。**

状態	原因	対処方法と参照先
Type 1 ［省エネ］キーを押しても、点灯したままでスリープモードにならない。	次のときは、［省エネ］キーを押しても、スリープモードになりません。 • 外部の機器と通信中のとき • ハードディスクが動作しているとき	外部の機器から本機への操作が行われていないことを確認してから、［省エネ］キーを押してください。
画面の表示が消えている。	スリープモードになっています。	**Type 1** ［省エネ］キーまたは［状態確認］キーを押してスリープモードを解除してください。 **Type 2/Type 3** ［機能切替］キー以外のいずれかのキーを押してスリープモードを解除してください。
Type 1 画面に「Please wait.」と表示されている。	［省エネ］キーを押して通常モードに戻るときに表示されます。	5 分以上たっても本機が立ち上がらなかったときは、サービス実施店に連絡してください。
画面に「おまちください」と表示されている。	本機が動作準備をしています。	• メッセージが消えるまでお待ちください。また、メッセージが表示されている間は、主電源スイッチを切らないでください。 • 5 分以上たっても本機が立ち上がらなかったときは、サービス実施店に連絡してください。
画面に「しばらくおまちください。」と表示されている。	トナーを補給したときなどに表示されます。	• メッセージが消えるまでお待ちください。また、メッセージが表示されている間は、主電源スイッチを切らないでください。 • 5 分以上たっても「しばらくおまちください。」の表示が消えないときは、サービス実施店に連絡してください。

6

状態	原因	対処方法と参照先
画面に「シャットダウン処理中です。しばらくおまちください。処理後、自動的に電源が切れます。最大待ち時間：XX 分」と表示されている。	本機の起動中または待機中に主電源スイッチが押されたため、シャットダウン処理を行っています。	表示中のメッセージにしたがって、電源が切れるまでそのままお待ちください。メッセージの表示中は主電源スイッチを押さないでください。正しい電源の入れかた、切りかたについては、P.100「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。
自動的に電源が切れる。	[明るさ検知自動電源オフ]有効時に室内の暗さを検知しました。	[明るさ検知自動電源オフ]を変更してください。設定の詳細は、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.324「管理者用設定」 Type 2/Type 3：P.386「システム設定」
画面に「調整中です。」と表示されている。	画像安定化の処理をしています。	そのままでお待ちください。 機械動作中に画像安定化の処理をすることがあります。処理時間や間隔は、印刷枚数、用紙種類・サイズおよび温湿度条件などによって異なります。
ユーザーコード入力画面が表示されている。	ユーザーコード認証が設定されています。	ユーザーコード認証のログイン方法は、P.93「操作部からのユーザーコード認証のしかた」を参照してください。
画面に「この機能を利用する権限はありません。」と表示されたまま画面が切り替わらない。	ログインしたユーザーにその機能を使用する権限が設定されていません。	権限の設定方法は、『セキュリティーガイド』を参照してください。
ログイン画面が表示されている。	ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証のいずれかが設定されています。	[ログイン]を押し、個人ごとに設定されたログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。 ログインについて詳しくは、P.93「本機にログインする」を参照してください。
画面に「認証に失敗しました。」と表示されている。	ログインユーザー名またはログインパスワードが間違っています。	ログインユーザー名またはログインパスワードを確認してください。ログインユーザー名やログインパスワードについては『セキュリティーガイド』を参照してください。
画面に「認証に失敗しました。」と表示されている。	本機が認証できない状況になっています。	認証については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
給紙トレイにつまった用紙を取り除いたが、操作部のエラーメッセージが消えない。	まだ取り除かれていない用紙があります。	つまった用紙を取り除いたあと、前カバーの開閉を行ってください。紙づまりの取り除きかたは、P.482「用紙がつまったとき」を参照してください。
Type 1/Type 2 操作部または Web Image Monitor からアドレス帳を変更したときにエラーになる。	複数の蓄積文書の消去中は、アドレス帳の変更ができません。	しばらくしてからもう一度操作をやり直してください。
Type 1 画面に「他の機能でホームを使用中です。」と表示される。	他の機能でホーム画面を編集中です。	しばらく待ってから、もう一度ホーム画面にショートカットを登録してください。
Type 1 画面に「ホーム画像用データのサイズが正しくありません。」と表示される。	ショートカットの画像として登録できないファイルサイズの画像を指定しました。	ショートカットの画像として登録できるファイルについては P.84「ホーム画面に画像を表示する」を参照してください。
Type 1 画面に「ホーム画像用データの形式が正しくありません。」と表示される。	ショートカットの画像として登録できない形式の画像を指定しました。	ショートカットの画像として登録するファイル形式は、JPEG ファイルを指定してください。画像を指定し直してください。

補足

- 用紙の種類、用紙の状態、用紙のセット枚数などによっては、思いどおりの印刷結果にならないことがあります。適切な用紙を使用してください。適切な用紙について詳しくは、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

6

色ずれが発生したとき

本機の移動のあと、また通常の印刷を繰り返しているうちに、カラー原稿を印刷すると色ずれが発生することがあります。このようなときは、色ずれ補正をすると適正な印刷結果を得ることができます。

対象機種：Type 1

1. [初期設定] キーを押し、色ずれ補正を実行します。

[調整/管理：画像] ▶ [色ずれ補正] ▶ [実行]

色ずれ自動補正は約 30 秒で終了します。

対象機種：Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、[▼] [▲] キーを使用して操作してください。

1. [調整/管理] ▶ [OK]
2. [品質調整] ▶ [OK]
3. [色ずれ補正] ▶ [OK]
4. [自動補正] ▶ [OK] ▶ [実行]

色ずれ自動補正は約 30 秒で終了します。

6

色合いが異なるとき

印刷を繰り返しているうちに色味が変化したり、トナーを交換したときに色味が変わるなど、カラー印刷の階調は、いろいろな要素で変化します。このようなときは、カラー階調を補正すると、適切な階調の印刷結果を得ることができます。

カラー階調補正は、自動濃度階調補正と、階調補正シートを印刷する手動補正の２つの方法があります。自動濃度階調補正で適切な階調の印刷結果が得られないときは、手動補正を実施してください。

補足

- 通常は特に設定する必要はありません。
- ある期間プリンターを休止させておくと、色味が変化することがあります。
- 1 回の操作で補正しきれないときは、必要に応じて数回補正を繰り返してください。
- 階調補正を行うと、すべての印刷結果に反映されます。
- 手動補正で使用する階調補正シートの用紙は、同じ種類の用紙を使用してください。違う種類の用紙を使用すると正確に補正されません。

6

自動濃度階調補正は以下の手順で行います。

対象機種： Type 1

1. **［初期設定］キーを押し、自動濃度階調補正を実行します。**

［調整/管理：画像］ ▶ ［自動濃度階調補正］ ▶ ［補正実行］

対象機種： Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. **［調整/管理］ ▶ ［OK］**
2. **［自動濃度階調補正］ ▶ ［OK］**
3. **［補正実行］**

手動補正は以下の流れで行います。

自動濃度補正を実行する

階調補正シート 1 を印刷する

⇒「階調補正シートの見方」

ハイライト部を調整する

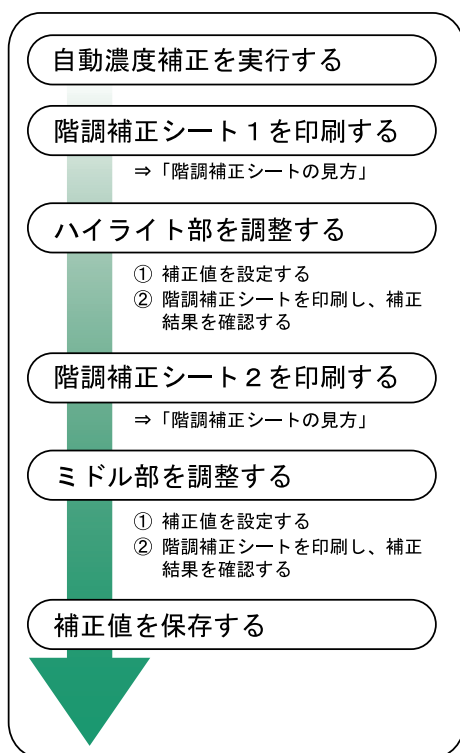
① 補正値を設定する
② 階調補正シートを印刷し、補正結果を確認する

階調補正シート 2 を印刷する

⇒「階調補正シートの見方」

ミドル部を調整する

① 補正値を設定する
② 階調補正シートを印刷し、補正結果を確認する

補正値を保存する

手動で階調の補正値を設定する

印刷されたときに明るい部分（ハイライト部）と、中間の部分（ミドル部）の 2 つの部分の階調を補正します。

対象機種：Type 1

1. ［初期設定］キーを押し、自動濃度補正を実行します。

［調整/管理：画像］ ▶ ［階調補正］ ▶ ［自動濃度補正］ ▶ ［実行］

自動濃度補正が完了したら、［確認］を押します。

2. 階調補正シートを印刷して補正値を設定します。

［補正 1 シート印刷］または［補正 2 シート印刷］を押す ▶ 目的の色を選択 ▶ 補正値を指定 ▶ ［設定］

- 補正値は 0～6 の範囲で設定できます。
- ほかの色も同様の操作で設定します。

6

3. **すべての設定が終わったら、補正結果を印刷して保存します。**

［確認印刷］ ▶ ［保存する］

対象機種： Type2 Type3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. **［調整/管理］ ▶ ［OK］**
2. **［品質調整］ ▶ ［OK］**
3. **［階調補正］ ▶ ［OK］**
4. **［自動濃度補正］ ▶ ［OK］ ▶ ［実行］**

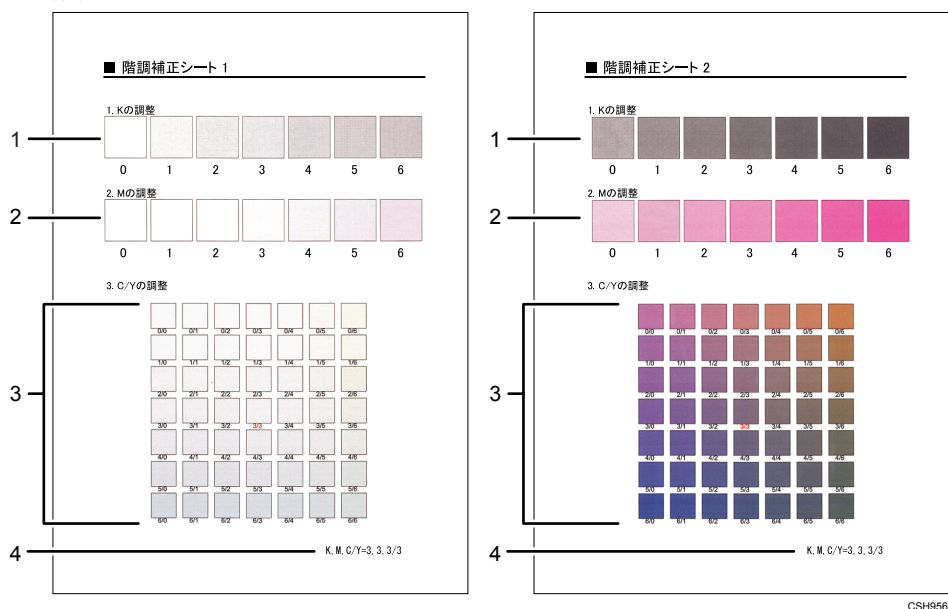
   自動濃度補正が完了したら、確認を押します。
5. **［補正 1 シート印刷］ ▶ ［OK］ ▶ ［印刷］**
6. **印刷された階調補正シート 1 と出力したい色を比べます。**
7. **［補正］ ▶ 目的の色を選択 ▶ ［OK］**
8. **補正値を入力 ▶ ［OK］**
   - 補正値は 0〜6 の範囲で設定できます。
   - ほかの色も同様の操作で設定します。
9. **［設定確認］ ▶ ［印刷］**
   - 印刷された階調補正シート 1 を確認し、出力したい色と階調補正シート 1 の色に相違がなくなるまで、階調の補正を設定してください。
   - 補正値を保存して終了するときは、［保存する］を押します。
10. **［補正 2 シート印刷］ ▶ ［OK］ ▶ ［印刷］**
11. **補正 1 の階調の補正値設定と同様の操作を行い、補正 2 でミドル部の階調の補正値を設定します。**

階調補正シートの見かた

階調補正シートには、ハイライト部設定用の「階調補正シート 1」とミドル部設定用の「階調補正シート 2」の 2 種類があります。「階調補正シート 1」は補正 1 で、「階調補正シート 2」は補正 2 で使用します。

階調補正シートの見かた

印刷した階調補正シートの見かたを説明します。

階調補正は、K（ブラック）、M（マゼンタ）、C（シアン）、Y（イエロー）の各色の補正値を階調補正シートを見て決め、操作部で設定します。

1. K（ブラック）の調整

   ブラックのトナー 1 色だけを使用したときに印刷される色を調整します。現在設定されている補正値は、赤色で印刷されます。

2. M（マゼンタ）の調整

   マゼンタのトナー 1 色だけを使用したときに印刷される色を調整します。現在設定されている補正値は、赤色で印刷されます。

3. C（シアン）/Y（イエロー）の調整

   シアンとイエローを使用したときに印刷される色を補正します。シアンとイエローは、2 色を組み合わせた状態で補正値を決めますが、操作部では 1 色ずつ設定します。

4. 設定値

   階調補正シート印刷時に設定されている数値が表示されます。操作部で設定した数値と対応します。

元の補正値に戻す

対象機種：Type 1 [ ]

1. ［初期設定］キーを押し、元の補正値に戻します。

［調整/管理：画像］ ▶ ［補正値クリア］ ▶ ［実行］

クリア完了のメッセージが表示されたら、［確認］を押します。

対象機種：Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［調整/管理］ ▶ ［OK］
2. ［品質調整］ ▶ ［OK］
3. ［階調補正］ ▶ ［OK］
4. ［補正値クリア］ ▶ ［OK］
5. ［クリアする］を押します。

6

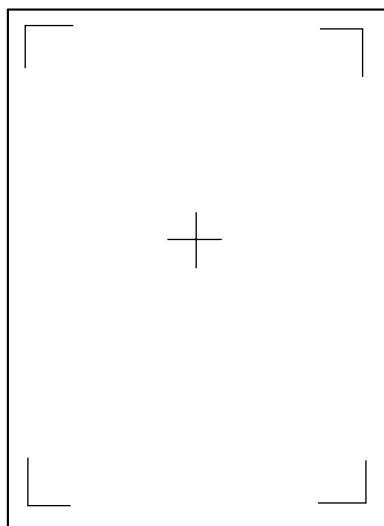
印刷位置がおかしいとき

通常は特に設定する必要はありませんが、オプションの増設トレイを取り付けて印刷の位置がずれたときに調整します。

対象機種：Type 1

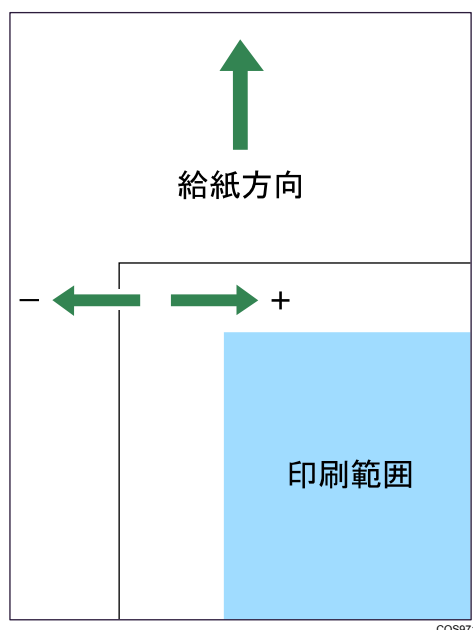
1. ［初期設定］キーを押し、印刷位置を調整するための目安とする調整シートを印刷します。

［調整/管理：画像］ ▶ ［印刷位置調整］ ▶ ［調整シート印刷］ ▶ 調整するトレイを選択

2. 印刷した調整シートで、実際の印刷位置を確認します。

現在の印刷位置を確認して［閉じる］を押します。

3. 印刷位置を調整します。

［調整値設定］ ▶ 調整するトレイを選択 ▶ テンキーで数値（単位 mm）を変更 ▶ ［OK］

6

−方向に設定するには、[+/-]を押して切り替えます。

数値を大きくすると、印刷範囲を+方向にずらして印刷します。数値を小さくすると、印刷範囲を−方向にずらして印刷します。

4. [閉じる]を押します。

5. 調整シートを印刷して、調整した結果を確認します。

対象機種：Type 2 Type 3

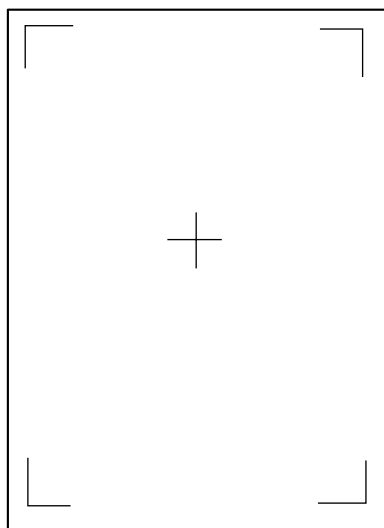
操作部の[メニュー]キーを押し、[▼][▲]キーを使用して操作してください。

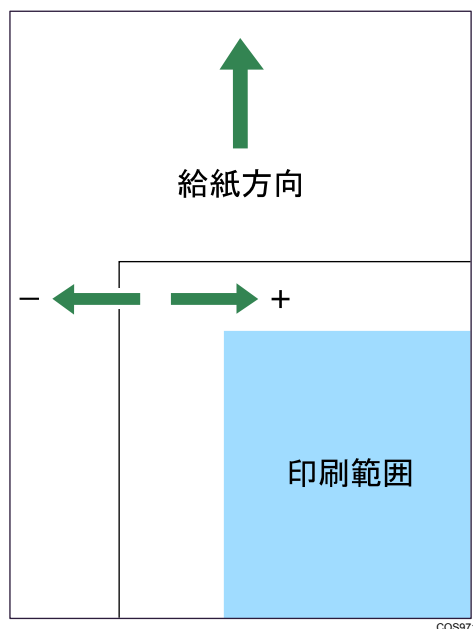
1. [調整/管理] ▶ [OK]

2. [品質調整] ▶ [OK]

3. [印刷位置調整] ▶ [OK]

4. [調整シート印刷] ▶ [OK] ▶ 調整するトレイを選択 ▶ [OK]

印刷した調整シートで、実際の印刷位置を確認します。

5. ［キャンセル］▶［調整実行］▶［OK］▶調整するトレイを選択▶［OK］

6. 数値を変更▶［OK］

数値を大きくすると、印刷範囲を+方向にずらして印刷します。数値を小さくすると、印刷範囲を−方向にずらして印刷します。

7. ［キャンセル］▶［調整シート印刷］▶［OK］▶調整した結果を確認

USB 接続がうまくいかないとき

状態	原因	対処方法と参照先
本機が自動認識されない。	USB ケーブルの接続に問題があります。	パソコン側の USB ケーブルを抜き、本機を再起動します。本機が起動したことを確認してから USB ケーブルを接続してください。
Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。	不正なデバイスとして認識していないか、確認してください。	Windows のデバイスマネージャで、不正なデバイスを削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の「！」または、黄色の「？」が表示されます。必要なデバイスを削除しないように注意してください。
USB ケーブルを挿しても本機が認識しない。	本機が省エネ状態のときは、USB ケーブルを接続しても本機が認識しないことがあります。	USB ケーブルを抜いたあと、本機を起動させます。本機が起動したことを確認してから USB ケーブルを再度接続してください。

メッセージが表示されたとき

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

サービスコールのメッセージには、連絡先と機械番号が表示されるので、確認のうえ、サービス実施店に連絡してください。連絡先が空欄のときは、販売店に連絡してください。

状態表示メッセージ

メッセージ	状態
Type 1 @Remote 証明書の更新中です **Type 2/Type 3** @Remote 証明書更新中	@Remote 証明書の更新中です。しばらくお待ちください。
一時停止中です	Ridoc IO Navi からの操作で印刷を一時停止しています。 印刷を再開するときは、Ridoc IO Navi の自分の［ジョブ一覧］から再開するか、Web Image Monitor から再開できます。Web Image Monitor から印刷を再開するときは、管理者に確認してください。
印刷できます	パソコンからデータを送って印刷できます。
印刷中です	印刷しています。
印刷データ待ち	印刷データの受信待ちです。データの受信が完了すると印刷が始まります。
Type 1 印刷停止中です **Type 2/Type 3** 印刷一時停止中	Type 1：［印刷中断］キーまたは［ジョブ操作］を押して印刷を停止しました。 Type 2/Type 3：［印刷一時停止/再開］キーを押して印刷を停止しました。
Type 1 印刷取消中 **Type 2/Type 3** 印刷取消中です	印刷ジョブを取り消し中です。 「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
オフライン	オフライン状態です。
おまちください	1 秒程度の短い間、このメッセージが表示されることがあります。しばらくお待ちください。
しばらくお待ちください	500 枚以上の用紙を続けて印刷していると、高温になったプリンターの内部を冷却するために印刷が一時停止することがあります。連続して印刷するときは 500 枚以下の枚数に設定することをおすすめします。

6

メッセージ	状態
設定変更中	設定変更中です。
調整中です	カラー階調を調整しています。しばらくお待ちください。
トナー補給中	トナーの補給中です。しばらくお待ちください。
Type 1 ヘキサダンプモード **Type 2/Type 3** ヘキサダンプ	16 進法でデータを印刷できるモードです。 ヘキサダンプモードを解除するときは、[印刷取消] を押してください。
ユニット初期調整中	プリンターが最初の調整を行っています。しばらくお待ちください。

エラーコードが表示されないメッセージ

補足

- 電源の切りかたは、P.100「電源の入れかた、切りかた」を参照し、正しい方法で操作してください。

操作部の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 @Remote 証明書の更新に失敗しました。お手数ですがサービスにご連絡ください。 **Type 2/Type 3** @Remote 証明書の更新失敗/サービスにご連絡ください。	@Remote 証明書の更新に失敗しました。	電源を入れ直して再度更新してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
Type 1 Bluetooth インターフェースに接続できません。 Bluetooth インターフェースを確認してください。 **Type 2** Bluetooth インターフェース接続エラー	• Bluetooth オプションが起動後に装着されました。 • Bluetooth オプションが起動後に抜かれました。	電源を切り、Bluetooth オプションが正しく装着されているか確認してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 PDL エラーが発生しました。エラージョブの印刷を取り消します。	プリンター言語のエラーによりジョブがリセットされました。	データを再送してください。
Type 1 エラーが発生しました。 **Type 2** PDF ファイルエラー	構文エラーなどが発生しています。	PDF ファイルが正しいかどうか確認してください。
Type 1 カラートナーがなくなりました。設定されている紙種に白黒印刷するにはカラートナーが必要です。トナーを交換するか［印刷取消］を押して印刷を中止してください。	トナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。
カラードラムユニットの交換時期です。カラードラムユニットを交換してください。	カラードラムユニットの交換時期です。	カラードラムユニットを交換してください。P.511「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
Type 1 この PDF ファイルを印刷する権限がありません。 **Type 2** この PDF ファイルへの印刷権限なし	印刷しようとしたユーザーには、この PDF ファイルを印刷する権限がありません。	PDF ファイルのセキュリティー設定を確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 指定した用紙サイズと用紙種類に合った給紙トレイがありません。トレイの設定を下記の用紙サイズと用紙種類に変更するか、強制印刷するトレイを選択して、[実行] を押してください。 **Type 2/Type 3** 最大サイズオーバーです。強制印刷またはジョブリセットしてください。	プリンタードライバーの設定が間違っているか、またはプリンタードライバーで指定した用紙サイズ、用紙種類の用紙がトレイにありません。	• プリンタードライバーの設定を確認して、プリンタードライバーで指定した用紙サイズ、または用紙種類をトレイにセットしてください。用紙サイズの変更方法は、P.111「用紙をセットする」を参照してください。 • トレイを選択して強制印刷をするか、[印刷取消] を押して印刷を中止してください。強制印刷および印刷の取り消し方法は、P.231「用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき」を参照してください。
Type 1 消耗品の自動発注に失敗しました。 **Type 2/Type 3** 消耗品の自動発注に失敗	消耗品の自動発注に失敗しました。	サービス実施店に連絡してください。
Type 1 転写ユニットの交換時期です。お手数ですがサービスにご連絡ください。 **Type 2/Type 3** 中間転写ユニットの交換時期です。サービスにご連絡ください。	中間転写ユニットの交換時期です。	サービス実施店に連絡してください。
Type 1 定着ユニットの交換時期です。お手数ですがサービスにご連絡ください。 **Type 2/Type3** 定着ユニットの交換時期です。サービスにご連絡ください。	定着ユニットの交換時期です。	サービス実施店に連絡してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 定着ユニットがセットされていません。正しくセットしてください。 **Type 2/Type 3** 定着ユニットを正しくセットしてください。	定着ユニットがセットされていないか、正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Type 1 転写ユニットがセットされていません。お手数ですがサービスにご連絡ください。 **Type 2/Type 3** 中間転写ユニットを正しくセットしてください。	中間転写ユニットがセットされていないか、正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
Type 1 トナーがなくなりました。トナーを補給してください。 **Type 2/Type 3** トナーがなくなりました。	表示されたカラー（C、M、Y、K）のトナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。P.508「トナーを補給する」を参照してください。
Type 1 トナーがもうすぐなくなります。トナーを補給してください。 **Type 2/Type 3** トナー残りわずか	表示されたカラー（C、M、Y、K）のトナーが残りわずかです。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
Type 1 トナーボトルがセットされていません。正しくセットしてください。 **Type 2/Type 3** トナーを正しくセットしてください。	トナーカートリッジがセットされていないか、正しくセットされていません。	トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。 トナーカートリッジが正しくセットされていてもエラーメッセージが表示されるときは、乾いた布でトナーカートリッジの本体接触部分をやさしく拭き取ってください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 ドラムユニットがセットされていません。正しくセットしてください。 **Type 2/Type 3** ドラムユニットを正しくセットしてください。	ドラムユニットがセットされていないか、正しくセットされていません。	ドラムユニットが正しくセットされているか確認してください。 ドラムユニットが正しくセットされていてもエラーメッセージが表示されるときは、乾いた布でドラムユニットの本体接触部分をやさしく拭き取ってください。
Type 1 n に用紙がありません。トレイに用紙を補給してください。他のトレイから強制印刷する場合は、使用するトレイを選択して[実行]を押してください。 **Type 2/Type 3** n に用紙がありません。トレイに用紙を補給してください。 (n にはトレイ名が入ります。)	プリンタードライバーの設定が間違っている、またはプリンタードライバーで指定した用紙サイズの用紙がトレイにありません。	指定した用紙サイズと同じサイズの用紙がセットされているトレイを指定してください。
Type 1 廃トナーボトルがセットされていません。正しくセットしてください。 **Type 2/Type 3** 廃トナーボトルを正しくセットしてください。	廃トナーボトルがセットされていないか、正しくセットされていません。	廃トナーボトルを正しくセットしてください。正しくセットされていてもエラーが表示されるときは、サービス実施店にご連絡ください。
Type 1 廃トナーボトルが満杯です。廃トナーボトルを交換してください。 **Type 2/Type 3** 廃トナーボトル満杯	廃トナーボトルが満杯になりました。	廃トナーボトルを交換してください。 P.513「廃トナーボトルを交換する」を参照してください。

6

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 廃トナーボトルがもうすぐ満杯です。新しい廃トナーボトルが必要です。お手数ですが購入窓口にご連絡ください。 **Type 2/Type3** 廃トナーボトルもうすぐ満杯	廃トナーボトルがもうすぐ満杯です。	新しい廃トナーボトルを用意してください。
Type 1 非純正トナーボトルがセットされました。 **Type 2/Type 3** 非純正トナーがセットされています。	セットされているトナーカートリッジが純正ではないトナーカートリッジの可能性があります。	純正ではないトナーカートリッジを装着しているときは、純正のトナーカートリッジをセットしてください。
Type 1 不正コピー抑止印刷処理中にエラーが発生。ジョブを取り消しました。	「不正コピー抑止地紋の詳細」画面で「文字列の入力」が空欄になっています。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［効果］を選択します。「不正コピー抑止の種類：」の［詳細］をクリックして表示される「不正コピー抑止地紋の詳細」画面で「文字列の入力：」に文字列を設定してください。 本体側の不正コピー抑止の設定項目については、P.324「管理者用設定」を参照してください。
Type 1 不正コピー抑止印刷処理中にエラーが発生。ジョブを取り消しました。	不正コピー抑止印刷を指定したときに、解像度が600dpi より低く設定されています。	プリンタードライバーで、解像度を600dpi 以上に設定するか、不正コピー抑止印刷の設定を解除してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 本体側の不正コピー抑止の設定項目については、P.324「管理者用設定」を参照してください。
Type 1 ファイルシステムがいっぱいです。 **Type 2** ファイルシステムフル	ファイルシステムの容量がいっぱいで、PDF ファイルを印刷できません。	本機に蓄積している不要な文書を削除してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 ファイルシステムの取得に失敗しました。 **Type 2** ファイルシステムエラー	ファイルシステムが取得できないため、PDF受信、PDFダイレクト印刷ができません。	電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
ブラックドラムユニットの交換時期です。ブラックドラムユニットを交換してください。	ブラックドラムユニットの交換時期です。	ブラックドラムユニットを交換してください。P.511「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
Type 1 もうすぐブラックドラムユニットの交換時期です。新しいブラックドラムユニットが必要です。お手数ですが購入窓口にご連絡ください。 もうすぐカラードラムユニットの交換時期です。新しいカラードラムユニットが必要です。お手数ですが購入窓口にご連絡ください。 **Type 2/Type 3** ブラックドラムユニットもうすぐ交換 カラードラムユニットもうすぐ交換	ドラムユニットが残りわずかです。	新しいドラムユニットを用意してください。
Type 1 無線カードが故障しています。お手数ですがサービスにご連絡ください。 **Type 2** 無線カードが故障しています。 (「無線カード」は、拡張無線LANボード、またはBluetoothオプションを指しています)	• Bluetoothオプションに対してアクセスはできますが、エラーを検出しました。 • 拡張無線LANボードに異常が発生しました。	電源を切り、Bluetoothオプション、拡張無線LANボードを確認してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 無線カードに接続できません。主電源を切り、無線カードを確認してください。 **Type 2** 無線カードに接続できません。主電源を切り、カードを確認	拡張無線 LAN ボードに異常が発生しました。	電源を入れなおしてください。それでもメッセージが消えないときは、拡張無線 LAN ボードをセットし直してください。それでもメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。

操作部の画面、およびレポートに表示されるメッセージ

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 HDD エラー **Type 2** ハードディスクが故障しました	ハードディスクに異常が発生しています。	電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
Type 1 USB エラー **Type 2/Type 3** USB エラーです	USB インターフェースに異常が発生しています。	電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
Type 1 イーサネットエラー **Type 2/Type 3** イーサネットエラーです	イーサネットボードに異常が発生しています。	電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
Type 1 パラレルエラー **Type 2** パラレル I/F エラーです	パラレルインターフェースに異常が発生しています。	電源を入れ直してください。また、適切なインターフェースケーブルを使用していることを確認してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
Type 1 プリンターフォントエラー **Type 2/Type 3** プリンターフォントエラーです	プリンターのフォントファイルが異常です。	サービス実施店に確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1/Type 2 無線カードエラー (「無線カード」は、拡張無線 LAN ボード、または Bluetooth オプションを指しています)	• Bluetooth オプションが起動後に装着されました。 • Bluetooth オプションが起動後に抜かれました。 • 拡張無線 LAN ボードにアクセスはできますが、エラーを検出しました。	電源を切り、拡張無線 LAN ボードまたは Bluetooth オプションが正しく装着されているか確認してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。

メディアプリントを使用中に操作部の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因	対処方法と参照先
選択ファイルのサイズが大きすぎます。	選択しているファイルのサイズが、1GB を超えています。	選択しているファイルのサイズが 1GB を超えるとき、メディアプリント機能では印刷できません。メディアプリント機能以外の機能を使用して印刷してください。
選択されたファイルの合計サイズが、上限値を超えました。これ以上は選択できません。	選択しているファイルのサイズの合計が、1GB を超えています。	• 選択しているファイルサイズの合計が 1GB を超えるとき、メディアプリント機能では印刷できません。個別に選択してください。 • 異なる形式のファイルは同時に選択できません。
利用できないメディアのため、ファイルを表示できません。	認識できないメディアを使用しています。	メディアプリント機能で推奨するメディアについては、リコーホームページを参照してください。また、パスワード設定などのセキュリティー機能を有効にした USB メモリーは、正しく動作しないことがあります。

エラーコードが表示されるメッセージ

重要

- 使用している機種が Type 1 のとき、「エラーコードが表示されるメッセージ」は、「プリンター初期設定」から「システム設定」の「エラー表示設定」を「すべて表示」に設定すると表示されます。
- 使用している機種が Type 2/Type 3 のとき、「エラーコードが表示されるメッセージ」は、「システム設定」の「エラー表示設定」を「すべて表示」に設定すると表示されます。

補足

- 電源の切り方は、P.100「電源の入れかた、切りかた」を参照し、正しい方法で操作してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 84：イメージ処理用のワークエリアがありません。 **Type 2** 84：ワークエラー	イメージ処理用のワークエリアがありません。	• 初期設定で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2：P.386「システム設定」 **Type 2** SDRAM モジュールを増設するか、送信データを減らしてください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
Type 1 85：グラフィックスの環境が不当です。 **Type 2** 85：グラフィック	指定されたグラフィックライブラリがありません。	• データが正しいか確認してください。 • 初期設定で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2/Type3：P.386「システム設定」 **Type 2** SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
Type 1 86：制御コードのパラメーターが不適当です。 **Type 2** 86：パラメーター	制御コードのパラメーターが不適当です。	正しいパラメーターを設定してください。

6

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 87：フリーサイズのためのメモリー領域がありません。 **Type 2** 87：メモリーオーバー	フリーサイズのためのメモリー領域がありません。	• 初期設定で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2：P.386「システム設定」 **Type 2** SDRAM モジュールを増設するか、サイズの指定を小さくしてください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
Type 1 89：メモリースイッチの内容が不良です。 **Type 2** 89：メモリースイッチ	［国別指定］の設定が正しくありません。または印刷条件の設定が最大値を超えています。	印刷条件を正しく設定してください。印刷条件を設定する方法は、『エミュレーション』を参照してください。
Type 1 90：外部メディア上に空き領域がありません。 **Type 2** 90：メディアフル	RPDL または R55 で、ハードディスクの空き領域が少なくなりました。	登録されているフォントやフォームのうち不要なものを削除してください。
Type 1 92：イメージ/オーバーレイのメモリー領域がありません。 **Type 2** 92：メモリーオーバー	イメージオーバーレイのためのメモリー領域が不足しています。	• プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • 初期設定で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2：P.386「システム設定」 **Type 2** SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 93：外字/ダウンロードのためのメモリー領域がありません。 **Type 2** 93：メモリーオーバー	外字またはフォントなどを登録するメモリー領域が足りません。	• 初期設定で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2：P.386「システム設定」 • 登録データを減らしてください。 **Type 2** SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
Type 1 94：ダウンロードデータに不良があります。 **Type 2** 94：ダウンロード	フォントのダウンロードデータに誤りがありました。	フォントセットダウンロードのパラメーターを修正してください。
Type 1 95：指定されたフォントがフォントファイルにありません。 **Type 2** 95：フォントエラー	存在しない文字の印字要求がありました。	文字コードを正しく設定してください。
96：文字セットエラー	指定されたフォントを選択できません。	存在するフォントを選択するように、パラメーターを修正してください。
Type 1 96：フォントをセレクトできません。 **Type 2** 96：セレクトエラー	指定されたフォントを選択できません。	存在するフォントを選択するように、パラメーターを修正してください。

6

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 97：フォントをアロケーションするエリアがありません。 **Type 2** 97：アロケーションエラー	フォントを登録する領域がありません。	• 初期設定で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2：P.386「システム設定」 **Type 2** SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
Type 1 98：ハードディスクへのアクセスに失敗しました。 **Type 2** 98：アクセスエラー	ハードディスクへのアクセスに失敗しました。	**Type 1** 電源を入れなおしても同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。 **Type 2** ハードディスクが正しく装着されているか確認したあと、電源を入れ直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
Type 1/Type 2 99：データエラー	RTIFF のデータ処理中に致命的なエラーが発生しました。	対処方法は『エミュレーション』「RTIFF エミュレーション」を参照してください。
Type 1/Type 2 99：ワーニング	RTIFF のデータ処理中にエラーが発生しました。	対処方法は『エミュレーション』「RTIFF エミュレーション」を参照してください。
Type 1 9B：認証が不適合のためコマンドはキャンセルされました。 **Type 2** 9B：認証不適合	認証が不適合なユーザーが、プログラムの登録または給紙トレイの情報登録をしようとしました。	認証については『セキュリティーガイド』を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
A3：オーバーフロー	受信バッファがオーバーフローしました。	• 初期設定で［受信バッファ］を多く設定してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.312「インターフェース設定」 Type 2/Type 3：P.412「インターフェース設定」 • 送信データを減らしてください。
A4：ソートオーバー	ソートできる枚数をオーバーしています。	• 印刷ページ数を減らしてください。 **Type 2** SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
A6：ページフル	ページ印刷中にページ画像が破棄されました。	• プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • 初期設定で［優先メモリー］を［ページメモリー］に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2/Type 3：P.386「システム設定」 **Type 2** SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
Type 1/Type 2 A9：ページエラー	試し印刷/機密印刷/保留印刷/保存印刷/イメージオーバーレイのフォーム登録で、ページオーバーが発生しました。	本機に登録されている文書のうち不要なものを消去してください。 または印刷するページ数を減らしてください。

6

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 AA：文書数オーバーが発生しました。 **Type 2** AA：文書数エラー	試し印刷/機密印刷/保留印刷/保存印刷/イメージオーバーレイのフォーム登録で、文書数オーバーが発生しました。	本機に登録されている文書のうち不要なものを消去してください。
Type 1 AB：HDD オーバーフローが発生しました。 **Type 2** AB：ハードディスクフル	試し印刷/機密印刷/保留印刷/保存印刷/イメージオーバーレイのフォーム登録で、ハードディスクのオーバーフローが発生しました。	本機に登録されている文書のうち不要なものを消去してください。 または試し印刷/機密印刷/保留印刷/保存印刷しようとしている文書のサイズを小さくしてください。
Type 1 AC：HDD 領域がオーバーしました。 **Type 2** AC：ハードディスクフル	• フォームまたはフォント用のハードディスク領域がオーバーしました。 • RTIFF エミュレーションの受信データ用ハードディスク領域がオーバーしました。	• 本機に登録されているフォームまたはフォントのうち不要なものを削除してください。 • RTIFF エミュレーションを使用しているときは、送信データを減らしてください。
Type 1/Type 2 AD：蓄積エラー	拡張 HDD が装着されていない状態で、試し印刷/機密印刷/保留印刷/保存印刷の指示が出されました。	**Type 1** サービス実施店に連絡してください。 **Type 2** 試し印刷/機密印刷/保留印刷/保存印刷を実行するときは、本機に拡張 HDD を装着してください。
Type 1/Type 2 AF：登録数エラー	イメージオーバーレイのフォーム登録で登録数オーバーが発生しました。	登録されているイメージオーバーレイファイルを削除してください。
Type 1/Type 2 AG：ハードディスクフル	イメージオーバーレイのフォーム登録でハードディスクのオーバーフローが発生しました。	登録されているイメージオーバーレイファイルを削除するか、登録データサイズを小さくしてください。
Type 1/Type 2 AH：登録エラー	• イメージオーバーレイのフォーム登録で登録済みのフォーム番号に登録しようとしました。 • 拡張 HDD が装着されていない状態で、イメージオーバーレイのフォーム登録の指示が出されました。	• イメージオーバーレイのフォーム登録のときは、フォーム番号を変更するか登録済みのフォームを削除してから登録してください。 **Type 2** イメージオーバーレイ機能を使用するときは、本機に拡張 HDD を装着してください。

6

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 AI：指定された用紙サイズには対応していないため、ジョブはキャンセルされました。 **Type 2/Type 3** AI：用紙サイズエラー	給紙できない用紙サイズの印刷が指定されたため、オートジョブリセットが実行されました。	給紙可能な用紙サイズで印刷を行ってください。
Type 1 AJ：指定された用紙種類には対応していないため、ジョブはキャンセルされました。 **Type 2/Type 3** AJ：用紙種類エラー	給紙できない用紙種類の印刷が指定されたためオートジョブリセットが実行されました。	給紙可能な用紙種類で印刷を行ってください。
Type 1 AK：ページエラー(自動)	［エラージョブ蓄積・追い越し］で通常印刷を保留文書として蓄積するときにページオーバーが発生しました。	印刷するページ数を減らしてください。 または、本機に登録されている文書のうち不要なものを削除してください。
Type 1 AL：文書数エラー(自動)	［エラージョブ蓄積・追い越し］で通常印刷を保留文書として蓄積するときに最大蓄積文書数がオーバーしました。	保留文書を削除してください。 または本機に登録されている文書のうち不要なものを削除してください。
Type 1 AM：ハードディスクフル(自動)	［エラージョブ蓄積・追い越し］で通常印刷を保留文書として蓄積するときにハードディスクのオーバーフローが発生しました。	本機に登録されている文書のうち不要なものを削除してください。 または、保留文書、保存文書のサイズを小さくしてください。
Type 1 B6：ユーザー情報の自動登録に失敗しました。 **Type 2/Type 3** B6：ユーザー情報の自動登録に失敗。	登録件数が満杯で、LDAP 認証、Windows 認証時に認証情報を機器のアドレス帳に自動登録できません。	ユーザー情報の自動登録については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
Type 1 B7：認証されたユーザーの情報が、登録済みのユーザーと重複しています。 **Type 2/Type 3** B7：登録済みユーザーと情報が重複	LDAP や統合サーバー認証で、異なるサーバーに別の ID で同じ名前が登録されていて、ドメイン（サーバー）の切り替えなどによって名前（アカウント名）の重複が発生しました。	ユーザーの認証については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

6

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 B8：サーバーからの応答がないため認証できませんでした。 **Type 2/Type 3** B8：サーバー応答なし	LDAP 認証、Windows 認証の際にサーバーへの認証問い合わせでタイムアウトが発生しました。	認証問い合わせ先のサーバーの状態を確認してください。
Type 1 B9：他の機能でアドレス帳を使用中のため認証できませんでした。 **Type 2/Type 3** B9：他機能でアドレス帳使用中	ほかの機能でアドレス帳を使用中の状態が続いており、認証問い合わせができません。	しばらくしてからもう一度操作をやり直してください。
Type 1 BA：この機能を利用する権限がないため、ジョブはキャンセルされました。 **Type 2/Type 3** BA：利用権限がありません。	プリンタードライバー側で認証が設定されていないか、ログインユーザー名（ユーザーコード）、ログインパスワードが間違っています。	• ユーザー認証を有効にしているときは、プリンタードライバーのプロパティでユーザー認証を有効に設定してください。 • プリンタードライバーにログインユーザー名（ユーザーコード）、パスワードを正しく設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
Type 1 BB：印刷利用量制限度数に達したため、ジョブはキャンセルされました。 **Type 2** BB：印刷利用量制限度数オーバー	ユーザーに許可された印刷枚数を超えたため、印刷が中止されました。	印刷利用量制限については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
BC：ソートエラー	ソートが解除されました。	• 印刷ページ数を減らしてください。 **Type 2** SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1 BF：両面印刷の指定を解除しました。 **Type 2/Type 3** BF：両面エラー	両面印刷が解除されました。	• 両面印刷可能な用紙を使用してください。両面印刷可能な用紙については、P.147「用紙の両面に印刷する」を参照してください。 **Type 1** 「システム初期設定」で使用するトレイの「両面印刷の対象」の設定を変更してください。設定項目については、P.308「用紙設定」を参照してください。
Type 1 BI：ユーザー用紙種類エラー **Type 2/Type 3** BI：紙種名称エラー	指定したユーザー用紙種類が設定されていません。	• 指定したユーザー用紙種類が設定されているか確認してください。ユーザー用紙種類の設定については、P.251「用紙に独自の名前をつけて使用する」を参照してください。 • ユーザー用紙種類の設定内容を、機器から取得し直してください。
Type 1 BJ：分類コードが間違っています。 **Type 2/Type 3** BJ：分類コードが不正です。	分類コードが指定されていません。	プリンタードライバーで分類コードを任意に設定してから印刷してください。分類コードの設定方法は、P.159「分類コードを使用する」を参照してください。
Type 1 BQ：圧縮データエラー **Type 2/Type 3** BQ：伸張エラー	圧縮データが破損しています。	パソコンと本機の間で正常に通信ができているか確認してください。圧縮データ作成ツールが正常に動作完了しているか確認してください。
Type 1/Type 2 C1：コマンドエラー	無効なコマンドを受信しました。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
Type 1/Type 2 C2：パラメーター数エラー	パラメーターの数が不適当です。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
Type 1/Type 2 C3：パラメーター範囲エラー	パラメーターの範囲が不適当です。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
Type 1/Type 2 C6：ポジションエラー	印刷位置が不適当です。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1/Type 2 C7：ポリゴンサイズエラー	ポリゴンバッファが不足しています。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
Type 1/Type 2 C8：フォントキャッシュエラー	ダウンロード用バッファサイズが不足しています。	• ダウンロードするフォントサイズを減らしてください。 **Type 2** SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
Type 1/Type 2 C9：パターンキャッシュエラー	ラスターに対するテクスチャーパターン用バッファサイズが不足しています。	• サイズを小さくしてください。 • 初期設定で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2：P.386「システム設定」 **Type 2** SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
Type 1/Type 2 CA：原稿サイズ判定エラー	原稿サイズ判定用バッファがオーバーフローし、後続データ中に、原稿サイズを越える領域の描画があります。	• サイズを小さくしてください。 • 初期設定で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2：P.386「システム設定」 **Type 2** SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
Type 1/Type 2 D0：応答エラー	応答コマンド実行中に、次の応答コマンドの実行要求がありました。	次のいずれかを行ってください。 • ESC.E コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Type 1/Type 2 D1：コマンドエラー	無効なデバイスコントロールコマンドを受信しました。	次のいずれかを行ってください。 • ESC.E コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
Type 1/Type 2 D2：無効パラメーターエラー	デバイスコントロールコマンドのパラメーターの中に無効な 1 バイトを受信しました。	次のいずれかを行ってください。 • ESC.E コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
Type 1/Type 2 D3：パラメーター範囲エラー	デバイスコントロールコマンドのパラメーターが有効範囲を超えています。	次のいずれかを行ってください。 • ESC.E コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
Type 1/Type 2 D4：パラメーター数エラー	デバイスコントロールコマンドのパラメーター数が不適当です。	次のいずれかを行ってください。 • ESC.E コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
Type 1/Type 2 DC：フォントセレクトエラー	指定したフォントをセレクトできません。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
Type 1/Type 2 DD：フォントエラー	指定したフォントがフォントテーブルにありません。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
Type 1/Type 2 DE：パラメーター範囲エラー	文字サイズが不適当です。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
Type 1/Type 2 DF：ワークメモリーエラー	シェーディング実行のための領域が不足しています。	• データの量を減らしてください。 • 初期設定で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2：P.386「システム設定」 **Type 2** SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
P1：コマンドエラー	RPCS のコマンドエラーです。 印刷時の設定によっては、RPCS 以外のプリンタードライバーを使用しているときでも発生することがあります。	次のいずれかを確認してください。 • ホストとプリンターの間で正常に通信ができるか。 • 機種に合ったプリンタードライバーを使用しているか。 • プリンタードライバーが最新のバージョンか。リコーのホームページから最新バージョンを入手してください。
P2：メモリーエラー	メモリーの取得エラーです。	• プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • PCL6 プリンタードライバーのときは、[項目別設定] タブの「メニュー項目：」から［印刷品質］を選択します。「ベクター／ラスター：」の設定を［ラスター］に変更してください。 • 初期設定で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2：P.386「システム設定」 **Type 2** SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。

6

メッセージ	原因	対処方法と参照先
P3：メモリーエラー	メモリーの取得エラーです。	**Type 1/Type 3** 電源を入れ直してください。電源を入れなおしても同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。 **Type 2** 電源を入れ直してください。電源を入れなおしても同じメッセージが表示されるときは、SDRAM モジュールの交換が必要です。SDRAM モジュールの交換・増設については、P.17「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
P4：送信中止	プリンタードライバーから、データ送信中断コマンドを受信しました。	使用しているパソコンが正しく動作しているか確認してください。
P5：受信中止	データの受信が中断しました。	データを再送してください。

メディアプリント機能を使用中に操作部の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因	対処方法と参照先
99：ワーニング	指定したデータが破損しているか、メディアプリント機能で対応していないファイル形式のため印刷できません。	データが正しいか確認してください。メディアプリント機能で対応しているファイル形式については、P.202「外部メディアを接続して印刷する」を参照してください。

それでも印刷が開始されないときは、サービス実施店に連絡してください。

補足

- 初期設定の［エラー表示設定］を［簡易表示］に設定したときは、表示されないメッセージがあります。
- 以下のメッセージは、エラー履歴を印刷したときや、操作部のエラー履歴表示にて確認できます。
    - Type 1：「91：ジョブがキャンセルされました」「92：印刷取消しました」
    - Type 2/Type3：「91：ジョブがキャンセルされました」「92：ジョブがキャンセルされました」
- エラーの内容は、システム設定リストや印刷条件一覧に印刷されることがあります。併せて確認してください。印刷方法は、P.302「テスト印刷する」、または『エミュレーション』「プリンターの設定」「印刷条件リストを印刷する」を参照してください。

エラー履歴を確認する

エラーなどにより文書を印刷できなかったときは、エラー履歴が残り、操作部で確認できます。

重要

- エラー履歴には最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。
- 簡単画面に切り替えているときは、［エラー履歴］が選択できません。
- 電源を切ると、それまでの履歴は消去されます。

Type 1/Type 2

最も古いエラー履歴が試し印刷、機密印刷、保留印刷、または保存印刷のときは、消去されずに、同じ蓄積のエラー履歴として 30 件まで別に蓄積します。

対象機種：Type 1

1. 操作部の［ホーム］キーを押し、［プリンター］アイコンを押します。
2. エラー履歴を表示します。

［その他の機能］▶［エラー履歴］

3. 確認するエラー履歴を選択して、［詳細表示］を押します。

対象機種：Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［補助メニュー］▶［OK］
2. ［エラー履歴表示］▶［OK］
3. ［エラー履歴の種類を選択］▶［OK］

6

印刷が始まらないとき

状態	原因	対処方法と参照先
印刷が始まらない。	電源が入っていません。	電源の入れかたについては、P.100「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。
印刷が始まらない。	操作部の画面に原因が表示されます。	表示されているメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。対処方法は、P.443「メッセージが表示されたとき」を参照してください。
印刷が始まらない。	インターフェースケーブルが正しく接続されていません。	インターフェースケーブルの正しい接続については、P.33「パソコンに接続する」を参照してください。
印刷が始まらない。	適切なインターフェースケーブルを使用していません。	使用するインターフェースケーブルはパソコンの種類によって異なります。適切なインターフェースケーブルについては、P.33「パソコンに接続する」を参照してください。また、断線が考えられるときは、ほかのケーブルと交換してみてください。
印刷が始まらない。	本機の電源を入れてからインターフェースケーブルを接続しました。	インターフェースケーブルを接続してから、本機の電源を入れてください。
Type 1/Type 2 印刷が始まらない。	無線 LAN を使用しているときは、電波状態によっては印刷できません。	[システム初期設定] で無線 LAN の電波状態を確認してください。電波状態が悪いときは、電波の通る場所へ移動するか、障害物を取り除いてください。 電波状態を確認できるのは、インフラストラクチャーモードのときだけです。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.312「インターフェース設定」 Type 2：P.412「インターフェース設定」
Type 1/Type 2 印刷が始まらない。	無線 LAN を使用するときは、電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を使用する産業、科学、医療用機器が近くにあるときに、電波が干渉することがあります。	電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を使用する産業、科学、医療用機器の電源を切ってから、印刷できるか確認してください。印刷できるときは、機器を移動してください。

6

状態	原因	対処方法と参照先
Type 1/Type 2 印刷が始まらない。	無線 LAN を使用しているときは、SSID の設定が間違っています。	接続先との SSID が正しく設定されていることを、本機の操作部で確認してください。SSID の設定については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.312「インターフェース設定」 Type 2：P.412「インターフェース設定」
Type 1/Type 2 印刷が始まらない。	無線 LAN を使用しているときは、アクセスポイントによっては MAC アドレスなどで通信相手を制限していることがあります。	インフラストラクチャーモードのときは、アクセスポイントの設定を確認してください。アクセスポイントによっては MAC アドレスなどで通信相手を制限しているときがあります。 また、無線クライアントとアクセスポイント間、アクセスポイントと有線クライアント間の通信に問題がないか確認してください。
Type 1/Type 2 印刷が始まらない。	Bluetooth オプションを使用しているときは、機器の周辺に電子レンジや無線 LAN アクセスポイントがあるときに、電波が干渉している可能性があります。	電子レンジや無線 LAN アクセスポイントの電源を電源を切ってから、印刷ができるか確認してください。印刷できたときは、機器を移動してください。
Type 1/Type 2 印刷が始まらない。	Bluetooth オプションを使用しているときは、電波状態によっては印刷できません。	次のいずれかを実行してください。 • パソコンと本機の間に障害物があるときは取り除きます。 • パソコンを移動します。 • 本機を移動します。
Type 1/Type 2 印刷が始まらない。	Bluetooth オプションが正しく取り付けられていません。	Bluetooth オプションが正しく取り付けられているか確認します。 システム設定リストを出力して、Bluetooth が認識されていることを確認してください。システム設定リストの印刷方法は、P.302「テスト印刷する」を参照してください。
印刷が始まらない。	ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵が間違っています。	ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵を確認してください。 ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
印刷が始まらない。	セキュリティー強化機能で高度な暗号化が設定されています。	セキュリティー強化機能について、『セキュリティーガイド』を参照してください。
テスト印刷ができない。	本機が故障している可能性があります。	サービス実施店に確認してください。
Type 1/Type 2: 無線 LAN をアドホックモードで使用していて、印刷が始まらない。	通信モードが正しく設定されていません。	• 電源を入れ直してください。電源の入れかた、切りかたについては、P.100「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。 • 初期設定画面で［通信モード］を［802.11 アドホックモード］に、また、［セキュリティー方式選択］を［しない］に設定してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.312「インターフェース設定」 Type 2：P.412「インターフェース設定」

それでも印刷が始まらないときは、サービス実施店に確認してください。

データインランプが点灯、点滅しないとき

印刷を実行してもデータインランプが点灯、点滅しないときは、データが本機に正しく届いていません。

パソコンとケーブルで直接接続しているとき

データインランプが点灯・点滅しないときの、印刷ポートの確認方法です。

印刷ポートが正しく設定されているか確認してください。パラレル接続で使用するときは、LPT1 または LPT2 に接続してください。

1. プリンタードライバーのプロパティ画面を開きます。

プロパティ画面の開き方について詳しくは、P.105「Windows でドライバー設定画面を開く」を参照してください

2. ［ポート］タブをクリックします。

3. ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。

パソコンとネットワークで接続しているとき

ネットワークの接続については、管理者に確認してください。

思いどおりに印刷できないとき

きれいに印刷できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
全体がかすれる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.115「用紙についての注意」を参照してください。
全体がかすれる。	適切な用紙がセットされていません。	当社推奨の用紙を使用してください。目の粗い用紙や表面が加工されている用紙に印刷するとかすれて印刷されることがあります。適切な用紙については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。
全体がかすれる。	プリンタードライバーでトナーセーブをするように設定されています。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択して、「トナーセーブ：」の設定を「しない」に変更してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
一部、または全体がかすれる。	LED ヘッドが汚れています。	LED ヘッドを清掃してください。清掃方法は P.504「LED ヘッドを清掃する」を参照してください。
指でこすると画像がかすれる。（トナーが定着していない）	厚紙などを使用しているときに、用紙種類の設定が合っていないことがあります。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［用紙］から、［用紙種類：］を変更してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。本体の用紙種類の変更方法は、P.250「用紙の種類を設定する」を参照してください。
画面どおりに印刷されない。	本機側のグラフィック処理を使用して印刷されます。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択します。「ベクター／ラスター：」の設定を［ラスター］に変更してください。
意味不明の文字、または英数字が連続して印刷される。	エミュレーションが正しく選択されていないことがあります。	正しいエミュレーションを設定してください。エミュレーションの呼び出し方法は、『エミュレーション』「プリンターの設定」「エミュレーションを切り替える」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
文字がにじんで印刷される。	LED ヘッドが汚れています。	LED ヘッドを清掃してください。清掃方法は P.504「LED ヘッドを清掃する」を参照してください。
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される。	アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷していることがあります。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［基本］を選択します。用紙設定のサイズを確認して、アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙に設定してください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使用して縮小印刷してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
ページレイアウトがずれる。	プリンターによって印刷領域が異なることがあるため、ほかのプリンターで印刷すると 1 ページに入っていた文書が本機で印刷すると 1 ページに入らないことがあります。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［編集］を選択し、［印刷領域：］の設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
写真が粗く印刷される。	アプリケーションによっては、解像度を下げて印刷するものがあります。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択し、「画像設定：」を［写真（イメージデータ）］に設定、または解像度を高く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
実線が破線、もしくはかすれたように印刷される。	ディザパターンが合っていません。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択し、ディザリング設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
細線がギザギザに印刷されたり印刷されない。または、太さにばらつきが生じる。	アプリケーションで極細線が指定されています。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択し、ディザリング設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 ディザリングの設定を変更しても改善されないときは、アプリケーションで線の太さを変更してください。
縦の線が印刷される。	LED ヘッド、または中間転写ユニットが汚れています。	• LED ヘッドを清掃してください。清掃方法は P.504「LED ヘッドを清掃する」を参照してください。 • 操作部から［クリーニング］を実行し、中間転写ユニットのベルトを清掃してください。清掃しても線が消えないときは、サービス実施店に連絡してください。 Type 1：P.366「調整/管理：印刷」 Type 2/Type 3：P.376「調整/管理」
白や黒のスジが入る。	LED ヘッドが汚れています。	LED ヘッドを清掃してください。清掃方法は P.504「LED ヘッドを清掃する」を参照してください。
指定した色で印刷されない。	プリンタードライバーの設定が間違っています。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択します。「CMYK に色分解して、指定した色のみで印刷」の設定で、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックすべてをチェックします。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
カラーの原稿が白黒で印刷される。	プリンタードライバーでカラー印刷が設定されていません。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［基本］を選択し、「カラー／白黒：」の設定を変更してください。 プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
部分的に色が抜ける。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.115「用紙についての注意」を参照してください。 または、[高湿対応（画像抜け抑制）] を［する］に設定してください。両面印刷の 2 ページ目に限ってこの現象が発生するときは、[水滴対応（両面印刷時）] を［する］に設定してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.366「調整/管理：印刷」 Type 2/Type 3：P.376「品質調整」

給紙がうまくいかないとき

状態	原因	対処方法と参照先
思ったトレイとは異なるトレイから給紙される。	Windows からの印刷時は操作部で給紙トレイを選択しても、プリンタードライバーの設定が優先します。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［用紙］を選択し、「給紙トレイ：」の設定を変更してください。 プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画像が斜めに印刷される。	給紙トレイのサイドガイドが正しくセットされていません。	サイドガイドが正しくセットされているか確認してください。給紙トレイのセット方法は、P.117「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
画像が斜めに印刷される。	用紙が斜めに搬送されています。	用紙のセット方法は、P.117「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
水滴状に白抜けする、または汚れる。	用紙から発生した水蒸気が用紙に付着して画像が水滴状に白く抜けたり、トナーで汚れることがあります。	• 本機を低温にならない場所に設置してください。 • 適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.115「用紙についての注意」を参照してください。

6

状態	原因	対処方法と参照先
何度も用紙がつまる。	セットされている用紙が多すぎます。	給紙トレイのサイドガイド、または手差しトレイの用紙ガイド板の内側に表示されている上限表示の線を超えないように用紙をセットしてください。また、複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をぱらぱらとさばいてからセットしてください。
何度も用紙がつまる。	給紙トレイのサイドガイド、エンドガイドが正しくセットされていません。	サイドガイド、エンドガイドが正しくセットされているか確認してください。また、サイドガイドがロックされているかどうかも確認してください。サイドガイド、エンドガイドのセット方法は、P.117「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	給紙トレイのサイズ設定と用紙のサイズが異なっています。	• 用紙を取り除いてください。紙づまりの取り除きかたは、P.482「用紙がつまったとき」を参照してください。 • セットする用紙のサイズと、用紙サイズダイヤル、および操作部の設定を合わせてください。用紙のセット方法は、P.117「給紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.115「用紙についての注意」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙が厚すぎるか、薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に折り目やシワがあります。	当社推奨の用紙を使用してください。また、適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。適切な用紙とその保管方法は、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」、P.115「用紙についての注意」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
何度も用紙がつまる。	一度印刷した用紙を使用しています。	当社推奨の用紙を使用してください。また、本機以外で一度コピーまたは印字された用紙は再使用しないでください。適切な用紙については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に「バリ」(裁断したときにできた返し)があります。	• 定規などを使ってバリを取り除いてください。 • 用紙の表裏を逆にしてセットしてください。
何度も用紙がつまる。	用紙が密着しています。	用紙をぱらぱらとさばいてからセットしてください。または 1 枚ずつ送ってください。
紙が重なって送られる。	用紙が密着しています。	用紙をぱらぱらとさばいてからセットしてください。または 1 枚ずつ送ってください。
用紙にシワがよる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.115「用紙についての注意」を参照してください。
用紙にシワがよる。	用紙が薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。
用紙の先端が折れる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.115「用紙についての注意」を参照してください。 または、[カール低減]を[する]に設定してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1:P.366「調整/管理:印刷」 Type 2/Type 3:P.376「品質調整」
用紙の先端が折れる。	推奨以外の用紙を使用しています。	適切な用紙については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。
用紙の先端が折れる。	用紙に「バリ」(裁断したときにできた返し)があります。	• 定規などを使ってバリを取り除いてください。 • 用紙の表裏を逆にしてセットしてください。

状態	原因	対処方法と参照先
両面印刷ができない。	163g/m^2 を超える厚紙をセットしています。	印刷する用紙を変更してください。
両面印刷ができない。	使用しているトレイが「用紙設定」で両面印刷の対象外に設定されています。	使用するトレイの両面印刷の対象の設定を変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.365「用紙設定」 Type 2/Type 3：P.374「用紙設定」
両面印刷ができない。	両面印刷に対応していない用紙種類に設定されているときは、両面印刷できません。	「システム初期設定」で使用するトレイの「用紙種類設定」の設定を両面印刷に対応する用紙に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.365「用紙設定」 Type 2/Type 3：P.374「用紙設定」

その他のトラブルシューティング

状態	原因	対処方法と参照先
印刷の指示をしてから 1 枚目の印刷が始まるまで時間がかかる。	「スリープモード」になっていることがあります。	スリープモードの状態で印刷データを受信すると、ウォームアップのため印刷開始するまで時間がかかります。スリープモードに移行するまでの時間は［スリープモード移行時間設定］で変更できます。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.309「時刻タイマー設定」 Type 2/Type 3：P.386「システム設定」
印刷に時間がかかる。	写真やグラフを多用したデータなど、データの種類によってはパソコンの処理に時間がかかることがあります。	データインランプが点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのまま少しお待ちください。 プリンタードライバーで次の設定をするとパソコンの負担が軽減することがあります。 • 速度を優先させるように印刷品質の設定を変更する。 • 解像度を一番低い値に設定する。 プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
用紙の裏面に印刷された。	セットされている用紙の表と裏が逆になっています。	給紙トレイ、増設トレイに用紙をセットするときは、印刷する面を上にセットしてください。手差しトレイに用紙をセットするときは、印刷する面を下にセットしてください。
縦と横が逆に印刷される。	セットした用紙方向とプリンタードライバーのオプションセットアップで設定した用紙方向が合っていません。	給紙トレイにセットした用紙の向きと、プリンタードライバーのプロパティから［オプション構成］タブの「給紙トレイ設定」で設定した用紙方向をそろえてください。
Type 1/Type 2 1 ページの途中で排紙され、1 ページのデータが 2 ページにまたがって印刷されてしまう。	「プリンター初期設定」の［自動排紙時間］の設定が短すぎます。	初期設定で［自動排紙時間］の設定を自動排紙しないように変更、または現在の設定より長い時間に変更してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.349「システム設定（EM）」 Type 2：P.398「システム設定（EM）」
パソコンから印刷指示をしたが、印刷されない。	ユーザーコード管理を設定しています。	**PostScript3 以外のプリンタードライバーのとき** 管理者にユーザーコードを確認してください。 確認したユーザーコードをプリンタードライバーのプロパティで設定してください。 プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 **Type 1/Type 2** PostScript3 で印刷するときは［システム設定］の［優先エミュレーション/プログラム］を「PS3」に設定してください。

6

状態	原因	対処方法と参照先
接続されているオプションが認識されない。	双方向通信が働いていません。	プリンタードライバーのプロパティでオプション構成を設定してください。プリンタードライバーの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 **RP-GL/2 以外のプリンタードライバーのとき** プロパティで機器情報を自動更新すると、その他のプリンタードライバーで双方向通信に失敗し、機器情報の自動更新ができなくなることがあります。この現象は Windows XP(32-bit)に限って発生することがあります。Windows にログオンし直してから、もう一度自動更新を実施してください。
集約印刷や製本印刷、用紙指定変倍が指定どおりにできない。	アプリケーションまたはプリンタードライバーの設定が間違っています。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［基本］を選択し、「原稿方向：」と「原稿サイズ：」が、アプリケーションと同じ設定か確認してください。 異なるサイズが設定されているときは、原稿サイズと方向を選択してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
Type 1/Type 2 印刷途中で異なるエミュレーションに切り替わってしまう。	初期設定でエミュレーション検知するように設定されているときは、［インターフェース切替時間］の設定が短すぎるとデータの途中で誤ったエミュレーションに切り替わってしまいます。	初期設定で［インターフェース切替時間］を長めに設定するか、［エミュレーション検知］を「しない」に設定してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2：P.412「インターフェース設定」

状態	原因	対処方法と参照先
Type 1/Type 2 エミュレーションを使用したときに、意図した印刷結果にならない。	初期設定で［エミュレーション検知］を「する」に設定しているとき、本体に登録したプログラム、またはエミュレーションの印刷条件を使用して印刷しています。	初期設定で［エミュレーション検知］を「しない」に設定してください。設定項目については、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.340「システム設定」 Type 2：P.386「システム設定」 プログラムに設定された印刷条件については、『エミュレーション』「プリンターの設定」「プログラムを登録する」を参照してください。
Type 1/Type 2 PDF ダイレクト印刷が実行できない。PDF ファイルが印刷されない。	PDF ファイルにパスワードがかかっています。	パスワードが設定されている PDF ファイルを印刷するときは、PDF 設定メニュー、または Web Image Monitor で、PDF ファイルのパスワードを設定してください。 • PDF 設定メニューについては、使用している機種に応じて以下を参照してください。 Type 1：P.358「PDF 設定」 Type 2：P.406「PDF 設定」 • Web Image Monitor についてはヘルプを参照してください。
Type 1/Type 2 PDF ダイレクト印刷が実行できない。PDF ファイルが印刷されない。	PDF ファイルのセキュリティーの設定で、印刷が許可されていない PDF ファイルは印刷できません。	PDF ファイルのセキュリティーの設定を変更してください。
Type 1/Type 2 PDF ダイレクト印刷を実行したが、文字が正しく表示されない。	フォントが埋め込まれていません。	印刷する PDF ファイルにフォントを埋め込んでから、印刷してください。
Type 1 指定した印刷時刻を過ぎたが、印刷されていない。	「プリンター初期設定」で［主電源 Off 時の未処理文書］が［電源 On で印刷しない］に設定されているときに、指定した印刷時刻に、電源が切れていました。	「プリンター初期設定」で［主電源 Off 時の未処理文書］を［電源 On で印刷する］に設定してください。設定については、P.340「システム設定」を参照してください。
Type 1 指定した印刷時刻を過ぎたが、印刷されていない。	本機またはパソコンの時刻設定が誤っています。	本機、またはパソコンの時刻設定を正しく設定してください。

状態	原因	対処方法と参照先
Type 1/Type 2 無線 LAN や Bluetooth を使用した印刷が遅い。	送信するジョブが多すぎます。	送信するジョブを減らしてください。
Type 1/Type 2 無線 LAN や Bluetooth を使用した印刷が遅い。	• 通信障害が発生していることがあります。 • 他の無線 LAN 機器や他の Bluetooth 機器と干渉したとき、通信速度などに影響を及ぼすことがあります。 • 無線 LAN（IEEE 802.11b/g）や Bluetooth を使用するときは、電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を利用する産業、科学、医療用機器が近くにあるときに、電波が干渉することがあります。 • Bluetooth 接続のとき、送信速度はあまり速くありません。	• 他の無線 LAN 機器や Bluetooth 機器が動作していないか確認してください。 • 本機またはパソコンを移動してください。 • 電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を利用する産業、科学、医療用機器の電源を切ってから、印刷ができるか確認してください。印刷できるときは、機器を移動してください。

それでも思いどおりに印刷できないときは、サービス実施店に確認してください。

PictBridge を使った印刷がうまくいかないとき

対象機種：Type1 Type2

状態	原因	対処方法と参照先
PictBridge が使用できない。	USB ケーブルの接続やPictBridge の設定に問題があります。	以下の順番で確認してください。 1. USB ケーブルの抜き差しを行ってください。 2. PictBridge の設定が有効になっているか確認してください。 3. USB ケーブルを抜き、本機をシャットダウンにしたあとに再起動します。本機が起動したことを確認してから USB ケーブルを接続してください。
複数のデジタルカメラを接続したが、2 台目以降のデジタルカメラが認識されない。	複数のデジタルカメラを接続しています。	デジタルカメラの接続可能台数は 1 台です。複数台のデジタルカメラを接続しないでください。
印刷ができない。	1 回で印刷できる枚数を超えています。	1 回で印刷指定できる画像枚数は 999 枚までです。指定枚数を減らしてから印刷してください。
印刷ができない。	指定したサイズの用紙がありません。	本機の用紙を確認してください。用紙切れのときは用紙の補給を、指定サイズ以外の用紙に印刷するときは強制印刷を、印刷を中止するときはジョブリセットを、それぞれ本機で行ってください。
印刷ができない。	本機で印刷できないサイズの用紙を用紙トレイで指定しています。	印刷可能なサイズの用紙を指定してください。

用紙がつまったとき

紙づまりが発生したときは、操作パネルにつぎのメッセージが表示されます。紙づまりの位置を確認し、用紙を取り除いてください。

Type 1

「用紙づまり 手順を表示する個所を選択してください」。

Type 2/Type 3

「（A、B、C、Z）前カバーを開けて用紙を取り除いてください。」

「（Y1～Y3）白黒反転部を開け用紙を取り除いてください。」

（紙づまりの位置をしめす記号は、いずれか、または複数が表示されます）

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

重要

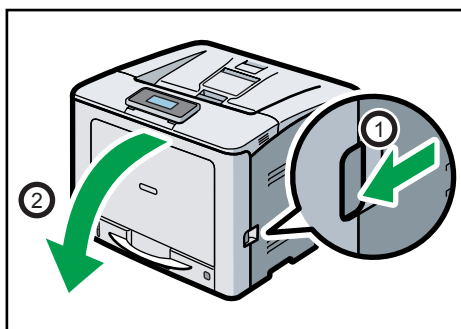
- **用紙を取り除くときは電源を切らないでください。電源を切ると設定した機能や数値が取り消されます。**
- **用紙は破れないように確実に取り除いてください。本体内部に紙片が残ると、再び用紙がつまったり、故障の原因になります。**
- **何度も用紙がつまるときは、以下の原因が考えられます。**
    - **給紙トレイまたは増設トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドの位置がずれている。詳しくは、P.111「用紙をセットする」を参照してください。**
    - **フリクションパッドが汚れている。詳しくは、P.500「給紙トレイ、フリクションパッド、給紙コロを清掃する」を参照してください。**
    - **上記の内容を確認した上でも用紙がつまるときはサービス実施店に連絡してください。**

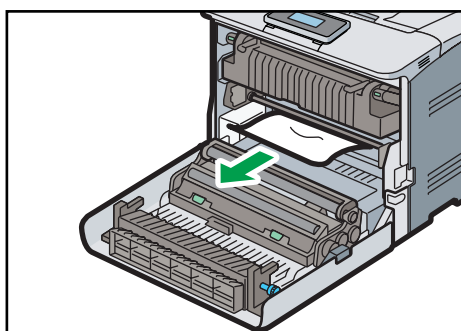
補足

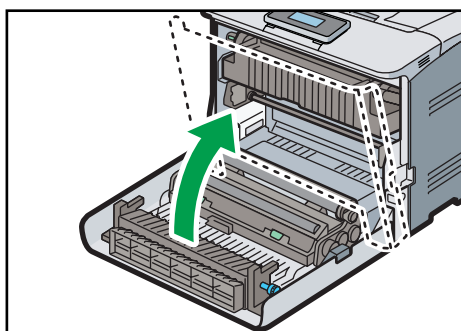
- 使用している機種が Type 1 のときは、画面の右側に取り除きかたの詳細手順が表示されます。また、［状態確認］画面からも用紙の取り除き手順を確認できます。説明にしたがって対処してください。

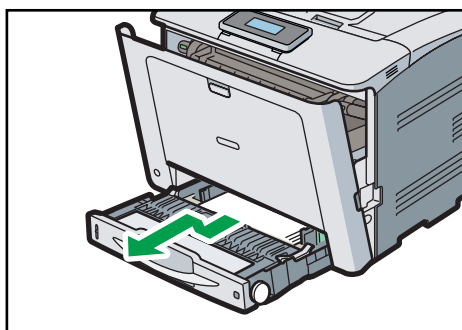
紙づまり（A）が発生したとき

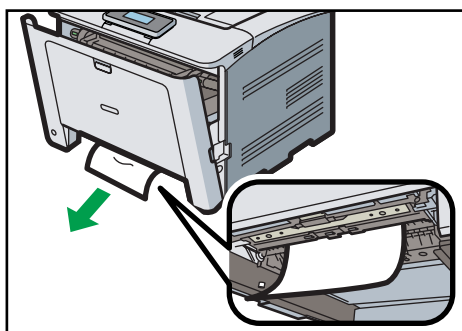
給紙トレイ

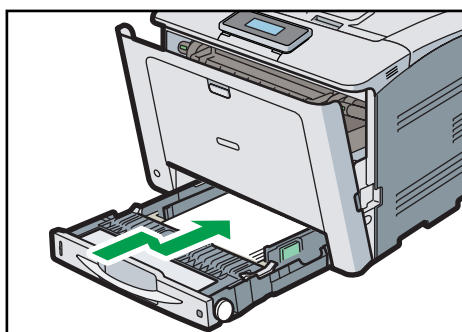
1. 前カバー開閉レバーを手前に引き、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

CSJ128

2. つまった用紙をゆっくりと上向きに引き抜きます。

CSJ129

3. 前カバーを開けたときに、つまっている用紙が見つからない場合は、前カバーを下図で示す位置まで閉めます。

CSJ130

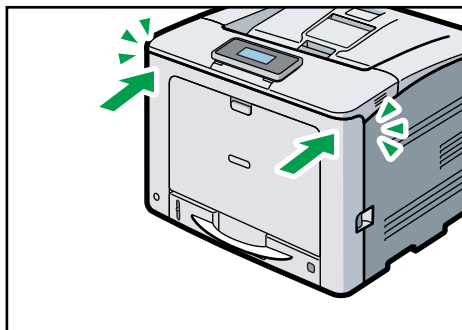
4. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。

CSJ131

5. つまった用紙をゆっくりと下向きに引き抜きます。

CSJ132

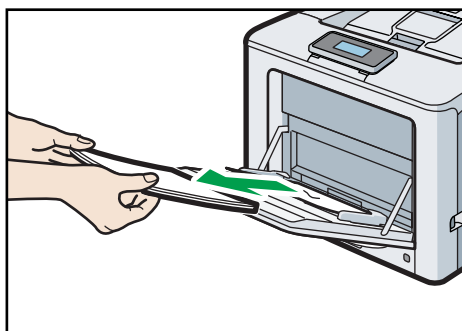
6. 給紙トレイの前面を持ち上げて水平に差し込み、レールに沿ってゆっくりと押し込みます。

CSJ133

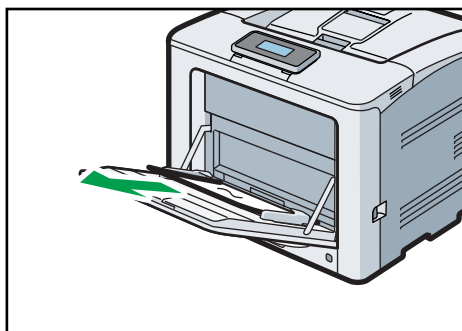
7. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

CSJ134

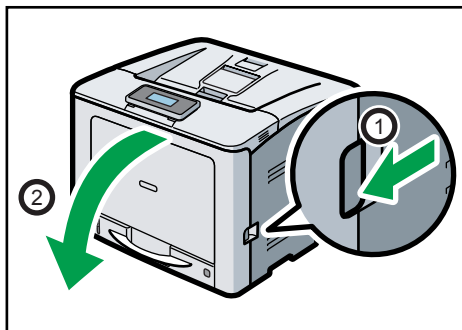
補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

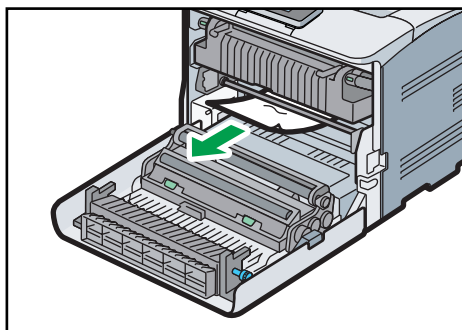
手差しトレイ

1. 手差しトレイにセットされている用紙を取り出します。

CSJ135

2. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

CSJ136

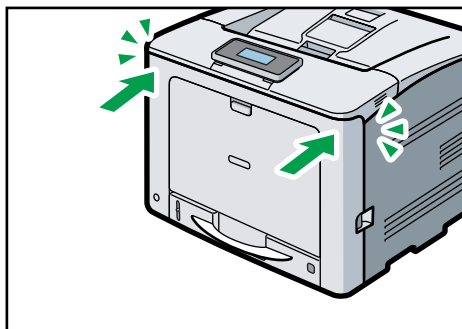
3. 手差しトレイを閉めます。

4. 前カバー開閉レバーを手前に引き、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

CSJ128

5. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

CSJ138

6. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

CSJ134

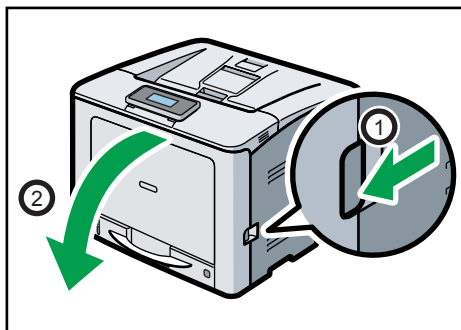
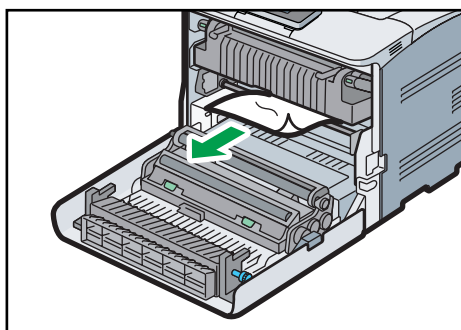
補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

紙づまり（B）が発生したとき

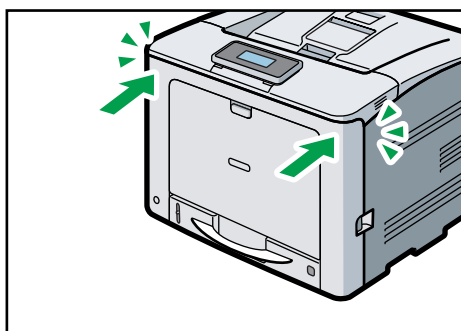
1. 前カバー開閉レバーを手前に引き、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

CSJ128

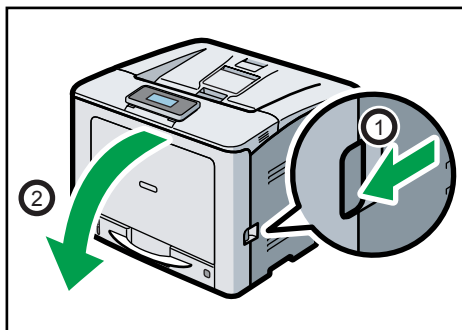
2. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

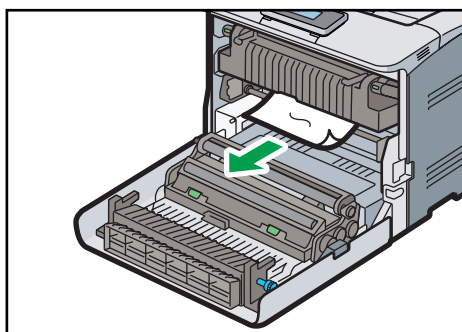
CSJ139

3. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

CSJ134

補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

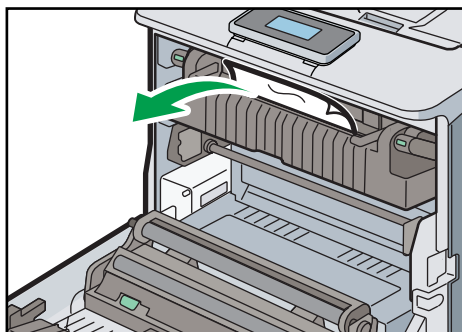
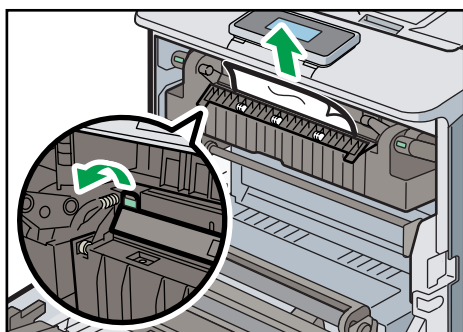
紙づまり（C）が発生したとき

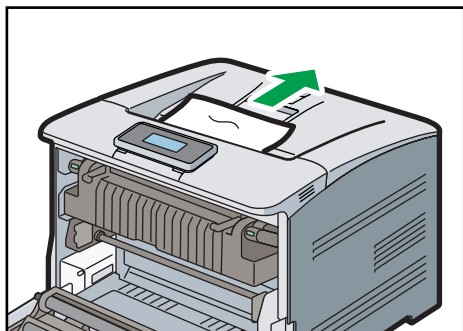
1. 前カバー開閉レバーを手前に引き、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

CSJ128

2. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

CSJ141

3. 定着ユニットの上側につまっているときは、つまった用紙をゆっくりと上方に引き抜きます。

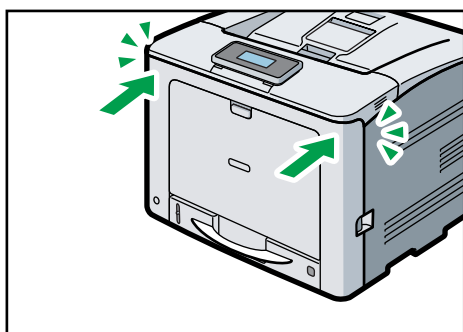
CSJ142

6

4. つまった用紙が見えにくい時は、定着ユニット上側の両端にあるつまみを下げてガイドを開き、つまった用紙がないか確認してください。

CSH015

5. 排紙トレイで紙づまりが発生しているときは、前カバーを開けたまま、用紙を排紙方向にゆっくりと引き抜いてください。

CSJ143

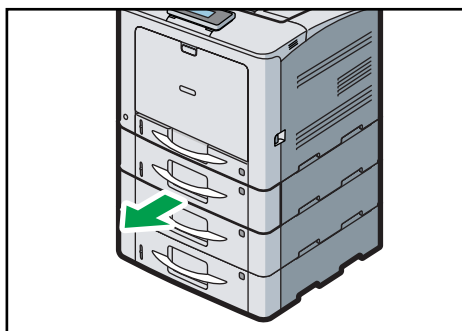
6. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

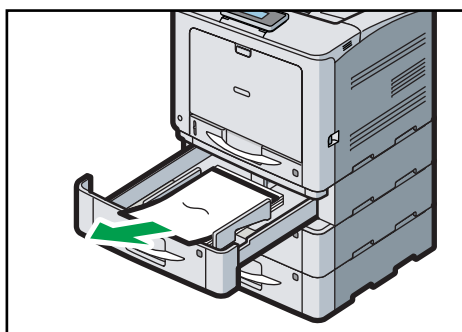
CSJ134

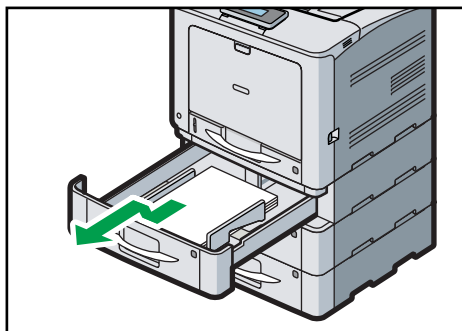
補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

紙づまり（Y）が発生したとき

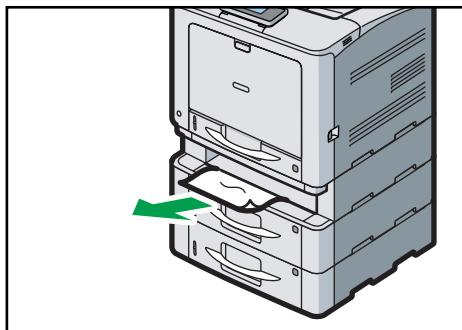
ここでは、トレイ 2 で紙づまりが発生したときの手順について説明します。トレイ 3、4 も対処方法は同じです。

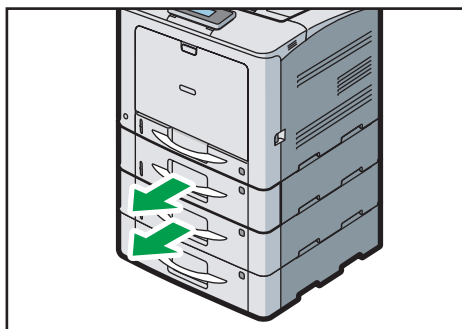
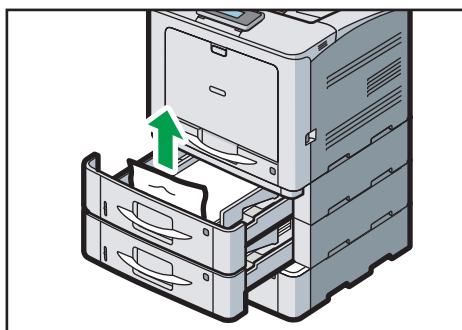
1. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出します。

CSJ144

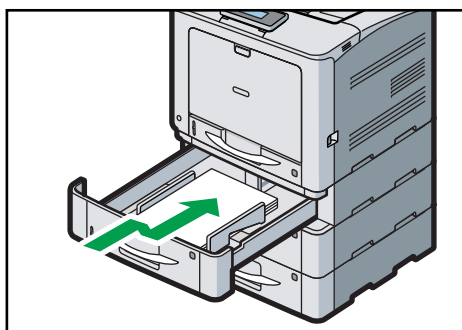
2. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

CSJ145

3. つまっている用紙が見つからないときは、増設トレイの前面を持ち上げて引き抜きます。

CSJ146

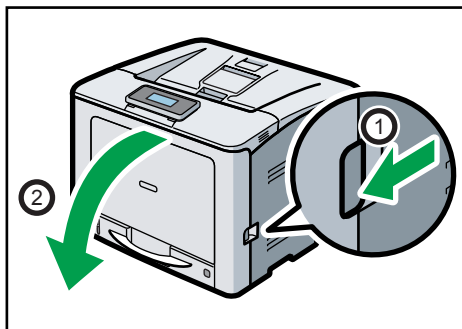
6

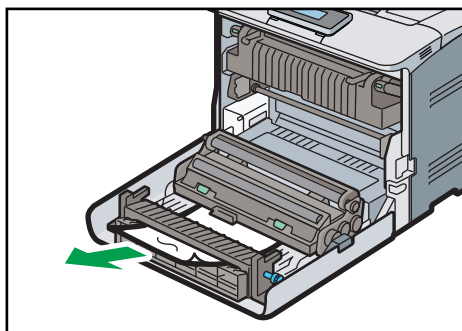
4. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

CSJ147

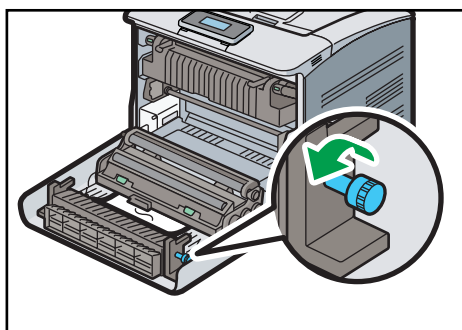
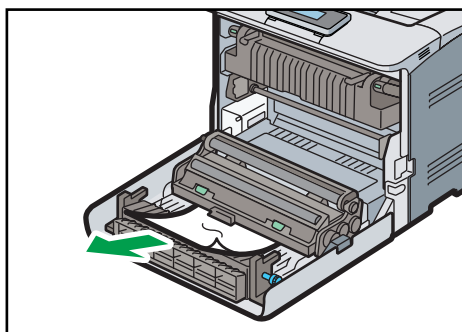
5. 複数の増設トレイで紙づまりが発生しているときは、対象のトレイをすべて引き抜いたあと、用紙を取り除きます。

CSJ256

CSJ265

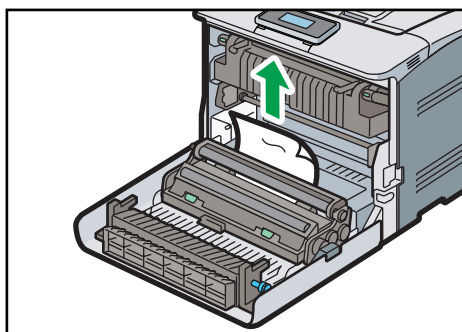
6. 増設トレイを両手で水平に差し込み、レールに沿ってゆっくりと押し込みます。

CSJ269

紙づまり（Z）が発生したとき

1. 前カバー開閉レバーを手前に引き、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

CSJ128

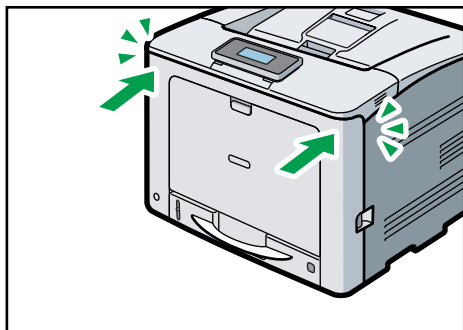
2. 搬送ユニットの下につまっている用紙をゆっくりと両手で前方へ引き抜きます。

CSJ148

3. 用紙を取り除けないときは、搬送ユニットの右側にあるノブを手前に回し、用紙を引き出してください。

CSJ149

CSJ150

4. 搬送ユニットの上側につまっているときは、上方に引き抜きます。

CSJ140

5. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

CSJ134

補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

7. 保守/仕様

消耗品交換時の注意事項や本機の清掃方法を説明しています。また、本機やオプションの仕様について説明しています。

守ってほしいこと

本機を使用するときに、守ってほしい項目です。

使用上のお願い

⚠警告

- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

⚠注意

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要

- 通風孔などでは排気により温かいと感じることがありますが、異常ではありません。
- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じたときは、2 時間以上放置して環境になじませてから使用してください。
- 動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。
- 動作中に各部のカバーや給紙トレイを開けないでください。用紙がつまることがあります。

- **電源が入った状態で本機を動かしたり、傾けたりしないでください。また、振動を与えないでください。**
- **動作中に本体の上で紙をそろえるなど外的ショックを与えないでください。**

換気について

換気の悪い部屋や狭い部屋で長時間使用したり大量の印刷を行うと、本機から臭気が出ることがあります。また、出力した用紙に臭気が残ることがあります。

臭いが気になるときは、快適な作業環境を保つために、定期的に換気をしてください。

- 排気風が直接人に当たらない場所に機械を設置してください。
- 換気量 1 人あたり 30m^3 以上/時間の換気をしてください。

オゾン臭が感じられることがありますが、通常の使用方法ではオゾン濃度が許容値(日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告):0.1ppm、0.2mg/m^3 を上回ることはありません。

新品時の臭いについて

新品時には、特有の臭いがすることがあります。この臭いは一週間程度で収まります。臭いが気になるときは、部屋の換気や通風を十分に行ってください。

印刷物の取り扱い

- 印刷物は、長時間水や光にさらされると色あせることがあります。長時間保存するときは、バインダーなどで水や光から保護することをお勧めします。
- 印刷物と生乾きの印刷物を重ね合わせると、トナーが溶けることがあります。
- 印刷物をはるとき、溶剤系の接着剤を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 印刷物を折り曲げると、折った部分のトナーがはがれることがあります。
- 塩化ビニール製のマットに印刷物を挟んだまま、温度の高いところに長時間放置すると、トナーが溶けることがあります。
- 暖房器具の近くなど、極度に温度が高くなるところに印刷物を放置すると、トナーが溶けることがあります。

ハードディスクのデータのバックアップを取る

対象機種:Type1 Type2

ハードディスクには、お客様が蓄積した画像やアドレス帳などのデータが格納されます。

Ridoc IO Analyzer、または Web Image Monitor でアドレス帳のバックアップを取れます。Ridoc IO Analyzer については、Ridoc IO Analyzer の取扱説明書を参照してください。Web Image Monitor の操作方法は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

重要

- 万一、本機のハードディスクに不具合が発生すると、蓄積した画像やアドレス帳のデータが消失することがあります。ハードディスクに重要なデータを保存するときは、バックアップまたはダウンロードすることをお勧めします。また、フォントやフォームなどのリソースデータをハードディスクにダウンロードできますが、ハードディスクの故障に備え、ダウンロードしたデータはお客様自身で保管しておく必要があります。お客様のデータの消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

本機を移動させる

設置、移動するときの注意事項を説明します。

⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠注意

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- プリンター本体は約 40kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を 2 人で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

⚠注意

- 機械を移動するときは、操作部を持たないでください。故障の原因になったり、操作部が破損して、けがをすることがあります。

重要

- 本製品は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。
- 安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- 次のことに注意し、移動してください。
    - 主電源スイッチを切ってください。P.100「電源の切りかた」を参照してください。

- 前カバーや手差しトレイなどを閉めてください。
- 増設トレイなどを取り付けているときは、すべて取り外して、本機とは別々に移動してください。
- 本機は、水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。
- 水平を保ち、静かに動かしてください。振動させたり、大きく傾けたりしないでください。故障の原因になったり、ハードディスクやメモリーが破損し、蓄積された文書が消失することがあります。

- @Remote を利用しているときは、イーサネットケーブルを抜いてから移動してください。@Remote のアダプターは本機に接続できる位置に移動し、接続されていた端子にコードを正しく接続し、アダプターの電源プラグをコンセントに接続してください。

1. 移動する前に以下の点を確認します。

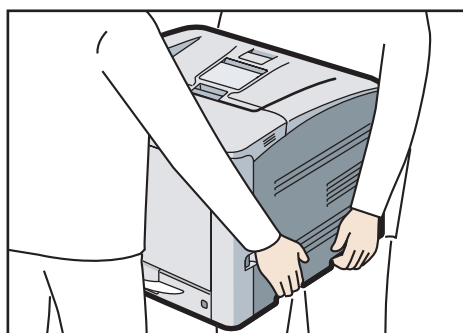
- 本機の電源を切ってください。
- 電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機からインターフェースケーブルを取り外してください。

2. 増設トレイを取り付けているときは、すべて取り外します。

増設トレイを取り外す方法は、P.15「増設トレイを取り付ける」を参照し、逆の手順で行ってください。

サービス実施店が取り付けたオプションや転倒防止部材の取り外しについては、サービス実施店に連絡してください。

3. 本体の各カバー、手差しトレイがきちんとしまっていることを確認します。

4. 両側についている運搬用の取っ手を 2 人で持ち、本機を水平に保って、静かに移動します。

移動するときは、トナーがこぼれないようにできるだけ水平を保ってください。

机上の本体を移動するときは、引きずらないで必ず持ち上げて移動してください。

5. 取り外した外部オプションを取り付けます。

7

本機を清掃する

本機の清掃のしかたを説明します。

清掃のしかた

⚠注意

- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

重要

- **クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。すきまからしみこんだり、本体のプラスチックが溶けたりして、故障の原因になります。**
- **機械内部など、本書で説明している部分以外の清掃はカスタマーエンジニアに依頼してください。**

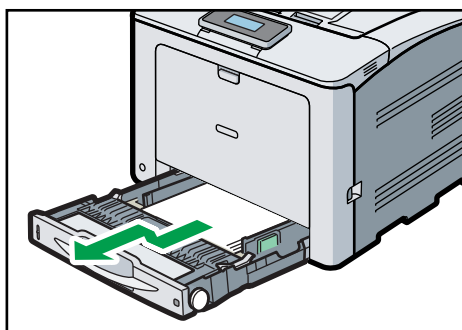
やわらかい布でから拭きします。から拭きで汚れが取れないときは、水でぬらして固く絞った布で拭きます。また、水でも取れない汚れは中性洗剤を使用して拭きます。水拭き後、から拭きをして水気を十分に取ります。

給紙トレイ、フリクションパッド、給紙コロを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出て給紙トレイやフリクションパッドなどが汚れると、用紙が多重送りされたり、つまったりする原因になります。

給紙トレイとフリクションパッドの清掃方法はどのトレイでも一緒です。本体トレイを例に説明します。

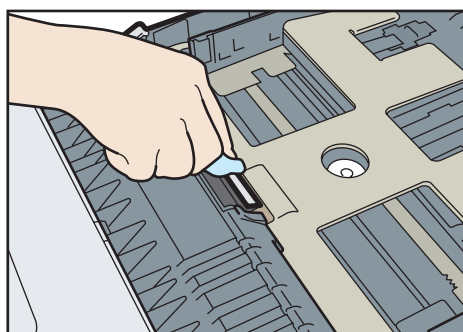
1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

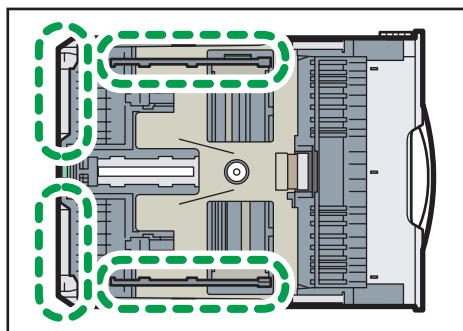
2. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。

CSJ309

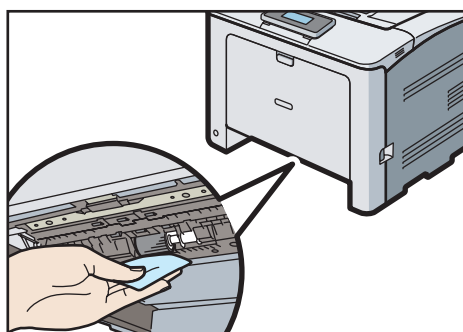
平らな場所に給紙トレイを置いて、セットしている用紙を取り出してください。

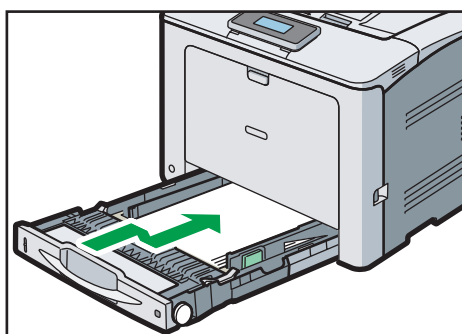
3. 水でぬらし固く絞った布、または乾いた布で以下の箇所を拭きます。

- フリクションパッド

  フリクションパッドの清掃には乾いた布を使用してください。

CSJ257

- 給紙トレイ

CSJ259

- 給紙コロ

CSJ258

4. 前面を持ち上げるようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

CSJ310

用紙をセットした給紙トレイを本体にセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

レジストローラーを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときや紙づまりの処理のあとなどは、レジストローラーの周辺が汚れることがあります。紙粉や汚れによって印刷結果に部分的な白ヌケが起きるときは、レジストローラーを清掃してください。

⚠注意

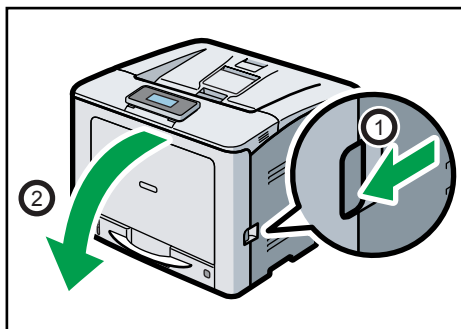
- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

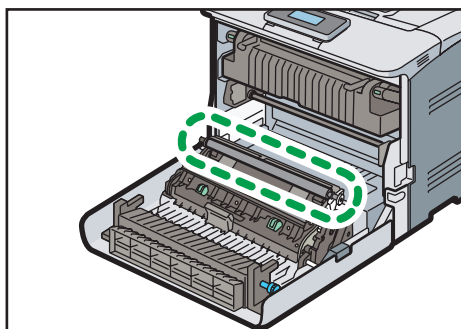
⚠注意

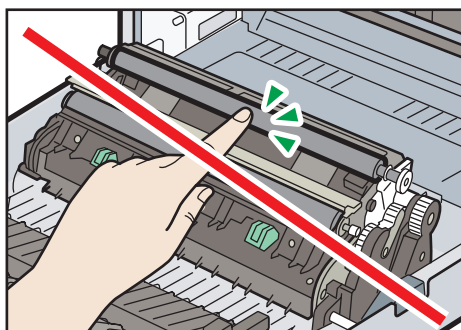
- レジストローラーの清掃は、プリンターの電源が切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

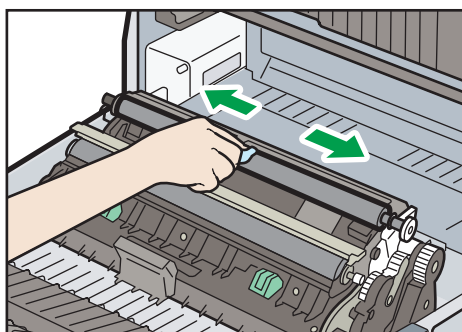
重要

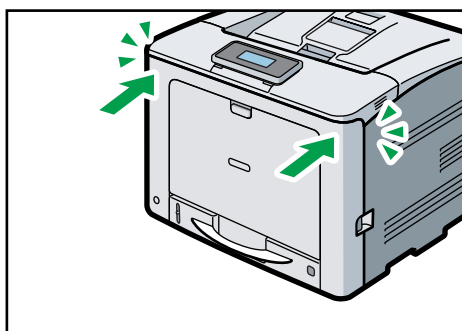
- アルコールや洗浄剤などは使わないでください。

1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 前カバー開閉レバーを手前に引き、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

CSJ128

レジストローラーは以下の位置にセットされています。

CSJ260

レジストローラーに触れないでください。

CSJ261

3. 水でぬらし、固く絞った布でレジストローラーを回しながら、左右に動かして拭きます。

CSJ262

4. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

CSJ134

5. 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

LED ヘッドを清掃する

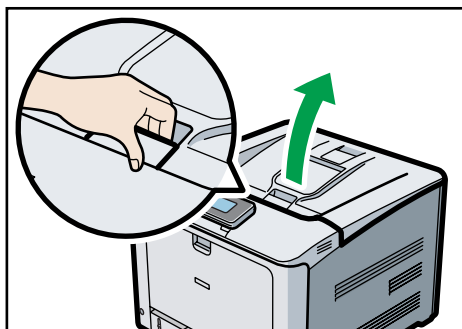
印刷したときにかすれたり、白いスジが入ったり、文字がにじんだりするときは、LED レンズクリーナーで LED ヘッドを清掃してください。LED レンズクリーナーは本体、ドラムユニットに同梱されています。

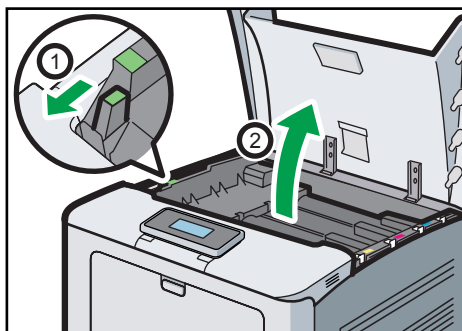
⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

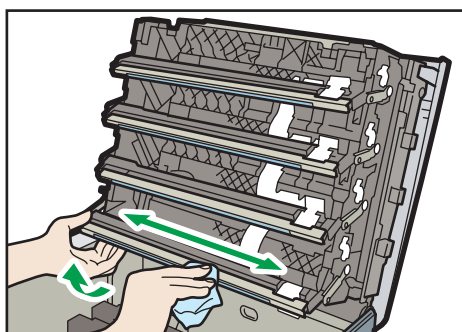
⚠注意

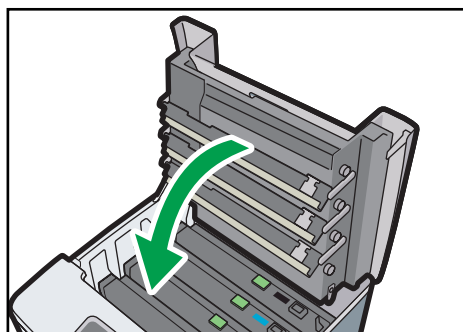
- LED ヘッドの清掃は、プリンターの電源が切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 上カバー開閉レバーを上に引いて、上カバーをゆっくりと開けます。

CSJ266

3. 中カバー開閉レバーを手前に引いて、中カバーをゆっくりと開けます。

CSJ267

4. LEDヘッドのレンズ面をLEDレンズクリーナーで軽く拭きます。

LEDヘッドは4箇所あります。レンズ面に指が触れないように注意してください。

CSJ263

5. 中カバーと上カバーを両手でゆっくりと閉じます。

CSJ268

6. 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

電源プラグの清掃

⚠警告

- 電源プラグは年１回以上コンセントから抜いて、点検してください。
    - 電源プラグに焦げ跡がある
    - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源コードは年１回以上コンセントから抜いて、点検してください。
    - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
    - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
    - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
    - 電源コードの一部が熱くなる
    - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

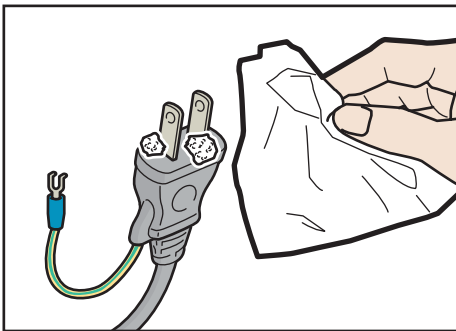
⚠注意

- 電源プラグは年に１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

重要

- **電源プラグを抜くときは、本機の電源を切ってください。P.100「電源の切りかた」を参照してください。**

お手入れの方法

乾いた布で、ほこりを取り除きます。

CJX002

補足

- お手入れをするときは、電源コードが本体に接続されていることを確認してください。

消耗品の補給と交換

消耗品は早めにお求めいただくことをお勧めします。消耗品をお買い求めの際は、P.516「消耗品一覧」を参照してください。

トナーを補給する

トナーを補給するときに注意してほしいこと、使用済みトナーの廃棄のしかたを説明します。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠警告

- こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭きとってください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだときは、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

7

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入ったときは、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだときは、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

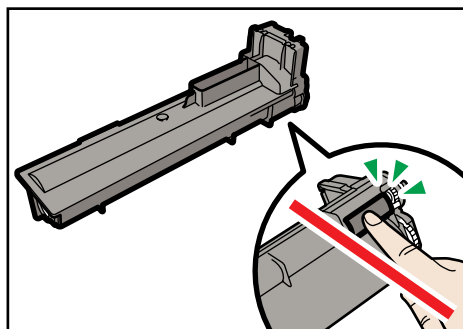
- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散ると、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

重要

- 操作部にトナーの交換を促すメッセージが表示されてから、トナーカートリッジを交換してください。
- 本機に対応していないトナーカートリッジを使用すると、故障の原因になります。
- 電源を入れたままトナーを補給します。電源を切ると設定した内容が取り消され、印刷を再開できません。
- トナーカートリッジは、高温多湿、および直射日光をさけて35℃以下の環境を目安に保管してください。
- トナーカートリッジは平らなところに置いてください。
- トナーカートリッジを取り外したあと、トナーカートリッジの口を下に向けたまま振らないでください。残ったトナーが飛散することがあります。

- トナーカートリッジを何度も抜き差ししないでください。トナーが漏れることがあります。
- トナーカートリッジ底面のシャッター部に触れないでください。

CSJ264

トナーがなくなったときには、操作部に次のメッセージが表示されます。トナーを補給するときは、新しいトナーカートリッジの外装箱に記載されている交換手順を参照してください。使用している機種が Type 1 のときは、操作部で交換手順が確認できます。

Type 1

「トナーがなくなりました。トナーを補給してください。」

「カラートナーがなくなりました。設定されている紙種に白黒印刷するにはカラートナーが必要です。トナーを交換するか［印刷取消］を押して印刷を中止してください。」

Type 2/Type 3

「トナーがなくなりました。」

次のメッセージが表示されたときは、もうすぐトナーがなくなります。交換用のトナーカートリッジを用意してください。

Type 1

「トナーがもうすぐなくなります。トナーを補給してください。」

Type 2/Type3

「トナー残りわずか」

補足

- トナー残量が多いにもかかわらずが表示されるときは、トナーカートリッジの口を上に向けてよく振ってから、再セットしてください。
- Type 1 では、「トナー補給」の画面で、交換に必要なトナー名称と交換手順が確認できます。

使用済みトナーを廃棄する

トナーの再利用はできません。

使用済みトナーカートリッジを廃棄するときは、トナー粉が飛び散らないように箱または袋に入れて保管してください。

保管したトナーカートリッジは、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収･リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理されるときは、一般のプラスチック廃棄物あるいは回収システムにより処理してください。

ドラムユニットを交換する

消耗品を交換するときは、新しい消耗品に同梱されている交換手順書をよくお読みのうえ、行ってください。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠警告

- こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭きとってください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだときは、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入ったときは、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだときは、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散ると、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

重要

- **ドラムユニットは長時間光に当てると性能が低下します。交換は速やかに行ってください。**
- **ドラムユニットの下部表面に触れたり、傷つけたりしないよう注意してください。**
- **ドラムユニットを取り外した状態で、本機を放置しないでください。**

操作部に次のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットを交換してください。

「ブラックドラムユニットの交換時期です。ブラックドラムユニットを交換してください。」

「カラードラムユニットの交換時期です。カラードラムユニットを交換してください。」

次のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。新しいドラムユニットを用意してください。

Type 1

「もうすぐブラックドラムユニットの交換時期です。新しいブラックドラムユニットが必要です。お手数ですが購入窓口にご連絡ください。」

「もうすぐカラードラムユニットの交換時期です。新しいカラードラムユニットが必要です。お手数ですが購入窓口にご連絡ください。」

Type 2/Type3

「ブラックドラムユニットもうすぐ交換」

「カラードラムユニットもうすぐ交換」

廃トナーボトルを交換する

消耗品を交換するときは、新しい消耗品に同梱されている交換手順書をよくお読みのうえ、行ってください。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む)、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠警告

- こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭きとってください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む)、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだときは、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入ったときは、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだときは、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散ると、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

重要

- 廃トナーボトルの再利用はできません。
- 廃トナーボトルは消耗品ですので、常に予備のボトルを購入しておかれることをお勧めします。
- 取り出した廃トナーボトルで床などを汚さないように紙などを敷いて作業してください。

操作部に次のメッセージが表示されたときは、廃トナーボトルを交換してください。

Type 1

「廃トナーボトルが満杯です。廃トナーボトルを交換してください。」

Type 2/Type3

「廃トナーボトル満杯」

次のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。新しい廃トナーボトルを用意してください。

Type 1

「廃トナーボトルがもうすぐ満杯です。新しい廃トナーボトルが必要です。お手数ですが購入窓口にご連絡ください。」

Type 2/Type3

「廃トナーボトルもうすぐ満杯」

中間転写ユニットを交換する

中間転写ユニットの交換は、サービス実施店に依頼してください。

操作部に次のメッセージが表示されたときは、新しい中間転写ユニットに交換してください。

Type 1

「転写ユニットの交換時期です。お手数ですがサービスにご連絡ください。」

Type 2/Type3

「中間転写ユニットの交換時期です。サービスにご連絡ください。」

定着ユニットを交換する

定着ユニットの交換は、サービス実施店に依頼してください。

操作部に次のメッセージが表示されたときは、新しい定着ユニットに交換してください。

Type 1

「定着ユニットの交換時期です。お手数ですがサービスにご連絡ください。」

Type 2/Type3

「定着ユニットの交換時期です。サービスにご連絡ください。」

消耗品一覧

トナー

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数
IPSiO SP トナー ブラック C730 IPSiO SP トナー ブラック C730H*	600532 600528	1 個	約 3,000 ページ 約 9,000 ページ
IPSiO SP トナー イエロー C730 IPSiO SP トナー イエロー C730H*	600535 600531	1 個	約 2,500 ページ 約 8,000 ページ
IPSiO SP トナー マゼンタ C730 IPSiO SP トナー マゼンタ C730H*	600534 600530	1 個	約 2,500 ページ 約 8,000 ページ
IPSiO SP トナー シアン C730 IPSiO SP トナー シアン C730H*	600533 600529	1 個	約 2,500 ページ 約 8,000 ページ

補足

- 「印刷可能ページ数」は、A4 サイズで、「ISO/IEC19798」に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値のときです。「ISO/IEC19798」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。交換時期を過ぎると印刷ができなくなります。早めにご購入いただくか、買い置きすることをお勧めします。
- トナー（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があったときは購入された販売店までご連絡ください。
- 本機をはじめてご使用になるときは、本機に同梱されているトナーカートリッジをお使いください。
- Type 1/Type 2 に同梱されているトナーの印刷可能ページ数は、ブラックが約 3,000 ページ、イエロー、マゼンタ、シアンが約 2,500 ページです。
- Type 3 に同梱されているトナーの印刷可能ページ数は、ブラックが約 2,200 ページ、イエロー、マゼンタ、シアンが約 2,000 ページです。

ドラムユニット

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数
IPSiO SP ドラムユニット ブラック C730	306587	1 個	約 38,000 ページ
IPSiO SP ドラムユニット カラー C730	306588	1 個	約 38,000 ページ

補足

- 「印刷可能ページ数」は、A4 ▭5% チャート連続印刷をした場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。
- ドラムユニット（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

廃トナーボトル

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数
IPSiO SP 廃トナーボトル C730	306593	1 個	約 17,000 ページ

補足

- 「印刷可能ページ数」は、A4▭各色 5%原稿を、カラー率 50%で 1 ジョブあたり 3 ページ印刷したときの目安です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。
- 交換時期を過ぎると印刷ができなくなります。早めにご購入いただくか、買い置きすることをお勧めします。
- 廃トナーボトル（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があったときは購入された販売店までご連絡ください。

関連商品一覧

外部オプション

IPSiO 300 枚増設トレイ C730（商品コード：306569）

300 枚の用紙をセットできる増設用の給紙トレイユニットです。標準装備の給紙トレイ（300 枚）、手差しトレイ（120 枚）と合わせると、1,320 枚の用紙を同時にセットできます。

IPSiO 550 枚増設トレイ C730（商品コード：306570）

550 枚の用紙をセットできる増設用の給紙トレイユニットです。標準装備の給紙トレイ（300 枚）、手差しトレイ（120 枚）と合わせると、最大 2,070 枚の用紙を同時にセットできます。

SDRAM モジュール

SDRAM モジュールを増設することによって、大きなサイズの用紙に高解像度で印刷できるようになります。

IPSiO SDRAM モジュール II 1GB（商品コード：306579）

メモリー容量は 1G バイトです。

IPSiO SDRAM モジュール I 1.5GB（商品コード：306580）

メモリー容量は 1.5G バイトです。

拡張 HDD

IPSiO 拡張 HDD タイプ U（商品コード：306578）

フォントやフォームの登録、ソート出力、試し印刷、機密印刷などの応用的な機能を利用できます。

拡張 SD カード

IPSiO マルチエミュレーションカード タイプ C730（商品コード：306573）

RTIFF、R98、R55、R16、RP-GL/2、RPDL が含まれたマルチエミュレーションカードです。

IPSiO PS3 カード タイプ C730（商品コード：306574）

本機を日本語ポストスクリプトレベル 3 プリンターとして使用できるようにします。Windows 環境以外にも Mac OS、UNIX から印刷できるようにします。

IPSiO PDF ダイレクトプリントカードの機能が含まれています。

IPSiO PCL カード タイプ C730（商品コード：306575）

PCL が含まれたエミュレーションカードです。

IPSiO PDF ダイレクトプリントカード タイプ C730（商品コード：306576）

PDF ダイレクトプリントが可能になります。

IPSiO デジタルカメラ接続カード タイプ I（商品コード：306577）

PictBridge 対応デジタルカメラからのダイレクトプリントが可能になります。

IPSiO VM カード タイプ I（商品コード：306597）

本機を Embedded Software Architecture 対応プリンターにできます。

IPSiO Web アクセスカード タイプ A（商品コード：306582）

本機からインターネットにアクセスできるようにします。

拡張ボード

IPSiO 拡張無線 LAN ボードタイプ C（商品コード：306581）

IEEE 802.11a/b/g/n インターフェース搭載のパソコンあるいはアクセスポイントと接続して、印刷できます。

IPSiO BT ワイヤレスインターフェース タイプ B（商品コード：306530）

Bluetooth インターフェースを拡張します。Bluetooth V2.0+EDR 規格の SPP、HCRP、BIP に対応しています。BIP で接続するには、本機に PostScript 3 を含む拡張 SD カードが装着されている必要があります。

拡張 1284 ボードタイプ A（商品コード：509397）

パラレル接続を拡張するボードです。

IPSiO 拡張 USB プリントサーバー タイプ A（商品コード：308823）

複数のネットワーク環境で 1 台のプリンターを共有して印刷できます。

拡張認証システム

リコー個人認証 IC カード R/W タイプ R1（商品コード：315927）

本体機器に IC カード R/W を接続して使用するためのパッケージです。

リコー個人認証 IC カード R/W タイプ R1 PC（商品コード：315928）

パソコンに IC カード R/W を接続して使用するためのパッケージです。

リコー IC カードタイプ R1（商品コード：315929）

リコー個人認証システムを運用するときに必要となる IC カードタイプの認証カードです。

リコー IC カード管理ソフトタイプ R1（商品コード：315931）

リコー個人認証システムを運用するときに必要となる認証カードを発行するためのパッケージです。

リコー個人認証カードタイプ R1 12（商品コード：315553）

リコー個人認証システムを運用する時に必要となる、本体機器に装着する SD カードです。

インターフェースケーブル

USB2.0 プリンターケーブル（商品コード：509600）

USB プリンターケーブル 2.5m

IEEE1284 変換コネクタタイプ A （商品コード：509432）

パラレルインターフェースの形状を変換するコネクタです。LP インターフェースケーブルタイプ 1B/4B/4S の接続に必須です。

インターフェースケーブルタイプ 4BH （商品コード：515454）

NEC PC98NX シリーズ、各社 DOS/V 機双方向通信対応 2.5m

リコー USB2.0 ケーブルタイプミニ B （商品コード：315134）

本体とリコー個人認証 IC カード R/W を接続するための USB ケーブルです。このケーブルは、本体とパソコンを接続するための USB ケーブルではありませんので、ご注意ください。

本体とオプションの仕様

補足

- オープンソースを含むその他のソフトウェアについて、各著作者の許諾を得て利用しています。著作者から要求されている記載事項は、付属の CD-ROM に収録されている「OSS.pdf」のファイルを参照してください。

本体の仕様

	Type 1	Type 2	Type 3
商品名	IPSiO SP C731	IPSiO SP C730	IPSiO SP C730L
方式	LED アレイ＋乾式一成分電子写真方式		
連続プリント速度（A4▭）	32 ページ/分		28 ページ/分
ファーストプリント（A4▭）*1	フルカラー：9.8 秒 白黒：7.5 秒		
解像度	300×300 dpi （PCL、RTIFF エミュレーション使用時） 1,200×1,200 dpi 600×2,400 dpi 相当 600×1,200 dpi 相当 600×600 dpi		1,200×1,200 dpi 600×2,400 dpi 相当 600×1,200 dpi 相当 600×600 dpi
変倍率	25～400%（RPCS プリンタードライバー使用時）		
用紙サイズ	詳しくは、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。		
用紙種類	詳しくは、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。		
用紙厚	詳しくは、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。		
給紙量	**標準** 本体給紙トレイ：300 枚 手差しトレイ：120 枚 **最大** 2,070 枚（本体給紙トレイ＋手差しトレイ＋ 550 枚増設トレイ 3 段増設時）		
排紙量	250 枚		
排紙方法	裏面排紙		
両面印刷	標準		

	Type 1	Type 2	Type 3
製品寿命	60 万ページまたは 5 年のいずれか早い方		
電源	100V、12.5A、50/60Hz		
消費電力	最大：1,250W		
ウォームアップタイム	20 秒以内	21 秒以内	25 秒以内
寸法（幅×奥行き×高さ）*2	481× 515×376mm *3	本体のみ： 481× 515×372mm *4 拡張 HDD 装着時：481 × 524×372mm *4	481× 515×372mm *4
質量	約 40kg		
騒音*5	待機時：17.0dB（A） 稼動時：51.0dB（A）		待機時：17.0dB（A） 稼動時：50.0dB（A）
CPU	PMC-SIERRA RM7035C-533L 533 MHz		PMC-SIERRA RM5231A-400L 400 MHz
メモリー	1.5GB	標準：512MB 最大：1.5GB	512MB
HDD	160 GB	オプション：160 GB	無し
出力形式	**標準** RPCS、PDF **オプション** Adobe PostScript 3、RPDL、PCL6（PCL XL/PCL 5c）、R16、R55（IBM5577）、R98、RTIFF、RP-GL/GL2、PictBridge	**標準** RPCS **オプション** Adobe PostScript 3、PDF 、RPDL、PCL6（PCL XL/PCL 5c）、R16、R55（IBM5577）、R98、RTIFF、RP-GL/GL2、PictBridge	RPCS
インターフェース	**標準** ギガビットイーサネット（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T） USB2.0（A タイプ、B タイプ）*6 SD カードスロット **オプション** IEEE1284 準拠双方向パラレル IEEE 802.11a/b/g/n（無線 LAN）*7 Bluetooth		• ギガビットイーサネット（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T） • USB2.0（B タイプ）*6

	Type 1	Type 2	Type 3
搭載フォント	**標準** 明朝 L、ゴシック B、明朝 L プロポーショナル、ゴシック B プロポーショナル、Courier10、Prestige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier4 書体、Arial4 書体、TimesNewRoman 4 書体、Wingdings、Century、Symbol、OCR-B、漢字ストローク 平成明朝 W3、平成角ゴシック W5、欧文 136 書体（PDF ダイレクトプリント用） **オプション** 欧文 45 書体/International font 13 書体（PCL 用） JIS2004 対応フォント日本語 2 書体/HG 明朝 L、HG ゴシック B (Adobe PS3、PDF ダイレクトプリント用)	**標準** 明朝 L、ゴシック B、明朝 L プロポーショナル、ゴシック B プロポーショナル、Courier10、Prestige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier4 書体、Arial4 書体、TimesNewRoman 4 書体、Wingdings、Century、Symbol、OCR-B、漢字ストローク **オプション** 平成明朝 W3、平成角ゴシック W5、欧文 136 書体（PostScript 3、PDF ダイレクトプリント用） 欧文 45 書体/International font 13 書体（PCL 用） JIS2004 対応フォント日本語 2 書体/HG 明朝 L、HG ゴシック B (Adobe PS3、PDF ダイレクトプリント用)	明朝 L、ゴシック B、明朝 L プロポーショナル、ゴシック B プロポーショナル、Courier10、Prestige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier4 書体、Arial4 書体、TimesNewRoman4 書体、Wingdings、Century、Symbol、OCR-B、漢字ストローク
バーコード	JAN、2of5、Code39、Code128、NW-7、UPC、郵政カスタマバーコード、GS1-128（旧称:UCC/EAN-128） （RPDL エミュレーション使用時）		無し

*1 本機がしばらく使われていないときは、1 ページ目の印刷に多少時間がかかることがあります。

*2 給紙トレイの取っ手に 20mm の突起があります。トレイを延長して使用するときは、奥行きが 108mm 延長します。

*3 操作部の 16mm の高さを含んだ値です。操作部を持ち上げると 55mm 延長します。

*4 操作部の 12mm の高さを含んだ値です。操作部を持ち上げると 34mm 延長します。

*5 ISO7779 に基づく実測値であり、バイスタンダ（近在者）位置の音圧レベルです。

*6 USB 2.0 インターフェースを使用して本機を接続するとき、USB 2.0 に対応したパソコンとケーブルが必要です。

*7 本機は IEEE 802.11w に対応しており、無線のセキュリティーをより強固にできます。IEEE 802.11w を使用するときは、サービス実施店に連絡してください。

300 枚増設トレイの仕様

最大消費電力	• 1 段増設時：12.2W • 3 段増設時：20.6W （電源は本体から供給）
大きさ（幅×奥行き×高さ）	481×515×95mm
質量	約 6kg

補足

- 使用できる用紙については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

550 枚給紙テーブルの仕様

最大消費電力	• 1 段増設時：12.2W • 3 段増設時：20.6W （電源は本体から供給）
大きさ（幅×奥行き×高さ）	481×515×125mm
質量	約 7kg

補足

- 使用できる用紙については、P.111「本機にセットできる用紙のサイズと種類」を参照してください。

拡張無線 LAN ボードの仕様

インターフェース	IEEE 802.11a/b/g/n 準拠（W52/W53/W56）、Wi-Fi 準拠

伝送速度	• 802.11a：1〜54Mbps • 802.11b：1〜11Mbps • 802.11g：1〜54Mbps • 802.11n：1〜300Mbps
周波数範囲（中心周波数表示）	• 802.11a：5180MHz〜5320MHz（20MHz 間隔 8 波 W52、W53） • 802.11b：2412MHz〜2472MHz（5MHz 間隔 13 波） • 802.11g：2412MHz〜2472MHz（5MHz 間隔 13 波） • 802.11n： 2412MHz〜2472MHz（5MHz 間隔 13 波） 5180MHz〜5320MHz（20MHz 間隔 8 波 W52、W53） 5500MHz〜5700MHz（20MHz 間隔 11 波 W56）
通信モード	• 802.11 アドホックモード • インフラストラクチャーモード

補足

- Web Image Monitor に対応しています。
- 伝送速度は理論値です。
- 802.11 アドホックモードの伝送速度は、802.11a では最大 54Mbps、802.11b/g では最大 11Mbps です。802.11n は 802.11 アドホックモードで接続できません。

※無線 LAN に記載されているマークについて

BAU043S

- 2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示します。
- DS/OF：DS-SS 方式及び OF-DM 方式を示します。
- 4：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示します。
- ■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

Bluetooth オプションの仕様

対応バージョン	Bluetooth Ver2.0+EDR
USB インターフェース	USB 1.1
対応プロファイル	• SPP（Serial Port Profile） • HCRP（Hardcopy Cable Replacement Profile） • BIP（Basic Imaging Profile）

周波数範囲	2400～2483.5MHz
伝送方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散（FHSS）方式
伝送速度	• 非対称型通信時：約 2.1Mbps（最大） • 対称型通信時：約 1.3Mbps（最大） 伝送速度は、通信機器間の距離や障害物、電波状況、使用する Bluetooth 機器などにより異なります。

※Bluetooth オプションに記載されているマークについて

- 2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示します。
- FH：FH-SS 方式を示します。
- 8：想定される干渉距離が 80m 以下であることを示します。
- ■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

拡張 USB プリントサーバーの仕様

インターフェース	• イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T） • USB 2.0 (製品とプリンター本体との接続用)

拡張 1284 ボードの仕様

通信方式	IEEE 1284 規格に対応
接続方式	IEEE 1284 規格に対応したデバイス ※拡張 1284 ボードとの接続には、ハーフピッチ用の変換コネクターを使用してください。

ピンアサイン

拡張1284ボード

拡張1284ボード(ハーフピッチ36pin)	
ピン	信号名
1	BUSY
2	Select
3	Acknowledge
4	Fault
5	Paper Empty
6	Data Bit 0(LSB)
7	Data Bit 1
8	Data Bit 2
9	Data Bit 3
10	Data Bit 4
11	Data Bit 5
12	Data Bit 6
13	Data Bit 7(MSB)
14	Initial
15	Data Strobe
16	Select Input
17	Auto Line Feed
18	Logic High
19	Ground
20	Ground
21	Ground
22	Ground
23	Ground
24	Ground
25	Ground
26	Ground
27	Ground
28	Ground
29	Ground
30	Ground
31	Ground
32	Ground
33	Ground
34	Ground
35	Ground
36	Peripheral Logic High

ハーフピッチ用変換コネクター

拡張1284ボード側(ハーフピッチ36pin)		パソコン側(フルピッチ36pin)	
ピン	信号名	ピン	信号名
1	BUSY	11	BUSY
2	Select	13	Select
3	Acknowledge	10	Acknowledge
4	Fault	32	Fault
5	Paper Empty	12	Paper Empty
6	Data Bit 0(LSB)	2	Data Bit 0(LSB)
7	Data Bit 1	3	Data Bit 1
8	Data Bit 2	4	Data Bit 2
9	Data Bit 3	5	Data Bit 3
10	Data Bit 4	6	Data Bit 4
11	Data Bit 5	7	Data Bit 5
12	Data Bit 6	8	Data Bit 6
13	Data Bit 7(MSB)	9	Data Bit 7(MSB)
14	Initial	31	Initial
15	Data Strobe	1	Data Strobe
16	Select Input	36	Select Input
17	Auto Line Feed	14	Auto Line Feed
18	Logic High	-	-
19	Ground	29	Ground
20	Ground	28	Ground
21	Ground	28	Ground
22	Ground	29	Ground
23	Ground	28	Ground
24	Ground	20	Ground
25	Ground	21	Ground
26	Ground	22	Ground
27	Ground	23	Ground
28	Ground	24	Ground
29	Ground	25	Ground
30	Ground	26	Ground
31	Ground	27	Ground
32	Ground	30	Ground
33	Ground	19	Ground
34	Ground	30	Ground
35	Ground	30	Ground
36	Peripheral Logic High	18	Peripheral Logic High

CQS983

7

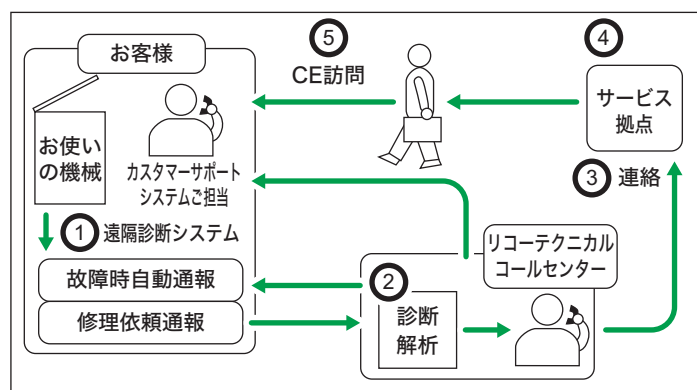
お問い合わせ

保守サービス契約、お問い合わせ先について説明します。

リモート管理サービスを利用する

機械が故障したり、修理を依頼したいときにリコーテクニカルコールセンターへ通報します。

重要

- 「センターに自動通報できませんでした」と表示されているときやリコーテクニカルコールセンターから連絡がないときは、サービス実施店に連絡してください。
- 本機を移動するときは販売店またはサービス実施店に連絡してください。

通報には次の 3 種類があります。

故障時自動通報（SC/サービスコール）

機械の自己診断機能で故障を検知したときにリコーテクニカルコールセンターへ自動通報します。

修理依頼通報（MC/マニュアルコール）

頻繁に用紙がつまる、用紙を取り除いても紙づまり表示が消えないときなどに、以下の手順で通報します。

対象機種：Type 1

1. ［初期設定］キーを押し、修理依頼を通報します。

［リモートサービス］ ▶ ［修理依頼通報実行］

通報したあと、通常の操作画面に戻すときは［終了］を押します。

対象機種：Type 2 Type 3

操作部の［メニュー］キーを押し、［▼］［▲］キーを使用して操作してください。

1. ［リモートサービス］ ▶ ［OK］
2. ［修理依頼通報実行］ ▶ ［OK］
3. ［通報］ ▶ ［OK］

修理依頼通報（画面の表示）

次のときは、修理依頼通報画面が表示され、［通報］を押すことによって、リコーテクニカルコールセンターに自動通報できます。

- 頻繁に用紙がつまる。
- 用紙がつまった状態でカバーが開いたまま一定時間放置された。

補足

- 用紙がつまった状態で一定時間放置されると警告音が鳴ります。
- リコーテクニカルコールセンターでの修理依頼受け付け時間は、9:00〜18:00 です。ただし、日曜、祝日、年末年始は除きます。
- 通報受信後、リコーテクニカルコールセンターからご担当者へ受信確認の連絡をいたします。お客様のカスタマーサポートセンターご担当者名を事前に販売店またはサービス実施店に連絡してください。ご担当者が代わられたときも同様に連絡してください。

保守サービス契約

本機をお買い上げいただく際にリコー保守サービス契約にご契約いただきます。

保守サービス内容につきましては、販売担当者またはカスタマーエンジニアにお尋ねください。

なお保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本機の製造中止後 7 年間です。

機器のご利用終了にともなう、機器に保存されたお客様の情報資産のお取り扱いについて

本機をお使いのお客様には、返却・廃棄・譲渡などで機器のご利用終了の際に、その機器内に残されたお客様の情報資産を解析され、漏洩する危険を未然に防止する必要があります。未然に防止するためには、機器のご利用終了後に確実な消去処理を行うことが望ましいといえます。

機器に残存するおもな情報資産は以下になります。

- 任意に HDD へ保存された蓄積文書
- アドレス帳

- 各種設定情報 他

上記のような情報資産は、所有者であるお客様の自己責任において処理をする必要があります。

リコーでは、機器の情報安全性の強化を進めるとともに、お客様からご返却、お預かりした使用済み機器は、確実な情報消去を実施しています。

しかし、リコーではない第三者にご返却、お預けされるときには、お客様自身により、情報資産の処理や確認が必要となりますのでご注意ください。

また、リコーでは以下の有償サービスを行っています。必要に応じてご利用いただけますようお願いします。

サービス・機能と概要

サービス名称	概要
OA 機器廃棄証明発行サービス	機器を物理的に破壊処理したことの証明書を発行します。
OA 機器 HDD 傷入れ証明発行サービス	回収した機器からハードディスクを取り出し、キズ入れを行います。キズ入れ時の写真が入った証明書を発行します。
オンサイトによる HDD 取り外し・キズ入れサービス	カスタマーエンジニアが訪問し、お客様の前で機器からハードディスクを取り外します。取り外したハードディスクはキズ入れ作業により物理的に読めないようにして、お客様に譲渡もしくは回収します。取り出したハードディスクをそのまま譲渡することも可能です。機器返却時にサービス実施店までご相談ください。 リース物件の場合はリース会社に所有権があることから、お客様がリース会社から事前に同意を得る必要があります。

- 他社製品に対する上記サービスは実施していません。
- 地域や機種により対応サービスが異なるときがあります。詳細はコールセンターもしくは販売担当者、サービス担当者にお問い合わせください。

さらに、本機はデータの上書き消去機能やハードディスクの暗号化機能が用意されています。詳しくは『セキュリティーガイド』「ハードディスクのデータを上書き消去する」、「機器のデータを暗号化する」を参照してください。

お問い合わせ先

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

NetRICOH のホームページからもご購入できます。

http://www.netricoh.com

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。

http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター（ご購入後のお客様専用ダイヤル）」にお問い合わせください。

050-3786-8111

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0918 をご利用ください。

- 受付時間：平日（月～金）9 時～12 時、13 時～17 時　（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）
- 050 ビジネスダイヤルは、一部の IP 電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
- お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

問い合わせ情報（Type 1）

対象機種：Type 1

本機の修理依頼、トナーの発注などの連絡先を確認できます。

初期設定から問い合わせ情報を確認する

確認できる項目は次のとおりです。連絡先一覧リストを印刷することもできます。

消耗品

- トナー名称

トナー以外の消耗品の名称については、P.516「消耗品一覧」を参照してください。

機械修理

- 連絡先電話番号
- 機械番号

営業窓口

- 連絡先電話番号

消耗品発注先

- 連絡先電話番号

「電話番号」は、サービス実施店が登録しますので、サービス実施店に連絡してください。

連絡先一覧リストを印刷するときは、[問い合わせ情報]画面で[連絡先一覧印刷]を押します。

問い合わせ情報画面への入りかたについては、P.103「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

[状態確認]キーを使用して問い合わせ情報を確認する

[問い合わせ情報]タブでは次の項目が確認できます。

- 機械修理

  本機を修理するために必要な機械番号と連絡先の電話番号がわかります。

- 営業窓口

  営業窓口の電話番号がわかります。

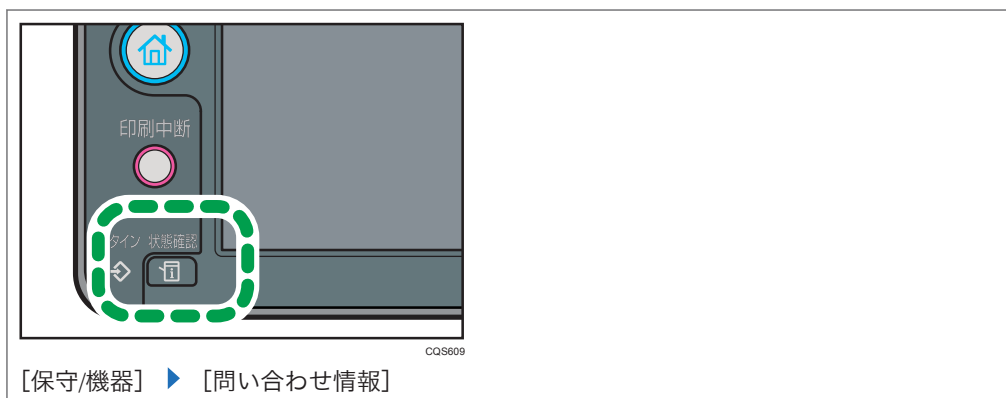
- 消耗品発注先

  本機で使用している消耗品を発注する電話番号がわかります。

- 消耗品名称

  本機で使用しているトナーの名称がわかります。

1. [状態確認] キーを押して、確認する問い合わせ情報を選択します。

[保守/機器] ▶ [問い合わせ情報]

2. 確認後、[閉じる] を押します。

付録

Windows ターミナルサービス/Citrix Presentation Server を使用する

動作環境

使用できる OS と Citrix Presentation Server との組み合わせは次のとおりです。

Citrix Presentation Server 4.5/XenApp 5.0/6.0/6.5

- Windows Server 2003/2003 R2
- Windows Server 2008/2008 R2

対応プリンタードライバー

Windows ターミナルサービスがインストールされている環境で使用できるプリンタードライバーは、次のとおりです。

- RPCS ドライバー
- PCL ドライバー
- PS3 ドライバー

7

制限

動作が制限される環境についての説明です。

「Windows ターミナルサービス」動作時

[スタート]メニューから Windows Server 2003 でターミナルサービスを実行している環境で Ridoc IO Navi をインストールするときは、必ずインストールモードでインストールしてください。インストールモードでインストールするには、次の 2 通りの方法があります。

1. Ridoc IO Navi をインストールします。
2. MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

   CHANGE USER /INSTALL

   インストールモードを終了するには、MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

   CHANGE USER /EXECUTE

詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

印刷時

サイズの大きな画像や、フォントが大量に含まれたデータを印刷すると、画像や文字抜けが発生することがあります。事前検証のうえ、運用してください。

「クライアントプリンタの自動作成機能」使用時

「クライアントプリンタの自動作成機能」とは、Citrix サーバーにログオンする時に、クライアント側で使用しているローカルプリンタの情報を基にして、Citrix サーバー側にて、そのクライアント専用の論理プリンタが自動的に作成される機能です。事前検証のうえ、運用してください。

- 大容量の画像データを印刷したり、ISDN などの電話回線を利用した WAN 環境で使用するときは、事前検証のうえ、運用してください。
- 「Citrix 管理コンソール」より、「クライアントプリンターで使用可能な帯域幅」をお使いの環境に合わせて設定して、使用してください。

サーバー側で印刷エラーが発生し、印刷ジョブや「クライアントプリンタの自動作成機能」で作成されたプリンターが削除されないときは、次の対処方法を行ってください。

- 「Citrix 管理コンソール」の「プリンタの管理」のプロパティにて「ログオフ時に保留中の印刷ジョブを削除する」設定を実施します。

「プリンタードライバーの複製機能」使用時

事前検証のうえ、運用してください。

正しく複製されないときは、各サーバーにプリンタードライバーをインストールして、運用してください。

7

補足

- 制限事項について詳しくは、リコーホームページを参照してください。

DHCP を使用する

本機を DHCP 環境で使用できます。WINS サーバーが稼働している環境では、同時にプリンター名を WINS サーバーに登録できます。

動作対象の DHCPv4 サーバーは、Windows server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 日本語版、および UNIX に標準添付されている DHCP サーバーです。

動作対象の DHCPv6 サーバーは、Windows server 2008/2008 R2 日本語版、および UNIX に標準添付されている DHCP サーバーです。

WINS サーバーは DHCPv6 に対応していません。

WINS サーバーを使用するときは、本機の設定項目で［WINS 設定］を［使用する］に設定してください。

WINS サーバーを使用することで、リモートネットワークのプリンターポートでホスト名を使用できます。

WINS サーバーを使用しないときは、毎回同じ IPv4 アドレスが割り当てられるように、本機に割り当てる IPv4 アドレスを DHCP サーバーで予約してください。

複数の DHCP サーバーが存在するときは、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。

ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCP リレーエージェントを使用したとき、本機からパケットが送出されるたびに ISDN 回線が接続され、多大な通信料がかかることがあります。

補足

- 本機が DHCP から取得した IPv4 アドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、P.302「テスト印刷する」を参照してください。

AutoNet 機能を使用する

DHCP サーバーから IPv4 アドレスが割り当てられなかったとき、本機は、臨時に 169.254.xxx.xxx ではじまるネットワーク上で使用されていない IPv4 アドレスを自動選択して使用できます。

補足

- AutoNet 機能で自動選択された IPv4 アドレスは、DHCP サーバーが IPv4 アドレスの割り当てを再開すると、DHCP サーバーから割り当てられた IPv4 アドレスを優先的に使用します。このとき、本機が再起動するため、一時的に印刷ができなくなります。
- 本機が使用している IPv4 アドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、P.302「テスト印刷する」を参照してください。
- AutoNet モードで動作しているとき、WINS サーバーへのプリンター名の登録は行われません。
- AutoNet 機能で起動している機器以外とは通信できません。ただし、Mac OS X 10.2.3 以降が稼働している Macintosh とは通信できます。

WINS サーバーを使用する

プリンターの起動時に、プリンターのプリンター名を WINS（Windows Internet Name Service）サーバーに登録できます。WINS サーバーにプリンター名を登録すると、DHCP 環境で使用しているとき、Ridoc IO Navi のポート名にプリンターのプリンター名を使用して印刷できます。

ここでは、プリンターが WINS サーバーを使用できるようにする設定について説明します。サポートする WINS サーバーは、Windows Server 2003 以降 の WINS マネージャーです。

WINS サーバーの設定については、Windows のヘルプを参照してください。

WINS サーバーが応答しないとき、ブロードキャストによるプリンター名の登録が行われます。登録できるプリンター名は、半角英数字で 15 バイト以内です。

Web ブラウザーを使用する方法

1. **Web ブラウザーを起動します。**
2. **Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）もしくは（ホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。**
3. **[ログイン] をクリックします。**

   ログインユーザー名とログインパスワードを入力するダイアログが表示されます。
4. **ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。**

   ログインユーザー名とログインパスワードについては管理者に確認してください。

   ブラウザーの設定により、ログイン名、パスワードがブラウザーに保存されることがあります。これを防ぐためにはブラウザーでログイン名、パスワードを保存しないように設定してください。
5. **メニューエリアの [機器の管理] から [設定] をクリックします。**
6. **「ネットワーク」の [IPv4] をクリックします。**
7. **[イーサネット] の [WINS] が「有効」になっていることを確認し、[プライマリ WINS サーバー] と [セカンダリ WINS サーバー] にそれぞれ WINS サーバーの IP アドレスを入力します。**
8. **[OK] をクリックします。**
9. **「設定の書き換え中」画面が表示されます。1〜2 分経過してから [OK] をクリックします。**
10. **Web ブラウザーを終了します。**

補足

- ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者に確認してください。
- 詳細は P.263「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。

ダイナミック DNS 機能を使用する

ダイナミック DNS とは、DNS サーバーが管理しているレコード（A レコード、AAAA レコード、CNAME および PTR レコード）を動的に更新（登録・削除）する機能です。本機が接続されているネットワーク環境に DNS サーバーがあり、本機が DNS クライアントとなるときは、ダイナミック DNS 機能によって動的にレコードを更新できます。

更新処理について

本機の IP アドレスが静的か DHCP から取得しているかによって、更新処理の動作が異なります。

ダイナミック DNS 機能を使用しないときに、本機の IP アドレスが変更されると、DNS サーバーで管理しているレコードを手動で更新する必要があります。

本機でレコードの更新を実行するときは、DNS サーバーの設定が次のどちらかになっている必要があります。

- セキュリティー設定がされていない
- セキュリティー設定で、更新を許可するクライアント（本機）を IP で指定している

静的 IPv4 設定のとき

IPv4 アドレス、ホスト名が変更されたとき、本機が A レコード、および PTR レコードを更新します。

また、A レコードを登録する際に、CNAME も登録します。登録できる CNAME は次のとおりです。

- イーサネット、無線 LAN のとき

  PRNXXXXXX（PRNXXXXXX は MAC アドレスの下位 3 バイトの 16 進数）

  ただし、ホスト名が CNAME と同じ（PRNXXXXXX）ときは、CNAME は登録されません。

7

DHCPv4 設定のとき

DHCPv4 サーバーが本機の代理でレコードを更新します。次のどちらかになります。

- 本機が DHCPv4 サーバーから IPv4 アドレスを取得する際、DHCPv4 サーバーが A レコードと PTR レコードを更新
- 本機が DHCPv4 サーバーから IPv4 アドレスを取得する際、本機が A レコードを更新し、DHCPv4 サーバーが PTR レコードを更新

A レコードを登録する際に、CNAME も登録します。登録できる CNAME は次のとおりです。

- イーサネット、無線 LAN のとき

  PRNXXXXXX（PRNXXXXXX は MAC アドレスの下位 3 バイトの 16 進数）

IPv6 設定

本機が AAAA レコードおよび PTR レコードを更新します。

また、AAAA レコードを更新する際に、CNAME も登録します。

ステートレスアドレスが新たに設定されたときは、DNS サーバーに追加登録されます。

補足

- メッセージ認証を用いた動的更新（TSIG、SIG（0））はサポートしていません。

動作対象の DNS サーバー

静的 IPv4 設定のとき

- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

DHCPv4 設定で本機が A レコードを更新するとき

- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

DHCPv4 設定で、DHCPv4 サーバーがレコードを更新するとき

- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

IPv6 設定のとき

- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND9.2.3 以降

動作対象の DHCPv4 サーバー

本機の代理で A レコード、および PTR レコードを更新することができる DHCPv4 サーバーは次のとおりです。

- Windows Server 2003/2003 R2/2008 に標準添付の Microsoft DHCPv4 サーバー
- ISC DHCP 3.0 以降

商標

Adobe、Acrobat、PageMaker、PostScript、PostScript 3、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Apple、AppleTalk、Bonjour、Macintosh、Mac OS、Safari、および TrueType は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Bluetooth 商標は、Bluetooth SIG,Inc.所有の商標であり、ライセンスの下で株式会社リコーが使用しています。

Citrix、Citrix Presentation Server、Citrix XenApp は Citrix Systems, Inc.の米国あるいはその他の国における登録商標または商標です。

EPSON、ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Firefox は Mozilla Foundation の商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

IPS は、米国およびその他の国々で登録された Zoran Corporation とその各子会社の登録商標または商標です。

JAWS®は米国およびその他の国における Freedom Scientific BLV Group, LLC の登録商標です。

Monotype は、アメリカ合衆国の特許商標局で登録されている Monotype Imaging, Inc.の登録商標であり、そしてその他の管轄区域で登録されている場合があります。

NEC、PC-9821 シリーズは、日本電気株式会社の登録商標です。

HP-GL、HP-GL/2、HP RTL、DesignJet600、DesignJet700、HP7550A は、米国 Hewlett-Packard 社の商標です。

PictBridge は商標です。

Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®、Internet Explorer®は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

OpenLDAP は、OpenLDAP Foundation の登録商標です。

SD および SD のロゴは、SD-3C, LLC の商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

UPnP は UPnP Forum の登録商標です。

- Internet Explorer の正式名称は次のとおりです。

  Microsoft® Internet Explorer® 6

  Windows® Internet Explorer® 7

  Windows® Internet Explorer® 8

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® XP Professional

  Microsoft® Windows® XP Home Edition

  Microsoft® Windows® XP Media Center Edition

  Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Vista® Ultimate

  Microsoft® Windows Vista® Business

  Microsoft® Windows Vista® Home Premium

  Microsoft® Windows Vista® Home Basic

Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® 7 Home Premium

  Microsoft® Windows® 7 Professional

  Microsoft® Windows® 7 Ultimate

  Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server®2003 Standard Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。